しろなみ児童館耐震補強工事

No	図　面　名　称	No	図　面　名　称	No	図　面　名　称	No	図　面　名　称
A01	改修特記仕様書No1	S01	耐震補強工事特記仕様書	E01	電気設備工事　特記仕様書	K01	B棟解体建物　解体特記仕様書
A02	改修特記仕様書No2	S02	鉄骨標準図	E02	盤類結線図・照明・弱電器具姿図	K02	配置図・平面図・立面図
A03	改修特記仕様書No3	S03	現況　梁伏図	E03	幹線・弱電設備図	K03	矩計図・仕上表
A04	配置図	S04	補強後　梁伏図	E04	電灯照明設備図	K04	展開図1
A05	仕上表	S05	基礎補強図	E05	コンセント設備図	K05	展開図2
A06	改修前後　平面図	S06	現況　軸組図1	E06	自動火災報知設備図	K06	基礎伏図・基礎詳細図・小屋伏図
A07	改修前後　立面図	S07	現況　軸組図2			K07	軸組図
A08	現況　平面詳細図	S08	補強後　軸組図1	M01	機械設備工事　特記仕様書		
A09	改修後　平面詳細図	S09	補強後　軸組図2	M02	凡例・機器表		
A10	改修前後　矩計図	S10	補強詳細図	M03	給排水衛生設備配置図		
A11	現況　展開図No1			M04	給排水衛生設備平面図（現況・改修後）		
A12	現況　展開図No2			M05	給排水衛生設備平面詳細図（現況・改修後）		
A13	改修後　展開図No1			M06	空調設備平面図（現況・改修後）		
A14	改修後　展開図No2						
A15	改修後　展開図No3						
A16	建具表						
A17	改修前後　床伏図						
A18	改修前後　天井伏図						
A19	部分詳細図No1						
A20	部分詳細図No2						
A21	仮設計画図						
A22	現況　外構図						
A23	改修後　外構図　　外構詳細図1						
A24	外構詳細図2						
A25	外構詳細図3						
A26	外構詳細図4						

工 事 特 記 仕 様 書（改 修）

Ⅰ. 工事名称　しろなみ児童館耐震補強工事

Ⅱ. 工事概要

１ 工事場所　伊賀市八幡町地内

２ 敷地面積　1561.85㎡

３ 工事内容

棟名称	Ａ棟	Ｂ棟
構造	Ａ棟：鉄骨造平屋建て	Ｂ棟：鉄骨造平屋建て
建築面積		
延べ面積	Ａ棟：304.75㎡	Ｂ棟：196.27㎡
工事項目	Ａ棟：耐震補強工事	Ｂ棟：解体工事　その他：外構工事

Ⅲ. 建築改修工事仕様

１ 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「改標仕」という。）による。

２ 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
　○印が付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
　特記事項に記載される内容が複数ある事項については○印の付いたものを適用し、※印の付いたものは適用しない。
　使用材料等で複数の材料に○印が付いたものは図面による。

(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改標仕の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項

1 一般共通事項

① 適用基準等

⊙ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成31年版）
⊙ 建築工事標準詳細図
　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成31年版）
・

② 工事実績情報の登録等

⊙ 受注者は、受注時において工事請負代金額５００万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、１０日以内に登録申請しなければならない。
　また、（財）日本建設情報センター発行の「工事カルテ受領書」が受注者に届いた場合は、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。

⊙ 受注者は、下請負に付する場合は、部分下請届出書及び施工体制台帳を監督員に提出しなければならない。

⊙ 受注者は、各下請者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事現場の見やすい場所に掲げなければならない。

③ 発生材の処理等

・ 引き渡しを要するもの（　　　　）　(1.1.12)
・ 特別管理産業廃棄物　※有(　　　　)
　処理方法(　　　　)
⊙ 現場において再利用を図るもの(延べ石　　　　)
⊙ 再生資材の利用を図るもの
　・ アスファルトコンクリート塊
　⊙ セメントコンクリート塊
　・ 建設発生木材
⊙ 引渡を要するものについては調書作成し、監督員へ提出すること。
⊙ 引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適切処理し、監督員に報告する。（マニフェストA票とE票については写しと種類別集計表を作成して提出すること。）

④ 施工条件

⊙監督員と協議し決定する。　(1.3.5)
　施工可能日・指定あり(夏休み期間中は全日、その他は土日)
　施工可能時間帯 (※)指定なし ・ 監督員と打合せの上決定
　部位別の施工順序 (※)指定なし ・
　工事車両の駐車場 ※指定なし ・図示 ⊙ 監督員と打合せの上決定
　資材置場 ※指定なし ・図示 ⊙ 監督員と打合せの上決定

⑤ 技能士

(※) 職種別に可能なものについては積極的に活用すること。　(1.6.2)
⊙鉄筋工事⊙コンクリート工事⊙鉄骨工事⊙ブロック及びＡＬＣパネル工事
・防水工事・石工事・タイル工事⊙木工事⊙屋根及び樋工事・左官工事
⊙塗装工事⊙建具工事⊙内装工事・植栽工事

⑥ 書類の書式

工事施工における提出書類は、次による

番号	提出書類	部数	提出期限	備考
1	工程表	1	契約締結後5日以内	実施工程表の書式等は、監督員の指示による。
2	火災保険又は請負賠償責任保険等	2	加入後契約原本の写しを直ちに	受取人→受注者 加入額→請負代金額 加入期間→内部造作開始又は設備内部配管配線
3	工事履行状況報告書	2	１ヶ月毎	写真
4	施工計画書	2	契約締結後30日以内	

⊙その他指示する書類

⑦ 施工計画調査

調査 ⊙行う　(1.5.1)
　⊙本工事着手前に、給排水、ガス管、地下埋設物棟の調査を行う。

⑧ 建築材料等

(※) 本工事に使用する建築材料等は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　建築材料等評価名簿」（平成29年版）（以下「評価名簿」という）及び別記記載の資材及び見積りメーカー（参考）又はこれらと同等とする。
(※) 品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。また、建設工事で得られた再生資源の活用はもちろんのこと、他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとする。
(※)① 合板、木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層材、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、その他の木質建材、ﾕﾘｱ樹脂及び仕上げ塗材は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを 発散しないか、F☆☆☆☆であること。または、該当製品が無い場合は、使用しようとする材料の比較資料を提出して監督員の確認を受けたものとする。
② 保温材、緩衝材、断熱材はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞについては①とし、ｽﾁﾚﾝを発散しないものとし、該当製品が無い場合は、使用しようする材料の比較資料を提出して監督員の確認を受けたものとする。
③ 接着剤は、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｰn-ブチル及びﾌﾀﾙ酸ｼﾞｰn-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞについては①とし、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを発散しないものとし、該当製品が無い場合は、使用しようとする材料の比較資料を提出して監督員の確認を受けたものとする。
④ 塗料は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞは①とし、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを発散しないものとし、該当製品が無い場合は、使用しようとする材料の比較資料を提出して監督員の確認を受けたものとする。
⑤ ①から④の建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、①から④の各項による。

⑨ ﾘｻｲｸﾙ認定製品の利用

※本工事では三重県ﾘｻｲｸﾙ製品利用推進条例に基づく認定製品を使用している。入手困難な場合は監督員と協議のうえ、他の同等の製品に変更することができる。

⑩ 施工中の安全管理

(※)接着剤及び塗料の塗布にあたっては、使用方法及び塗布料を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外へ放出させること。

⑪ 室内空気中の化学物質の濃度測定

(※)本工事の施工に関しては、ホルムアルデヒド及び揮発性物質の発生抑制に努めること。
(※)測定物質（○で示したものとする。）

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ﾄﾙｴﾝ	ｷｼﾚﾝ	ｽﾁﾚﾝ	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ	その他（　）
○	○	○	○	○	○	

(※)対象箇所（※2箇所 ⊙4個所、居室各室１個所）
(※)測定方法（(※)パッシブ法 ・アクティブ法）
(※)報告書　2部

⑫ 特別な材料の工法

(※)建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑬ 騒音・振動の防止

(※)低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械をできる限り使用する。
(※)特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法及び振動規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は監督員の承認を得てから行うこと。

⑭ 排出ｶﾞｽ対策建設機械の使用

(※)排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械をできる限り使用する。

⑮ 工事写真

着工時一敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現況の撮影。（1部）
工事中一進捗状況の撮影記録をすると共に、特に竣工後、隠ぺい又は埋設される部分は被写体に巾広テープを添えて撮影する。（1部）

⑯ 完成図等

(※)作成する（(※)完成図 ・保全に関する資料）⊙Ａ３　１部　(1.8.2)
(※)完成図作図範囲（全ての図面　）
完成図の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。
完成図はJWWファイルとする。

⑰ 完成写真

(※)台紙貼り１部（ｶﾗｰｻｰﾋﾞｽ版、）
・ｱﾙﾊﾞﾑ１部(大きさ335mm×290mm程度、ｶﾗｰｻｰﾋﾞｽ版)
(※)箇所数は外観４面各室２面程度とする。規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。

⑱ 設備工事との取合い

施工範囲
・図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・駆動装置が電動による建具等の２次側の配管・配線及び操作スイッチ
施工図
　設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
・基準高さ：既存地中梁天端を基準高さとする。

⑲ 養生その他

工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共在来にならい補修する。

⑳ 事故報告

工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故の発生報告書を監督員に速やかに提出すること。

㉑ 工事期間

※監督員と打合せの上決定

㉒ 施工図

⊙施工図の作成範囲：鉄骨ブレース

2 仮設工事

① 足場

内部足場 (※)きゃたつ ・足場板　(2.2.1)
外部足場の種別 ⊙仮設計画図による
保護シート等による養生 ⊙適用する ・ 適用しない
　設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置き方式又は手すり先行専用足場方式により行うこと。

② 材料、撤去材等の運搬

種別　(表2.2.1)
・ Ａ種 (※)Ｂ種 ・ Ｃ種 ・ Ｄ種 ・ Ｅ種

③ 既存部分の養生

既存ブラインド・カーテンの養生 ⊙窓ガラス養生　(2.3.1)
　養生方法（　　　）
　保管場所 ※ 構内既存施設内
固定された備品、机、ロッカーの移動
⊙行う ・ 行わない

④ 監督員事務所

・ 構内建物内の一部を使用する。　(2.4.1)
⊙設置する ※ 設置しない
監督職員事務所の規模(単位:㎡)
面積 ⊙10㎡程度 ・ 20㎡程度 ・ 35㎡程度
　・ 65㎡程度 ・ 100㎡程度
監督員事務所の仕上げ

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り
屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

⑤ 監督員事務所の備品等

・ 椅子 ・ 書棚黒板 ・ 製図板 ・ 掛け時計
・ 温度計 ・ ゴム長靴 ・ 雨カッパ ・ 消火器
・ 保護帽 ・ 懐中電灯 ・ 衣類ロッカー
・ 加入電話の付属電話機
　(請負者が本電話機を設置する場合)
・ 冷暖房機器 ・ 湯沸器 ・ 掃除具(2.4.1)(2)

⑥ 仮設便所

構内既存の施設
・ 利用できる (※)利用できない

⑦ 工事用水

構内既存の施設
⊙利用できる（(※)有償 ・ 無償） ※ 利用できない

⑧ 工事用電力

構内既存の施設
⊙利用できる（(※)有償 ・ 無償） ※ 利用できない
　有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

3 防水改修工事

① シーリング

材料　(3.7.2)(表3.7.1)

種別	材種	施工箇所
⊙SR-1	シリコーン系	内部
⊙MS-2	変成シリコーン系	外部
・PS-2	ポリサルファイド系	
・PU-2	ポリウレタン系	

工法　(3.7.4〜7)
・ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法
　(拡幅幅　mm、拡幅深さ　mm)
・ ブリッジ工法
　(ボンドブレーカー幅　mm、エッジング材幅　mm)

シーリング材の試験(3.7.8)
※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ⊙行わない

② とい

材種 (※)図示による　(3.8.2)(表3.8.1)

4 外壁改修工事

① 塗り仕上げ

(4.2.2 (10))(表4.2.4(その1)(その2))

種類	呼び名	仕上形状	工法
薄付仕上塗材 JIS A 6909（建築用仕上塗材）	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け
		・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー
	⊙外装薄塗材E	⊙砂壁状 ・ゆず肌状	⊙吹付け
		・平たん状 ・凹凸状	・こて
		・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー
		・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け
		・平たん状 ・凹凸状	・こて
		・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー
		・凹凸状	・吹付け
	・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. A-01	伊賀市八幡町地内 特記仕様書1	A1版 m／m
日付.	設計	係員

5 建具改修工事

①アルミニウム製

外部に面するアルミニウム製建具の性能等級等 (5.2.2)(表5.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	備　考
・A種	S-4	A-3	W-4	枠の見込み寸法 70mm＃
⊙B種	S-5			
・C種	S-6	A-4	W-5	枠の見込み寸法 100mm

＃形式が引違い・片引き・上げ下げ窓で、複層ガラスを使用する場合は、枠の見込み100mmとする。

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別 (表5.2.2)

種 別	表　面　処　理	規格番号	種類
・AB-1	無着色陽極酸化皮膜	JIS H8601	AA15
・AB-2	着色陽極酸化皮膜		
⊙BA-1	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	JIS H8602	B
・BA-2	着色陽極酸化塗装複合皮膜		
・AC-1	無着色陽極酸化皮膜	JIS H8601	AA6
・AC-2	着色陽極酸化皮膜		
・C	化成皮膜の上に塗装	JIS H4001	

② 網戸

防虫網の材質 (5.2.3(5))
・合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製
⊙ステンレス(SUS316)製
網目
⊙ 16メッシュ　・ 18メッシュ

③ 建具用金物

金物の見え掛かり部等の材質 (5.7.2)
※改標仕表5.6.1(その1)(その2)による

マスターキー・製作する　⊙製作しない (5.7.4)

④自閉式上吊り引戸装置

自閉式上吊り引戸装置の性能値 (5.9.3)
※改標仕表5.9.1による　・（　　）

⑤ ガラス

板ガラス (5.13.2(1))

	厚 さ	備　考
⊙フロート板ガラス	3	
⊙型板ガラス	4	
⊙網入板ガラス	6.8	網入り型

⑥ガラス留め材

ガラス留め材 (5.13.2(2))

建具の種類	種　類	
アルミニウム製	⊙ガスケット	※グレイジングチャンネル形（枠見込み70mmの引違い、片引き障子の場合） ・
	・シーリング材	
鋼製	・シーリング材　・ガスケット	
ステンレス製	・シーリング材 ・ガスケット	

板ガラスをはめ込む溝の大きさ (5.13.3)
※表　5.12.1による
（強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合を除く。）

6 内装改修工事

① 一般事項

既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 (6.1.3(2))

改修部分	改　修　範　囲
⊙天井	図示による
⊙壁	図示による
⊙床	図示による

天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 (6.1.3(3))
（⊙図示による　・　　）

天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 (6.1.3(5))
（⊙図示による　・　　）

② 既存床 撤去、下地補修

既存床仕上げ材の除去等 (6.2.2(1)(ｱ))(6.2.2(1)(ｲ))(6.2.2(3))
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
・行う　⊙行わない

合成樹脂塗り床材の除去等
・機械的除去工法　・目荒し工法

改修後の床の清掃範囲
※施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲
・（　　）

③既存壁撤去、下地補修

既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 (6.3.2)
⊙（ 既存と同等に復旧　）

④ 木下地等

表面仕上げ　・ A種 ※ B種 ・ C種
(6.5.1(3))(表6.5.1)(6.5.2(1)(ｱ))(表6.5.3)

木材の含水率（工事現場搬入時、質量比）

部材名称	種　別
構造材	※ A種 ・ B種
下地材	※ A種 ・ B種
造作材	※ A種 ・ B種

保存処理木材　※ 図示による (6.5.2(2)(ｲ)(a))

構造材及び下地材の等級 (6.5.2(2)(ｱ))

部材名称	等級	部材名称	等級	部材名称	等級
軸組	米栂1等				

造作材の等級 (6.5.2(2)(ｲ)(ｃ))
(表6.5.4)

使用箇所	部 材 名 称	等　級
生地のまま又は透明塗料塗りの場合	枠、額縁、敷居、鴨居、かまちの類	※ A種 （ただし、見え掛り面） ・ B種
	押入、戸棚等の内面造作の類	※ A種 ・ B種
不透明塗料塗りの場合		※ A種 ・ B種

⑤軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 (6.6.2)(表6.6.1)(6.6.3)
⊙ 屋内　※ 19形 ・ 25形
・ 屋外　・ 19形 ※ 25形

⑥ビニル床シート ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

材料 (6.8.2)(6.8.2(1))(6.8.2(2))
⊙ビニル床シート 【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	色　柄	厚 さ	備　考
ＮＣ	無 地	2.0mm	

⊙ ビニル幅木 (6.8.2(4))

厚 さ	高 さ	備　考
1.5mm	60mm	

工法 (6.8.3(1))
下地
⊙ モルタル下地 ・ 木下地
・ その他（　　）

ビニル床シート張り (6.8.3(2))
熱溶接工法 ⊙ 適用する ・ 適用しない

⑦フローリング張り

⊙ 接着工法 (6.11.5)
(表6.11.5)

材　種	樹 種	厚 さ	大きさ
・フローリングボード（直張用）	※ なら ・		
・フローリングブロック（直張用）			
⊙複合１種フローリング（直張用）			
・複合２種フローリング（直張用）			
・複合３種フローリング（直張用）			
・モザイクパーケット（直張用）	・	・	・

塗装 (6.11.6(3))
※　ウレタン樹脂ワニス塗り（１液形、Ｂ種）
・　オイルステイン塗りのうえワックス塗り
⊙ 生地のままワックス塗り

⑧せっこうボードその他ボード及び合板張り

(6.13.2)(表6.13.1)

名称	種　類		規格、区分等　厚さ（mm）
せっこうボード製品	⊙せっこうボード	壁	・9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・15.0(不燃)
		天井	⊙9.5(準不燃)　※12.5(不燃) ・15.0(不燃)
	・シージングせっこうボード		・ 12.5(不燃)・ 12.5(準不燃)
	⊙強化せっこうボード		⊙ 12.5(不燃) ・
	・せっこうラスボード		※ 9.5
	・不燃積層せっこうボード		模様無し　※ 9.5(不燃) トラバーチン　※ 9.5(不燃)
	⊙化粧せっこうボード	普通	トラバーチン　⊙ 9.5(準不燃) 木目　・ 9.5(準不燃) 模様　・ 12.5(不燃)
		特殊	
吸音材料	・ロックウール吸音ボード		１号 ・ 25
	・グラスウール吸音ボード		２号 ・ 25 32K　ガラスクロス包
	・ ロックウール化粧吸音板	内部用	普通 ・ 9.0(不燃)　・ 12.0 立体 ・ 12.0(不燃) 模様 ・
		軒天用	普通 ・ 9.0(不燃)　・ 立体 ・ 12.0(不燃) 模様 ・
	・		
繊維強化セメント板	⊙けい酸カルシウム板		⊙ 6.0 ・
	・		
合板	⊙普通		
	・天然木化粧合板		
	・特殊加工化粧合板		
・パーティクルボード			
・			

⑨ 壁紙張り

(6.14.2)

施 工 箇 所	品質の程度	防火性能
⊙不燃 ・準不燃	A	
・不燃 ・準不燃		
・不燃 ・準不燃		

⑩ モルタル塗り

既製目地材 (6.15.3)
・ 使用する（形状　　）

7 塗装改修工事

① 材料

※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 (7.1.3)(2)
・ 次の箇所を除き防火材料とする。（箇所　　）

② 下地調整

種別 (7.2.2～7.2.7)(表7.2.1～7.2.7)

下　地	種　別
⊙ 木部	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種
⊙ 鉄鋼面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種
⊙ モルタル、プラスター面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種
・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種
⊙ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種
⊙ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ※ RB種 ・ RC種

③錆止め塗料塗り

錆止め塗料種別
(7.3.2)(表7.3.1)（7.3.3)(表7.3.3～7.3.4)
鉄鋼面
※ Ａ種（屋外）※ Ｂ種（屋内）　・ Ｃ種
亜鉛めっき鋼面
※ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種

錆止め塗料塗り種別
鉄鋼面　　・ Ａ種 ・ Ｂ種 ※ Ｃ種
亜鉛めっき鋼面　・ Ａ種 ・ Ｂ種 ※ Ｃ種

④ 合成樹脂調合ペイント塗り

塗料種別　※ １種 ・
(7.4.2)(7.4.3～7.4.5)(表7.4.1～7.4.3)
種別

下　地	種　別
⊙ 木部	・ Ａ種 ⊙ Ｂ種 ・ Ｃ種
⊙ 鉄鋼面	・ Ａ種 ※ Ｂ種 ・ Ｃ種
・ 亜鉛めっき鋼面	・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種

⑤合成樹脂エマルションペイント塗り

種別 (7.10.2)(表7.10.1)
・ Ａ種 ※ Ｂ種 ・ Ｃ種
しみ止め （・　　）

⑥ ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り

(表7.13.1参照)（7.13.2)

しろなみ児童館耐震補強工事

No.	伊賀市八幡町地内	A1版
A-02	特記仕様書2	m／m
日付.	設計	係 員

8の1 耐震改修工事 共通事項

（一般事項）

① 適用範囲 (8.1.1)

工事内容
- 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
- ⊙ 鉄骨ブレースの設置工事
- 柱補強工事（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）
- 柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法）
- 柱補強工事（連続繊維補強工法）
- 耐震スリット新設工事
- 免震改修・制震改修工事

工事種別 (8.1.1)(8.1.2)
- ⊙ 施工調査（施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修）
- ⊙ 撤去工事（設備機器配管及び仕上げの取り壊し、撤去（下地の一部又は全てを含む）、構造体のはつり）
- ⊙ 鉄筋工事
- ⊙ あと施工アンカー工事
- ⊙ コンクリート工事
- ⊙ 鉄骨工事
- ⊙ グラウト工事
- 連続繊維補強工事
- スリット新設工事
- 免震改修、制震改修工事

8の2 耐震改修工事 撤去工事

（既存部分の撤去等）

① 既存仕上げ等の撤去 (8.21.2)(8.22.2)(8.23.2)(8.25.2)

既存仕上げ等の撤去
撤去の範囲
※ 図示
- 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分
- 既存コンクリート撤去範囲に面する部分
-

既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置 (8.21.2)(8.22.2)(8.23.2)(8.25.2)

本工事の範囲
- ⊙ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分
- 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。
-

撤去範囲 ※ 図示 ・（　　）

② 既存構造体の撤去 (8.21.2)(8.22.2)(8.23.2)(8.25.2)

既存構造体の撤去
撤去範囲 ※ 図示 ・（　　）

撤去する既存コンクリート内にあった鉄筋及び鉄骨の処置 (8.21.2)(8.22.2)(8.23.2)(8.25.2)

既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断

鉄筋の切断	範　囲	適用
⊙ 既存鉄筋は切断せず残す	※図示　⊙ 全ての撤去部分 ・　・適用なし	
・コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	※図示　・全ての撤去部分 ・　・適用なし	
・コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	※切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・	

はつり出した鉄筋の処置
※ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。
・（　　）

該当する既存コンクリート内にあった鉄骨の処置
※ コンクリート等を除去し鉄面を表す。
・（　　）

（既存部分の処理）

③ 既存構造体コンクリートの表層目荒らし (8.21.3)(8.22.3)(8.23.3)

既存構造体コンクリートの表層目荒らし
目荒らし範囲
- ※ 既存コンクリートとの打継ぎ面全面
- ※ 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面

※ 図示 ・（　　）

目荒らし程度
- ※ 平均深さ5～10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す

※ 図示 ・（　　）

8の3 耐震改修工事 鉄筋工事

（鉄筋工事材料）

① 鉄筋 (8.2.1)(表8.2.1)

材料(表8.2.1)による

種　別	径 (mm)
・SD295A	D10,D13、D16
・SD345	
・SD390	
・	

（鉄筋の加工及び組立）

② 鉄筋の加工及び組立一般事項

鉄筋の継手 (8.3.1)

部位	接合方法	径(mm)
柱,梁の主筋	・重ね継手 ※ｶﾞｽ圧接	※D19以上　・(　　)
その他	※重ね継手 ・ｶﾞｽ圧接	※D16以下　・(　　)

（各部の配筋） (8.3.1)(8.3.4)

③ 梁の配筋

あばら筋の種類、径及び間隔 (8.3.1)(8.3.4)
※ 図示 ・（　　）

8の4 耐震改修工事 コンクリート工事

（ｺﾝｸﾘｰﾄ工事一般事項）

① ｺﾝｸﾘｰﾄの種類及び強度

普通ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度 (8.1.3)

設計基準強度 Fc(N/mm²)	適用範囲
・21	
・	

② ﾚﾃﾞｨﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄの種別

※ Ⅰ種　・Ⅱ種 (8.1.1)

（普通ｺﾝｸﾘｰﾄ）

③ 普通コンクリート

セメントの種類 (8.2.5)(表8.2.3)
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種
・（　　）

上記普通ポルトランドセメントは、JIS R5210(ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ)に示された規定の他、下表の規定に適合しなければならない。全アルカリの算出はJIS R5210 ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ(低ｱﾙｶﾘ形)による。

水和熱(J/g)	7日	352以下
	28日	402以下
全ｱﾙｶﾘ(%)	0.75以下	
塩素(%)	0.02以下	

8の5 耐震改修工事 あと施工アンカー工事

（あと施工ｱﾝｶｰ）

① あと施工ｱﾝｶｰの材料

種　類 (8.2.4)
⊙ 接着系 カプセル型 ※有機系 ・無機系
埋込み深さ ※ 図示 ・（　　）
引張耐力 ※ 図示 ・（　　）
せん断耐力 ※ 図示 ・（　　）

あと施工アンカーの性能確認試験
- 実施する ※ 実施しない

試験方法
- （社）日本建築あと施工ｱﾝｶｰ協会のあと施工ｱﾝｶｰ標準試験法による
- （　　）

試験対象のあと施工アンカー
※ 図示 ・（　　）

試験数 ・（　　）

② あと施工ｱﾝｶｰの施工

あと施工アンカーの施工確認試験 (8.12.6)(8.12.7)
・実施する ⊙ 実施しない

確認試験方法及び試験数
※(8.11.5)による ・（　　）

確認強度
※ アンカーの鋼材による引張荷重、またはコンクリート破壊による引張荷重(埋め込み及びへりあきの影響を受ける場合は低減した荷重)の小さい値の2/3とする。(接着系の場合は、付着破壊の荷重も考慮する。)

穿孔前の埋込み配管等の探査 (8.12.4)
範囲 ※ 図示 ⊙ あと施工アンカー施工部分全て
・（　　）
方法 ※ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋 、配管類の位置に墨出しを行う。
- はつり出しによる。
・（　　）

8の6 耐震改修工事 鉄骨工事

（鉄骨工事一般事項）

① 鉄骨製作工場 (8.1.5)

⊙ 監督員の承諾する工場
・建築基準法第77条の４５第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた㈱日本鉄骨評価センター又は(社)全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定める、下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・Ｈ　・Ｍ　・Ｒ　⊙ Ｊ　グレード

・下記の条件を満たしている工場
ｲ) ＷＥＳ8103　1級(　)名以上　2級(　)名以上
ﾛ) ＮＤＩＵＴ　Ⅲ種(　)名以上 Ⅱ種(　)名以上
ﾊ) 超音波探傷機　(　)　台以上
ﾆ) 鉄骨製作管理技術者 1級(　)名以上　2級(　)名以上
ﾎ) 半自動溶接技術者
下向及び横向で板厚(　)mmの資格を有するもの
(　)名以上
ﾍ) 手溶接技術者
下向及び横向で板厚(　)mmの資格を有するもの
(　)名以上

② 施工管理技術者

鉄骨製作管理技術者の運用 (8.1.6)
適用　・しない　⊙ する

（鉄骨材料）

③ 鋼材

材質 (表8.2.7) による(8.2.8)(表8.2.7)

種　類	使 用 箇 所
SS400	ブレース、ガセットプレート

④ 高力ﾎﾞﾙﾄ

高力ﾎﾞﾙﾄの適用 (8.2.9)
※ トルシア型高力ボルト
(認定セットの種類 ※2種（Ｓ１０Ｔ）・（　　））

・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト
(認定セットの種類 ※1種（F8Ｔ相当）・（　　））

（鉄骨工作）

⑤ 仮組

仮組の実施 (8.13.10)
・実施する（　）　⊙ 実施しない

⑥ 技能資格者

溶接作業における技能資格者の技量付加試験 (8.14.3)
・実施する（　）　・実施しない

（溶接接合）

⑦ 溶接条件

入熱、パス間温度の溶接条件 (8.15.3)
適用箇所 ・図示
・柱・梁ﾌﾞﾚｰｽ接合部の完全溶け込み溶接部

鋼材の溶接材料の組み合わせと溶接条件
・図示　・

工事現場溶接の場合
※全数試験とする
・公共建築工事標準仕様書(H31年度版)(7.6.11(b))による。
平均出検品質限界(AOQL) ※4.0%　・2.5%
検査水準 ※第６水準 ・（　　）
ロットの構成（　）
・（　　）

8の7 耐震改修工事 グラウト工事

（ｸﾞﾗｳﾄ工事） (8.2.12)(表8.2.10)

① ﾓﾙﾀﾙ及びｸﾞﾗｳﾄ材

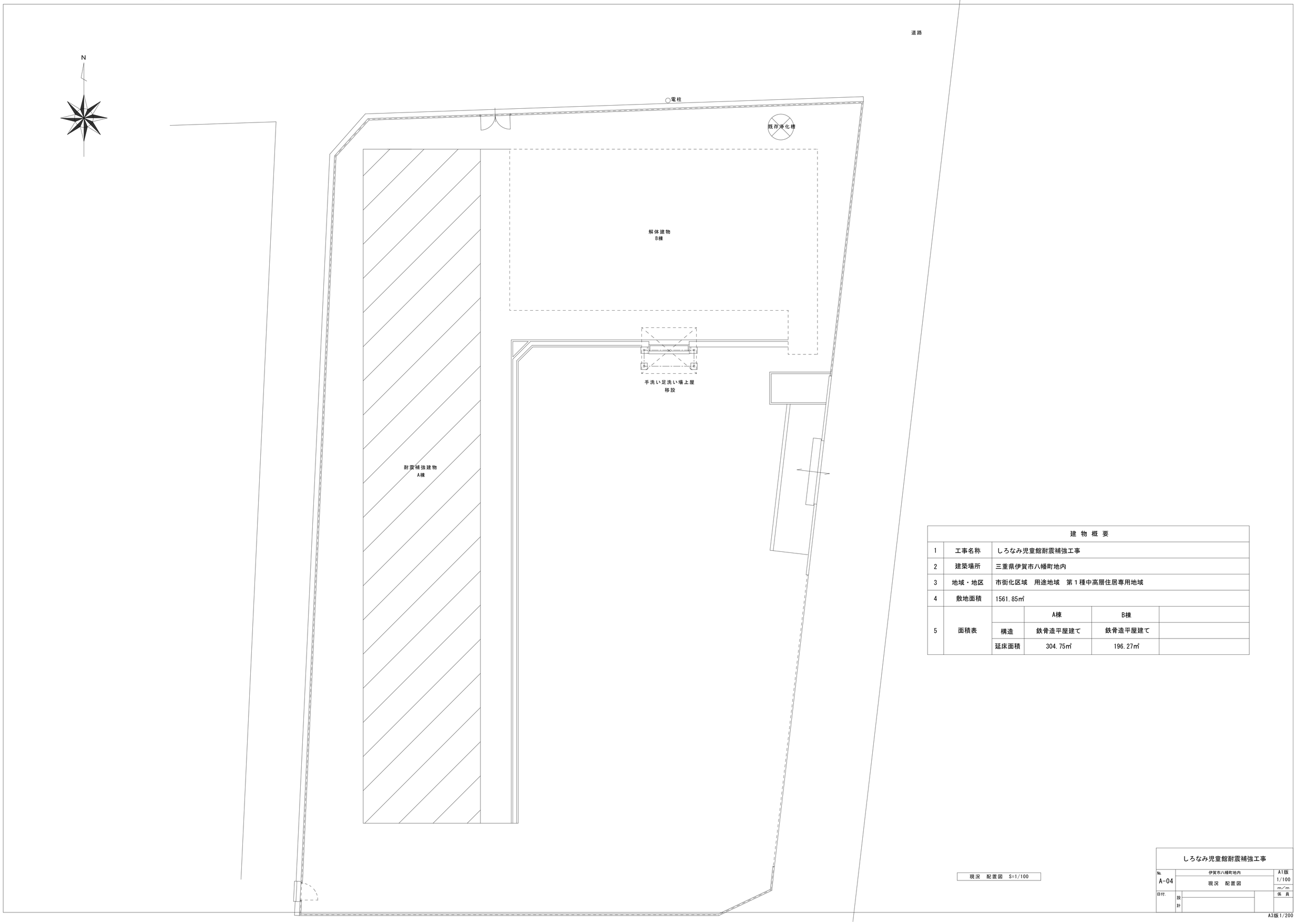
構造体用モルタル
※ (8.2.12)による。
・

無収縮モルタル材
※ (8.2.12)による
・

グラウト材
※ (8.2.12(2))による。(性能は、建築材料等品質性能表による)

しろなみ児童館耐震補強工事

No.	伊賀市八幡町地内	A1版
A-03	特記仕様書3	m/m
日付.	設計	係　員



建 物 概 要					
1	工事名称	しろなみ児童館耐震補強工事			
2	建築場所	三重県伊賀市八幡町地内			
3	地域・地区	市街化区域　用途地域　第１種中高層住居専用地域			
4	敷地面積	1561.85㎡			
5	面積表		A棟	B棟	
		構造	鉄骨造平屋建て	鉄骨造平屋建て	
		延床面積	304.75㎡	196.27㎡	

現況　配置図　S=1/100

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. A-04	伊賀市八幡町地内 現況　配置図	A1版 1/100 m／m
日付.	設計	係 員

A3版1/200

外部仕上げ表

部位	区分	仕上
屋根	現　況	クボタカラーベストコロニアル葺き　勾配5/10、アスファルトルーフィング22kg/m2+野地板：ラワンベニヤt=12　既存のまま 三晃式折版t=0.8（22#）W葺き OP　勾配1/50　既存のまま
	改修後	
軒天	現　況	モルタル塗り、リシン吹付　既存のまま ペフ張り　撤去
	改修後	ペフ張り　貼り替え ケイカル板　t=6 EP　新設(児童トイレ前)
樋	現　況	軒樋：塩ビ150x150（22#）撤去　塩ビ150x200　撤去 縦樋：塩ビ100φ　撤去
	改修後	軒樋：塩ビ150x150（22#）既存のまま　塩ビ150x200　新設OP塗り 縦樋：塩ビ100φ　新設OP塗り

部位	区分	仕上
外壁	現　況	外壁・柱型・梁型：モルタル塗り、リシン吹付　ｶｯﾀｰ入れの上、一部撤去、二丁掛タイル　一部撤去 クボタカラーベストコロニアル　既存のまま
	改修後	外壁：窯業系無塗装サイディングt=14　横張り　外装薄塗材E吹付け　木胴縁+透湿防水シート+C-100x50x20x2.3　一部新設
巾木	現　況	モルタル塗り刷毛引き　一部撤去、基礎目荒し
	改修後	基礎増打ち+モルタル塗り刷毛引きt=20　一部新設
	現　況	
	改修後	

部位	区分	仕上
廊下	現　況	モルタルコテ押え　一部撤去 土間コンクリートt=100+砕石t=100　一部撤去
	改修後	モルタルコテ押えt=30　新設 土間コンクリートt=100（鉄筋D10-@200タテヨコ）+砕石t=100　新設
スロープ	現　況	
	改修後	モルタル刷毛引きt=30 土間コンクリートt=150（鉄筋D10-@150タテヨコ）+砕石t=100
	現　況	
	改修後	

現況　内部仕上げ表

室　名		床	厚さ	巾　木	高さ	塗装	壁	厚さ	塗装	天　井	厚さ	塗装	廻縁	天井高	室名札	カーテンBOX	備　考
用務員室	仕上	モルタルコテ押え　撤去 フローリング　撤去	30 12	モルタル塗り　撤去 木製巾木　撤去			モルタル塗り、75角タイル貼り　撤去 センイ壁、PB　撤去	30,7.5 12.5	VP EP	大平板　撤去	5	OP	木製撤去	2,180～2,320			上框、流し台、コンロ台　撤去 アルミサッシ　撤去
	下地	土間コンクリートt=100+砕石t=100　撤去 木下地：下地板、根太54x54x、大引105x105、束、束石　撤去					壁下地：柱、間柱、胴縁、CB　撤去			野縁　撤去							
トイレ	仕上	フローリング　撤去	12	木製巾木　撤去			センイ壁、PB　撤去	12.5	EP	大平板　撤去	5	OP		2,180			洋風便器、紙巻器、木製建具　撤去
	下地	木下地：根太54x54x、大引105x105、束、束石　撤去					壁下地：柱、間柱、胴縁　撤去			野縁　撤去							
浴室	仕上	モザイクタイル貼り　撤去	5	75角タイル貼り　撤去	75		75角タイル貼り　撤去	7.5		吹付け仕上+耐水合板　撤去	5			2,180			浴槽　アルミサッシ　撤去
	下地	モルタルコテ押え+土間コンクリートt=100+砕石t=100　撤去		ラスモルタル　撤去			ラスモルタル　撤去 壁下地：柱、間柱、胴縁、CB　撤去			野縁　撤去							
4帖	仕上	畳　撤去 （押入）ラワンベニヤ　撤去	55 5.5	畳ヨセ　撤去 （押入）雑巾摺　撤去	55		センイ壁　撤去 （押入）ラワンベニヤ　撤去	 5.5		杉板ベニヤ（目すかし）　撤去 （押入）ラワンベニヤ　撤去	3 4		木製撤去	2,420			アルミサッシ、木製建具　撤去 （押入）中段　撤去
	下地	木下地：下地板、根太54x54x、大引105x105、束、束石　撤去 土間コンクリートt=100+砕石t=100　撤去					壁下地：柱、間柱、胴縁、CB　撤去			野縁　撤去							
6帖	仕上	畳　撤去 （押入）ラワンベニヤ　撤去	55 5.5	畳ヨセ　撤去 （押入）雑巾摺　撤去	55		センイ壁　撤去 （押入）ラワンベニヤ　撤去	 5.5		杉板ベニヤ（目すかし）　撤去 （押入）ラワンベニヤ　撤去	3 4		木製撤去	2,420			アルミサッシ、木製建具　撤去 （押入）中段　撤去
	下地	木下地：下地板、根太54x54x、大引105x105、束、束石　撤去 土間コンクリートt=100+砕石t=100　撤去					壁下地：柱、間柱、胴縁、CB　撤去			（押入）野縁　撤去							
事務室に改修 ← 学習室2	仕上	モルタルコテ押え （物入）ラワンベニヤ　撤去	30 5.5	木製巾木　一部撤去	125		化粧合板　一部撤去 （物入）ラワンベニヤ、タイル貼り　撤去	5.5 5.5,7.5		化粧PB（455x910）　撤去 （物入）ラワンベニヤ　撤去	9.5 4		塩ビ撤去	2,500			アルミサッシ　一部撤去 黒板、物入棚　撤去
	下地	土間コンクリートt=100+砕石t=100　既存のまま （物入）木下地：根太54x54x、大引105x105、束、束石　撤去					壁下地：柱、間柱、胴縁、CB　撤去			LGS　撤去 野縁　撤去							
図書室	仕上	①長尺塩ビシート　撤去　②クリンカータイル　既存のまま （物入）ラワンベニヤ　撤去	2,16 5.5	木製巾木　一部撤去 （物入）雑巾摺　撤去			化粧合板　撤去 （物入）ラワンベニヤ　撤去	5.5 5.5		吸音テックス、クロス貼り　撤去 （押入）ラワンベニヤ　撤去	9.5 4		木製撤去	2,830			アルミサッシ　一部撤去 木製建具　撤去
	下地	①木下地：荒板+転ばし床組　既存のまま　②モルタル塗り　既存のまま （物入）木下地：根太54x54x、大引105x105、束、束石　撤去					壁下地：柱、間柱、胴縁、CB　撤去			野縁　撤去							
学習室1に改修 ← 学習室3	仕上	パケットフロア　一部撤去 （押入）ラワンベニヤ　撤去	15 5.5	ラワン　撤去 （押入）雑巾摺　撤去	120	OS	化粧合板　撤去 （押入）ラワンベニヤ　撤去	5.5 5.5		吸音テックス、クロス貼り　撤去	9.5		木製撤去	2,820～3,000			アルミサッシ 一部撤去、木製建具　撤去 黒板、ホワイトボード　撤去
	下地	サンドクッションt=50+土間コンクリートt=100+砕石t=100　一部撤去 （押入）木下地：根太54x54x、大引105x105、束、束石　撤去					壁下地：柱、間柱、胴縁、CB　撤去			野縁　撤去							
便所	仕上	モザイクタイル貼り　撤去	5	75角タイル貼り　撤去	75		75角タイル貼り　撤去	7.5		大平板　撤去	5	OP	木製二重撤去	2,820			アルミサッシ　撤去 手洗い、鏡、小便器、洋風便器、紙巻器、トイレブース　撤去
	下地	モルタルコテ押え+土間コンクリートt=100+砕石t=100　撤去					ラスモルタル　撤去 壁下地：柱、間柱、胴縁、CB　撤去			野縁　撤去							
学習室2 遊戯室に改修 ← ホール	仕上	フローリング　既存のまま （押入）ラワンベニヤ　撤去	12	ラワン　一部撤去 （押入）雑巾摺　撤去	100	OS	化粧合板　一部撤去　PB　一部撤去 （押入）ラワンベニヤ　撤去	5.5,12.5 5.5	EP	化粧PB（910x910）　撤去 （押入）ラワンベニヤ　撤去	9.5 4		木製撤去	2,820			アルミサッシ 一部撤去、木製建具　撤去 （押入）中段　撤去
	下地	サンドクッションt=50+土間コンクリートt=100+砕石t=100 （押入）木下地：根太54x54x、大引105x105、束、束石　撤去					壁下地：柱、間柱、胴縁、CB　撤去			LGS　撤去 （押入）野縁　撤去							
南倉庫	仕上	モルタルコテ押え　既存のまま	30	モルタル塗り　一部撤去			モルタル塗り　撤去 PB　撤去	30 12.5	VP EP	耐水ベニヤ　撤去	5.5	OP	木製撤去	2,400			
	下地	土間コンクリートt=100+砕石t=100					壁下地：柱、間柱、胴縁、CB　撤去			野縁　撤去							
	仕上																
	下地																

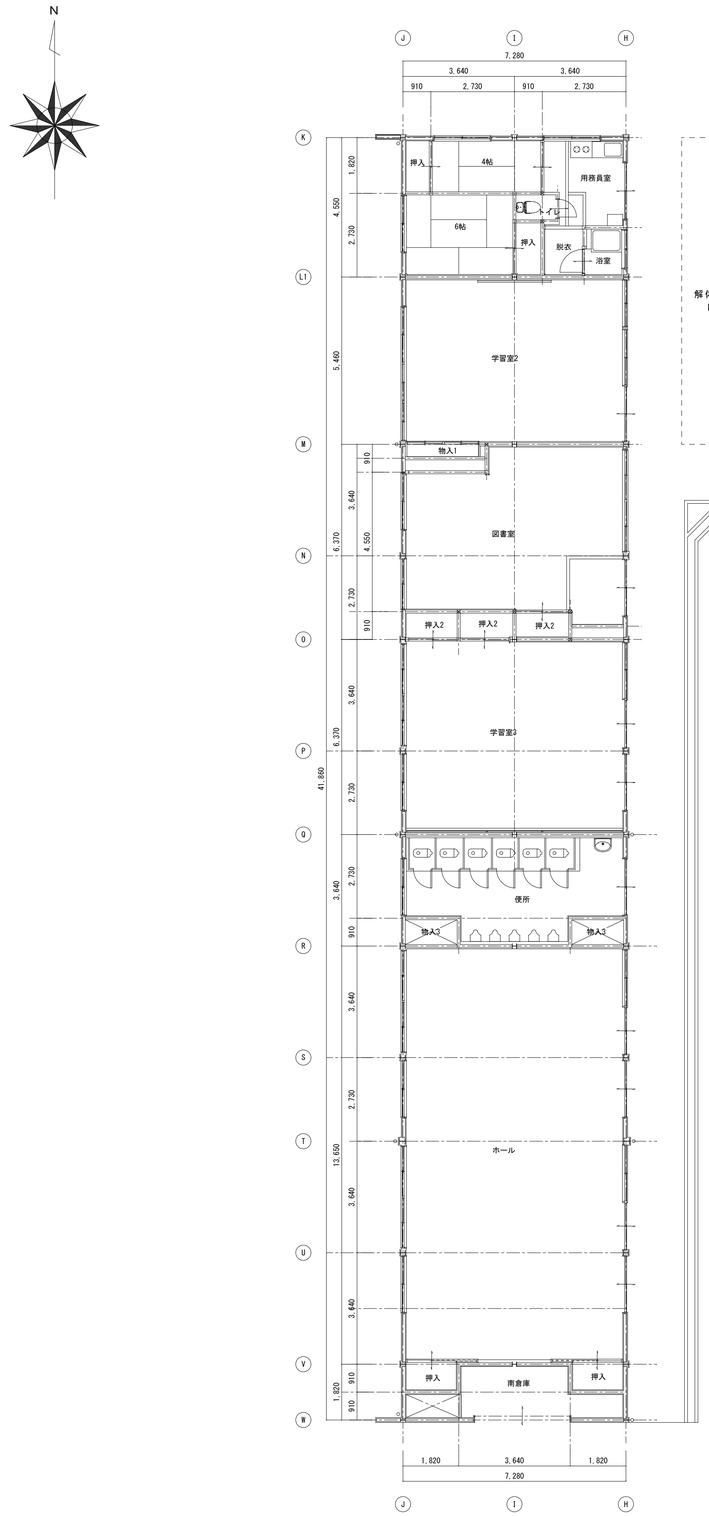
改修後　内部仕上げ表

※特記なき限り、間柱・胴縁は木製

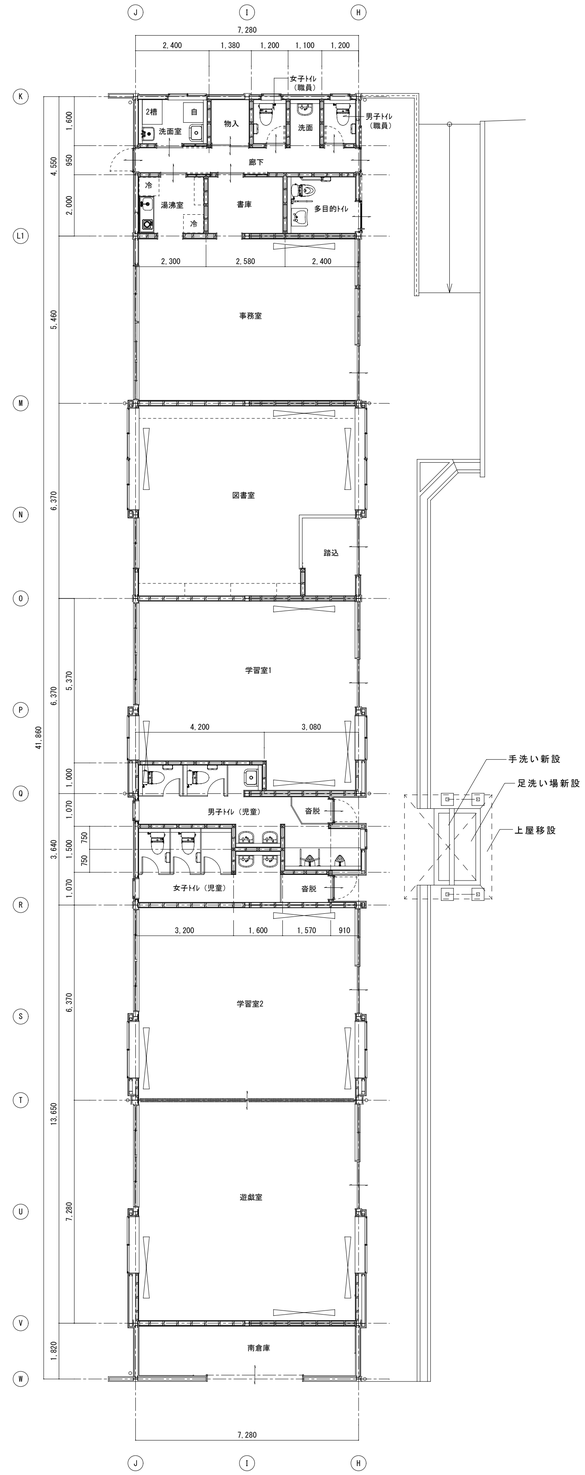
室　名		床	厚さ	巾　木	高さ	塗装	壁	厚さ	塗装	天　井	厚さ	塗装	廻縁	天井高	室名札	カーテンBOX	備　考
廊下 洗面	仕上	長尺塩ビシート	2	ビニル巾木	60		ビニルクロス貼り+PB	12.5		化粧PB	9.5		塩ビ	2400			洗面器、鏡（設備工事）
	下地	モルタルt=28+土間コンクリートt=120（ワイヤーメッシュ6φx150） スタイロフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+砕石t=120					外壁：C-100x50x20x.3.2+胴縁 間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
男子トイレ（職員）	仕上	長尺塩ビシート	2	ビニル巾木	60		ビニルクロス貼り+PB	12.5		化粧PB	9.5		塩ビ	2400			洋風便器、紙巻器（設備工事）
	下地	モルタルt=28+土間コンクリートt=120（ワイヤーメッシュ6φx150） スタイロフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+砕石t=120					外壁：C-100x50x20x.3.2+胴縁 間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
女子トイレ（職員）	仕上	長尺塩ビシート	2	ビニル巾木	60		ビニルクロス貼り+PB	12.5		化粧PB	9.5		塩ビ	2400			洋風便器、紙巻器（設備工事）
	下地	モルタルt=28+土間コンクリートt=120（ワイヤーメッシュ6φx150） スタイロフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+砕石t=120					外壁：C-100x50x20x.3.2+胴縁 間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
物入	仕上	長尺塩ビシート	2	ビニル巾木	60		ビニルクロス貼り+PB	12.5		化粧PB	9.5		塩ビ	2400			
	下地	モルタルt=28+土間コンクリートt=120（ワイヤーメッシュ6φx150） スタイロフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+砕石t=120					外壁：C-100x50x20x.3.2+胴縁 間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
洗濯室	仕上	長尺塩ビシート	2	ビニル巾木	60		ケイカル板	6	EP	化粧PB	9.5		塩ビ	2400			洗濯機パン800サイズ、640サイズ、SK、小型多目的流し（設備工事）
	下地	モルタルt=28+土間コンクリートt=120（ワイヤーメッシュ6φx150） スタイロフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+砕石t=120					外壁：C-100x50x20x.3.2+胴縁 間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
湯沸室	仕上	長尺塩ビシート	2	ビニル巾木	60		ビニルクロス貼り+PB	12.5		化粧PB	9.5		塩ビ	2400			ミニキッチンL=1200（建築工事）
	下地	モルタルt=28+土間コンクリートt=120（ワイヤーメッシュ6φx150） スタイロフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+砕石t=120					外壁：C-100x50x20x.3.2+胴縁 間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
書庫	仕上	長尺塩ビシート	2	ビニル巾木	60		ビニルクロス貼り+PB	12.5		化粧PB	9.5		塩ビ	2400			
	下地	モルタルt=28+土間コンクリートt=120（ワイヤーメッシュ6φx150） スタイロフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+砕石t=120					間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
多目的トイレ	仕上	長尺塩ビシート	2	ビニル巾木	60		ビニルクロス貼り+PB	12.5		化粧PB	9.5		塩ビ	2400			洋風便器、L型手摺、腰掛便器手摺、紙巻器、洗面器、鏡（設備工事）
	下地	モルタルt=28+土間コンクリートt=120（ワイヤーメッシュ6φx150） スタイロフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+砕石t=120					外壁：C-100x50x20x.3.2+胴縁 間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
事務室	仕上	長尺塩ビシート	2	木製巾木　一部新設	125	OS	化粧合板　一部新設　（一部強化せっこうボード貼り）	5.5（12.5）		化粧PB	9.5		米栂OP	2500			
	下地	既存モルタル床　モルタル不陸調整					外壁：C-100x50x20x.3.2+胴縁　一部新設 間仕切り壁：間柱+胴縁　一部新設			LGS							
図書室	仕上	①長尺塩ビシート張替え　②長尺塩ビシート ③長尺塩ビシート	2 2	ビニル巾木	60		ビニルクロス貼り+PB　新設　（一部強化せっこうボード貼り）	12.5（12.5）		化粧PB	9.5		塩ビ	2,815			
	下地	①既存荒板+転ばし床組　②既存クリンカータイルの上、モルタル塗り ③ラワン合板+転ばし床組	 12				外壁：C-100x50x20x.3.2+間柱+胴縁　一部新設 間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
学習室1	仕上	パケットフロア　既存のまま	15	ビニル巾木	60		ビニルクロス貼り+PB　新設　（一部強化せっこうボード貼り）	12.5（12.5）		化粧PB	9.5		塩ビ	2,815			
	下地						外壁：C-100x50x20x.3.2+間柱+胴縁　一部新設 間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
男子トイレ（児童）	仕上	長尺塩ビシート	2	ビニル巾木	60		ビニルクロス貼り+PB	12.5		化粧PB	9.5		塩ビ	2500			洋風便器x2、紙巻器x2、小便器x2、小便器手摺、汚垂石(ﾊｲﾄﾞﾛｾﾗ同等)、SK、洗面器x2、鏡x2（設備工事）
	下地	モルタルt=28+土間コンクリートt=120（ワイヤーメッシュ6φx150） スタイロフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+砕石t=120					外壁：C-100x50x20x.3.2+間柱+胴縁 間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
女子トイレ（児童）	仕上	長尺塩ビシート	2	ビニル巾木	60		ビニルクロス貼り+PB　（一部強化せっこうボード貼り）	12.5（12.5）		化粧PB	9.5		塩ビ	2500			洋風便器x2、紙巻器x2、洗面器x2、鏡x2（設備工事）
	下地	モルタルt=28+土間コンクリートt=120（ワイヤーメッシュ6φx150） スタイロフォームt=50+ポリエチレンフィルムt=0.15+砕石t=120					外壁：C-100x50x20x.3.2+間柱+胴縁 間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
学習室2	仕上	フローリング　既存のまま	12	ラワン　一部新設	100	OS	PB　一部新設　（一部強化せっこうボード貼り）	12.5（12.5）	EP	化粧PB	9.5		米栂OP	2,815			
	下地						外壁：C-100x50x20x.3.2+間柱+胴縁　一部新設 間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
遊戯室	仕上	フローリング　既存のまま	12	ラワン　一部新設	100	OS	PB　一部新設　（一部強化せっこうボード貼り）	12.5（12.5）	EP	化粧PB	9.5		米栂OP	2,815			
	下地						外壁：C-100x50x20x.3.2+間柱60x60+胴縁　一部新設 間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
南倉庫	仕上	既存モルタルの上モルタル補修 モルタルコテ押え　一部新設（現場合せ）	 30	モルタル金コテ　一部新設	150		ケイカル板　一部新設 強化せっこうボード貼り　一部新設	6 12.5	EP EP	化粧PB	9.5		塩ビ	2,400			
	下地	既存土間コンクリート		メタルラス			外壁：C-100x50x20x.3.2+胴縁　一部新設 間仕切り壁：間柱+胴縁			LGS							
	仕上																
	下地																

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. A-05	伊賀市八幡町地内 外部・内部仕上表	A1版 m／m
日付.	設計	係員

A3版



現況　平面詳細図　S=1/100



改修後　平面詳細図　S=1/100

ブレース補強壁

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. A-06	伊賀市八幡町地内		A1版 1/100
	現況・改修後　平面図		m/m
日付.	設計		係　員

A3版1/200

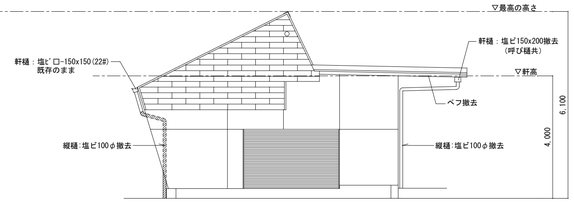
軒樋：塩ビ ロ-150x150(22φ)
既存のまま

▽軒天下げライン
▲壁ｶｯﾀｰ入れ天端ライン

3,100

縦樋:塩ビ100φ撤去

現況　西立面図　S=1/100



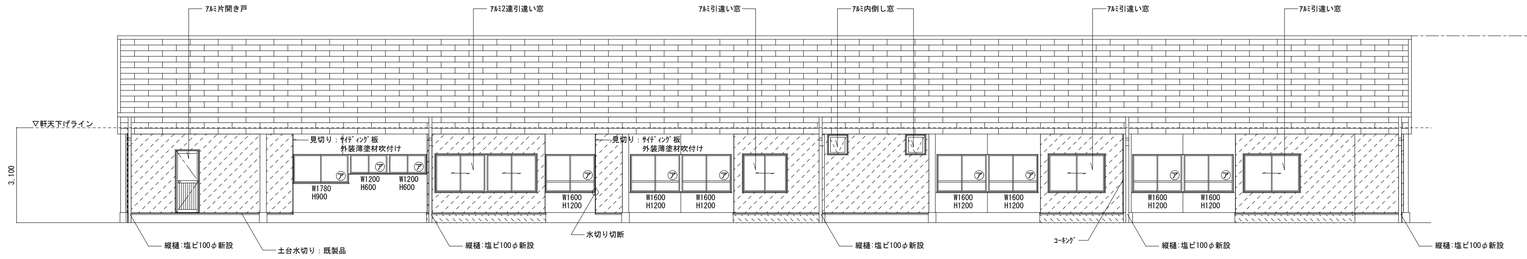
現況　南立面図　S=1/100

凡例

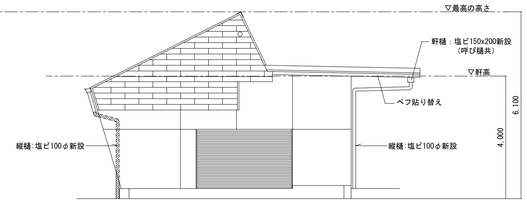
壁撤去範囲（下地、CB、ｱﾙﾐｻｯｼ共）※軒天まで撤去

巾木：モルタル刷毛引き撤去、基礎目荒し

壁、柱型、基礎：ｶｯﾀｰ入れを示す



改修後　西立面図　S=1/100



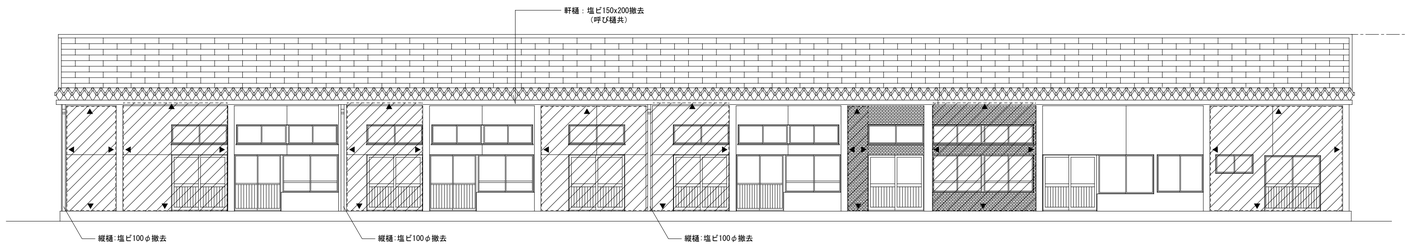
改修後　南立面図　S=1/100

凡例

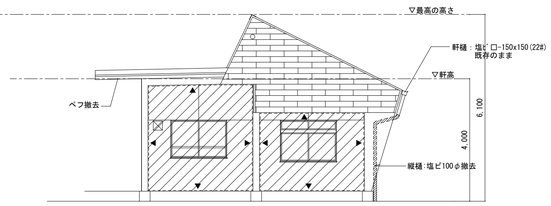
外壁：防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt=16　外装薄塗材E吹付け　※軒天まで

巾木：基礎増打ち+モルタル刷毛引きt=20

㋐　後付け網戸設置



現況　東立面図　S=1/100

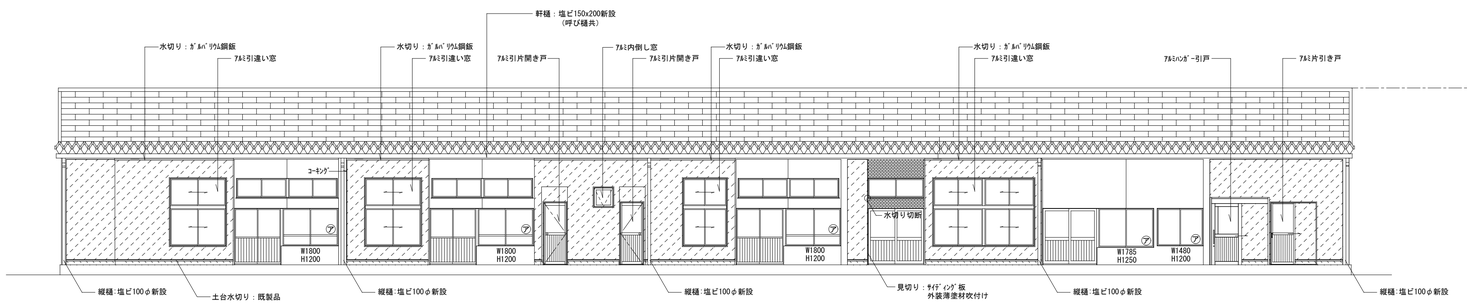


現況　北立面図　S=1/100

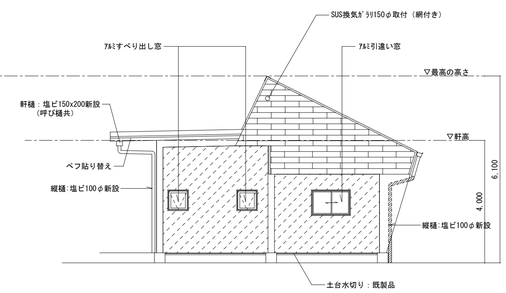
凡例

壁撤去範囲（下地、CB、ｱﾙﾐｻｯｼ共）

壁、柱型、基礎：ｶｯﾀｰ入れを示す



改修後　東立面図　S=1/100



改修後　北立面図　S=1/100

凡例

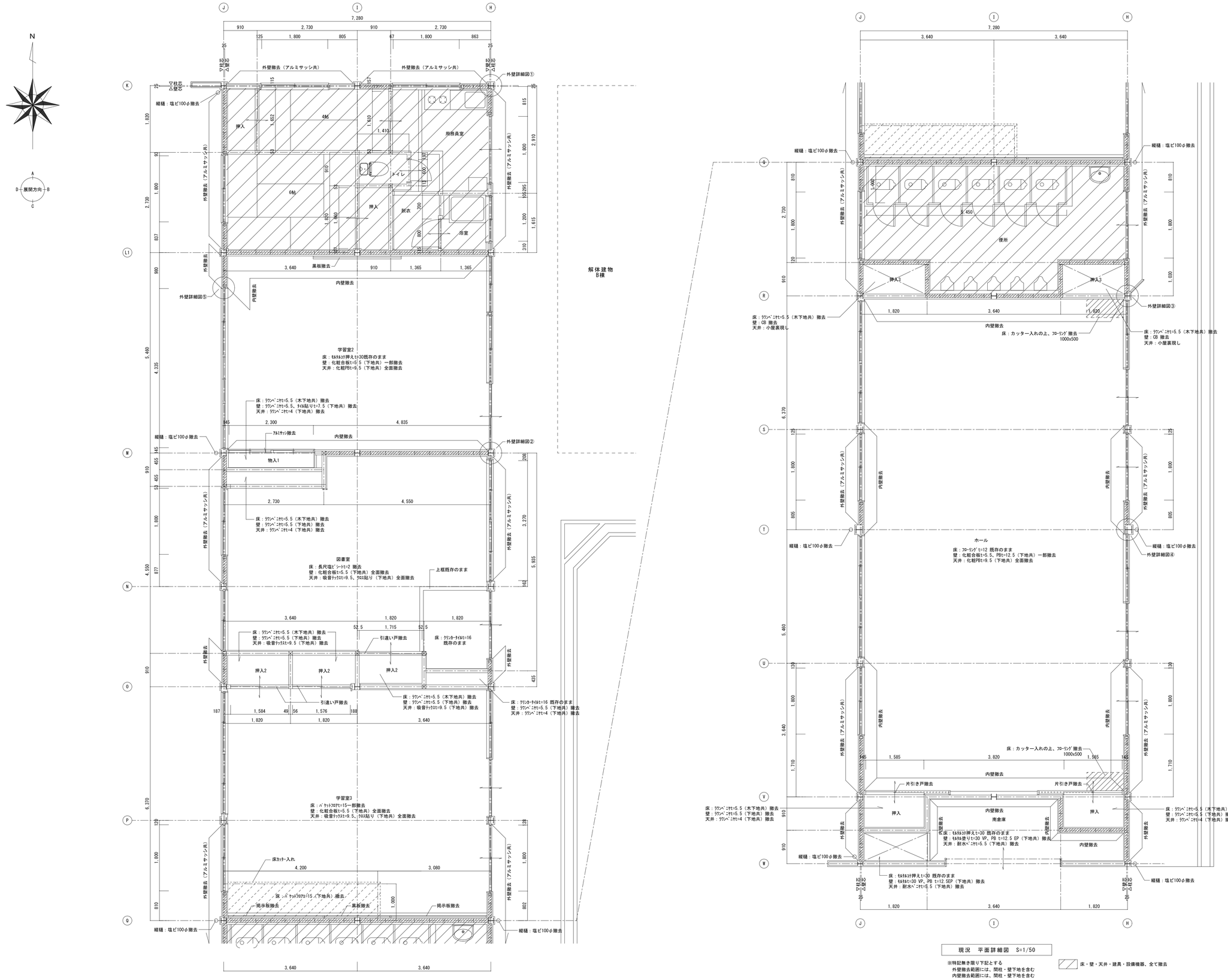
外壁：防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt=16　外装薄塗材E吹付け

巾木：基礎新設+モルタル刷毛引きt=20

㋐　後付け網戸設置

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. A-07	伊賀市八幡町地内 現況・改修後　立面図		A1版 1/100 m/m
日付.	設計		係員

A3版1/200



現況　平面詳細図　S=1/50

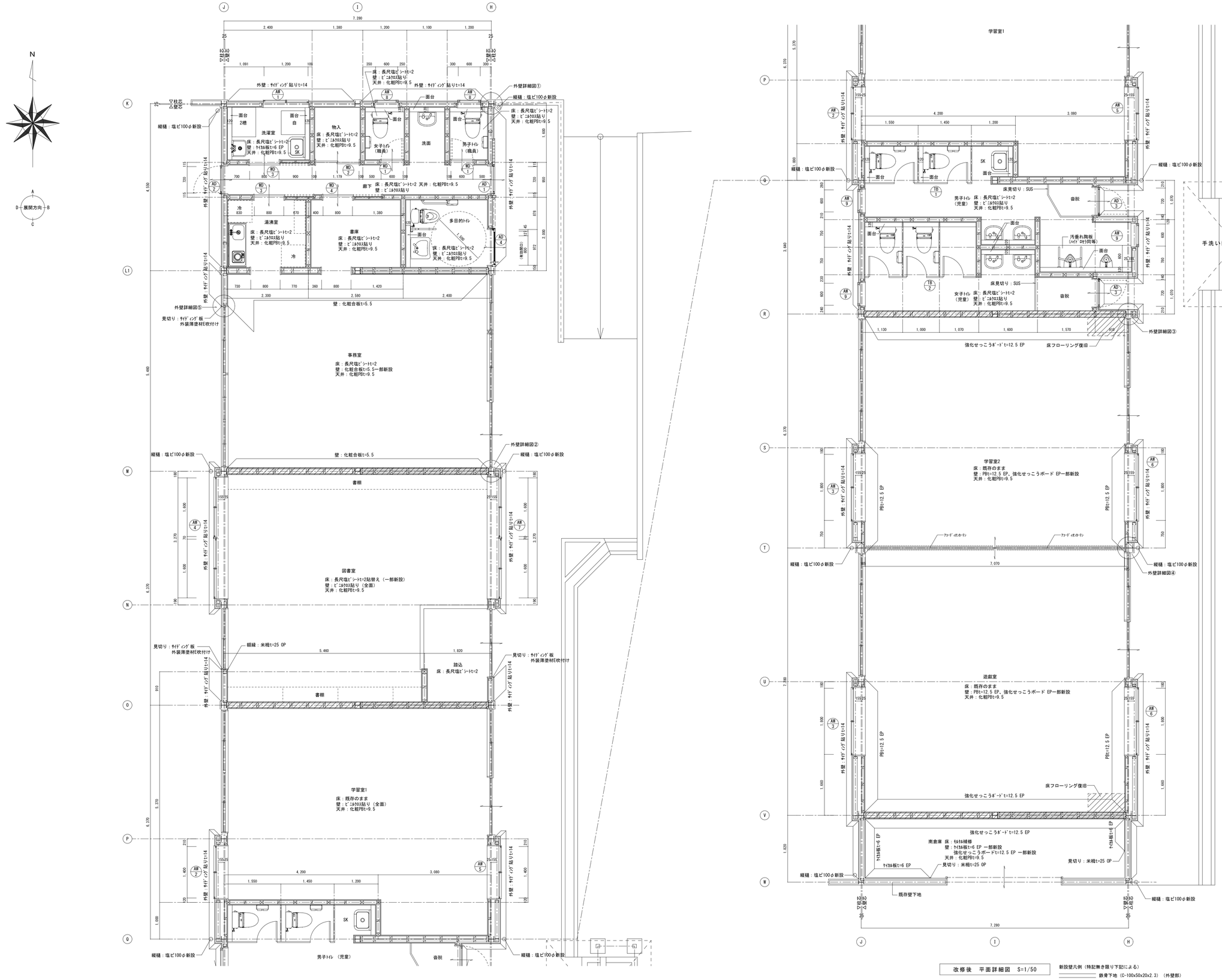
※特記無き限り下記とする
外壁撤去範囲には、間柱・壁下地を含む
内壁撤去範囲には、間柱・壁下地を含む

ブロック帳壁撤去部分

床・壁・天井・建具・設備機器、全て撤去

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. A-08	伊賀市八幡町地内		A1版 1/50
	現況　平面詳細図		m/m
日付.	設計		係　員

A3版1/100



改修後　平面詳細図　S=1/50

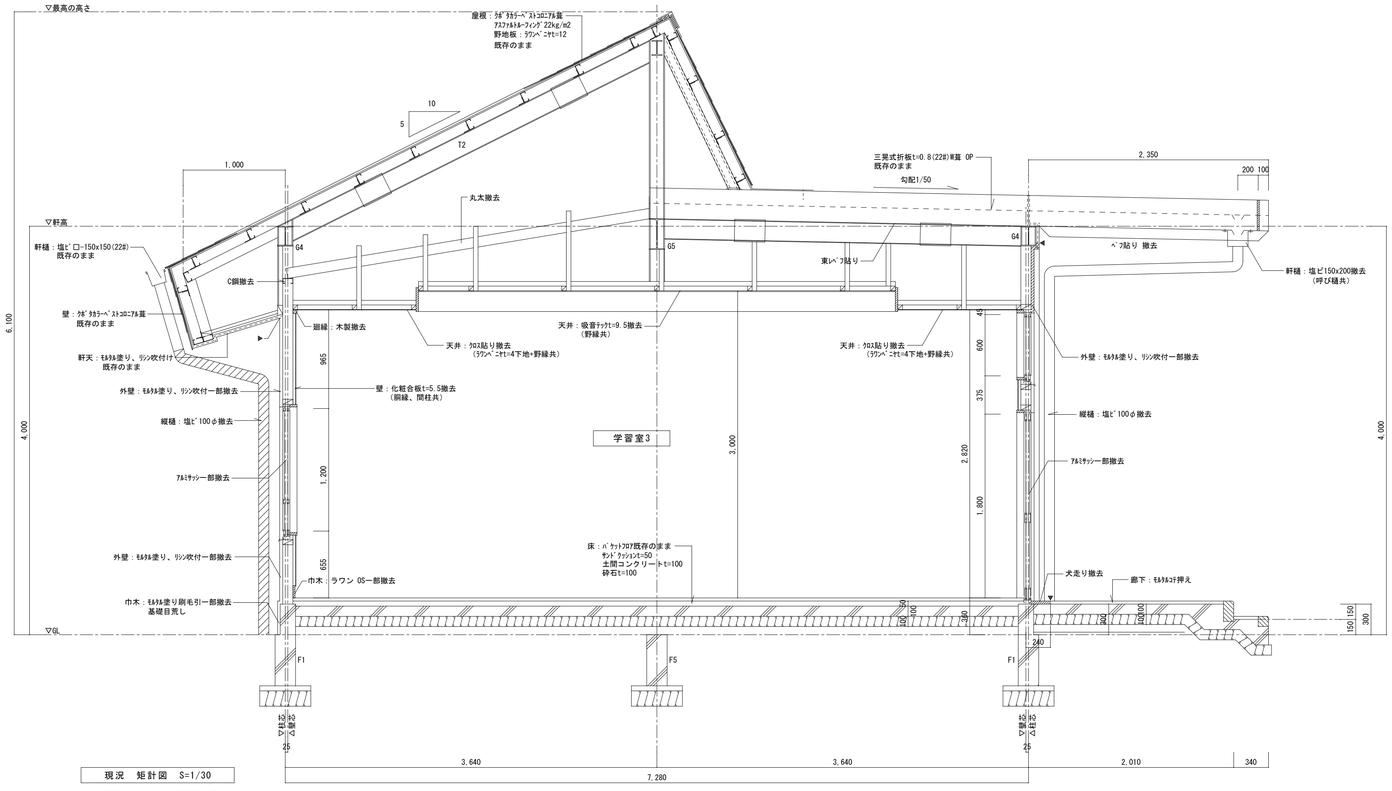
外壁ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞは、外装薄塗材E吹付け

新設壁凡例（特記無き限り下記による）

- 鉄骨下地（C-100x50x20x2.3）（外壁部）
- 木下地（内壁）
- 準耐火構造間仕切り壁：強化せっこうボードt=12.5両面貼り

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. A-09	伊賀市八幡町地内		A1版 1/50 m/m
	改修後　平面詳細図		
日付.	設計		係　員

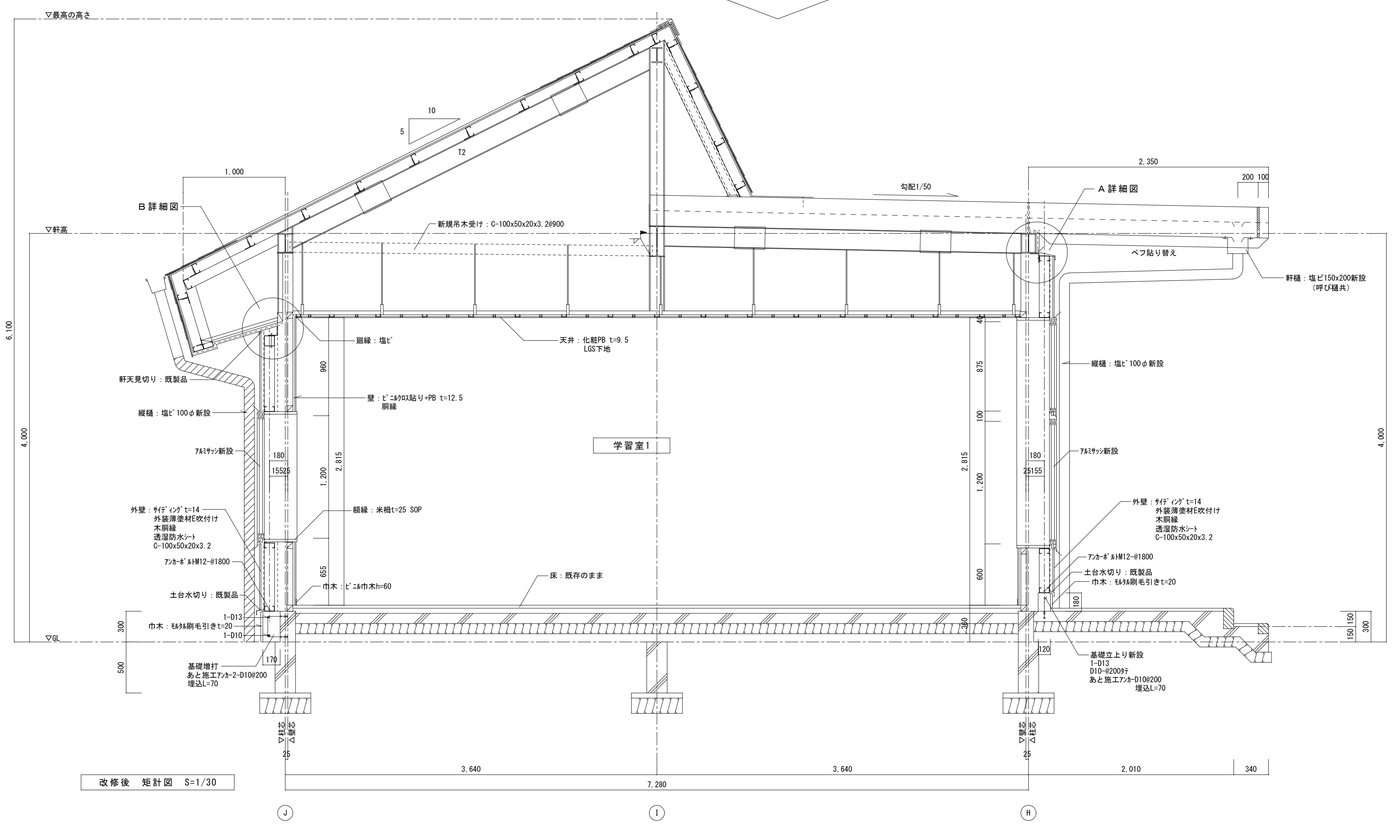
A3版1/100



現況　矩計図　S=1/30

※撤去範囲については、各種意匠図参照のこと

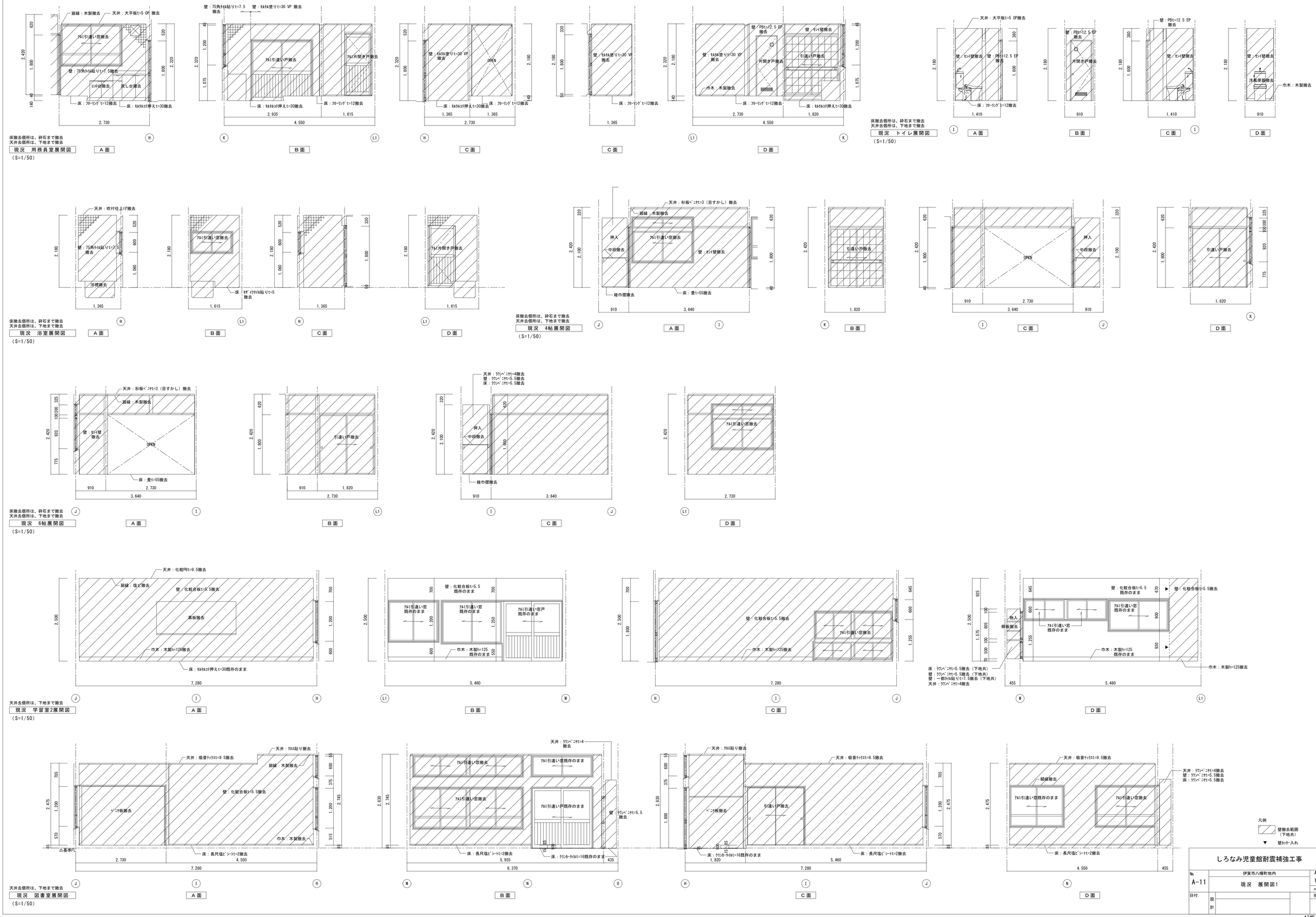
▼ ｶｯﾄ入れを示す

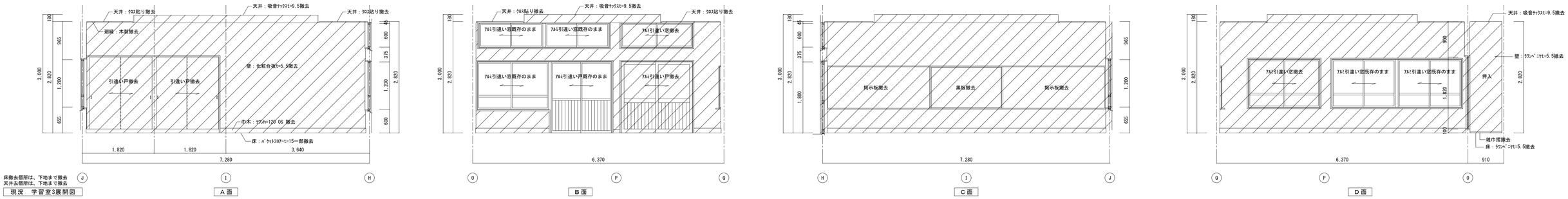


改修後　矩計図　S=1/30

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. A-10	伊賀市八幡町地内		A1版 1/30
	現況・改修後　矩計図		m/m
日付.	設計		係　員

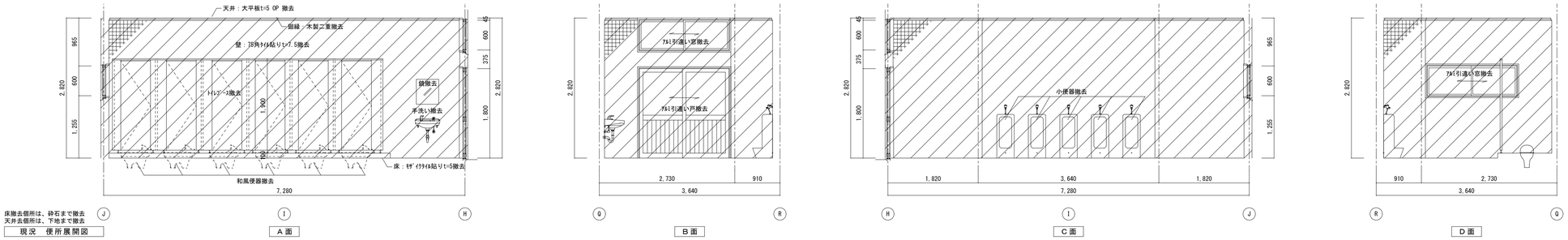
A3版1/60


現況　用務員室展開図
（S=1/50）
床撤去個所は、砕石まで撤去
天井去個所は、下地まで撤去
現況　トイレ展開図
（S=1/50）
現況　浴室展開図
（S=1/50）
現況　4帖展開図
（S=1/50）
現況　6帖展開図
（S=1/50）
現況　学習室2展開図
（S=1/50）
天井去個所は、下地まで撤去
現況　図書室展開図
（S=1/50）
A面
B面
C面
D面
しろなみ児童館耐震補強工事
伊賀市八幡町地内
現況　展開図1
No.
A-11
A1版
1/50
m/m
日付.
設計
係員
A3版1/100



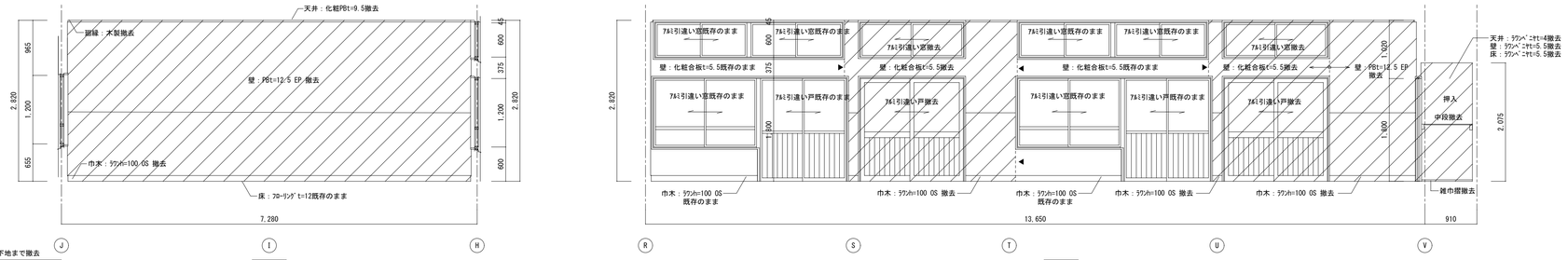
床撤去個所は、下地まで撤去
天井去個所は、下地まで撤去

現況　学習室3展開図



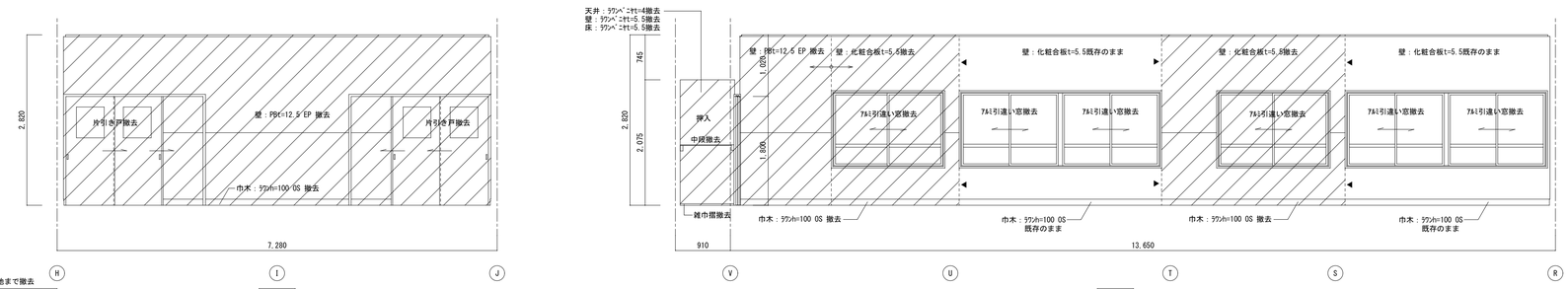
床撤去個所は、砕石まで撤去
天井去個所は、下地まで撤去

現況　便所展開図



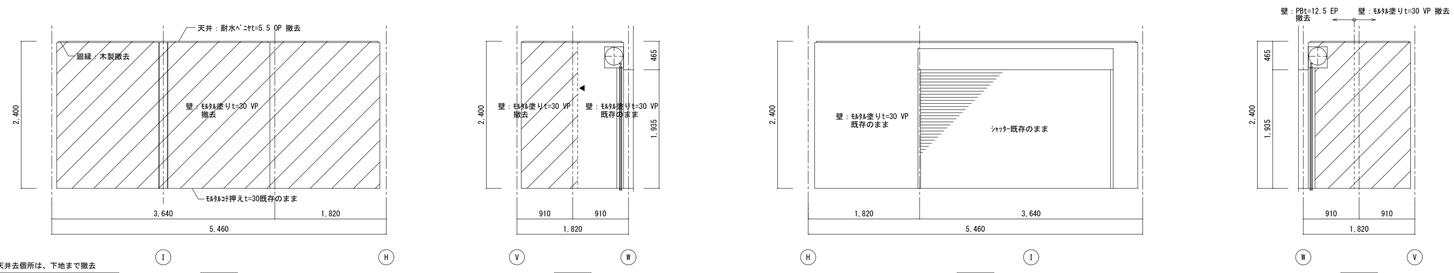
天井去個所は、下地まで撤去

現況　ホール展開図



天井去個所は、下地まで撤去

現況　ホール展開図



天井去個所は、下地まで撤去

現況　南倉庫展開図

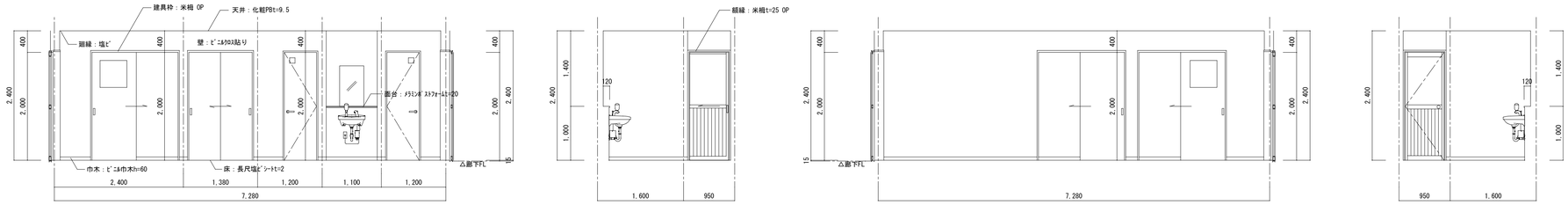
凡例

壁撤去範囲（下地共）

▼　壁ｺｯﾀｰ入れ

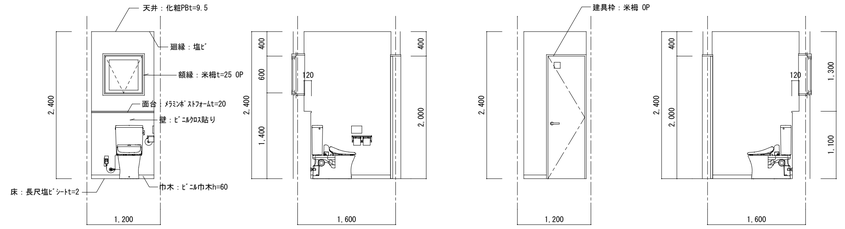
しろなみ児童館耐震補強工事		
No. A-12	伊賀市八幡町地内	A1版 1/50 m/m
	現況　展開図2	
日付.	設計	係　員

A3版1/100



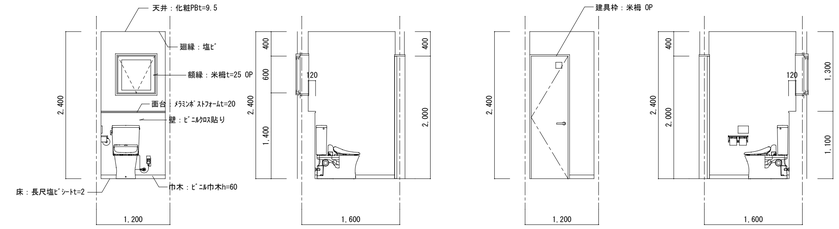
改修後　廊下展開図
（洗面）

A面　B面　C面　D面



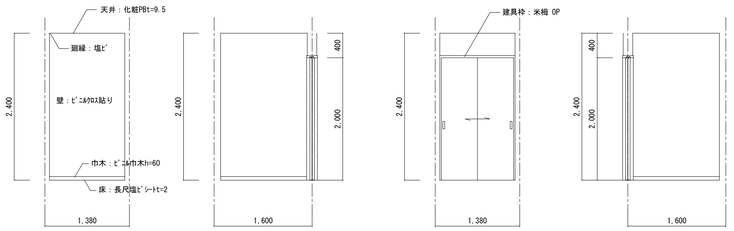
改修後　男子トイレ展開図
（職員）

A面　B面　C面　D面



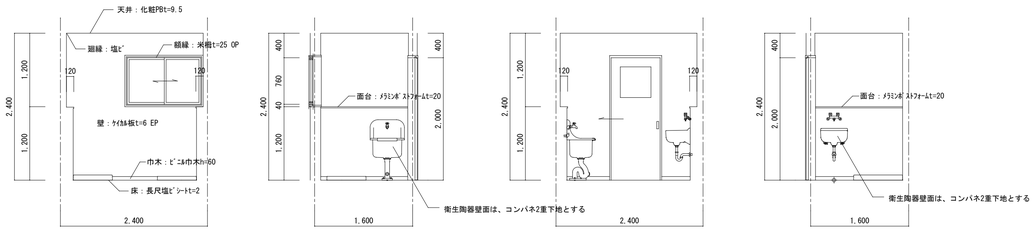
改修後　女子トイレ展開図
（職員）

A面　B面　C面　D面



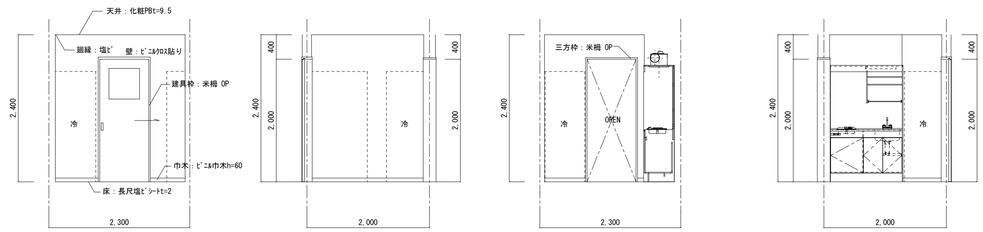
改修後　物入展開図

A面　B面　C面　D面



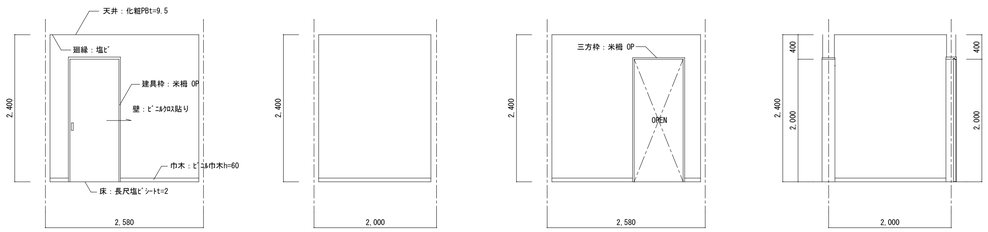
改修後　洗濯室展開図

A面　B面　C面　D面



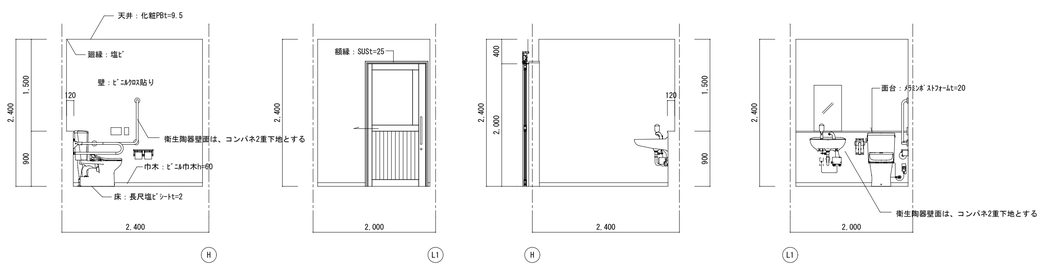
改修後　湯沸室展開図

A面　B面　C面　D面



改修後　書庫展開図

A面　B面　C面　D面



改修後　多目的トイレ展開図

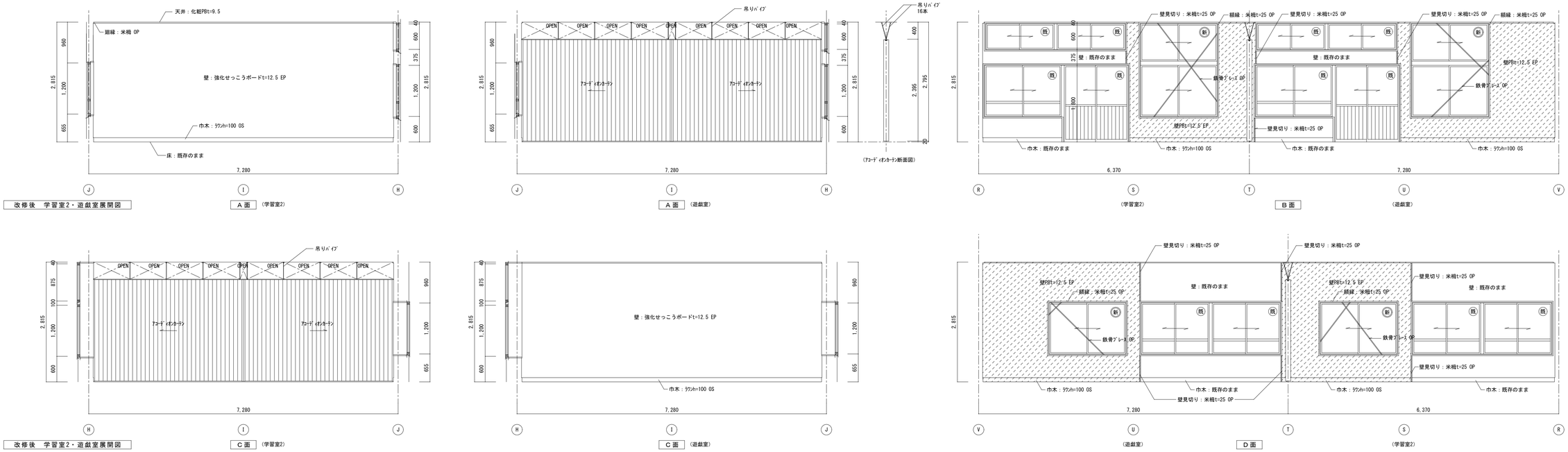
A面　B面　C面　D面

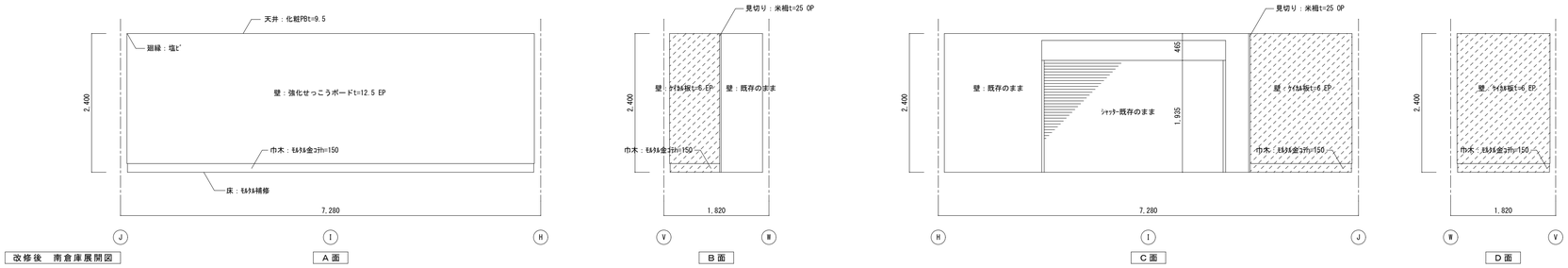
しろなみ児童館耐震補強工事			
No. A-13	伊賀市八幡町地内 改修後　展開図1		A1版 1/50 m／m
日付.	設計		係　員

A3版1/100

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. A-14	伊賀市八幡町地内		A1版 1/50 m/m
	改修後　展開図2		
日付.	設計		係　員

A3版1/100





凡例

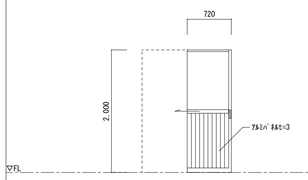
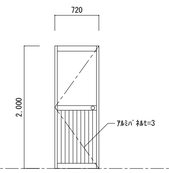
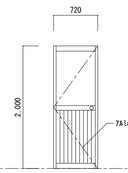
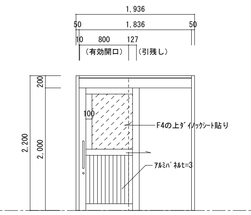
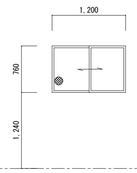
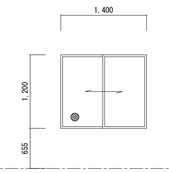
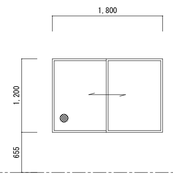
(既) 既存ｱﾙﾐｻｯｼ

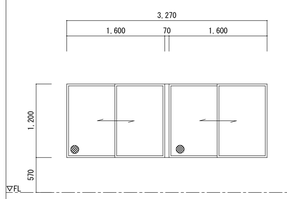
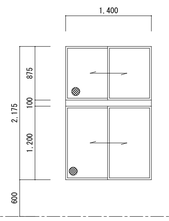
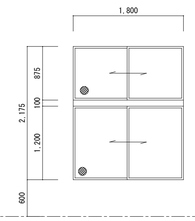
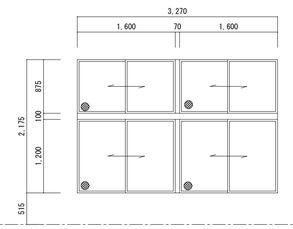
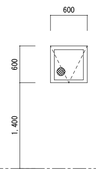
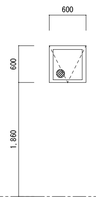
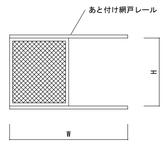
(新) 新設ｱﾙﾐｻｯｼ

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. A-15	伊賀市八幡町地内		A1版 1/50
	改修後　展開図3		m/m
日付.	設計		係　員

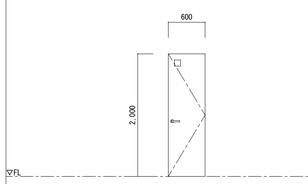
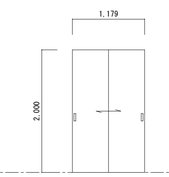
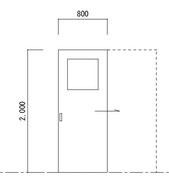
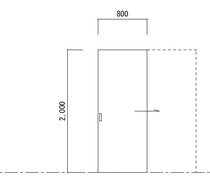
A3版1/100

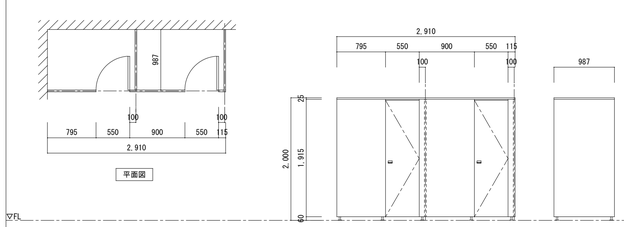
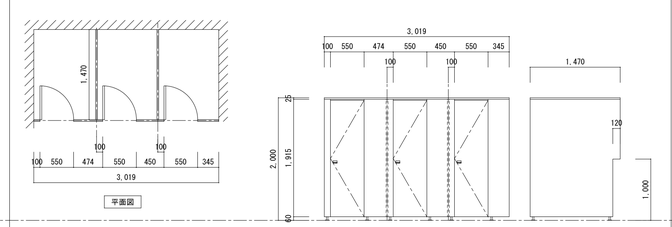
建具表　S=1/50

記号・数量	AD1 1ヶ所	AD2 1ヶ所	AD3 2ヶ所	AD4 1ヶ所	AW1 1ヶ所	AW2 1ヶ所	AW3 2ヶ所
							
場　所	廊下	廊下	（児童）男子トイレ、（児童）女子トイレ	多目的トイレ	洗濯室	学習室1	学習室2、遊戯室
形　式	片引き戸（鉄骨外付）	片開き戸（鉄骨外付）	片開き戸（鉄骨外付）	上吊式ハンガー引戸（外付けタイプ）かまち扉（鉄骨外付）	引違い窓（鉄骨外付）	引違い窓（鉄骨外付）	引違い窓（鉄骨外付）
内寸・見込	2000x720x70	2000x720x70	2000x720x70	2200x1936x249(100+149)	760x1200x70	1200x1400x70	1200x1800x70
材質・仕上	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー
附属金物	引手、シリンダー錠（内側：サムターン）、アルミアングル、付属金物一式	取手、外部空錠（内側：サムターン）、アルミアングル、付属金物一式	取手、シリンダー錠（内側：サムタン）、アルミアングル、付属金物一式	大型握手：SUS、ロッド錠、傾斜式レール、エアダンパー、付属金物一式	クレセント、網戸、アルミアングル、付属金物一式	クレセント、網戸、アルミアングル、付属金物一式	クレセント、網戸、アルミアングル、付属金物一式
ガラス	FW6.8	FW6.8	FW6.8	F4	F4	FL3	FL3
備　考				※外部に面して取付けるため、浴室クローザーに準じること	※網戸の網は、ステンレス製とする	※網戸の網は、ステンレス製とする	※網戸の網は、ステンレス製とする

記号・数量	AW4 1ヶ所	AW5 1ヶ所	AW6 2ヶ所	AW7 1ヶ所	AW8 2ヶ所	AW9 3ヶ所	既存窓に後付け網戸設置（立面図参照）
							
場　所	図書室	学習室1	学習室2、遊戯室	図書室	（職員）男子トイレ、（職員）女子トイレ	（児童）男子トイレ、（児童）女子トイレ	
形　式	2連引違い窓（鉄骨外付）	引違い窓（鉄骨外付）	引違い窓（鉄骨外付）	2連引違い窓（鉄骨外付）	内倒し窓（鉄骨外付）	内倒し窓（鉄骨外付）	
内寸・見込	1200x3270x70	2175x1400x70	2175x1800x70	2175x3270x70	600x600x70	600x600x70	
材質・仕上	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー	アルミ・シルバー
附属金物	クレセント、網戸、アルミアングル、方立、付属金物一式	クレセント、網戸、アルミアングル、無目、付属金物一式	クレセント、網戸、アルミアングル、無目、付属金物一式	クレセント、網戸、アルミアングル、方立、無目、付属金物一式	カムラッチハンドル、網戸、アルミアングル、付属金物一式	トップラッチ、網戸、フック棒、アルミアングル、付属金物一式	
ガラス	FL3	FL3	FL3	FL3	F4	F4	
備　考	※網戸の網は、ステンレス製とする	※網戸の網は、ステンレス製とする	※網戸の網は、ステンレス製とする	※網戸の網は、ステンレス製とする	※網戸の網は、ステンレス製とする	※網戸の網は、ステンレス製とする	※網戸の網は、ステンレス製とする

既存窓に後付け網戸設置（立面図参照）		
W	H	個所
1200	600	2
1480	1200	1
1600	1200	7
1780	900	1
1785	1250	1
1800	1200	3

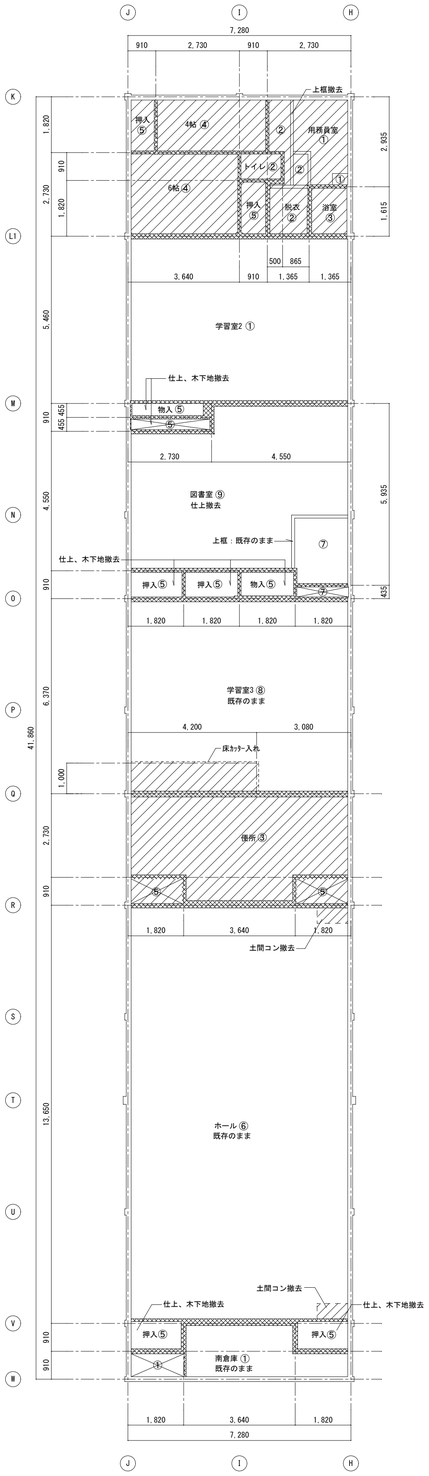
記号・数量	WD1 2ヶ所	WD2 1ヶ所	WD3 2ヶ所	WD4 1ヶ所
				
場　所	（職員）男子トイレ、（職員）女子トイレ	物入	洗濯室、湯沸室	書庫
形　式	片開き戸	引違い戸	片引き戸（控え壁納まり）	片引き戸（控え壁納まり）
内寸・見込	2000x600x36	2000x1179x36	2000x800x36	2000x800x36
材質・仕上	ポリ合板フラッシュ，小口OP	ポリ合板フラッシュ，小口OP	ポリ合板フラッシュ，小口OP	ポリ合板フラッシュ，小口OP
附属金物	レバーハンドル、丁番、戸当り、表示錠（内側：サムターン）　SUS音づり	彫込み引手、戸車、フラッターレール	彫込み引手、戸車、フラッターレール	彫込み引手、戸車、フラッターレール
ガラス	明り窓：アクリル乳白t=3		F4	
備　考				

記号・数量	TB1 1ヶ所	TB2 1ヶ所
		
場　所	（児童）男子トイレ	（児童）女子トイレ
形　式	トイレブース	トイレブース
内寸・見込	(2910,987)x2000x30	(3019,1470)x2000x30
材質・仕上	扉：メラミン化粧板　エッジ：アルミ	扉：メラミン化粧板　エッジ：アルミ
附属金物	グレビティヒンジ、表示付きスライドラッチ（内開き）、帽子掛戸当り、SUS笠木、巾木：アジャストサポート	グレビティヒンジ、表示付きスライドラッチ（内開き）、帽子掛戸当り、SUS笠木、巾木：アジャストサポート
ガラス		
備　考		

しろなみ児童館耐震補強工事

No.	伊賀市八幡町地内	A1版
A-16	建具表	1/50
		m/m
日付	設計	係　員

A3版1/100



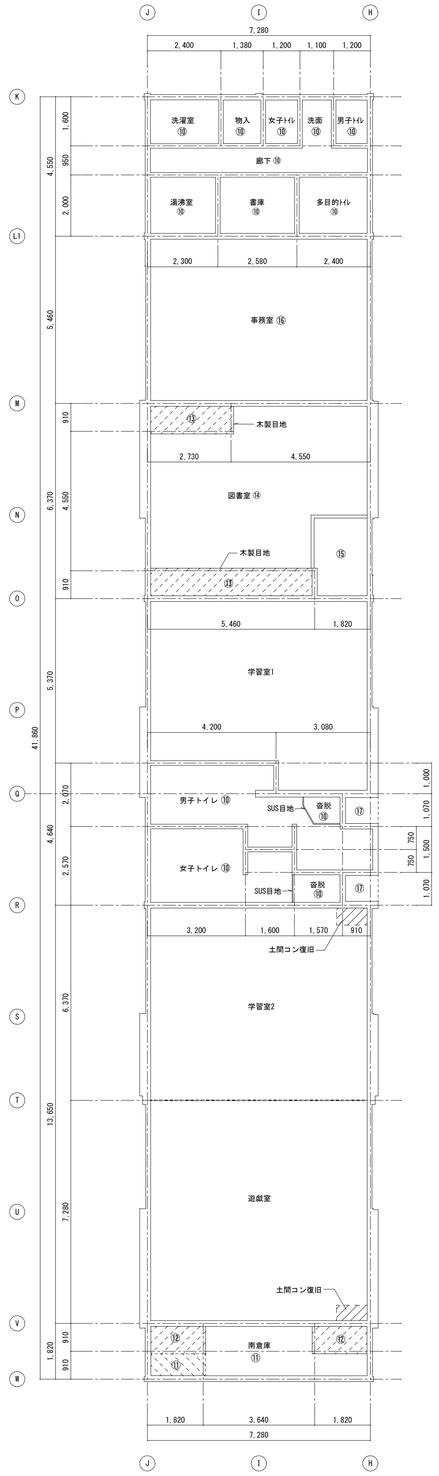
現況　床仕上表　※図中特記なき限り下記とする

①	仕上	モルタルコテ押え t=30
	下地	土間コンクリート t=100+砕石 t=100
②	仕上	フローリング t=12
	下地	木下地：下地板、根太54x54、大引105x105、束、束石 土間コンクリート t=100+砕石 t=100
③	仕上	モザイクタイル貼り t=5
	下地	モルタルコテ押え+土間コンクリート t=100+砕石 t=100
④	仕上	畳 t=55
	下地	木下地：下地板、根太54x54、大引105x105、束、束石 土間コンクリート t=100+砕石 t=100
⑤	仕上	ラワンベニヤ t=5.5
	下地	木下地：根太54x54、大引105x105、束、束石 土間コンクリート t=100+砕石 t=100
⑥	仕上	フローリング t=12
	下地	サンドクッション t=50 土間コンクリート t=100+砕石 t=100
⑦	仕上	クリンカータイル t=16
	下地	モルタル塗り+土間コンクリート t=100+砕石 t=100
⑧	仕上	パケットフロアー t=15
	下地	サンドクッション t=50+土間コンクリート t=100+砕石 t=100
⑨	仕上	長尺塩ビシート t=2
	下地	荒板+転ばし床組+土間コンクリート t=100+砕石 t=100

現況　床伏図　S=1/100

床撤去範囲（仕上から砕石まで）

間仕切り壁撤去



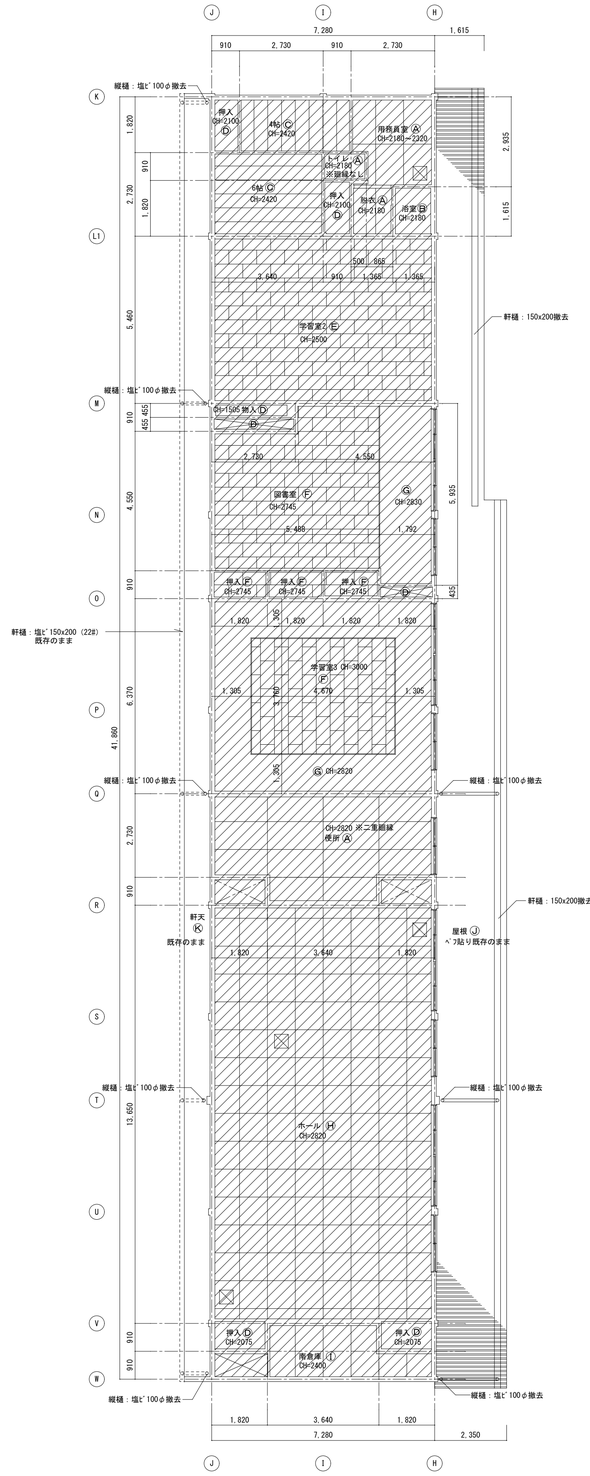
改修後　床伏図　S=1/100

改修後　床仕上表　※図中特記なき限り下記とする

⑲	仕上	長尺塩ビシート t=2
	下地	モルタル t=28+土間コンクリート t=120（ワイヤーメッシュ6φx150） スタイロフォーム t=50+ポリエチレンフィルム t=0.15+砕石 t=120
⑪	仕上	モルタル補修
	下地	既存モルタルコテ押え
⑫	仕上	モルタルコテ押え t=30※現場合せ
	下地	既存土間コンクリート
⑬	仕上	長尺塩ビシート t=2
	下地	ラワン合板 t=12+転ばし床組
⑭	仕上	長尺塩ビシート t=2
	下地	既存荒板+転ばし床組
⑮	仕上	長尺塩ビシート t=2
	下地	既存クリンカータイルの上、モルタル塗り
⑯	仕上	長尺塩ビシート t=2
	下地	既存モルタル床、モルタル不陸調整
⑰	仕上	モルタルコテ押え t=30
	下地	土間コンクリート t=100（鉄筋D10-@200タテヨコ） 砕石 t=100

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. A-17	伊賀市八幡町地内 現況・改修後　床伏図	A1版 1/100 m/m
日付.	設計	係員

A3版 1/200

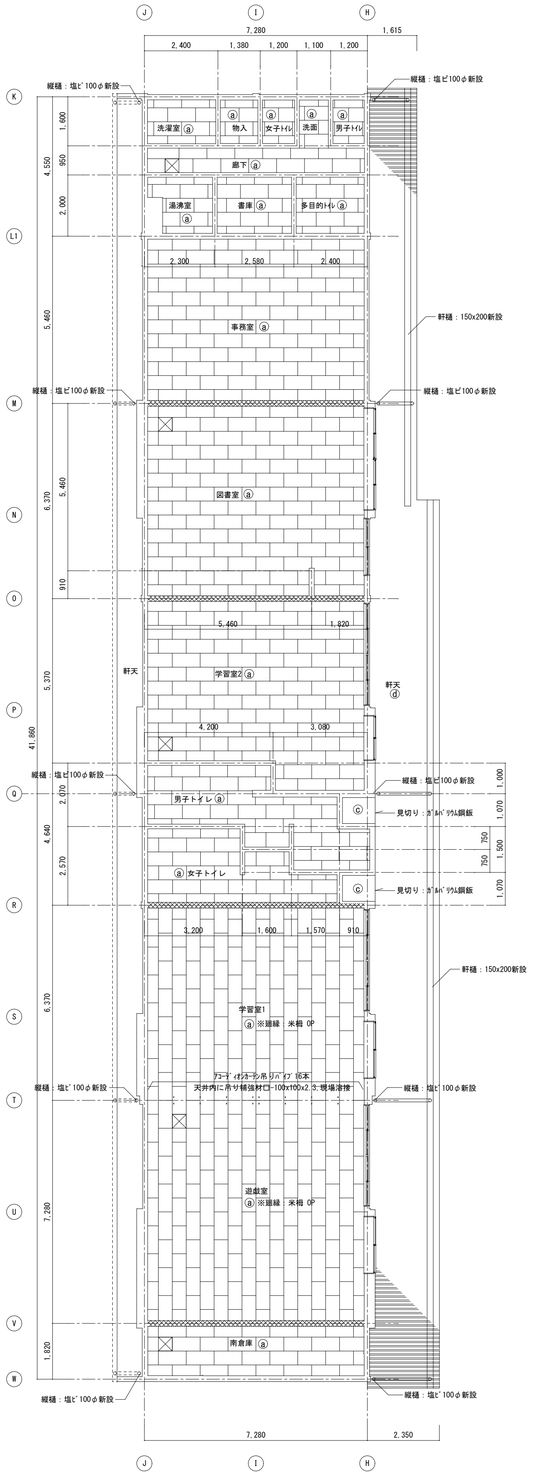


現況　天井伏図　S=1/100

天井撤去範囲（下地共）

現況　天井仕上表　※図中特記なき限り下記とする

Ⓐ	仕上	大平板t=5 OP	木廻縁
	下地	木野縁	
Ⓑ	仕上	吹付け仕上+耐水合板t=5	
	下地	木野縁	
Ⓒ	仕上	杉板ベニヤt=3（目すかし）	木廻縁
	下地	木野縁	
Ⓓ	仕上	ラワンベニヤt=4	木廻縁
	下地	木野縁	
Ⓔ	仕上	化粧PB t=9.5 455x910	塩ビ
	下地	木野縁	
Ⓕ	仕上	吸音テックスt=9.5	木廻縁
	下地	木野縁	
Ⓖ	仕上	クロス貼りPB t=9.5	木廻縁
	下地	木野縁	
Ⓗ	仕上	化粧PB t=9.5 910x910	木廻縁
	下地	LGS	
Ⓘ	仕上	耐水ベニヤt=5.5 OP	木廻縁
	下地	木野縁	
Ⓙ	仕上	三晃式折板t=0.8(22t)W葺き OP ベフ貼り　現し	
	下地		
Ⓚ	仕上	モルタル塗り、リシン吹付	
	下地	ラス下地	
⊠		点検口 450x450	



改修後　床伏図　S=1/100

▒▒▒ 間仕切り壁 45分準耐火構造：両面強化せっこうボード張t=12.5x2
(QF045BP-9071)

改修後　天井仕上表　※図中特記なき限り下記とする

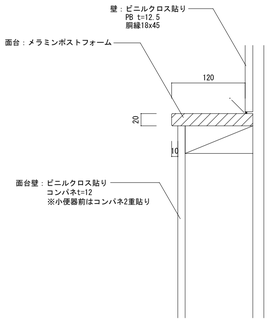
ⓐ	仕上	化粧PB t=9.5	塩ビ廻縁
	下地	LGS	
ⓑ	仕上	ラワンベニヤt=4	木廻縁
	下地	LGS	
ⓒ	仕上	ケイカル板t=6 EP	
	下地	LGS	
ⓓ	仕上	ベフ貼替え	
	下地	鉄面錆びケレン	
⊠		点検口 450x450	

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. A-18	伊賀市八幡町地内 現況・改修後　天井伏図	A1版 1/100 m/m
日付.	設計	係　員

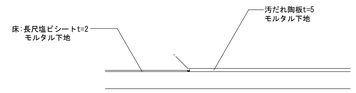
A3版1/200

面台　1/5

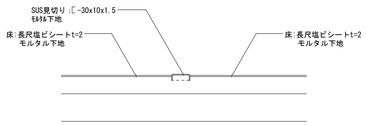
※洗濯室の壁及び面台壁は、ケイカル板t=6 EP



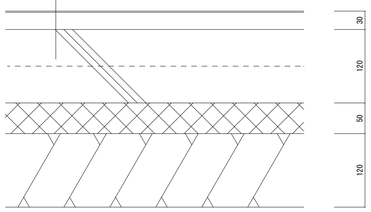
汚だれ陶板　1/5



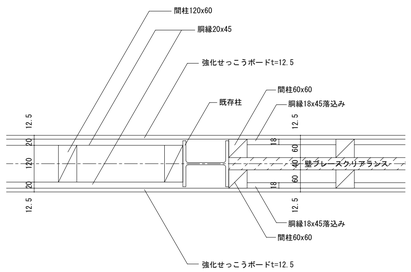
トイレ床見切り　1/5



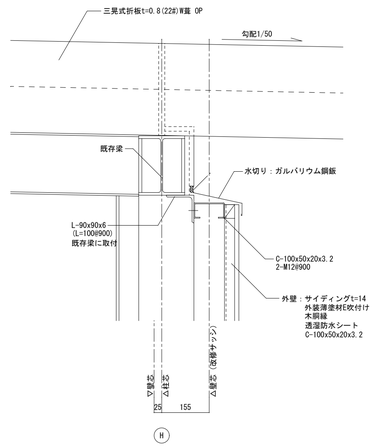
床新設部分詳細図　1/5



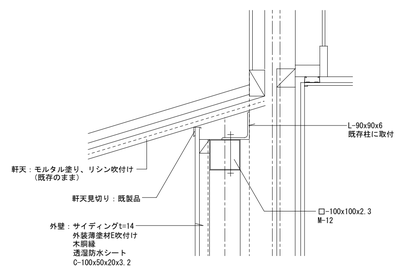
準耐火間仕切り壁詳細図　1/10



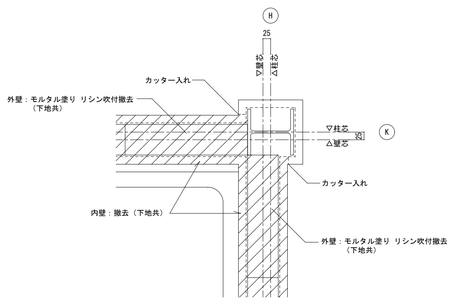
A詳細図（改修後矩計図）　1/10



B詳細図（改修後矩計図）　1/10

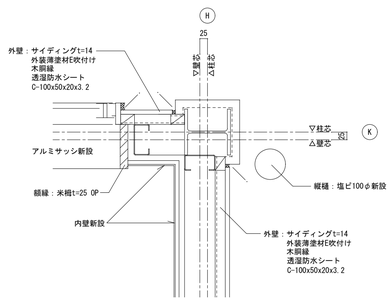


外壁詳細図①（現況）　1/10

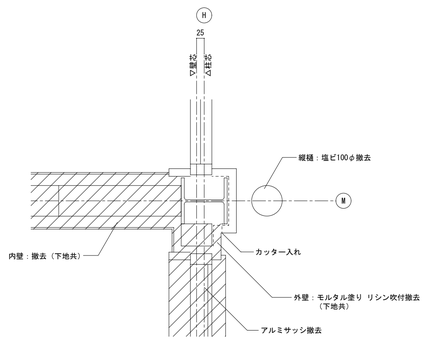


外壁詳細図①（改修後）　1/10

※柱型とのコーキングには、片ハットジョイナー併用

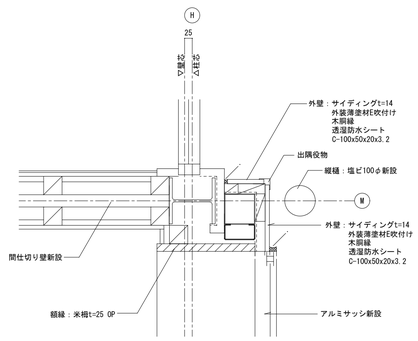


外壁詳細図②（現況）　1/10



外壁詳細図②（改修後）　1/10

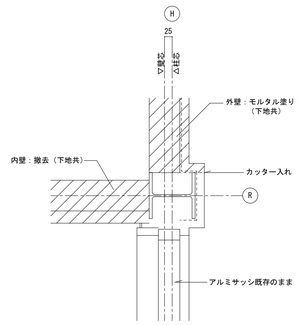
※柱型とのコーキングには、片ハットジョイナー併用



しろなみ児童館耐震補強工事			
No. A-19	伊賀市八幡町地内 部分詳細図1		A1版 1/5 1/10 m/m
日付.	設計		係員

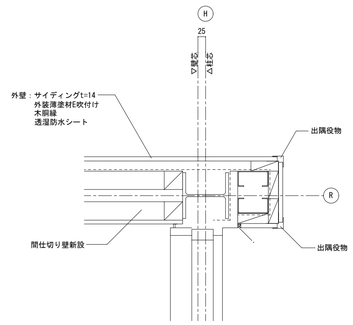
A3版1/10,1/20

外壁詳細図③（現況）　1/10

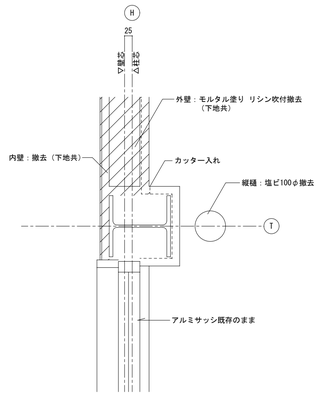


外壁詳細図③（改修後）　1/10

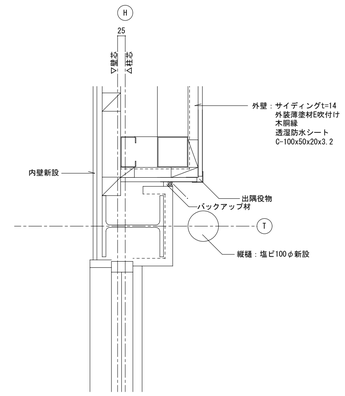
※柱型とのコーキングには、片ハットジョイナー併用



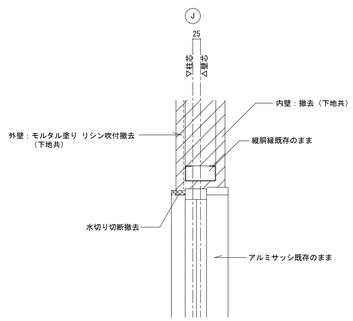
外壁詳細図④（現況）　1/10



外壁詳細図④（改修後）　1/10

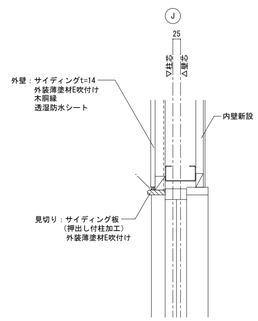


外壁詳細図⑤（現況）　1/10



外壁詳細図⑤（改修後）　1/10

※見切りとのコーキングには、片ハットジョイナー併用

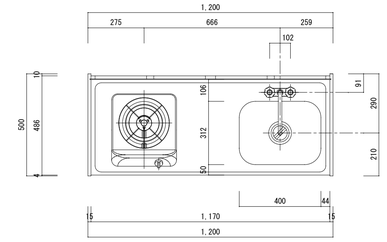


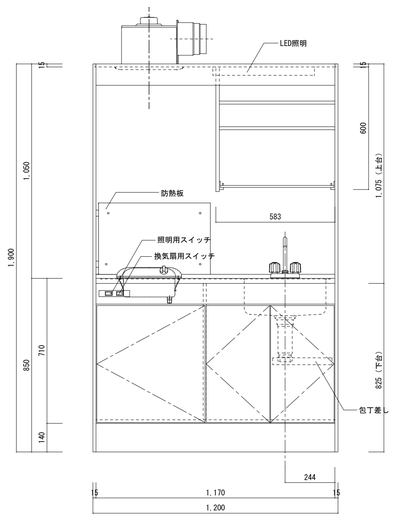
湯沸室　流し台　ミニキッチン　W=1200タイプ　1/15

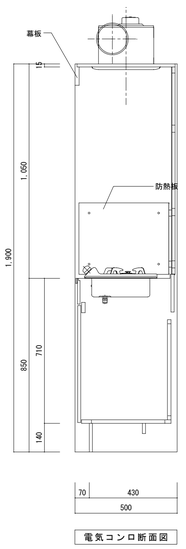
■仕様

※LIXIL　DMK12LEW21F13SR、同等品とする。

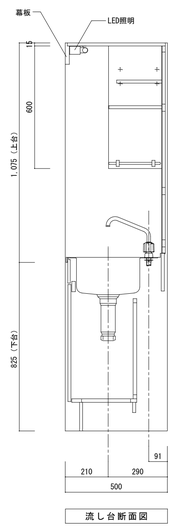
下台	トップ	ステンレス（SUS430）
	シンク	ステンレス（SUS430）
	キャビネット	（側板）特殊樹脂コート化粧パーティクルボード アンティックホワイト
		（背板）特殊樹脂コート化粧MDF アンティックホワイト
		（底板）特殊樹脂コート化粧合板 アンティックホワイト
		（幕板）低圧メラミン化粧パーティクルボード アンティックホワイト
	扉	低圧メラミン化粧パーティクルボード四方木口貼 アンティックホワイト
	取手	樹脂製 ホワイト
	付属品	排水トラップ、直管接続用フクロナット
		包丁差し、排水円板
上台	キャビネット	（側板シンク側）特殊樹脂コート化粧パーティクルボード アンティックホワイト
		（側板コンロ側）内側：t3不燃化粧板
		外側：特殊樹脂コート化粧合板＋ラワン合板 アンティックホワイト
		（背板）t3不燃化粧板＋ラワン合板＋パーティクルボード
		（天板）t3不燃化粧板＋パーティクルボード
		（幕板）内側：t3不燃化粧板
		外側：低圧メラミン化粧パーティクルボード アンティックホワイト
		（中間棚・棚板）特殊樹脂コート化粧パーティクルボード アンティックホワイト
		（水切棚）軟鋼線材 ポリエチレンコーティング ホワイト
照明器具		LED照明：6.7W
水栓金具		ハンドル水栓 SF132(145)RUJG
コンセント		電気コンロ（100V用）DMK-JB-E100V
ジョイントボックス		
ガスコンロ		P1310BONHN
防熱板		
側板木口カバー		塩ビ成型品（コ型形状）L=900
サイドカバー		塩ビ成型品（T型形状）L=499
換気扇		取付穴：□275 VD-18Z4-SW（ダクト径φ150）







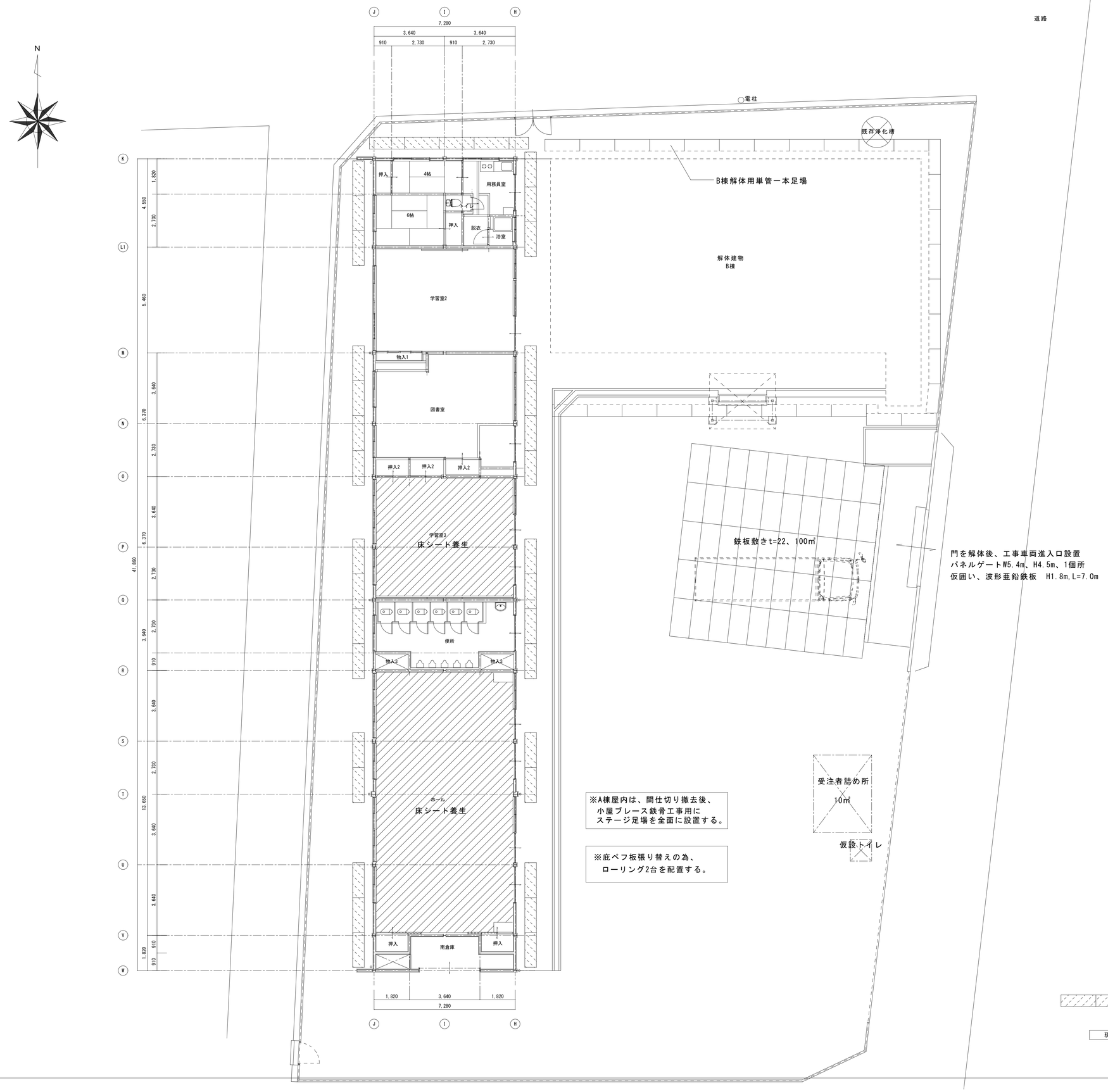
電気コンロ断面図



流し台断面図

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. A-20	伊賀市八幡町地内		A1版 1/10 1/15 m/m
	部分詳細図2		
日付.	設計		係 員

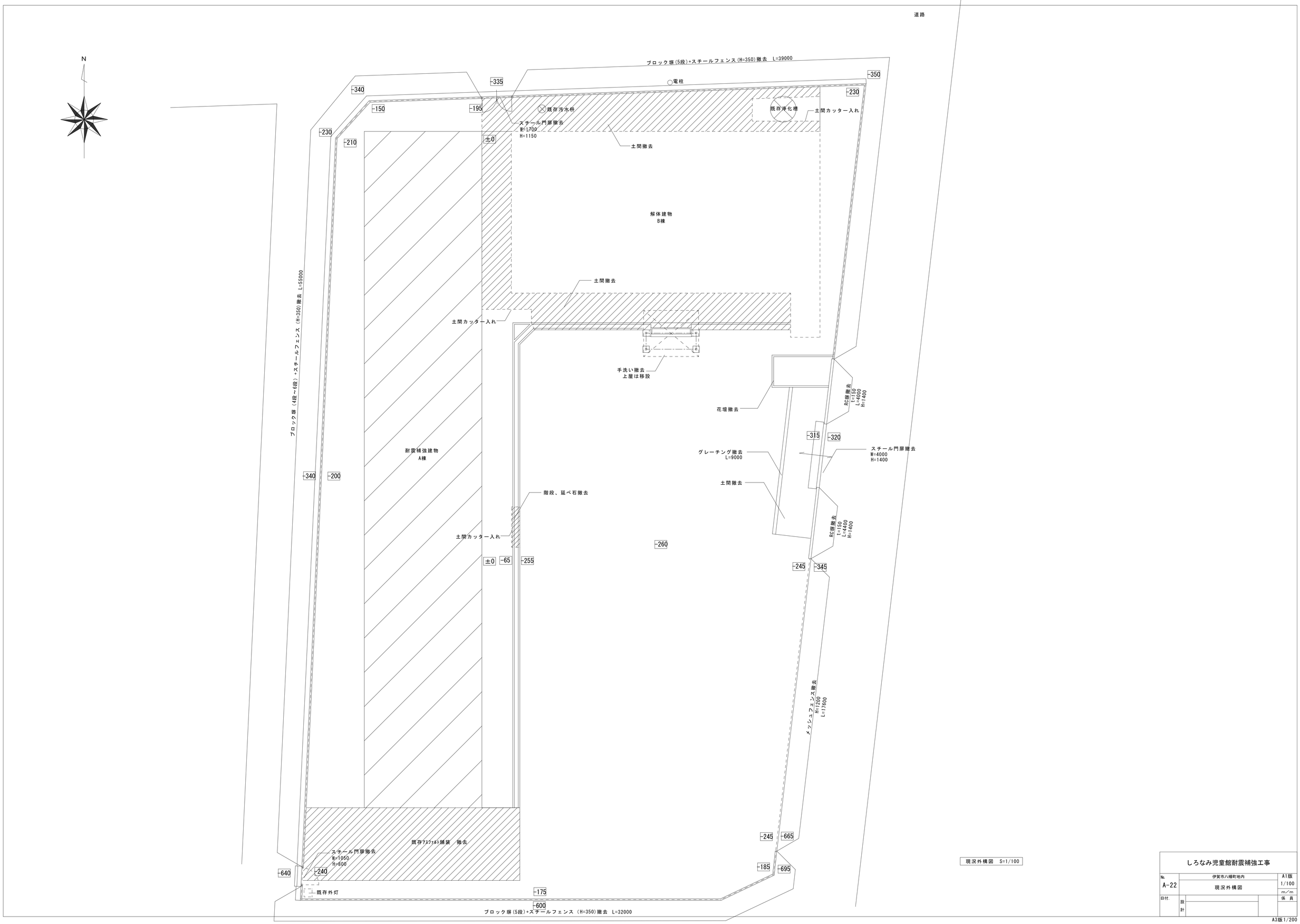
A3版1/20,1/30



現況　配置図　S=1/100

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. A-21	伊賀市八幡町地内 仮設計画図	A1版 1/100 m/m
日付.	設計	係員

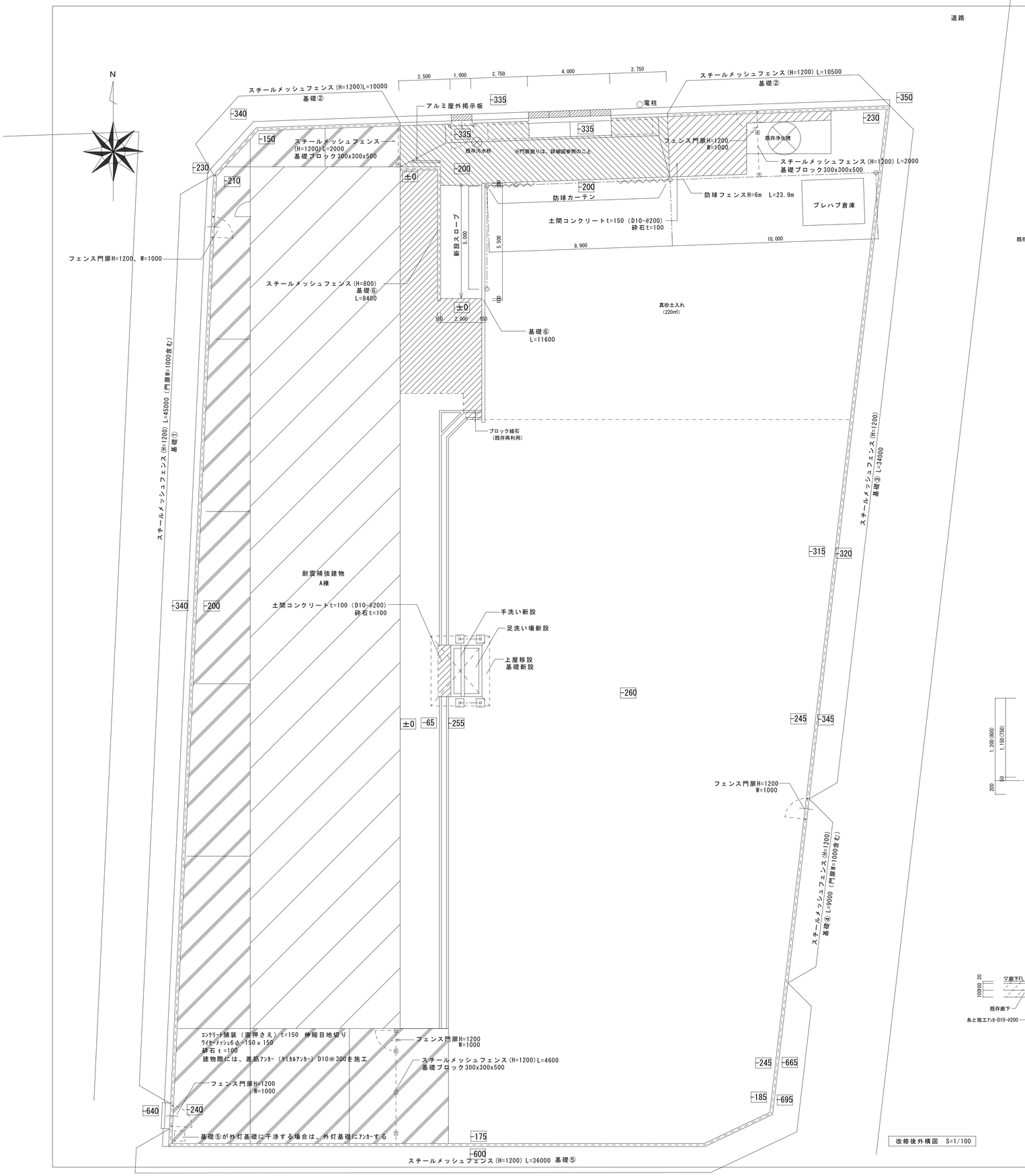
A3版1/200



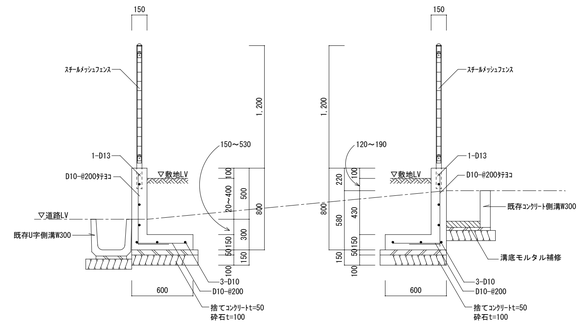
現況外構図 S=1/100

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. A-22	伊賀市八幡町地内 現況外構図		A1版 1/100 m/m
日付.	設計		係 員

A3版1/200

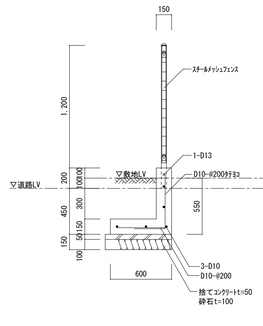


改修後外構図 S=1/100

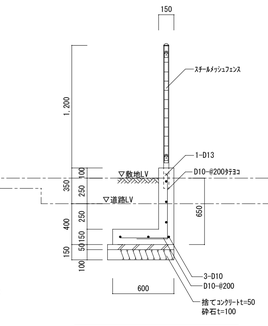


基礎①断面図 S=1/30

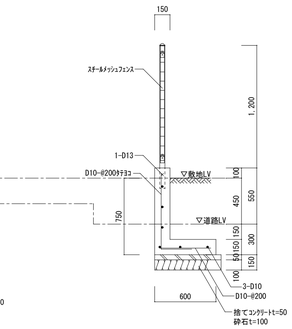
基礎②断面図 S=1/30



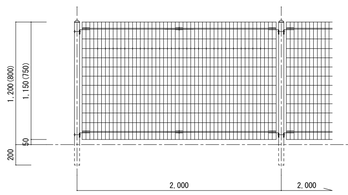
基礎③断面図 S=1/30



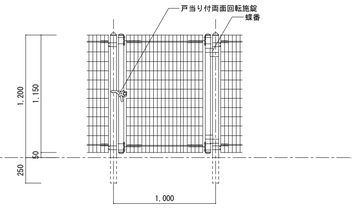
基礎④断面図 S=1/30



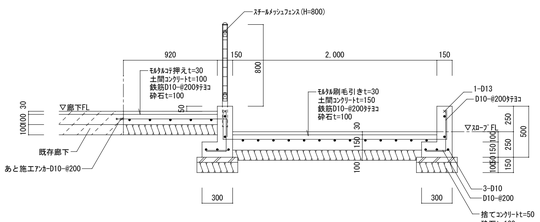
基礎⑤断面図 S=1/30



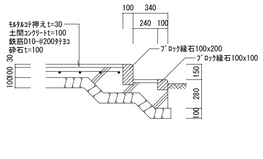
スチールメッシュフェンス姿図 S=1/30



スチールメッシュフェンス門扉姿図 S=1/30



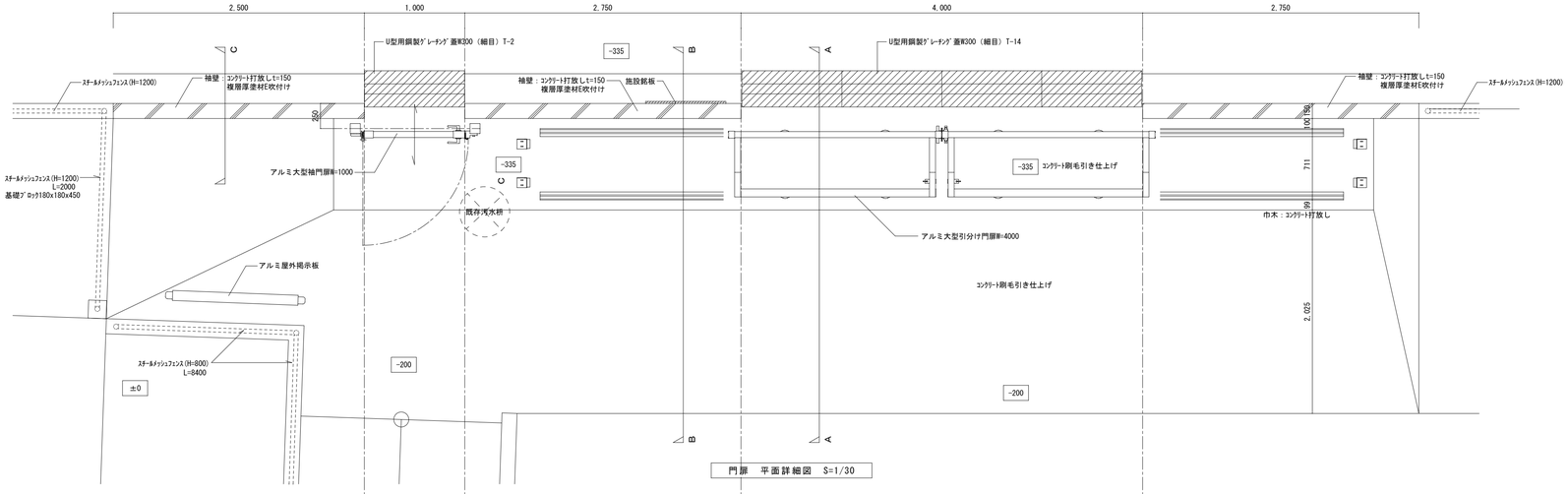
スロープ断面図 S=1/30



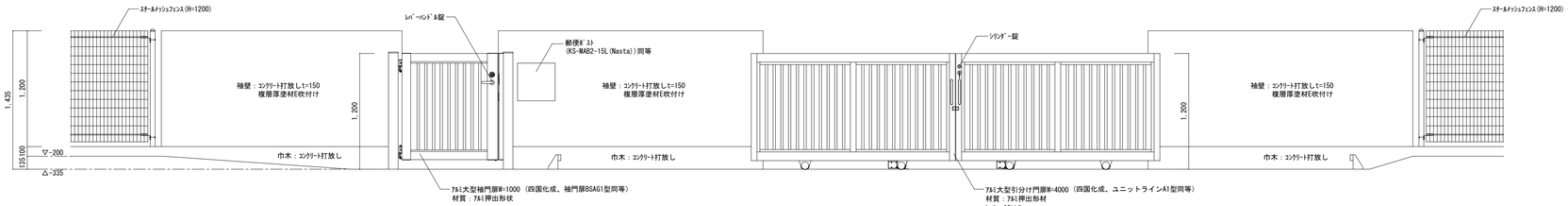
廊下段鼻部分断面図 S=1/30

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. A-23	伊賀市八幡町地内		A1版 1/30 1/100 m/m
	改修後外構図・外構詳細図1		
日付.	設計		係 員

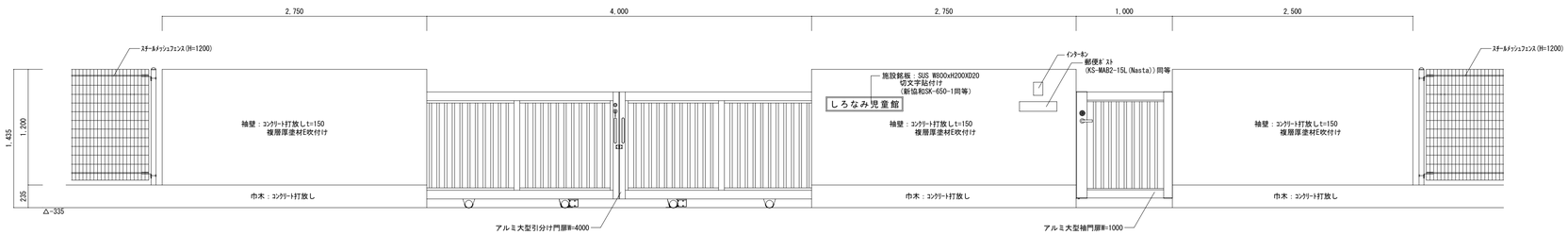
A3版1/60・200



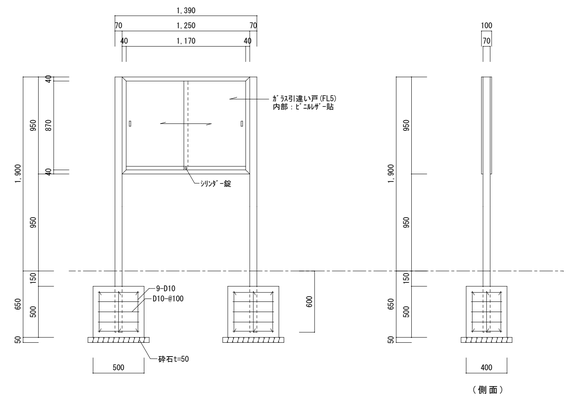
門扉　平面詳細図　S=1/30



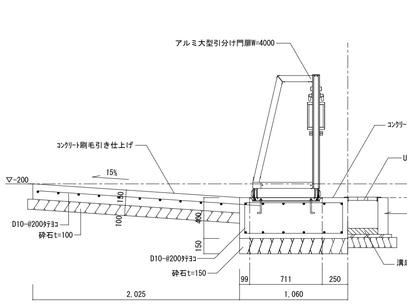
門扉　敷地側立面図　S=1/30



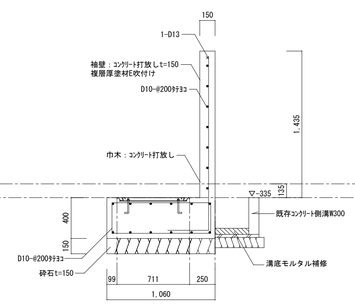
門扉　道路側立面図　S=1/30



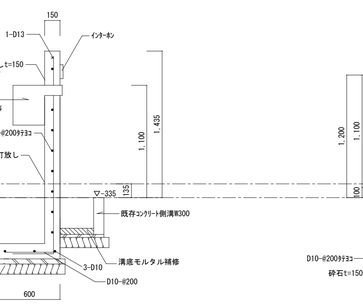
アルミ屋外掲示板　S=1/30



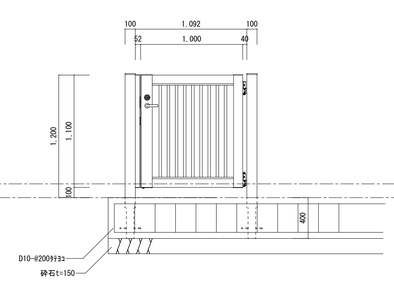
A断面図　S=1/30



B断面図　S=1/30



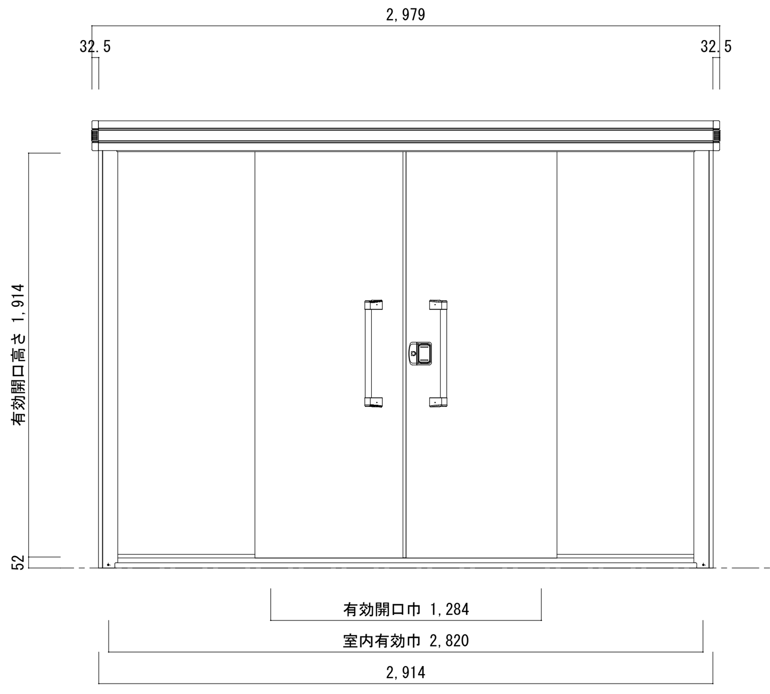
C断面図　S=1/30



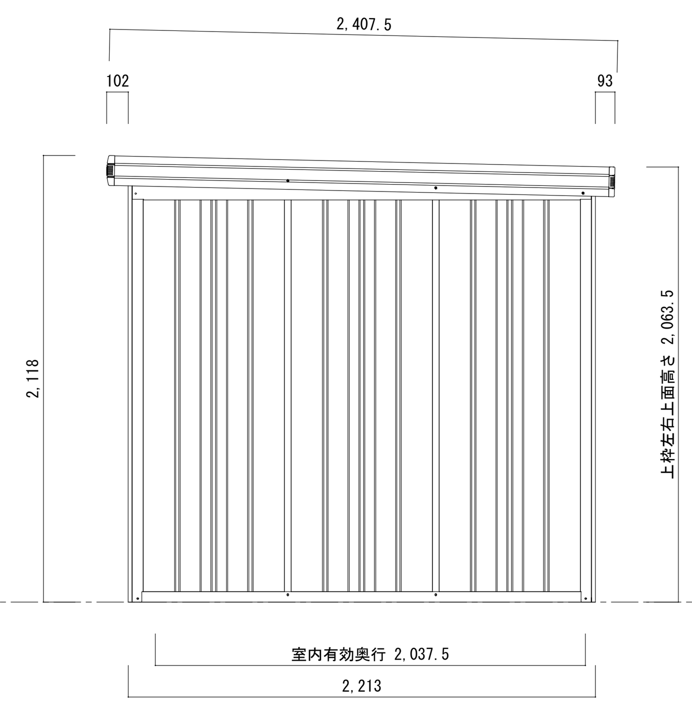
アルミ大型門扉袖扉　S=1/30

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. A-24	伊賀市八幡町地内		A1版 1/30
	外構詳細図2		m/m
日付.	設計		係員

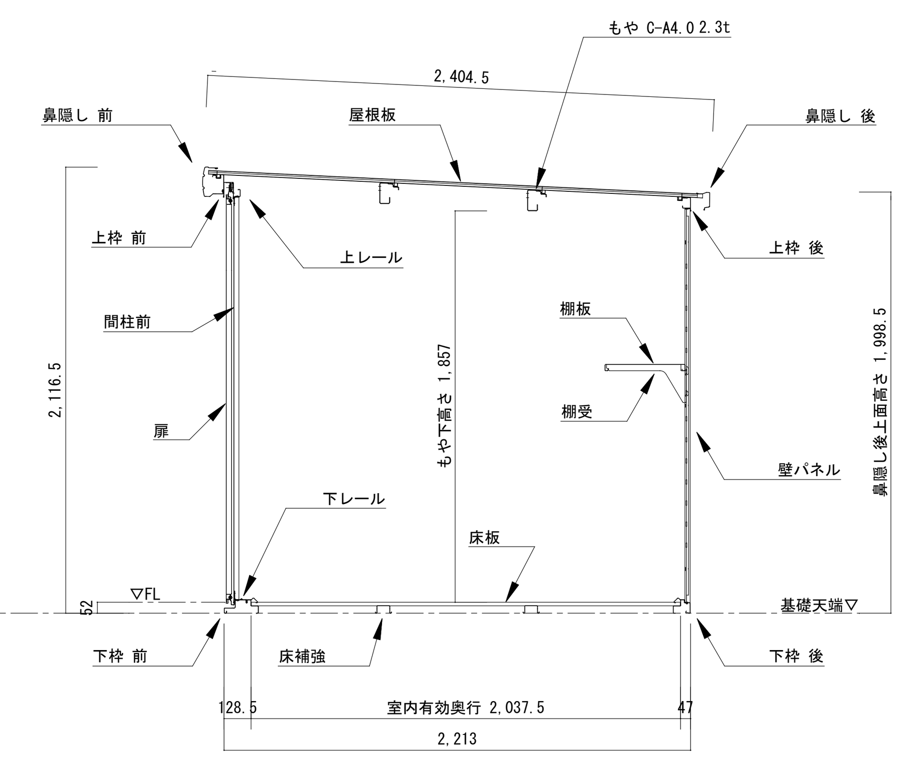
A3版1/60



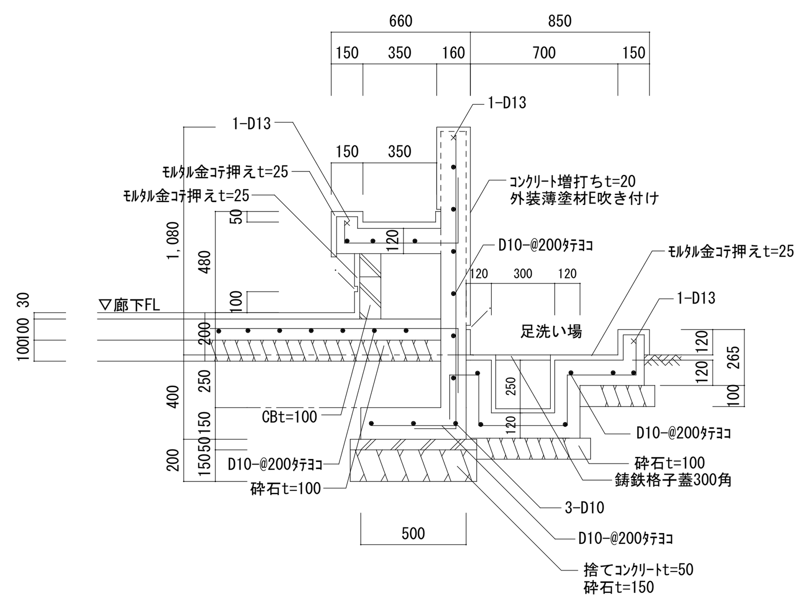
正面立面図　S=1/30



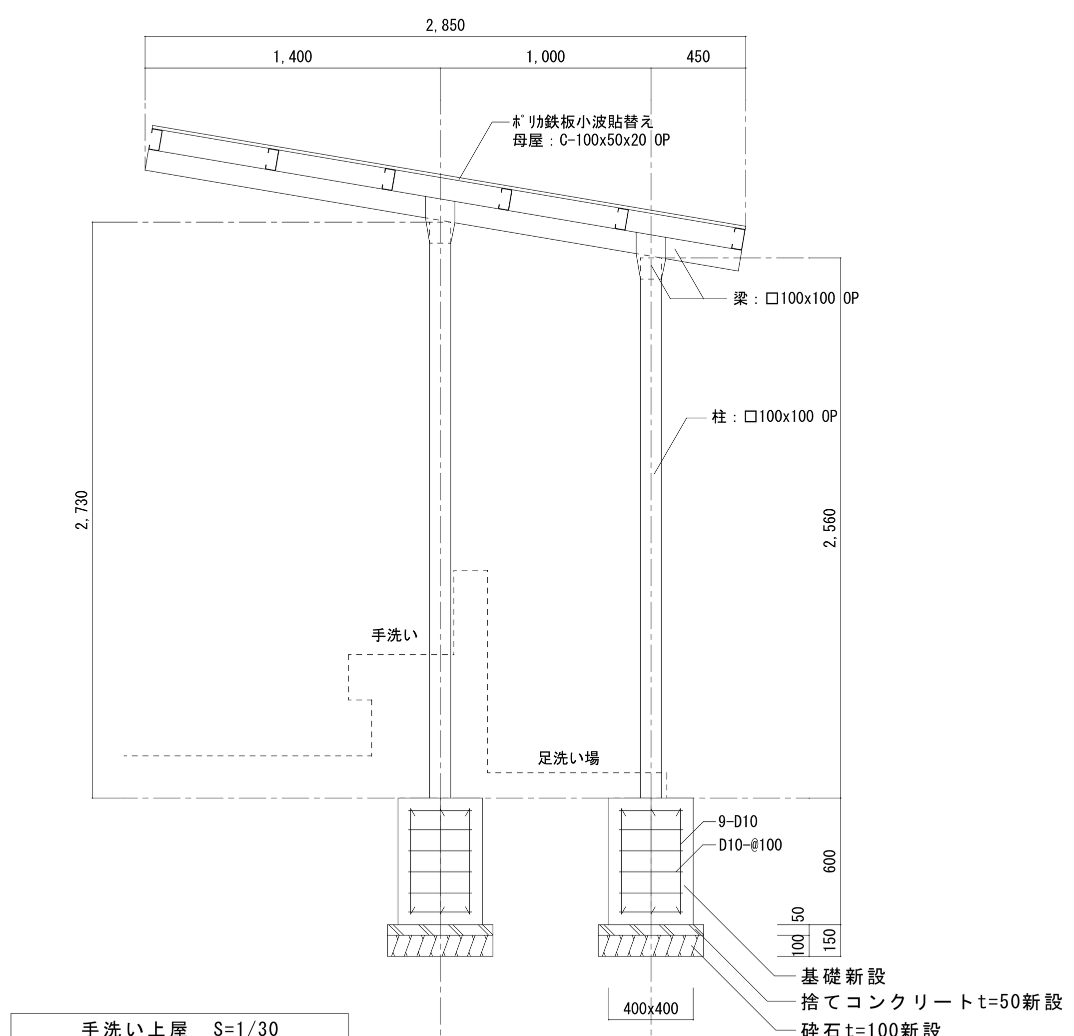
側面立面図　S=1/30



矩計図　S=1/30

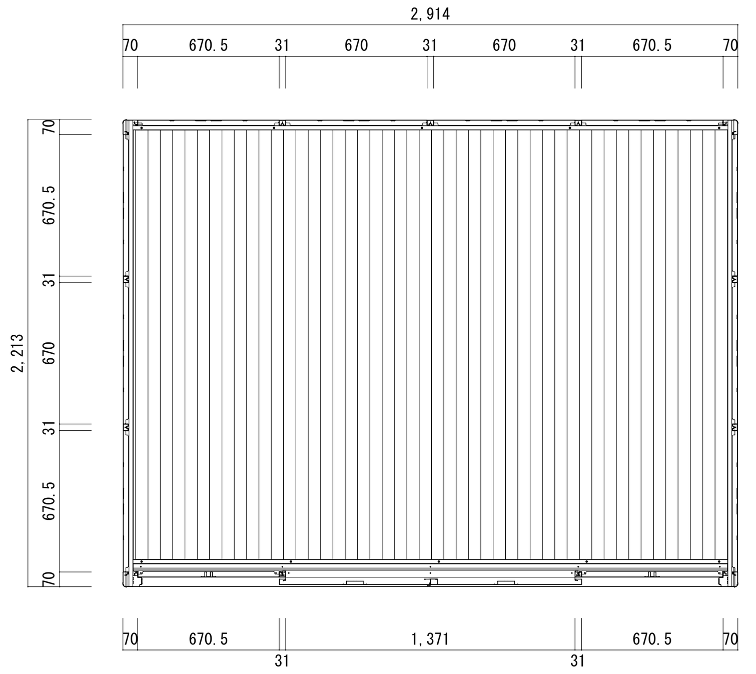


手洗い断面詳細図　S=1/30



手洗い上屋　S=1/30

※特記なき限り下記による
既存手洗い上屋移設の上、再利用
基礎は新設
鉄部はOP塗替え

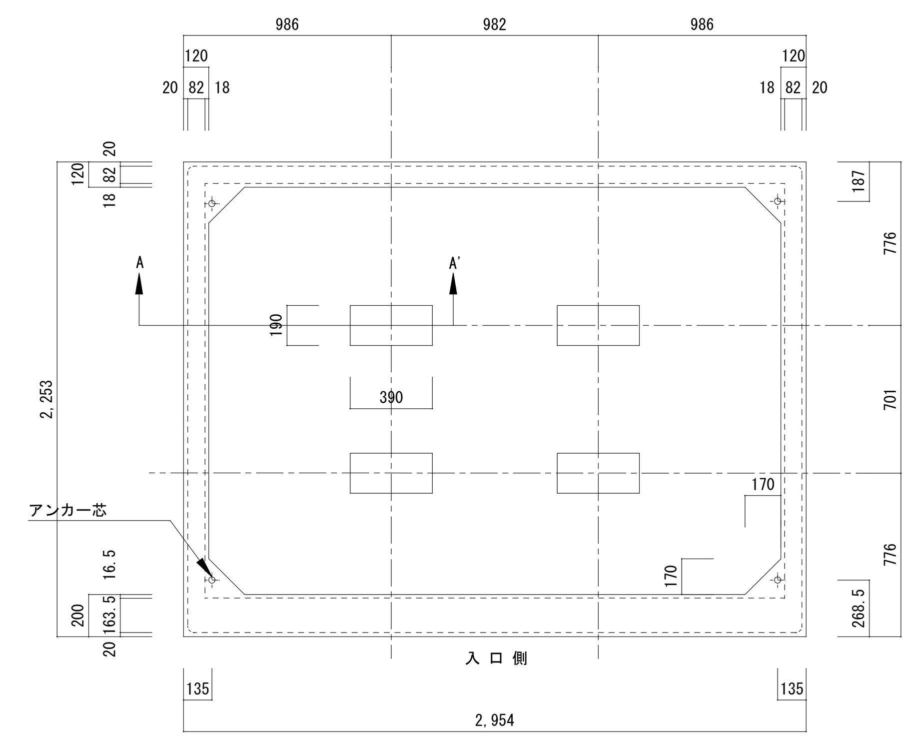


平面図　S=1/30

（ヨドコウ、LMD-2922同等）

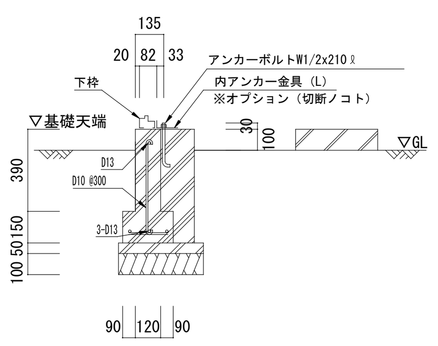
部　材　名	厚さ（m/m）	材　質
屋根板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
床補強	1.2	JIS G3321 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 SGLCC
<一般型> もや C-A4.0	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<一般型> もや D-A4.0S	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
<積雪型> もや G-A4.0SW	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板
下枠前（側・後）	1.2 （1.0 ）	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上枠前（後）	1.0 （0.8 ）	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上枠左,右	0.8	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 （ツートンカラー）
上枠補強（積雪型のみ）	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
上レール	1.2	アルミニウム合金押出形材
下レール	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し前	0.5	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 （ツートンカラー）
鼻隠し後	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
扉	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
壁パネル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
袖壁	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
間柱	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
床板	0.6	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
アンカープレート（L）	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板（後塗装仕上げ）

部　材　名	サイズ（巾¥U+00D7高サ）
扉右　L-A	716　¥U+00D7　1938
扉左　L-A	716　¥U+00D7　1938
壁パネル　L-A	670　¥U+00D7　1870
袖壁　L-A	670　¥U+00D7　1909



布基礎伏図　S=1/30

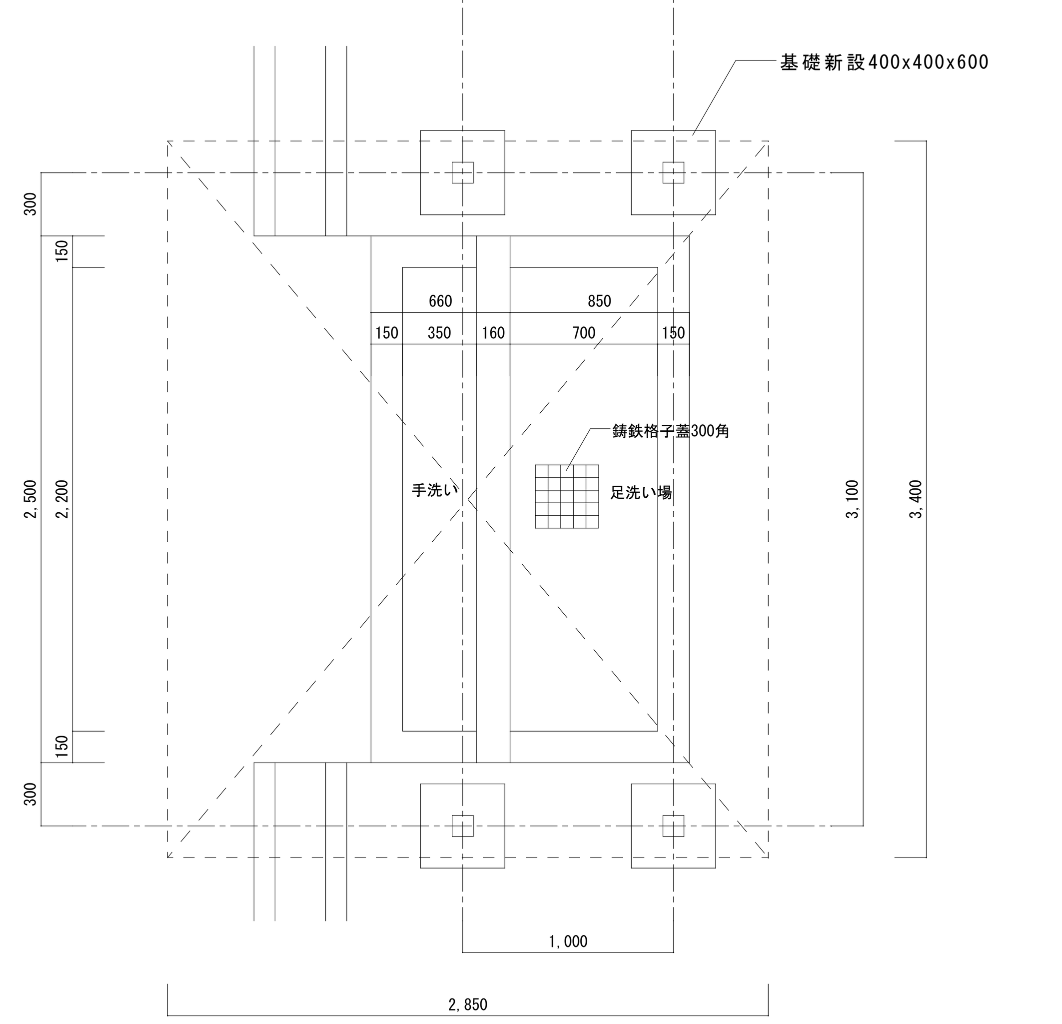
※内アンカーセット(オプション)別途必要



A-A' 断面詳細図　S=1/30

＜参考＞

地耐力　30 KN/m² 以上,
コンクリート設計基準強度　21 N/mm²
基準風速　34 m/s ,　地表面粗度区分Ⅲ



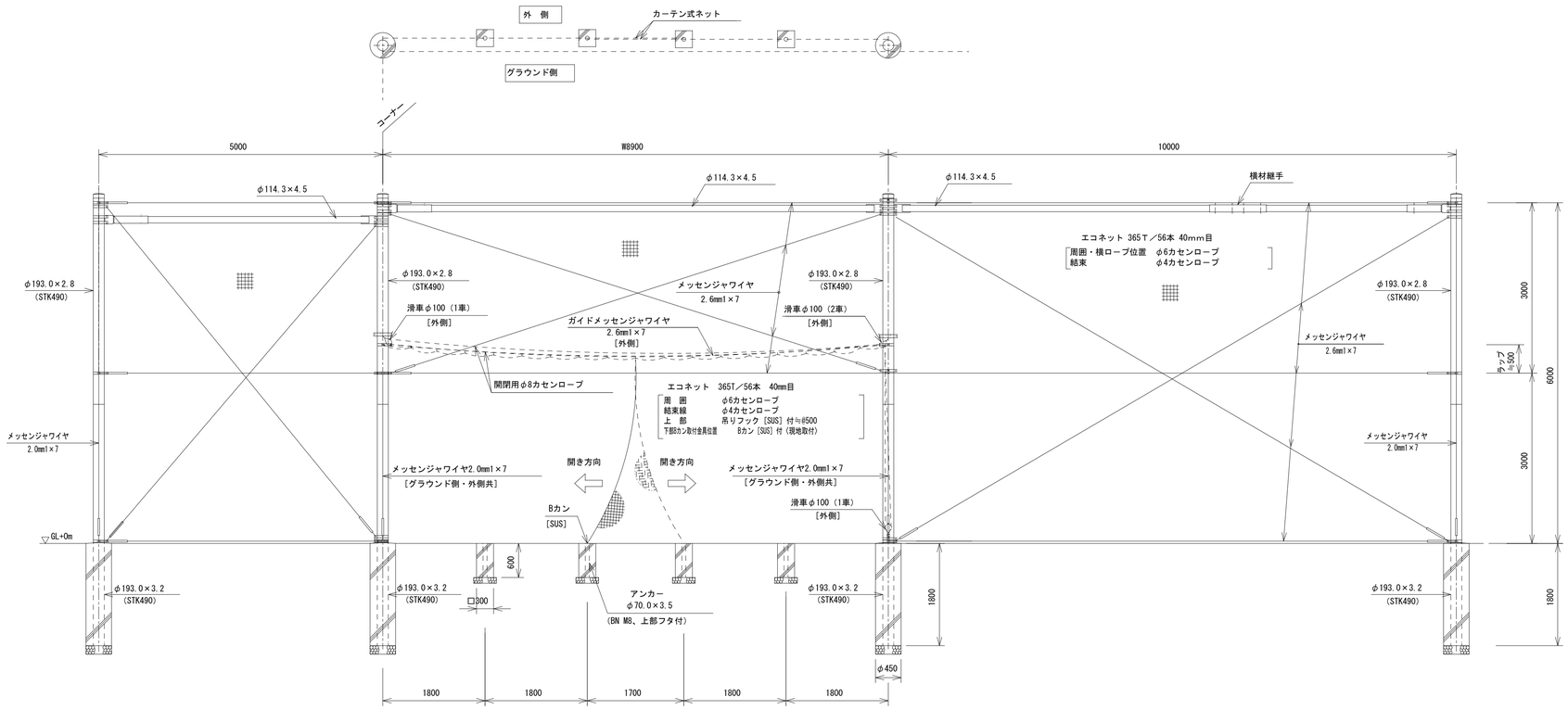
手洗い平面図　S=1/30

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. A-25	伊賀市八幡町地内	A1版
	外構詳細図3	1/30 m／m
日付.	設計	係員

※防球フェンスは下記同等品とする。

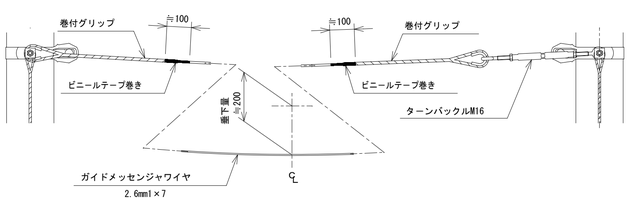
ＳＰ防球フェンス　Ｈ６－３型（全面エコネット張り）及び カーテン式開閉口Ｈ３０００×Ｗ８９００　　S=1:50

［建築基準法・同施行令（平成１２年６月）に基づく風圧力に依る
基準風速 ３４ｍ／ｓｅｃ　地表面粗度区分 Ⅲ　ＧＬ＋０ｍ］



ガイドメッセンジャワイヤ取付図

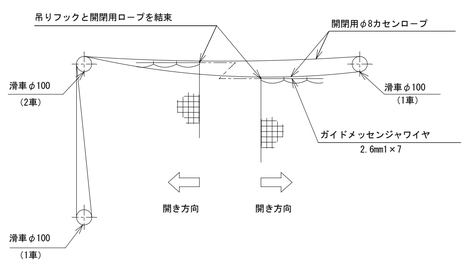
本図は外側から見た図を示す。



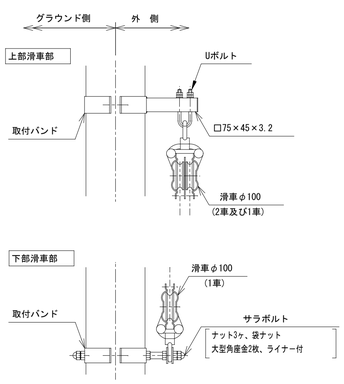
（注）カーテン開放時に吊りフックがターンバックルに当たる為、
有効開口幅が狭くなります。

カセンネット開閉要領図

（本図は外側から見た図を示す）



滑車取付要領図



設計条件

設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成１２年６月）に基づく風圧力に依る。
基準風速・・・３４ｍ／ｓｅｃ
地表面粗度区分・・・Ⅲ

基礎条件・・・＜オーガ基礎＞
配電規程（ＪＥＡＣ７００１）
土質係数・普通土質（Ｂ）に依る。
＜独立基礎＞
長期許容地耐力１００ｋＮ／㎡

備考

1. 外装はエコネット類及び特記部を除く他は溶融亜鉛めっきとする。但し、滑車は塗装品とする。
2. 防球フェンスのエコネットは縦ロープ及び横ロープとφ４カセンロープにて巻付処理とする。
3. カーテン式開閉口のエコネットは縦ロープとφ４カセンロープにて巻付処理とする。
4. 配置スパン寸法、コーナー角度は現地実測により決定のこと。

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. A-26	伊賀市八幡町地内		A1版 1/50
	外構詳細図4		m／m
日付.	設計		係　員

A3版1/100

耐震補強工事特記仕様書

第１章　工事概要

① 工事件名　しろなみ児童館耐震補強工事

② 工事場所　伊賀市八幡町地内

③ 工事規模　ａ）延床面積　335.80㎡
ｂ）階数構造　1階建て、鉄骨造

④ 工事範囲　本工事は、「しろなみ児童館耐震補強工事」に関するものである。なお、別途設備工事に留意のこと。

⑤ 工事計画　本工事は、既存の構造体に対して部材を増設することに依って耐震性の向上及び構造の改善を図るもので、既存躯体との接合が極めて重要である。また、この施工は限られた場所で行われるもので、一般の建築工事とは施工方法等相当異なる面がある。
よって、設計の趣旨及び最終的な建物の状態を十分理解した上で工法を選び、施工計画をたてなければならない。
特に次の点に十分注意すること。
ａ）　躯体寸法、階高寸法その他は実測による。
ｂ）　既存コンクリートとの一体化を図る。
ｃ）　新設部と既存部材との定着を十分行う。
ｄ）　騒音、粉塵及び汚染などの支障を及ぼす範囲をできるだけ小さくする。
ｅ）　仕上げ及びコンクリート等の撤去に際しては、最小限必要な範囲とし残りの部分を傷めないように十分注意する。
ｆ）　既存配管、配線及び器具等を十分に調査し、損傷を与えないように注意する。
ｇ）　施工に先立ち全行程の施工計画書を作成し、承認を得ること。各試験は試験方法、及び結果報告を遅滞なく行うこと。なお、施工計画書は工事種目別ごとに作成すること。

⑥ 工事内容　本工事は、鉄骨方杖及び屋根ブレースを設置する耐震補強工事である。

工事項目・ヶ所数は下表による。

階	壁ブレース	小屋ブレース		
1	14個所	３８個所		
計	14個所	３８個所		

又上記工事に伴う撤去・修復等の工事も併せて行うものである。

第２章　総則

① 適用範囲　本工事は、設計図及び本特記仕様書に基づくものとし、これらの記載なき場合は、次に定める優先順位の仕様書に拠ることとする。
（１）　本特記仕様書
（２）　「改訂版　既存鉄骨造建築物の耐震診断及び耐震改修指針・同解説」
（財）日本建築防災協会
（３）　「公共建築改修工事標準仕様書」（平成25年版）(財)建築保全センター

② 近隣からの要請苦情の処理　近隣からの要請、苦情については、受注者において対処解決し、必要があれば協定書を結び、その写しを提出する。
尚、その費用負担については受注者とする。
工事中付近の構築物・道路・地下埋設物に損害を与えない様万全の処置をなし、又、騒音・振動等については公害防止条例その他の規定に従って充分な養生と防止対策を行う。

③ 改修工事の記録及び養生　改修工事の着手に当り、既設建物の記録写真を撮り、現状の仕上材料等を充分調査を行い把握する。又、工事場所以外の建物設備に支障を及ぼさないよう、仮設・養生に充分留意すると共に、工事中、万一、汚損・損傷を与えた場合には現状に復するものとする。

④ 改修工事中の留意事項　工事期間中は騒音・振動・塵挨飛散等により、その部分の使用に支障を与えない様、又、工事関係者以外の者に対する安全及びプライバシー等充分留意すること。
工事場所には、工事表示看板及びお願い看板等を配置すると共に、必要な箇所には安全柵を設けること。
又、万一第三者の生命・財産に障害が生じた場合、及び第三者との間に紛争が生じた場合は、受注者において処理解決しその費用を負担する。

⑤ 安全管理　a.工事期間中安全管理については、特に注意し仮設仮囲、安全柵等保安上の処置をとる。又、資材の搬入・搬出する場合は関連工事及び別途工事と調整の上、時間帯・方法・経路・集積場所等について施設管理者及び監督員と協議を行い決定する。
b.火気の使用は極力避け、止むを得ず使用する場合は特に取扱い、養生・後始末を充分注意する。
又、火気使用の場合は保安担当者に届ける。

⑥ 工事中の停電対策　工事期間中は使用中の場所に対し、停電を生じさせないよう充分注意する。

⑦ 工事工程　工事工程・作業順序等については施設事務機能に支障がないよう事前に、各所管理者及び監督員と協議を行い、工事工程を作成し承認を得た後、着手すること。

⑧ 図面に記載のない事項について　図面に記載のない事項であっても、機能上、納まり上当然必要と認められるものは監督員の指示により請負金額の範囲内にて施工する。

⑨ 図面寸法　現地再調査のうえ、現地寸法に合わせる。

⑩ 施工順序　施工順序は、監督員及び施設担当者と協議の上決定する。

第３章　仮設工事

① 施工内容　ａ）　工事期間中に建物の一般使用が考えられるため、工事箇所周囲に仮囲を設け工事関係者以外の工事箇所立入りを防ぎ安全を図る。また、工事関係車両及び一般使用者の出入口は同一になるため、ガードマンを設置すること。

ｂ）　増設部材の周りには、足場を設けて施工性の向上と安全性の確保を図る。

② 施工上の注意事項　仮設工事は次の各項に留意して行うこと。
ａ）　既存部材の仕上げ材及び器具類に損傷を与えないよう充分注意すること。なお、場合によっては必要に応じてシート等で養生する。

第４章　撤去・改修工事

① 撤去工事の施工内容
a)　塗り仕上げまたはこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。
なお、躯体を撤去する場合は、両面からカッターで切込みを付けてから撤去する。
b)　撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。

② 撤去工事における注意事項
a)　コンクリート及び塗り仕上げを部分的に撤去する場合は既存部分の仕上げに損傷を与えないよう充分に注意する。
特に塗り仕上げ、及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護をはかる。

第５章　鉄筋工事

使用鉄筋
・　ＳＤ２９５Ａ規格品Ｄ１０～Ｄ１６（ＪＩＳ　Ｇ３１１２）
ＳＤ３４５規格品Ｄ１９以上（ＪＩＳ　Ｇ３１１２）
スパイラル筋
・　ＳＲ２３５規格品　（ＪＩＳ　Ｇ３１１２）
・　ＳＤ２９５Ａ規格品（ＪＩＳ　Ｇ３１１２）
その他の仕様は公共建築改修工事標準仕様書（財団法人建築保全センター平成31年度版）8章による
・主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり間隔、位置等について、監督員の検査を受ける。

第６章　コンクリート工事

使用コンクリートの設計基準強度
・　Ｆｃ＝２１Ｎ／ｍ㎡以上
調合強度＝Fc+S+Δ
構造体強度補正値（S)＝3N/mm2（8℃<θ）
Δ＝3N/mm2
・鉄骨ブレース周辺型枠（グラウト工事用）は、打放し仕上げA種とする。
その他の仕様は公共建築改修工事標準仕様書（財団法人建築保全センター平成31年度版）8章による

第７章　鉄骨工事

使用鋼材
・ＳＳ４００規格品　（ＪＩＳ　Ｇ　３１０１）

その他の仕様は公共建築工事標準仕様書（社団法人公共建築協会平成25年度版）7章による

高力ボルト
・トルシア形高力ボルト（Ｓ１０Ｔ）又は、ＪＩＳ形高力ボルト（Ｆ１０Ｔ）

鉄骨加工工場（国土交通大臣認定工場）
・Ｊグレード以上とする

技能資格者
・溶接作業における技能資格者（溶接技能者）は工事に相応した技術を要する者である事。（上向すみ肉溶接）等

・試験確認は、下記現場作業要領による。

① 現場作業要領
1）前処理
補強する部位は塗料、コンクリート、耐火被覆、その他の異物を除去する。
2）高力ボルト接合
高力ボルトは高力六角ボルトまたはトルシア形高力ボルトとする。
孔明けは電気ドリルを原則とするが、やむをえずガス加工による場合はリーマ通しを行う。
摩擦面の処理は、グラインダー掛けを原則とし、さび発生状態を標準とする。
3）溶接接合
溶接方法は被膜アーク溶接及びガスシールドアーク溶接とする。
完全溶込溶接の端部はエンドタブを使用し、すみ肉溶接の端部は回し溶接を行う。
溶接と高力ボルト接合が併用される場合は高力ボルト接合を先行する。
4）接合部の調査
高力ボルトの検査はＪＡＳＳ６　６節による。
溶接部の検査は完全溶込溶接は全数を超音波探傷試験をする。
すみ肉溶接および部分溶込溶接は全数目視検査とする。

第８章　グラウト工事

※グラウト工事はメーカーの責任施工とし、次の各項を厳守して行うこと。
１）圧入モルタルは早強性特殊セメント系無収縮モルタルとし、調合はプレ・ミックスとする。
２）材料は下記メーカー、もしくは同等品以上とする。
・ポゾリス物産（株）　マスターフロー５４０　グラウト
・電気化学工業（株）　デンカプレタスコンＴ－Ⅱ
・（株）ＡＢＣ商会　ノンシュリンクライトグラウト
・（株）小野田　プレユーロックスモルタル
３）事前に詳細な施工要領書を監督員に提出し承諾を得る。
４）打込み前に既存コンクリート表面及びコンクリート打継ぎ部の清掃及び水湿しを充分に行う。
５）圧入は適切な圧力で中断しないように行う。
６）グラウト孔をスパン中央部に、空気抜きをスパン両端に設ける。
７）グラウト孔にホースを接続し、連続圧送を行う。グラウトモルタルが空気抜きに出てくることを確認した段階で注入を中断し、各空気抜きパイプを確認した後、再び加圧グラウトを行い、作業を終了する。
８）グラウトモルタルの調合は下表を標準とする。
設計基準強度は３０Ｎ／ｍ㎡以上とする。

材料名	１m^3 当たりの標準使用量　kg	１m^3 当たりの使用水量　kg	流下値 J14ロート　秒
マスターフロー５４０　グラウト	２０００	２５６－３１２	５～１１
デンカプレタスコンＴ－Ⅱ	１８７５	３３８	８±２
ノンシュリンクライトグラウト	１８２５	３２１	８±２
プレユーロックスモルタル	１８７５	３２８	８±２

９）モルタル圧入部の型枠は注入圧力に耐え得るグラウト用とし、周囲に急結性または速乾性コーキング材を施し、モルタル漏れのないようにする。
１０）モルタルグラウト型枠取り外し時期については監督員の指示による。
１１）施工時及び養生期間中（３日間を標準とし、詳細はメーカー仕様に従う）は常に湿潤状態を保ち、圧入モルタルの温度を５°Ｃ以上に保つ。
また、施工時には水温の管理も充分に行い、水温１０°Ｃ以上にて施工する。
１２）圧入モルタルの硬化中は圧入口、空気抜きパイプ等の密栓（バルブ・コック）を確認し、有害な衝撃、振動を与えない。
１３）施工者の責任において、試験体を作成し、公的機関で試験を行う。
試験は１日に施工する毎に、Ｊ１４ロート試験を行い、圧縮試験体を作成する。試験体は径５０ｍｍ、高さ１００ｍｍの大きさとし、材令２８日３本とする。
試験は「コンクリート標準示方書（土木学会）」プレパックドコンクリートの圧縮試験方法による。コンシステンシー試験はＪ　ロート１４試験方法に準ずる。

第９章　あと施工アンカー工事

① 種　類　※増設壁及び鉄骨ブレース補強の接合部に用いるアンカーはカプセル型樹脂アンカーとする。
＜メーカー＞
・旭化成工業株式会社
ＡＲケミカルシャッター　ＡＰシリーズ
・日本デコラックス株式会社
ケミカルアンカー　Ｒタイプ
若しくは同等品以上とする。
同等品の認定については公的機関による引張強度、せん断の確認を必要とする。

② アンカー筋　※アンカー筋は、ＪＩＳ　Ｇ　３１１２（鉄筋コンクリート用棒鋼）に規定されている熱間圧延異形棒鋼ＳＤ３４５（Ｄ１６以下は、ＳＤ２９５Ａ）の規格品とする。頭部はネジ切り加工し，ナット取付のこと。
ナットはＪＩＳ　Ｇ　１１８１に定められた六角ナットを用いる。

③ 試験確認
・全数打音確認
・引張試験は各階増設壁または、ブレース１枚当たり１本の試験を行う。
場所は係員の指示で行い、所定の張力を確認する。
確認張力は、「既存建物耐震改修工事仕様書（1）」2-5による。
・D13の引張試験は不要

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. S-01	伊賀市八幡町地内 耐震補強工事特記仕様書		A1版 m／m
日付.	設計		係　員

鉄 骨 工 作 標 準 図

1−1 基本事項

§１　一般事項

1)　使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2)　設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様書２−Ｉに指定した共通仕様書および標準仕様書による。
3)　製作精度等に関しては、ＪＡＳＳ６の付則６「鉄骨精度検査基準」による。
4)　本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1−2 その他

2−1 略号

§２　共通事項

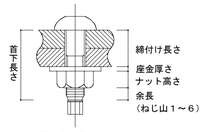
- ○ＡＢ ── アンカーボルト
- ○Ｂ℄ ── ベースプレート
- ○ＤＦ℄── ダイアフラム
- ○Ｆ℄ ── フランジプレート
- ○ＨＴＢ── 高力ボルト
- ○Ｓ℄ ── スプライスプレート
- ○Ｗ℄ ── ウェブプレート
- ○ＢＨ ── 組立てＨ形鋼
- ○ＣＨ℄── チェッカープレート
- ○ＦＢ ── フラットバー
- ○Ｇ℄ ── ガセットプレート
- ○Ｒ℄ ── リブプレート
- ○ＴＢ ── ターンバックル
- ○$W_{1\text{-}9}$ ── 溶接記号（§４参照）

3−1 高力ボルト

§３　ボルト接合

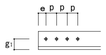
ボルトの長さ

ボルトの呼び径	締付け長さに加える長さ	
	F8T、F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40



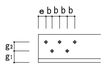
1、　特記以外はすべてＳ10Ｔ（トルシア形高力ボルト、上図）又はＦ10Ｔとする。
2、　本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。
3、　ボルトの接合面の処理は、締付け摩擦面を平グラインダー掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブラスト等を行った場合はこの限りでない。締付けは１次締付け後、マーキングを入れてから本締めをする。
4、　亜鉛メッキボルトの場合はすべてＦ8Ｔとする。

3−2 高力ボルトのピッチ



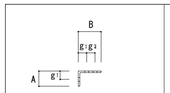
呼び径			M 16	M 20	M 22	M 24
孔径			18	22	24	26
ピッチ	標準	p	60	60	60	70
	最小		40	50	55	60
はしあき		e	40	40 (50)	40 (55)	45 (60)
最小縁端距離	せん断縁、手動ｶﾞｽ切断縁		28	34	38	44
	圧延縁、自動ｶﾞｽ切断縁等		22	26	28	32

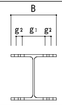
（　）内はボルトが応力方向に３本以上並ばない場合を示す。

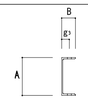


ゲージ g^3	千鳥打ちのピッチ　b	
	M16, 20, 22	M24
35	50	65
40	45	60
55	25	45

3−3 形鋼のゲージ







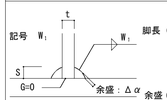
A or B	g^1	g^2	最大軸径	B	g_1	g^2	最大軸径	B	g^3	最大軸径
** 50	30		16	**100	60		16	** 50	30	16
60	35		16	125	75		16	65	35	20
65	35		20	150	90		22	70	40	20
70	40		20	175	105		22	75	40	22
75	40		22	200	120		24	80	45	22
80	45		22	250	150		24	90	50	24
90	50		24	*300	150	40	24	100	55	24
100	55		24	350	140	70	24			
125	50	35	24	400	140	90	24			
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

＊Ｂ =300は千鳥打ちとする。
**印の欄のg及び最大軸径の値は強度上支障がないとき最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

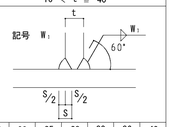
4−1 隅肉溶接

§４　溶接接合

t ≦ 16							16 ＜ t ≦ 40						
記号 W_1							記号 W_1						
t	6 以下	9	12	14	16		19	22	25	28	32	36	40
S	t	7	9	10	12		11	13	15	17	19	21	24



脚長（S）0 ≦ ΔS ≦ 0.5S
かつ ΔS ≦ 5
ΔS ＝ S′−S
S ＝ 設計サイズ
S′＝ 実際サイズ
余盛 0≦Δα≦0.4S かつ Δα≦4



断続隅肉溶接の長さL

L≧10Sかつ 40

4−2 完全溶込み溶接（突合せ溶接）

1)　板厚の異なる場合（通しダイアフラムは除く）

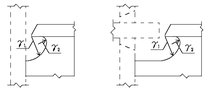
クレーンガーダーの場合は、全て2.5倍以上の勾配をとる。

2)　エンドタブ

両端に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。長さ ℓ は35以上かつ薄い方の板厚の2倍以上とする。エンドタブを切断する場合溶接終了後母材より5～10mmはなして切断する。代替タブを採用する場合は溶接技量付加試験に合格した溶接工によること。
エンドタブ、裏当て金の組立て溶接は右図による。

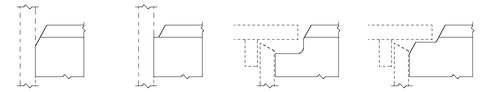
3)　開先加工　（下図は参考とする。）

a）　スカラップ工法



- ○ スカラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。γ_1 は35程度、　γ_2　は10以上とする。なお複合円は滑らかに仕上げること。
- ○ 完全溶込み溶接部以外のスカラップはγ=25程度とする。

b）　ノンスカラップ工法



機械加工タイプ　　機械加工+ガス切りタイプ

4)　開先形状

記号	形状	適用板厚	寸法	アーク手溶接	ガスシールドまたはセルフシールドアーク溶接
W_2 MC-BL-B1 GC-BL-B1	裏当て	6≦T	G	7^{+2}_{-2}	6^{+2}_{-2}
			R	2^{+1}_{-2}	2^{+1}_{-2}
			α_1	45° − 5°	45° − 5°
			G	9^{+2}_{-2}	7^{+2}_{-2}
			R	2^{+1}_{-2}	2^{+1}_{-2}
			α_1	35° − 5°	35° − 5°
W_3 MC-BL-2 GC-BL-2	裏はつり	6≦T≦19	G	0^{+4}_{-0}	0^{+3}_{-0}
			R	2^{+2}_{-2}	2^{+2}_{-2}
			α_1	45° − 5°	45° − 5°
W_4 MC-BK-2 GC-BK-2	裏はつり	16＜T	G	0^{+4}_{-0}	0^{+3}_{-0}
			d_1	$\frac{2}{3}$(T−R)	$\frac{2}{3}$(T−R)
			R	2^{+2}_{-2}	2^{+2}_{-2}
			d_2	$\frac{1}{3}$(T−R)	$\frac{1}{3}$(T−R)
			α_1	45° − 5°	45° − 5°
			α_2	60° − 5°	60° − 5°
W_5 MC-BI-B1 GC-BI-B1	裏当て FB−4.5×19	3~6	G	T − 2	T − 2
		6~9	G		6 − 2

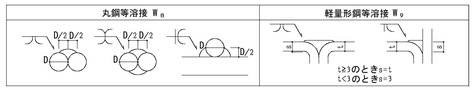
MC…　はアーク手溶接　　GC …　はガスシールドアーク溶接・セルフシールドアーク溶接の記号を示す。

4−3 部分溶け込み溶接

片面溶接 W_6										両面溶接 W_7
12 ≦ t ≦ 40										16 ≦ t ≦ 40
t	12	16	19	22	25	28	32	36	40	D=(t−2)/2
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16	
t/4 ≦ S ≦ 10										

4−4 フレア溶接

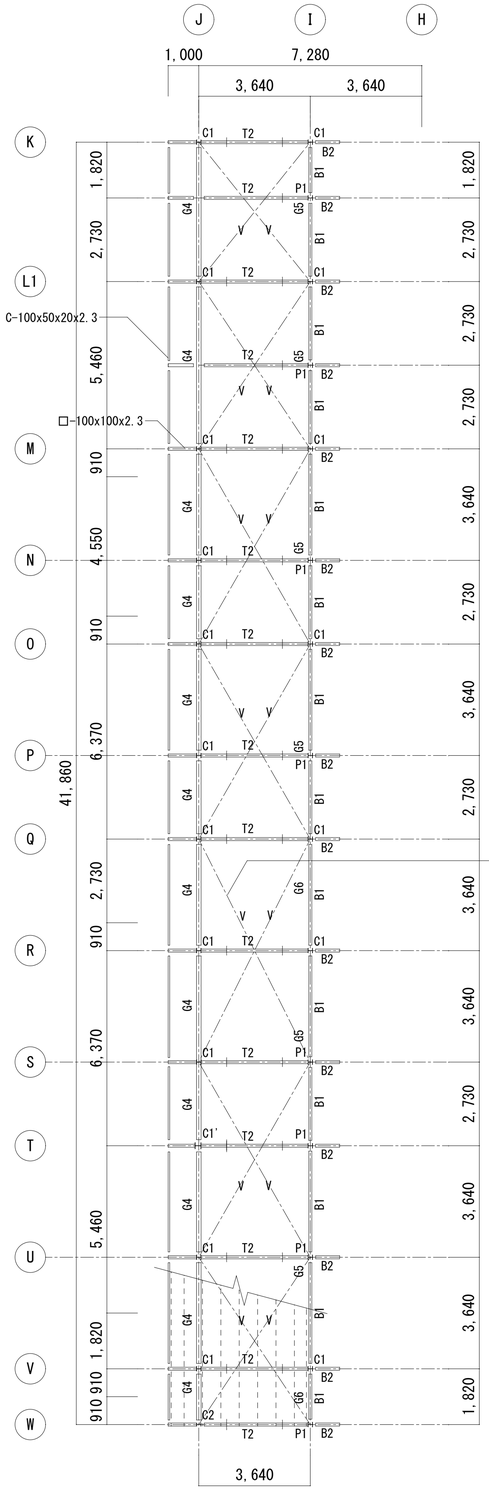
丸鋼等溶接 W_8	軽量形鋼等溶接 W_9



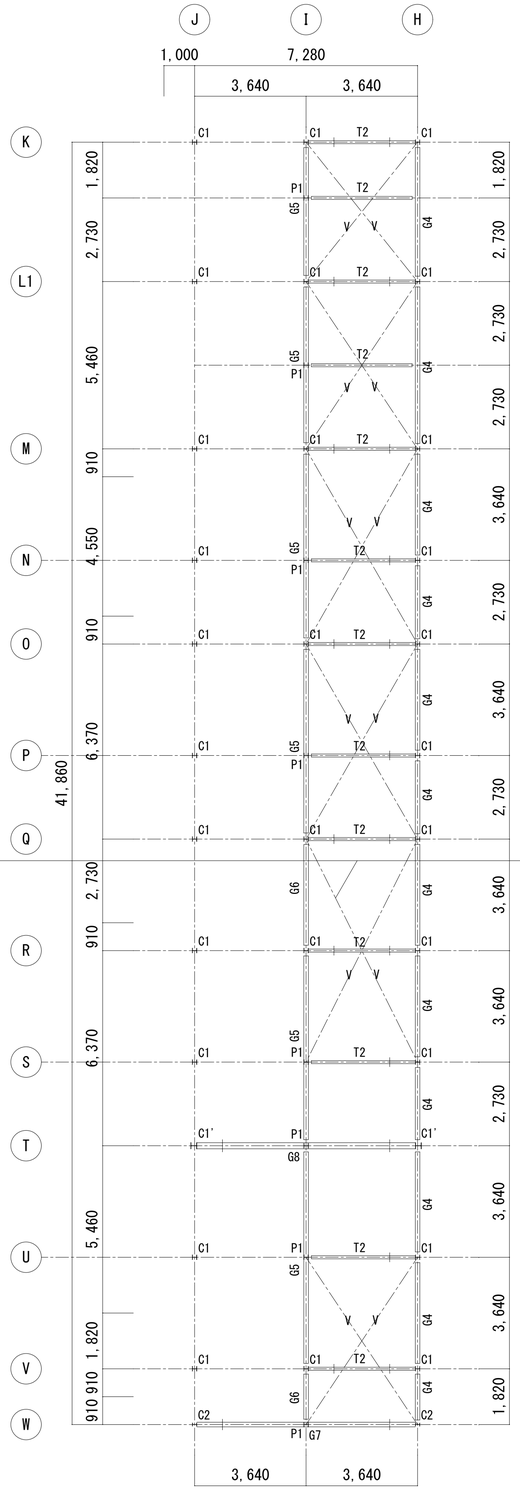
4−5 その他

加工工程中及び現場建方後においてもアークストライク、ショートビートをしてはならない。

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. S-02	伊賀市八幡町地内		A1版
	鉄骨工作標準図		m/m
日付.	設計		係員



小屋伏図　S=1/100　（斜梁面）
（現況）



既存小屋ブレース全て撤去

小屋伏図　S=1/100　（水平梁面）
（現況）

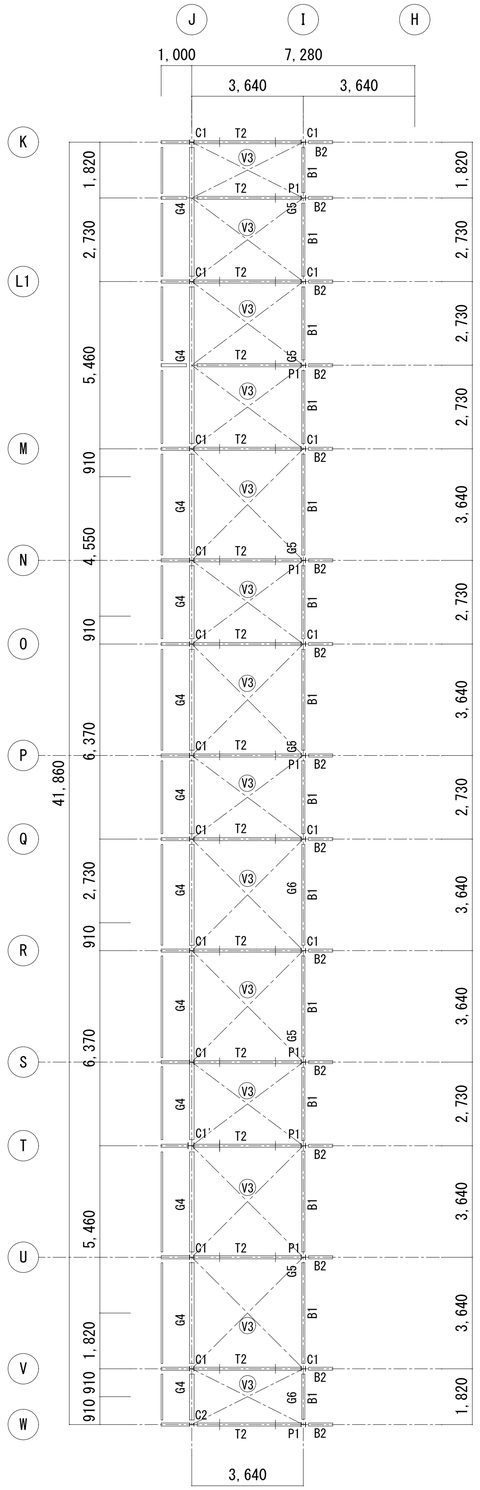
部材リスト　（現況）

記号	使用骨材	備考
C1	H-150x150x7x10	
C2	H-148x100x6x9	
C1'	H-200x200x8x12	
G4	H-194x150x6x9	
G5	H-300x150x6.5x9	
G6	H-194x150x6x9	
G7	H-300x150x6.5x9	
G8	H-400x200x8x13	
T2	H-200x100x5.5x8	
V	小屋ﾌﾞﾚｰｽ 12φ	
母屋	C-100x50x20x3.2	
B1	H-148x100x6x9	棟つなぎ梁
B2	2C-150x50x20x3.2	
P1	H-148x100x6x9	

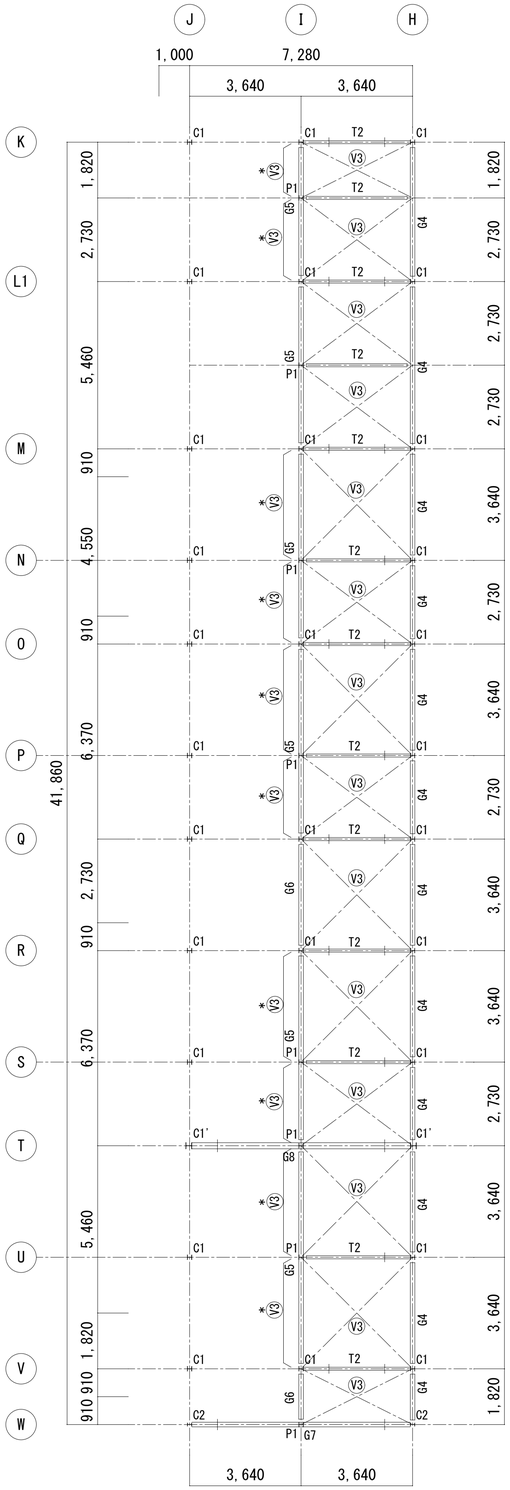
しろなみ児童館耐震補強工事

No.	伊賀市八幡町地内	A1版
S-03	既存梁伏図	1/100
		m／m
日付.	設計	係員

A3版1/200

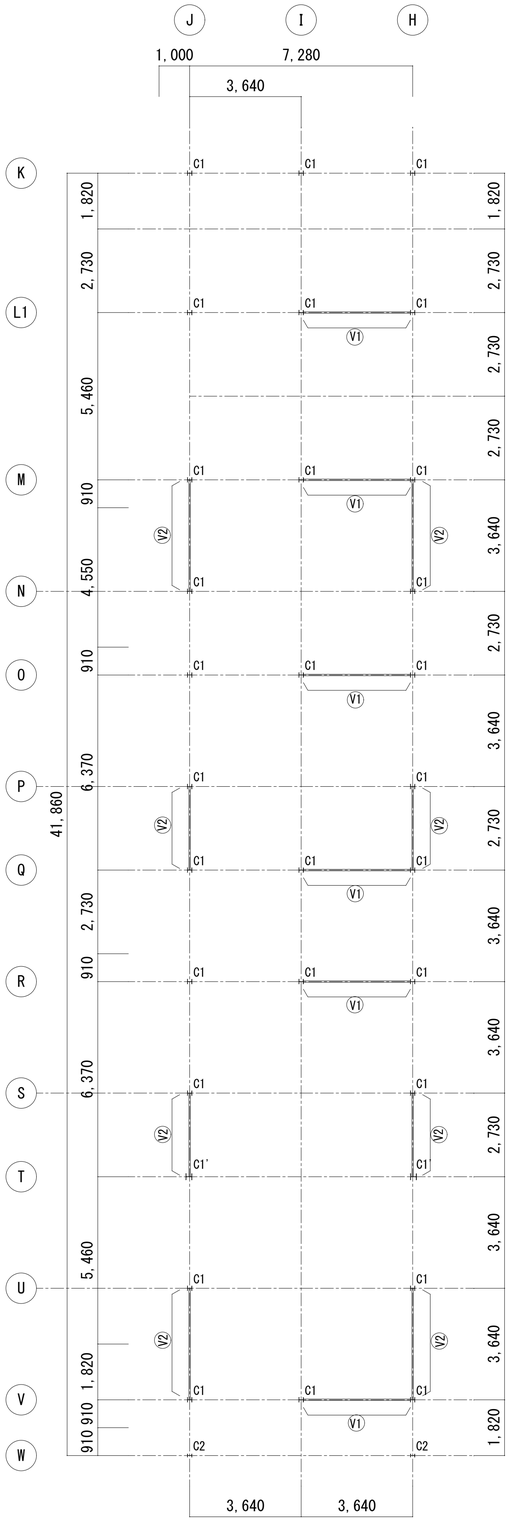


小屋伏図　S=1/100　（斜梁面補強後）



小屋伏図　S=1/100　（水平梁面補強後）

*印は、小屋裏壁ﾌﾞﾚｰｽ



壁ﾌﾞﾚｰｽ位置図　S=1/100　（補強後）

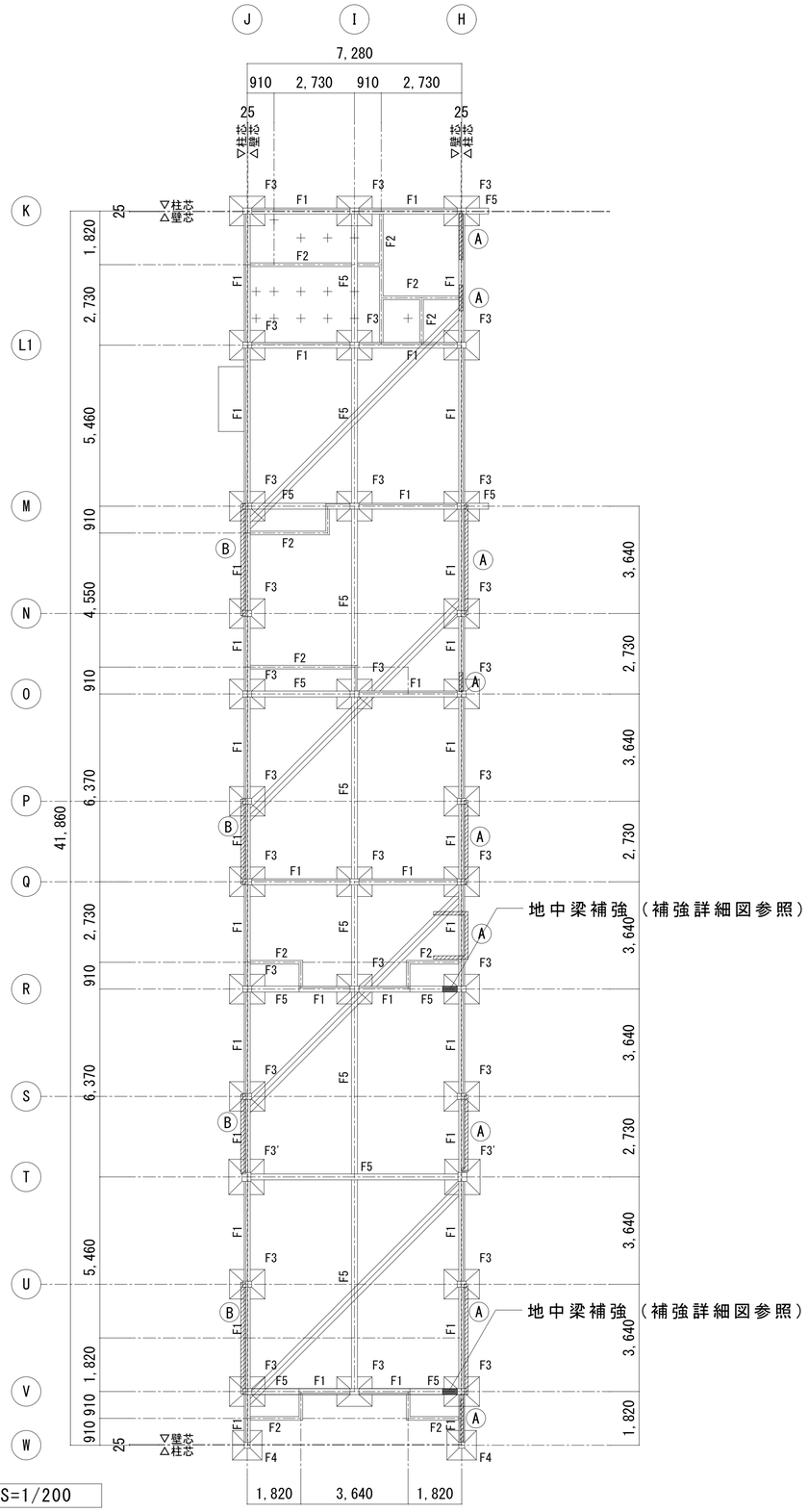
部材リスト　（補強後）

記号	使用骨材	備考
V1	ﾌﾙﾌﾞﾚｰｽM18 ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付き 足固(FB：［-150x75x6.5x10）付き	壁ﾌﾞﾚｰｽ
V2	ﾌﾙﾌﾞﾚｰｽM18 ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付き	壁ﾌﾞﾚｰｽ
V3	ﾌﾙﾌﾞﾚｰｽM14 ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付き	小屋裏壁、水平ﾌﾞﾚｰｽ

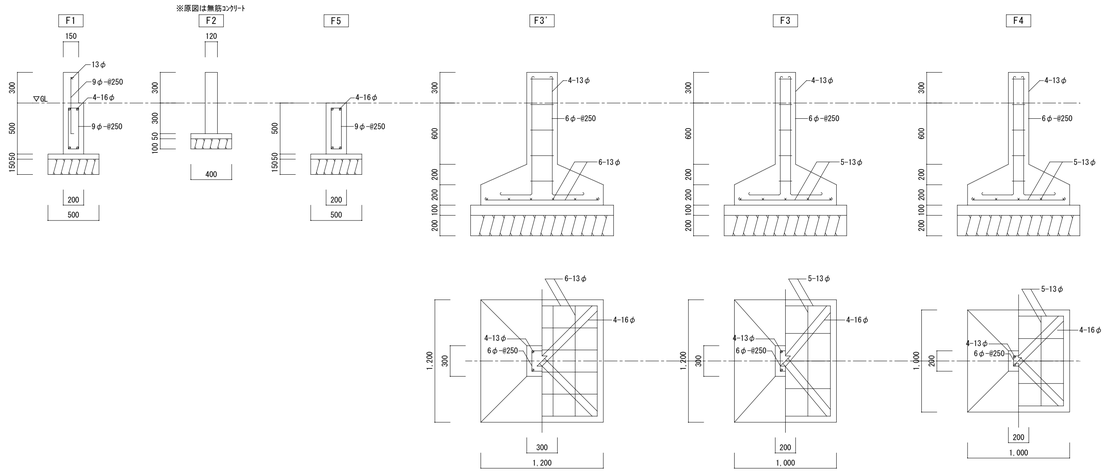
しろなみ児童館耐震補強工事

No.	伊賀市八幡町地内	A1版
S-04	補強後　梁伏図	1/100
		m／m
日付	設計	係員

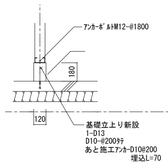
A3版1/200



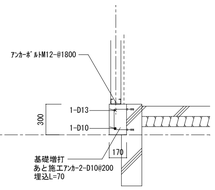
基礎伏図　S=1/200



既存基礎配筋図(参考)　S=1/30



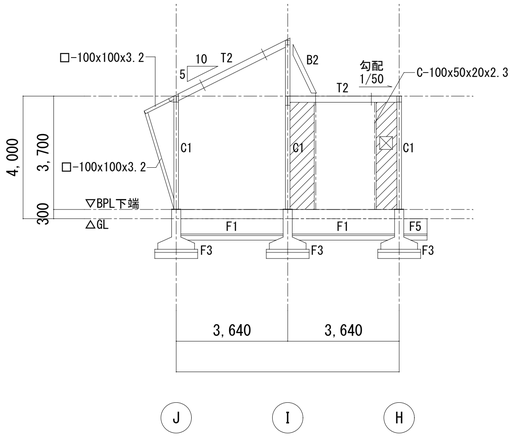
A部立ち上がり新設　S=1/30



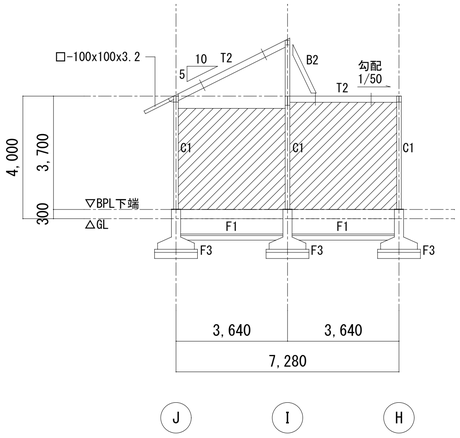
B部立ち上がり新設　S=1/30

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. S-05	伊賀市八幡町地内		A1版 1/100 m/m
	基礎補強図		
日付.	設計		係員

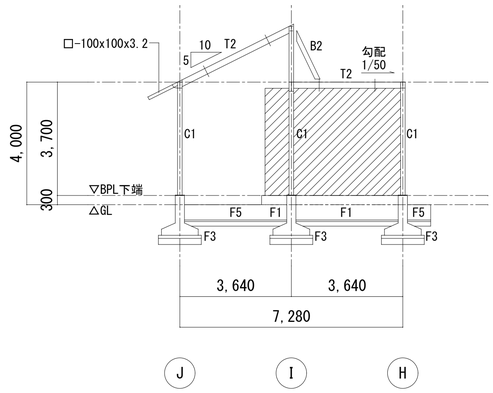
A3版1/200



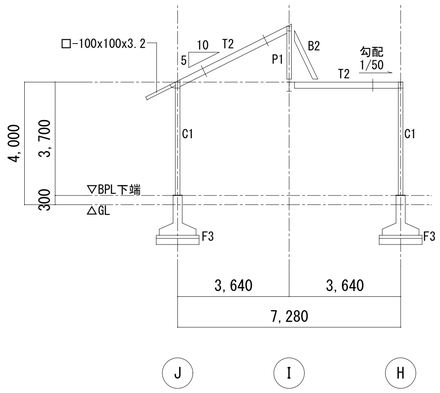
K通り軸組図　S=1/100　（現況）



L1通り軸組図　S=1/100　（現況）

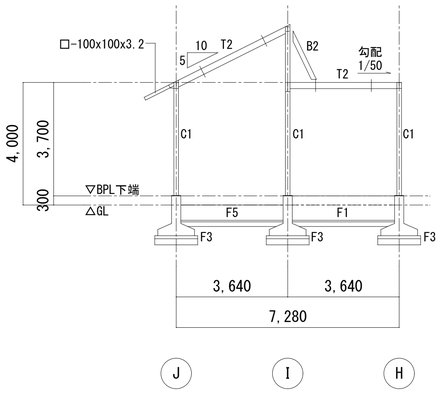


M通り軸組図　S=1/100　（現況）

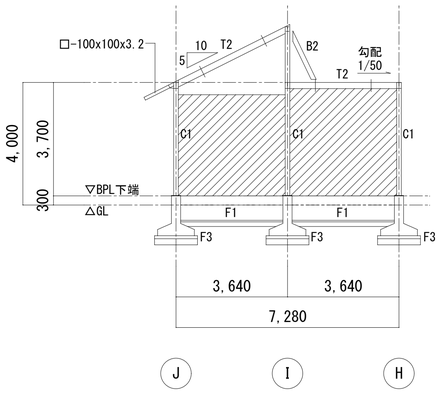


N通り軸組図　S=1/100　（現況）

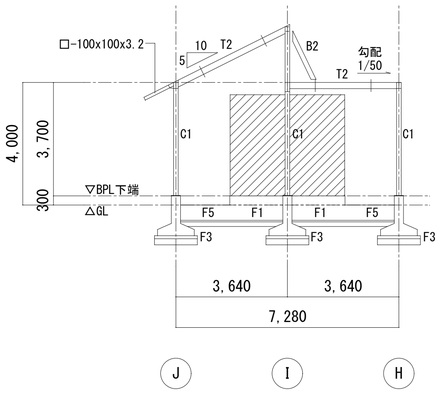
P・S・U通りも同じ



O通り軸組図　S=1/100　（現況）

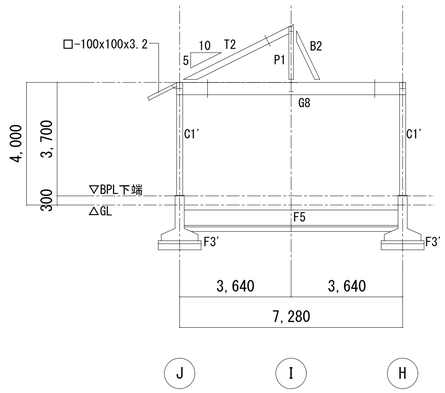


Q通り軸組図　S=1/100　（現況）

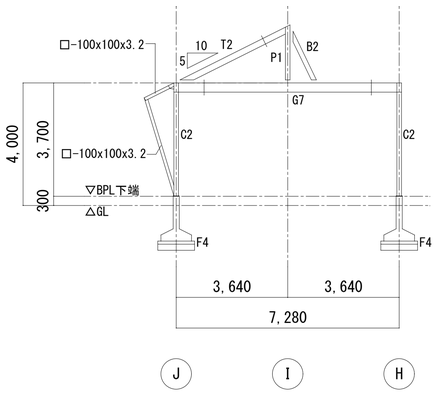


R通り軸組図　S=1/100　（現況）

V通りも同じ



T通り軸組図　S=1/100　（現況）



W通り軸組図　S=1/100　（現況）

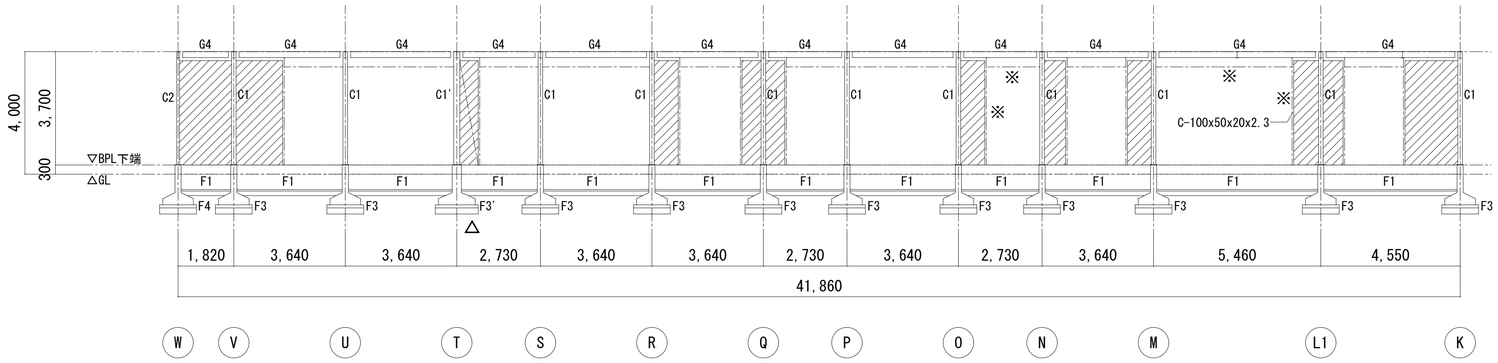
凡例

ﾌﾞﾛｯｸ帳壁t=100
▲：壁ﾌﾞﾚｰｽ FB6x50
△：壁ﾌﾞﾚｰｽ 鉄筋12φ

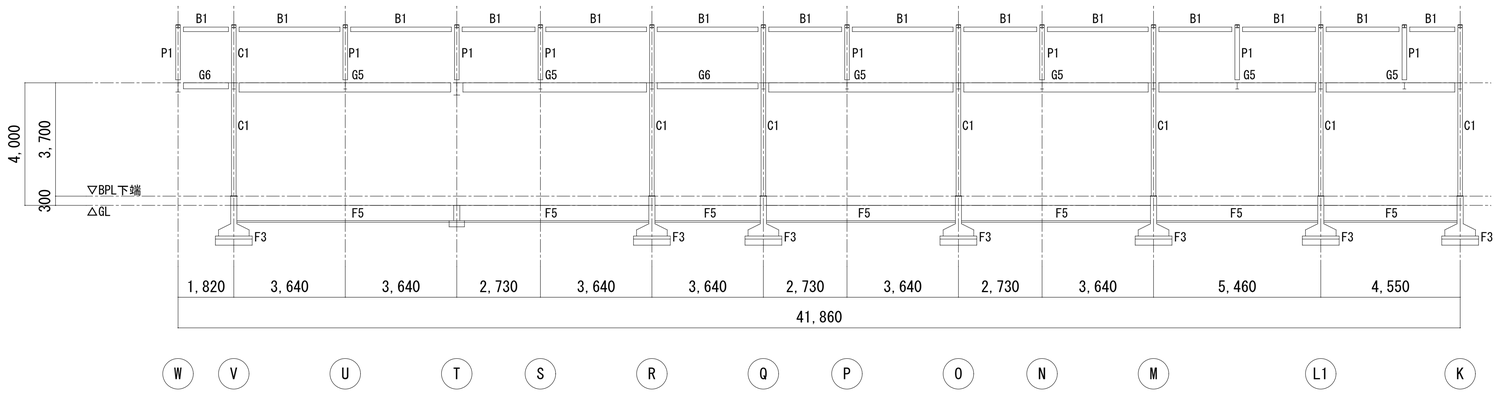
撤去

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. S-06	伊賀市八幡町地内 現況軸組図1	A1版 1/100 m/m
日付.	設計	係員

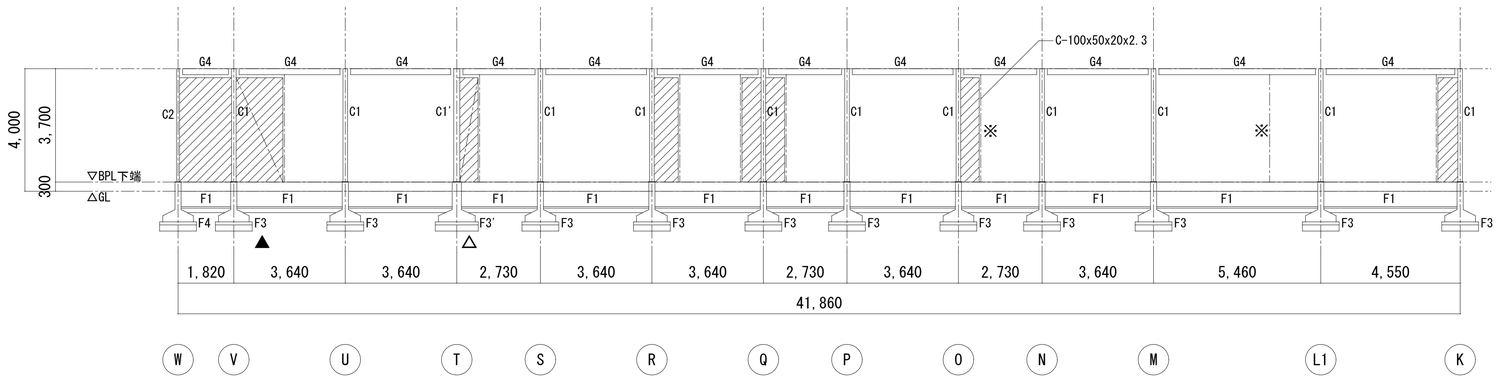
A3版1/200



J通り軸組図　S=1/100　（現況）



I通り軸組図　S=1/100　（現況）



H通り軸組図　S=1/100　（現況）

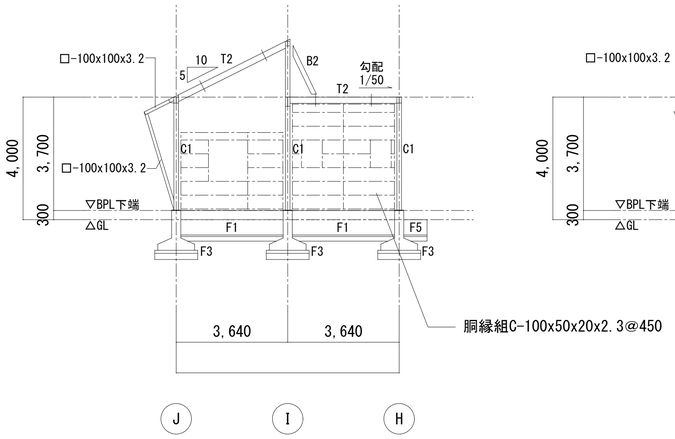
凡例

ﾌﾞﾛｯｸ帳壁t=100
▲：壁ﾌﾞﾚｰｽ FB6x50
△：壁ﾌﾞﾚｰｽ 鉄筋12φ
撤去

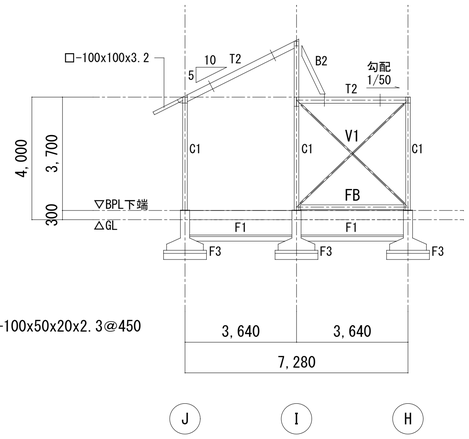
※の縦枠,横枠は残す。それ以外は撤去

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. S-07	伊賀市八幡町地内		A1版 1/100
	現況軸組図2		m/m
日付.	設計		係員

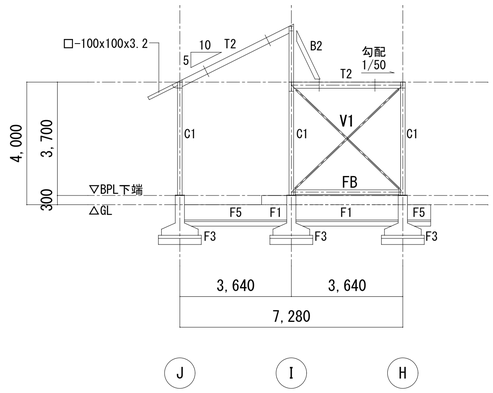
A3版1/200



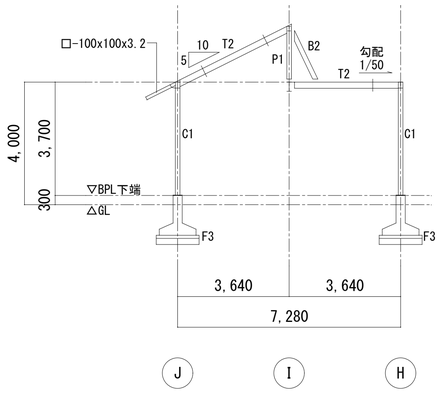
K通り軸組図　S=1/100　（補強後）



L1通り軸組図　S=1/100　（補強後）

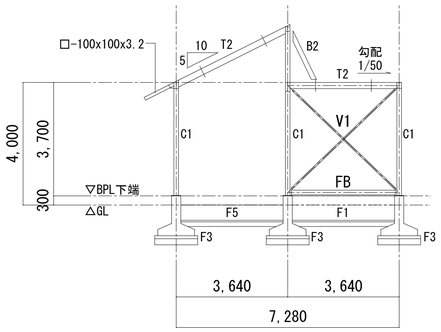


M通り軸組図　S=1/100　（補強後）

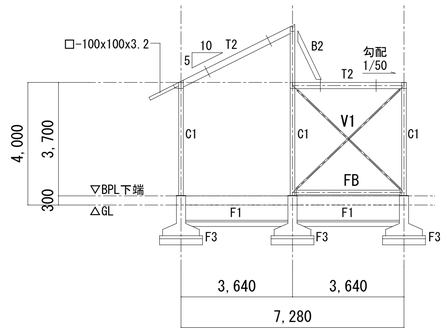


N通り軸組図　S=1/100　（補強後）

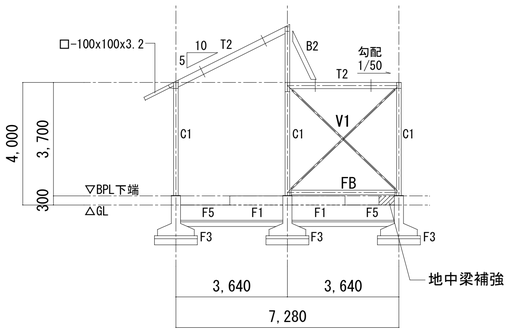
P・S・U通りも同じ



O通り軸組図　S=1/100　（補強後）

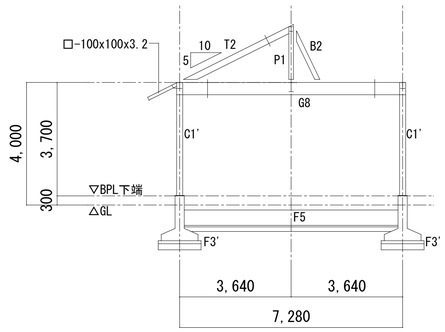


Q通り軸組図　S=1/100　（補強後）

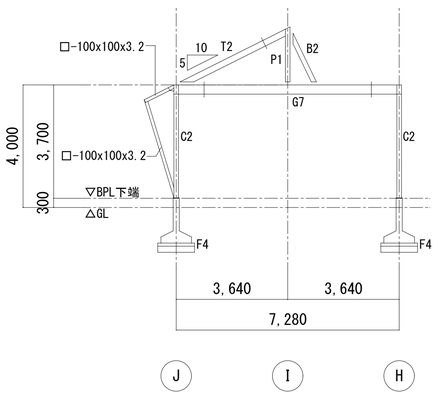


R通り軸組図　S=1/100　（補強後）

V通りも同じ



T通り軸組図　S=1/100　（補強後）



W通り軸組図　S=1/100　（補強後）

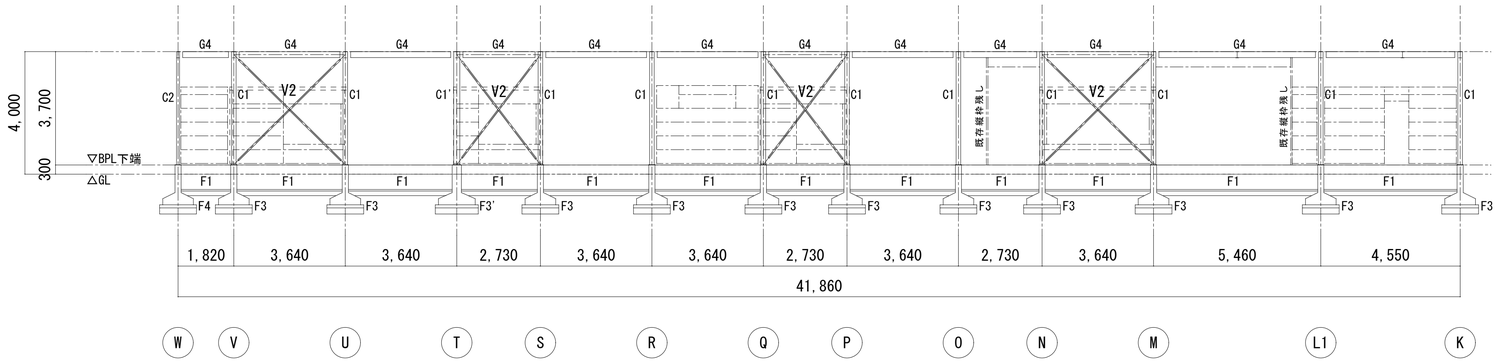
凡例

V1：ﾌﾙﾌﾞﾚｰｽM18 ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付き（補強）

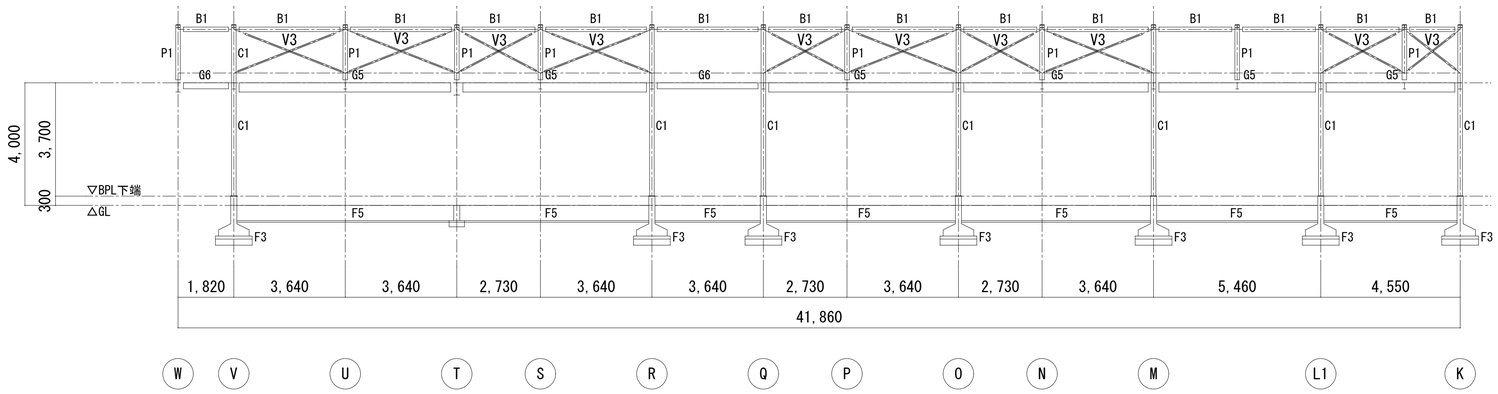
FB：[-150x75x6.5x10（補強）

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. S-08	伊賀市八幡町地内 補強後軸組図1	A1版 1/100 m/m
日付.	設計	係員

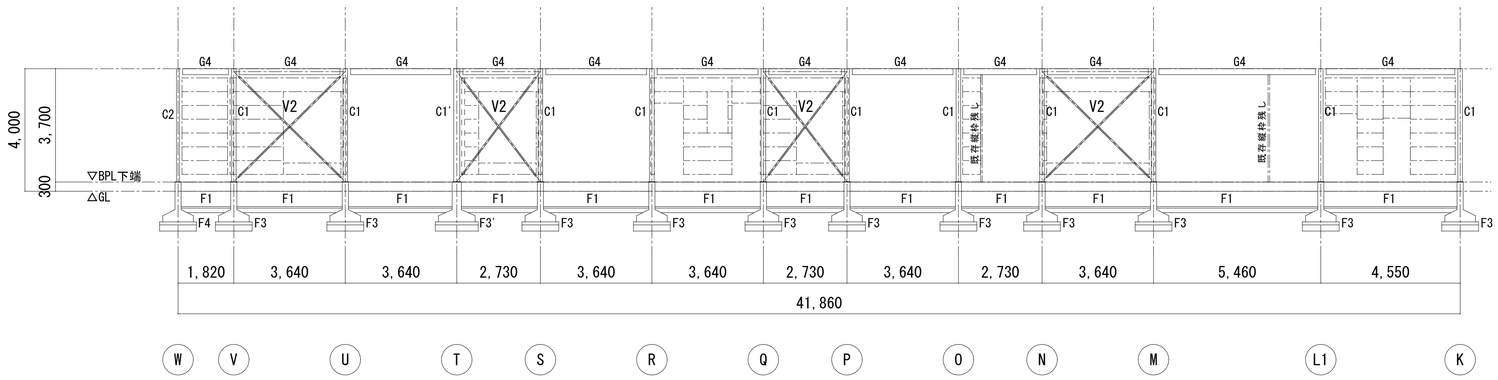
A3版1/200



J通り軸組図　S=1/100　（補強後）



I通り軸組図　S=1/100　（補強後）



H通り軸組図　S=1/100　（補強後）

凡例

V2：ﾌﾙﾌﾞﾚｰｽM18 ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付き（補強）

V3：ﾌﾙﾌﾞﾚｰｽM14 ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付き（補強）

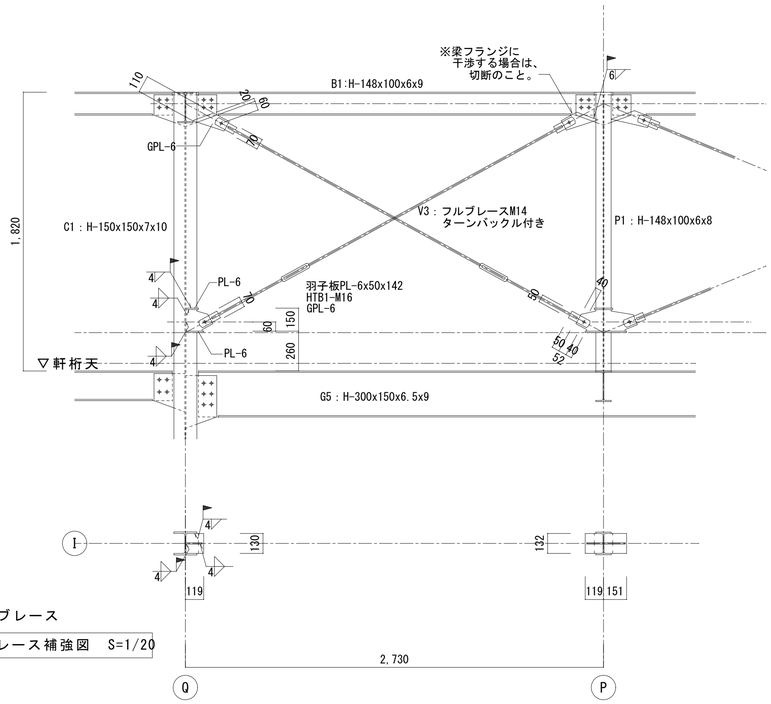
改修外壁

胴縁組C-100x50x20x2.3@450

胴縁組□-100x100x2.3

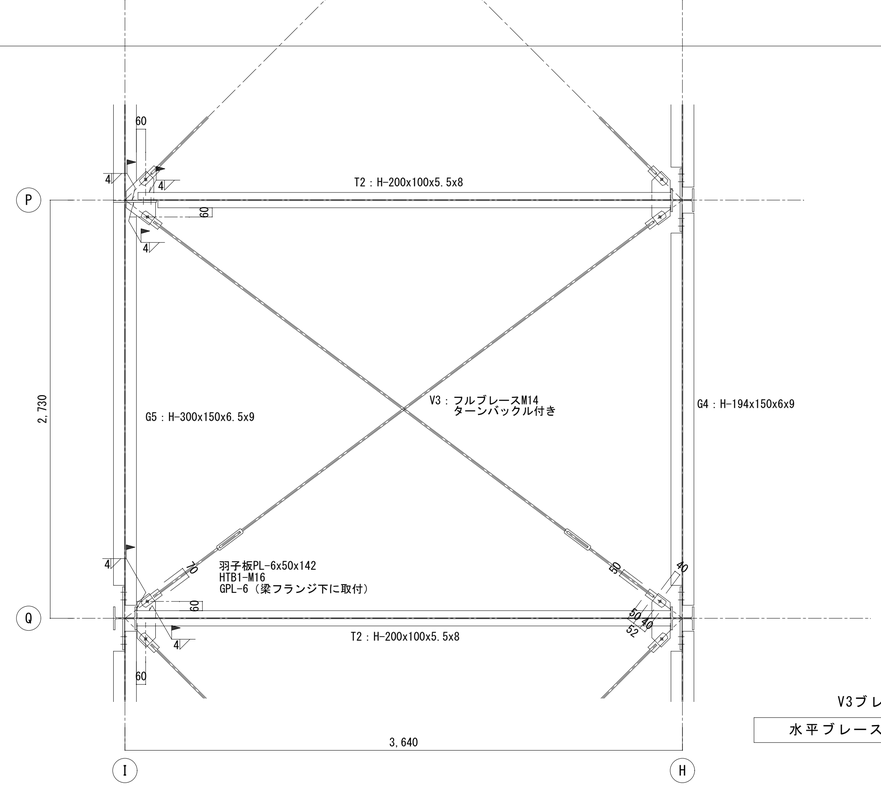
しろなみ児童館耐震補強工事		
No. S-09	伊賀市八幡町地内 補強後軸組図2	A1版 1/100 m/m
日付.	設計	係員

A3版1/200



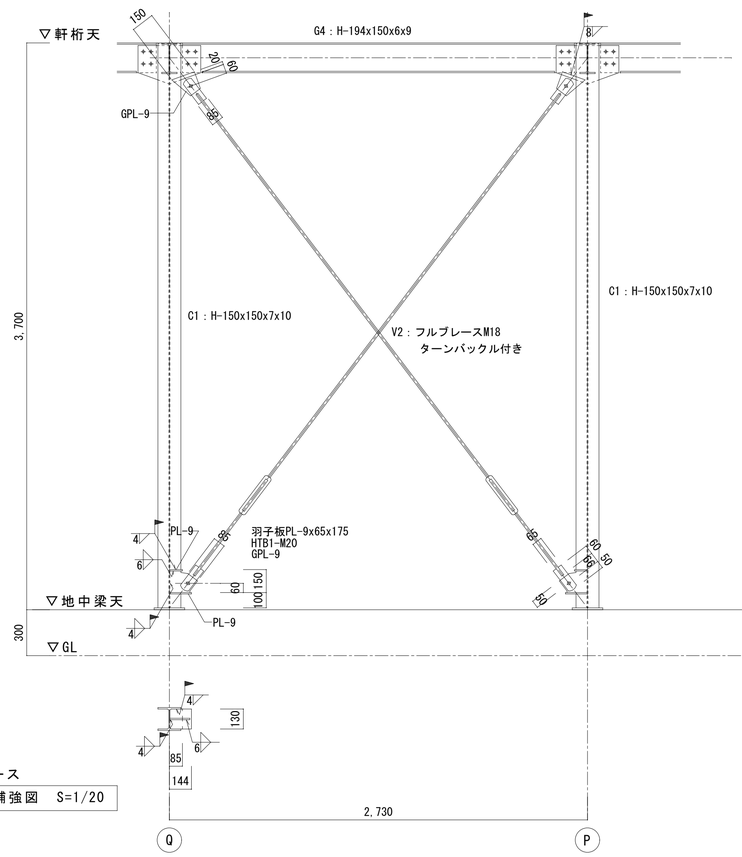
V3ブレース

I通り小屋裏壁ブレース補強図　S=1/20



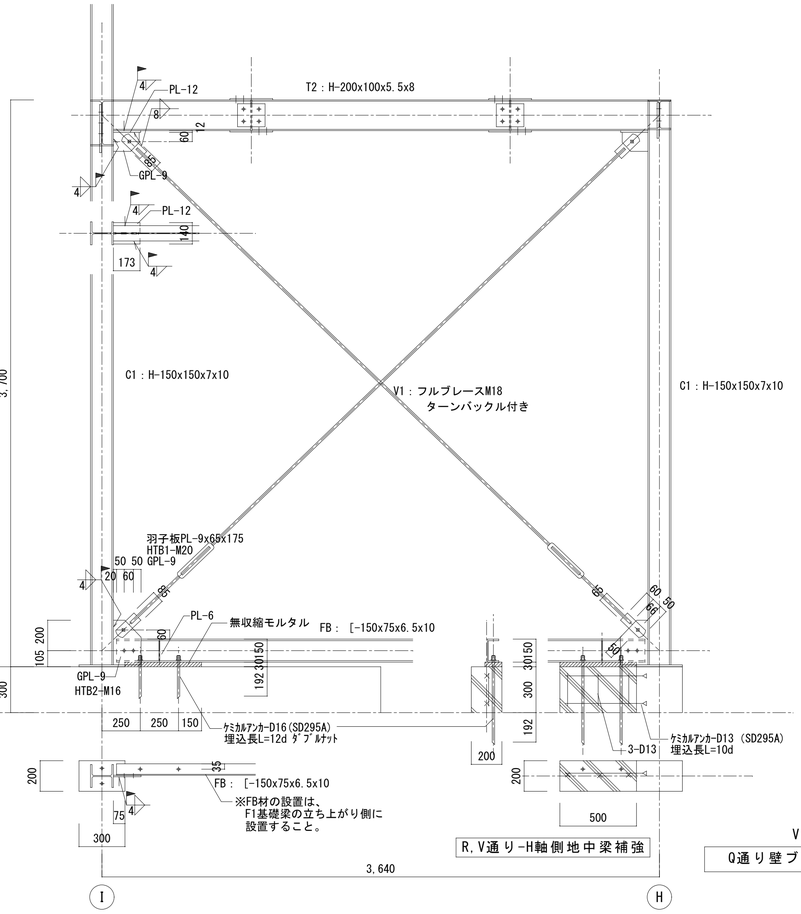
V3ブレース

水平ブレース補強図　S=1/20



V2ブレース

J,H通り壁ブレース補強図　S=1/20



V1ブレース

Q通り壁ブレース補強図　S=1/20

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. S-10	伊賀市八幡町地内 補強詳細図	A1版 1/20 m／m
日付.	設計	係員

A3版1/40

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ　工事名称　　しろなみ児童館耐震補強工事

Ⅱ　工事場所　　三重県伊賀市　地内

Ⅲ　建物概要

建物名称	構　造	延面積（㎡）	消施令の適用	備　考
しろなみ児童館	Ｓ造1 階建て	＊＊＊ ㎡	６項	

Ⅳ　工事仕様

項　目	特　記　事　項
① 施行基準	図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。 ＊国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書　平成２８年版」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編） 「公共建築設備工事標準図　平成２８年版」（電気設備工事編・機械設備工事編） 「公共建築改修工事標準仕様書　平成２８年版」（電気設備工事編・機械設備工事編） 「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」平成２８年版 ＊国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針２００５年版」 ＊電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準） ＊電力会社供給約款 ＊消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む） ＊電気工事業の業務の適正化に関する法律・電気工事士法・労働安全衛生法 ＊その他関連法規、関連諸基準
② 一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。 なお設計図書のとおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。
⊙施工計画等	受注者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合わせを行うこと。 ＊総合施工計画書 なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。
⊙工事使用材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。 ＊使用機材届出書（メーカーリスト） ＊機器明細図 ＊カタログ・製作図・その他諸資料 なお、機器及び材料等の選定にあたっては電気設備工事指定資材見積メーカー（参考）及び国土交通省大臣営繕部監修「建設材料・設備機材等品質性能評価事業」評価名簿（最新版）又はこれらと同等以上のものとする。 また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。
⊙工程表	関連業者間にて十分協議し実施工程表を作成して監督員に提出すること。 なお実施工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。 又、工程については、学校運営に支障が無いよう検討すること。
⊙工事写真	国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂第3 版）一建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。 なおＣＤの提出部数は「電子納品」を参照 ＊代表写真（不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、搬出状況等）を抽出しＬ判相当サイズで印刷。　（Ａ４版用紙に両面印刷にて３枚／ページ）　１部
⊙完成写真	主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、Ｌ判相当サイズで印刷する。 （Ａ４版用紙に３枚／ページ）１部 撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。
⊙完成書類	工事が完成した時は各種の試験及び検査を受けるものとする。 書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。 ＊工事完成報告書、工事目的物引渡書、完成写真 ＊製本図面（竣工図）：図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。 竣工図は、原図サイズを２部。 白焼き（青焼き不可）で文字潰れのないこと。表紙（可能な範囲で背表紙にも）に「年度、工事名、竣工図、受注者名」を印字（シール不可）すること。 ＊引渡目録、工事書類預り書 ＊工事書類（工事写真、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等） ＊工事書類（打合記録、工事材料搬入報告） ＊完成図書（試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板写し等） ＊官公署手続き書類等（検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等） ＊その他監督員の指示する書類 ただし、作成しがたい場合は、監督員との協議による。 なお、完成書類の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。
⊙完成確認、完成検査時の電源確保	機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来るよう電源を確保すること。
⊙施工条件	監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。
⊙事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。
⊙発生材の処理等	引き渡しを要するもの（　　　　　　　　） 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。　引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。 （マニフェスト原本の提示及び、Ｅ票の写しと集計表を監督員に提出すること）
⊙残土処分	☑構内敷きならし　□場外搬出（片道運搬距離　約　　ｋｍ）
⊙電子納品	工事完成図書は、竣工図・施工図のＣＡＤデータ（ＪＷＷ）及びＰＤＦを格納。
⊙諸手続	工事に伴う関係官公署、電力会社、電気保安管理者等への諸手続きは、受注者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。
⊙消防提出書類	消火器の設置届については、電気設備にて設置届を提出する必要がある場合は、消火器についても併せて届出すること。ただし機械設備にて設置届を提出する必要がある場合は機械設備に含めるものとする。防火対象物使用開始届については書類の作成（電気設備図面の用意及び電気設備に関する部分の記述）を行うこと。
⊙既設との取合い	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。
⊙既設設備の調査	既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に充分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行うよう工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。
⊙工事中の保安管理	新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、その供用開始から引渡しまでの電気保安管理にかかる費用は本工事に含まれる。

項　目	特　記　事　項
⊙不当介入を受けた場合の措置	暴力団員等による不当介入（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱）を受けた場合の措置について （１）受注者は暴力団員等（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 （２）（１）により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。 （３）受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
③ 耐震基準	耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成8 年版」（建設大臣官房官庁営繕部監修）及び「建築設備耐震設計・施工指針（２００５年版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修）による。 （１）局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度（Ｋｓ） （２）地域係数は１．０とする。 （３）自重が１００ｋｇ以下の比較的軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）の取付については、取付下地を入念に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承諾を受ける。 （４）配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図による。 （５）機器の耐震計算書を提出すること。 重量1ｋＮ（１００ｋｇ）以上のアンカー取付機器 ※盤類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水槽類、その他監督員が指示するもの。
④ 施工	（１）塗装 ・指定色で2 回塗りとする。 金属管、２種金属線ぴ、吊りボルト、支持具等鋼板製（ＳＵＳ、溶融亜鉛メッキ、樹脂製は除く）は原則として塗装を施すこと。 （２）行先表示等 ・分電盤、端子盤、制御盤、プルボックス、ハンドホール内の電線ケーブル類にはケーブルサイズ及び行先の表示を施すこと。 （３）セパレータ ・分電盤、端子盤、制御盤、コンセント内等に強電回路、弱電回路が混在する場合はセパレータを取り付けること。 （４）保護キャップ等 ・レースウェイ等のダクタークリップが、人が容易に近づける場所、高さ（おおよそ２ｍ以下）にある場合は保護キャップを取り付けること。 （５）躯体を貫通する場合、鉄筋探査機等を使用し鉄筋を切断しないよう施工すること。 （６）地中埋設配管には、埋設表示杭・シートを布設すること。 （７）地中埋設配管の埋設深さは、強電〈ＧＬ－７５０〉・弱電〈ＧＬ－６００〉とする。 （８）防火区画部は国土交通大臣認定工法にて防火区画処理を行うこと。
⑤ その他	（１）使用機械 ・低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 （２）測定機器の校正記録 ・工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。 （３）設計図書上に示すメーカー型番・姿図等は参考とする。

工事範囲

区分	項目	内容
◎ 電灯設備	電気方式　種別	○単相3 線式（２００／１００Ｖ）　◎単相2 線式（◎１００Ｖ ○２００Ｖ ○（　　　）Ｖ）
	工事範囲	◎配管　◎配線　◎機器取付　○ポール灯基礎工事
	配線器具	◎特別なものを除き大角型とする
	プレート	◎新金属　○ステンレス　○フルカラー（　　　）
	照明器具	◎器具は原則としてＬＥＤとし、省エネタイプとする ◎パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。
	フロアーコンセント	◎アップコン　○収納式（上下可動）　○固定式
	非常照明	○ＢＴ内蔵型　○ＢＴ別置き型
	照度測定	◎行う（各居室　３ポイント）　○行わない
◎ 電灯・動力幹線設備	電気方式	◎単相3 線式（２００／１００Ｖ）　○単相2 線式（２００Ｖ）　６０Hz ○三相3 線式（２００Ｖ）　６０Hz
	工事範囲	◎配管　◎配線　◎機器取付　◎引込　◎引込み工事負担金　○警報設備
	盤類形式	◎埋込み型　◎露出型　○民間仕様　◎盤内には、施工年月、請負者名、施工者名を記載する。
	雷サージ保護	○設置（・単相用・動力用）　◎設置しない　○ＳＰＤ（低圧用）　○クラスⅠ　○クラスⅡ
	その他	○警報設備　○動力設備
◎ 構内情報通信網設備	工事範囲	◎配管　◎配線　○リピータ　○ルーター　○HUB　○スイッチ　○メディアコンバータ ○ファイアーウォール　○時刻同期装置　○ネットワーク管理装置　○無線ＬＡＮ　○機器収納ラック ○ＬＡＮ受け口　○機器取付調整、試験
	ケーブル	◎ＵＴＰケーブル　○ＳＴＰケーブル　○光ファイバーケーブル
	受　口（ＣＡＴ５Ｅ）	◎壁付　○床付（上下動型（アップ式を含む））
	試験報告書	◎各配線の導通試験のデータ提出（減衰値・遅延時間差・伝搬遅延時間・ケーブル長等）
◎ 構内交換設備	工事範囲	◎配管　◎配線　○機器取付調整　○主装置　○電話機　○ＰＨＳ　○ＰＨＳ接続装置 ○多目的WC 呼出釦
	引込方法	◎架空　○地中
	受　口	◎壁付　○床付　◎６極4 心モジュラジャック　（仕様は配線器具に準ずる）
	交換機	○局線　回線　内線　回線
	電話器	○卓上　○壁掛　○回転ダイヤル　○プッシュダイヤル
◎ 拡声設備	工事範囲	◎配管　◎配線　◎機器取付　○消防立ち合い試験
	増幅器	◎業務用　○非常用　○防災業務兼用型　（３０W―５局）
	同上附属品	◎マイク（　本）○ＣＤプレーヤー○カセットデッキ○チャイム◎メロディーウィーク
	その他	○　室専用放送設備（増幅器　W―マイク・ＣＤプレーヤー・カセットデッキ・ワイヤレス受信機）
◎ インターホン設備	工事範囲	◎配管　◎配線　◎機器取付　○ＥＬＶ用配管配線
	種　別	◎住宅用　○業務用　○集合住宅　○ナースコール　◎身障者呼出装置
	通話方式	○交互通話　○親子式　○同時通話
	附属機能	○電気錠解錠　○ガス漏れ警報　○非常押釦
	その他	
◎ テレビ共聴設備	工事範囲	◎配管　◎配線　◎機器取付　○ＣＡＴＶ加入費
	アンテナ	○ＶＨＦ　○ＵＨＦ　○ＢＳ　○ＣＳ　○ＦＭ　○ＡＭ　◎ＣＡＴＶ　○自立型　○側面取付型
	受　口	◎直列ユニット７５Ω　○直列ユニット７５Ω×２　（仕様は配線器具に準ずる）
	電界強度測定	◎行う（アンテナ取付位置・末端ユニット２ヶ所）　○行わない
	電波障害調査	○行う（事前　ポイント、事後　ポイント）　◎行わない
	その他	○ケーブルは、３重シールド同軸ケーブルを使用とする（ＣＡＴＶメーカー対応品）
◎ 自動火災報知設備	工事範囲	◎配管　◎配線　◎機器取付　◎消防立ち合い試験
	受信機	Ｐ型　２級　５回線　◎単独　○複合型（防火扉　回線+ガス漏れ　回線）
	発信機	◎総合盤　○単独　○埋込型　◎露出型　◎防雨型
	ガス漏れ警報設備	○単独　○複合型　○ＬＰＧガス　○都市ガス
	その他	

電気設備工事指定資機材適用規格及びメーカーリスト

分　類	資機材名	適用範囲	規格・メーカー等
電線	電線、ケーブル類（エコ電線・ケーブルを優先使用）	一般配線工事に使用するもので、エコ電線・ケーブルのあるもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＣＳ（日本電線工業会規格）規格適合品
		上記以外の一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品
	耐火、耐熱電線	耐火・耐熱性を必要とする場所に使用するもの	●登録認定機関（（社）電線総合技術センター）または指定認定機関（（社）日本電線工業会（耐火・耐熱電線認定業務委員会））により認定または評定されたもの ●（社）日本電線工業会により自主認定（評定）されたもの
	圧着端子 裸圧着スリーブ	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品
電線保護物類	金属管、ＶＥ、ＰＦ、ＨＩＶＥ、ＦＥＰ、ＣＤ、合成樹脂製可とう管、可とう電線管、フロアダクト、各付属品	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＩＳ規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
配線器具	コンセント、スイッチ	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＩＳ規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
照明器具	蛍光灯器具（省エネ型を優先使用）		●ＪＩＳ規格適合品 ●（社）日本照明器具工業会標準（ＪＩＬ規格）適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
	非常用照明器具		●指定認定機関による型式適合認定または型式部材等製造者認証、を受けたもの ●（社）日本照明器具工業会の自主評定を受け、ＪＩＬ５５０１の適合マークが貼付されたもの
	誘導灯		●登録認定機関（（社）日本電気協会（ＪＥＡ誘導灯認定委員会））の認定を受け、認定証票が貼付されたもの
盤類	分電盤、実験盤		●ＪＩＳ規格適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
構内交換装置	交換機、局線中継台、電源装置、電話機		●登録認定機関（（財）電気通信端末機器審査協会（ＪＡＴＥ）等）の技術基準適合認定を受け、適合表示が貼付されたもの
拡声装置	非常用放送設備	非常用放送設備として使用するもの	●登録認定機関（日本消防検定協会）の認定を受け、認定証票が貼付されたもの
テレビ共同受信装置	アンテナ、ブースター、混合器、分波器、分岐器、分配器、テレビ端子、他	右記の認定品のあるもの	●優良住宅部品（ＢＬ部品）の認定を受けたもので、ＢＬマーク証紙が貼付されたもの又は当該品であると証明できるもの ●ＮＨＫ共同受信施設使用機材仕様規格適合機器の認定を受けたもので、証明するマークが貼付されたもの又は当該品であると証明できるもの ●ＪＥＩＴＡデジタルハイビジョン受信マーク登録品の認定を受けたもので、ＤＨマークが貼付されたもの又は当該品であると証明できるもの ●上記と同等であると認められるもの
自動火災報知装置	感知器、発信機、中継器、受信機、漏電火災警報器		●登録検定機関（日本消防検定協会）の検定を受け、検定合格証票が貼付されたもの
マンホール ハンドホール	蓋	鋳鉄製	※メーカーは「設備機材等評価名簿（機械設備機材評価名簿鋳鉄製ふた）」による
	桝	レディミクストコンクリート、セメント	●ＪＩＳ規格適合品
電柱	コンクリート柱		●ＪＩＳ規格適合品

注 ・「ＪＩＳ規格適合品」と指定された資材は、工業標準化法に基づく適合の表示（製品・包装の外面、容器の外面、結束荷札ごとの納品書にＪＩＳマーク表示、またはＪＩＳ規格証明書等の添付）のあるものをいう。
・「設備機材等評価名簿」とは、国土交通省官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（電気設備機材・機械設備機材）」の最新版をいう。ただし、納入地区及びアフターサービス地区に中部地区または近畿地区が含まれ、評価の有効期間内にある場合にのみ有効とする。
・「設備機材等評価名簿」に記載されていないメーカーの資機材を使用する場合は、評価基準と同じ条件を満たすことを証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。
・特殊仕様の資機材を使用する必要がある場合は、仕様、性能等を証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。

記号	名　称	備　考
VVS	引き込み開閉器盤	盤類結線図参照
◺	電灯分電盤	〃
⏚	接地極	
Ｓ	手元開閉器	
◎	照明器具　ポール灯照明	器具姿図参照
◯	〃　天井取付け	〃
○	〃　〃	〃
◯	〃　壁付け	〃
◐	〃　〃	〃
◎	〃　ダウンライト	〃
◉	〃　非常照明（バッテリー内蔵）	〃
⊗	誘導灯（バッテリー内蔵）	〃
∞	天井換気扇、壁付け換気扇（設備工事）	

記号	名　称	備　考
●～●●●	スイッチ　１Ｐ１５Ａ×１～６	新金属プレート
○	〃　１Ｐ１５Ａ（ONピカ・ネーム付）	〃
●３，●４	〃　３W１５Ａ、４W１５Ａ	〃
●ＡＳ	自動点滅器	
ⓈＫ	熱線センサー（親機）換気扇連動用	PANA=WTK2401K
Ⓢ	熱線センサー（子機）	PANA=WTK2910K
ⓈＫ	熱線センサー（親機）換気扇連動用	PANA=WTK2614K
⊖，⊖２	コンセント　２Ｐ１５Ａ×１、２Ｐ１５Ａ×２	新金属プレート
⊖２Ｅ	〃　２Ｐ１５Ａ．Ｅ×２＋Ｅ．Ｔ	〃
⊖Ｅ	〃　２Ｐ１００Ｖ－１５／２０Ａ＋Ｅ．Ｔ	〃
⊖Ｅ	〃　２Ｐ２００Ｖ－２０Ａ＋Ｅ．Ｔ	〃
▭	端子盤	別図参照
⊙	電話受け口（壁付）６極4 心モジュラジャック	カラープレート
Ⓛ	ＬＡＮ受口（壁付）CAT5E	新金属プレート
◎	テレビ受け口（７５Ω）	新金属プレート
ⓣ	インターホン（カラーモニター付き）	別図参照
Ⓓ	ドアホン　（カラーカメラ付き）	〃

メーカー型番は参考とする。

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. E―01	伊賀市八幡地内 電気設備　特記仕様書	Ａ１版 NS m／m
日付.		係　員

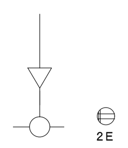
盤名称	結線図	回路番号	制御方式	分岐開閉器 ELB	MCB	P	AF／AT	電圧（V）	負荷容量（kw）	負荷名称	備考
SW−1（屋外防雨型）	1φ3W　CE−T 38°（51）露出										
			C		○	3	100／100	200/100		L−1	
	セパレート										

電　話	電話保安器3 個用スペース
CATV	CATV保安器スペース

盤名称	結線図	回路番号	制御方式	分岐開閉器 ELB	MCB	P	AF／AT	電圧（V）	負荷容量（VA）照明	コンセント	その他	備考
L−1	1φ3W 38° 3PELB 100/100											
		A	A		○	2	50／20	100			200	自火報受信機用電源
			A		○	2	50／20	100				
		1	A		○	2	50／20	200		2100		個室エアコン
		2	A		○	2	50／20	200		2100		個室エアコン
		3	A		○	2	50／20	200		1720		個室エアコン
		4	A		○	2	50／20	200		1970		個室エアコン
		1	A		○	2	50／20	100	740			
		2	A		○	2	50／20	100	1170			
		3	A		○	2	50／20	100	840			
			A		○	2	50／20	100				
		5	A		○	2	50／20	100		900		WC
		6	A		○	2	50／20	100		500		WC
		7	A		○	2	50／20	100		1500		洗濯室
		8	A		○	2	50／20	100		1000		湯沸室他
		9	A		○	2	50／20	100		1000		湯沸室他
		10	A		○	2	50／20	100		400		
		11	A		○	2	50／20	100		1500		
		12	A		○	2	50／20	100		400		
		13	A		○	2	50／20	100		400		電気温水器用電源
		14	A		○	2	50／20	100		400		
		15	A		○	2	50／20	100		500		
		16	A		○	2	50／20	100		1050		個室エアコン
	TOTAL≒21.2kvA	17	A		○	2	50／20	100		1050		個室エアコン
			A		○	2	50／20	100				
			A		○	2	50／20	100				
			A		○	2	50／20	100				

T−1
端子盤

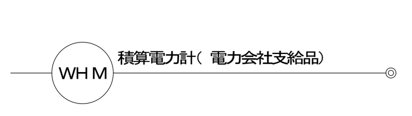
電　話	10P
情報ネットワーク	木板−600Wx800H
テレビ	右図参照
予　備	10P
備　考	AC100Vコンセント付き



CATV用40dBブースター	x 1
2分配器	x 1
AC100Vコンセント（2E）	x 1

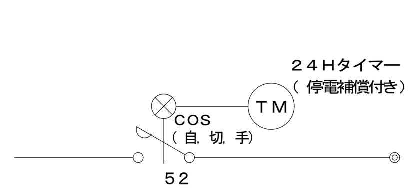
A

C

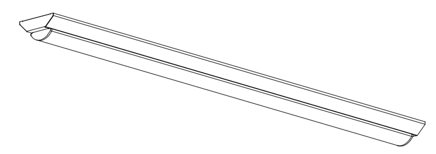


B

D



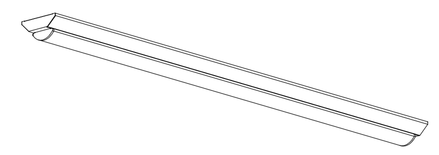
A　LED直付40形ベースライト
6900l m−43. 0W−160. 4l m/W



●寸法: 幅120×1，250×高53
●本体: 鋼板　白
●LEDバー: ポリカーボネート　乳白
●寿命: 40，000時間（光束維持率90％）
●相関色温度: 5000K　平均演色評価数（Ra）：83
●非調光
●質量: 1．8kg

東芝　LEKT412693N−LS9　相当品

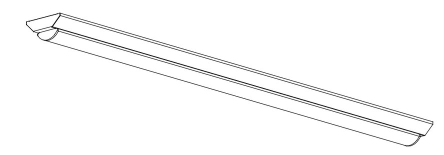
B　LED直付40形ベースライト
BG　LED直付40形ベースライト（ガード付き）
5200l m−32. 5W−160. 0l m/W



●寸法: 幅120×1，250×高53
●本体: 鋼板　白
●LEDバー: ポリカーボネート　乳白
●寿命: 40，000時間（光束維持率90％）
●相関色温度: 5000K　平均演色評価数（Ra）：83
●非調光
●質量: 1．8kg

東芝　LEKT412523N−LS9　相当品

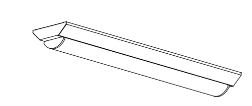
C　LED直付40形ベースライト
CG　LED直付40形ベースライト（ガード付き）
3200l m−19. 5W−164. 1l m/W



●寸法: 幅120×1，250×高53
●本体: 鋼板　白
●LEDバー: ポリカーボネート　乳白
●寿命: 40，000時間（光束維持率90％）
●相関色温度: 5000K　平均演色評価数（Ra）：83
●非調光
●質量: 1．8kg

東芝　LEKT412323N−LS9　相当品

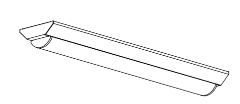
D　LED直付20形ベースライト
3200l m−21. 6W−148. 1l m/W



●寸法: 幅120×632×高さ53
●本体: 鋼板　白
●LEDバー: ポリカーボネート　乳白
●寿命: 40，000時間（光束維持率85％）
●相関色温度: 5000K　平均演色評価数（Ra）：83
●非調光
●質量: 1．1kg

東芝　LEKT212324N−LS9　相当品

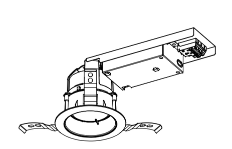
E　LED直付20形ベースライト
1600l m−11. 9W−134. 4l m/W



●寸法: 幅120×632×高さ53
●本体: 鋼板　白
●LEDバー: ポリカーボネート　乳白
●寿命: 40，000時間（光束維持率85％）
●相関色温度: 5000K　平均演色評価数（Ra）：83
●非調光
●質量: 1．1kg

東芝　LEKT212164N−LS9　相当品

F　LEDユニット交換形ダウンライト　一般形（広角タイプ）
1350l m−10. 6W−127. 3l m/W

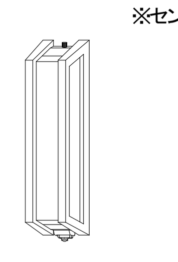


●埋込穴寸法: Φ100
●電源ユニット内蔵
●器具寸法: 幅115×271×埋込高99
●本体: アルミダイカスト
●化粧枠: プラスチック（バージンホワイト）
●反射板: バージンホワイト
●寿命: 40，000時間（光束維持率85％）
●相関色温度: 5000K　平均演色評価数（Ra）：83
●質量: 0．7kg

東芝　LEKD153013N−LS9　相当品

G　LEDポーチ灯　屋外用　防雨形　壁面取付け専用
420l m−6. 5W−64. 6l m/W

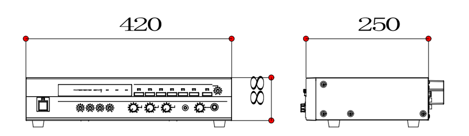
※センサースイッチ付き

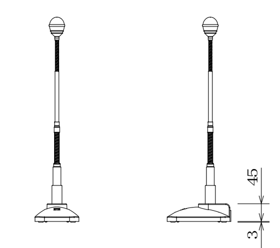


●寸法: 幅285×高90×出85
●本体: プラスチック（ライトグレー）
●セード：アクリル樹脂（乳白）
●ガード：プラスチック（ウォームシルバー）
●相関色温度: 2700K（電球色）
●平均演色評価数:（Ra）80
●光源寿命: 40，000時間
●質量: 0．8kg

東芝　LEDB87930YL（S）−LS　相当品

AMP　卓上型デジタルアンプ（30W−5局）卓上マイク付き



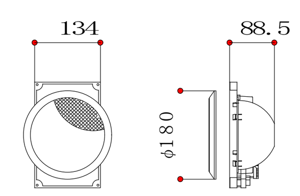


電　源	AC100V　50／60Hz
定格出力	30W
周波数特性	50Hz ～20kHz
入　力	マイク×3、ライン×2、ページング、チャイム、緊急
	リモコン
出　力	スピーカー（5局+一斉）、ライン、増設
機　能	優先放送機能、緊急制御、非常放送時遮断回路内蔵

参考型番−WM561

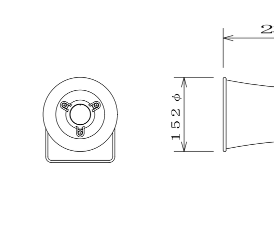
形　式	ダイナミック型
感　度	−56±3．5dB
周波数特性	120Hz ～10kHz
指向特性	ハイパーカーディオイド
出力インピーダンス	500Ω±30％（平衡）、1kHz

天井埋込スピーカ
天井埋込スピーカ（ATT付）



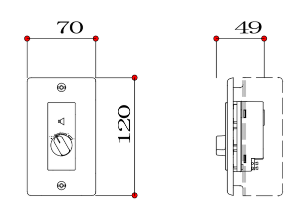
定格入力／種別	1W／L級
入力インピーダンス	10kΩ
周波数特性	120Hz ～15kHz
出力音圧レベル	94dB（1m／1W）
使用スピーカ	12cmコーンスピーカ
取付パネル	ネット：アルミパンチング、フレーム：ABS樹脂

トランペットスピーカー5W



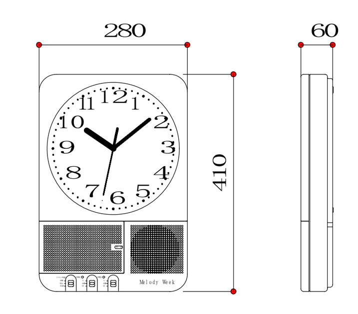
定格入力	5W
入力インピーダンス	2kΩ、3．3kΩ、10kΩ
周波数特性	400Hz ～7kHz
出力音圧レベル	104dB（1m／1W）

アッテネータ（0．5～6W）



入力容量	0．5W～6W
入力インピーダンス	20kΩ～1．67kΩ
音量調整	5段階
パネル	新金属
適合ボックス	JIS1個口用スイッチボックス

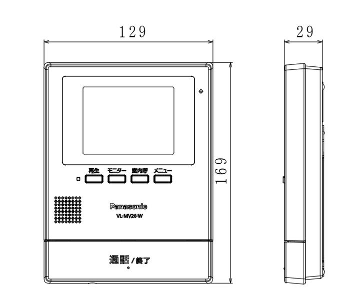
メロディーウィーク



※受信ユニット付

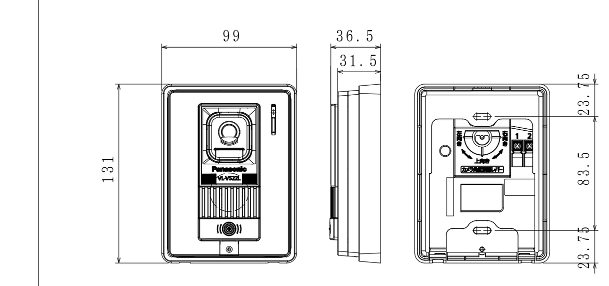
電源	AC100V／200V±10％　50Hz／60Hz
時間精度	標準電波受信により積算誤差0秒
受信電波	長波標準電波40KHz または60KHz
プログラム設定	周期: 週間　最大プログラム数: 120プログラム（回路ごと）
	最大年間休日設定数: 366日
メロディ信号	メロディ数: 8曲（録音メロディ4曲と固定メロディ4曲）
	固定メロディ：ウェストミンスター寺院の鐘・家路・アマリリス・ピンポーン

インターホン親機（モニタ付き）　1：1



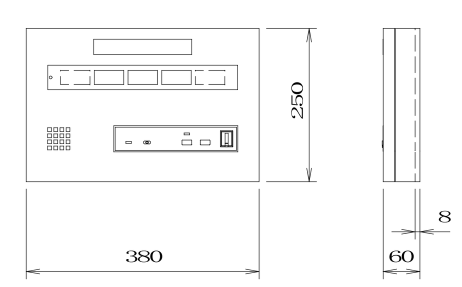
定　格	AC100V（50／60Hz）
消費電力	待ち受け時: 約1．6　W　動作時: 約7．5　W
質　量	約345　g
外観色調	ホワイト
画面表示	約3．5型から一液晶ディスプレイ

ドアホン子機（カラーカメラ付き）



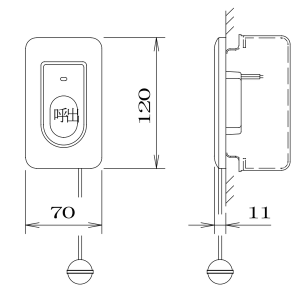
電源電圧	待ち受け時: DC　約5V、動作時: DC　約20V（ドアホン親機より供給）
消費電流	待ち受け時: DC　約2mA、動作時: DC約130mA
質　量	約200g
外観色調	表面パネル:　シルバー、側面:　ブラック
取付方法	露出型: JIS1　個用スイッチボックス（カバー付き）適合

NC　トイレ呼出表示器（3窓用）



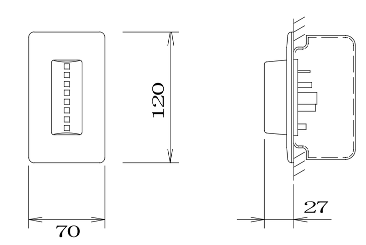
電源電圧	AC100V　50／60Hz　（内部電源DC12V）
形　状	壁取付型
材　質	SPCC t1．2
窓　数	15窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

N　トイレ呼出押ボタン



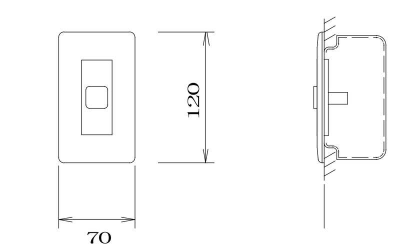
形　状	壁埋込型（JIS1 個用スイッチボックス）
材　質	自己消火性樹脂
備　考	引きひも式、押ボタン式両用

廊下灯



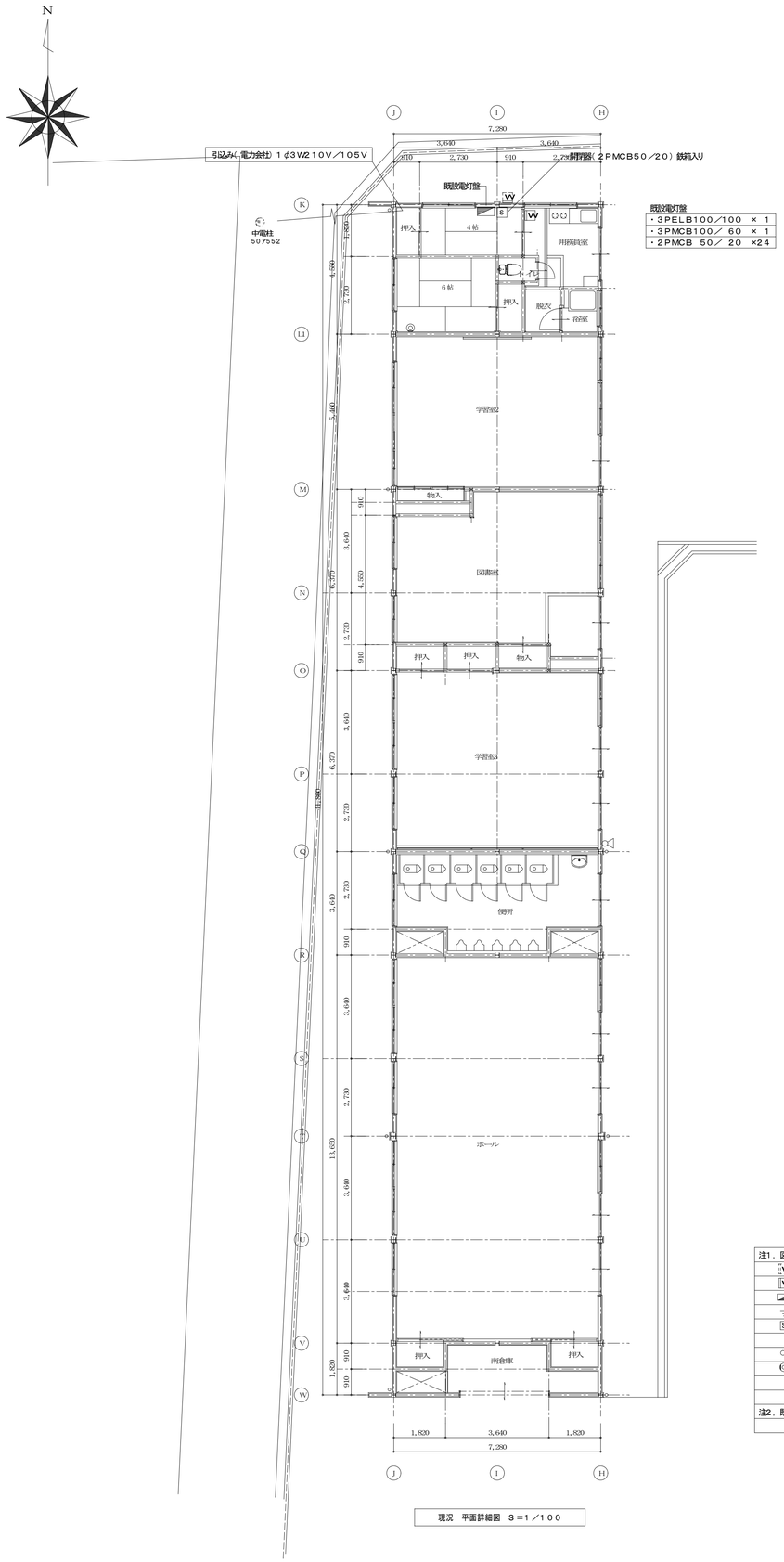
形　状	壁埋込形（JIS1 個用スイッチボックス）
材　質	パネル: ABS樹脂、ランプカバー: ポリカーボネート
表示灯	赤色LED

復旧ボタン



形　状	壁埋込形（JIS1 個用スイッチボックス）
材　質	パネル: ABS樹脂

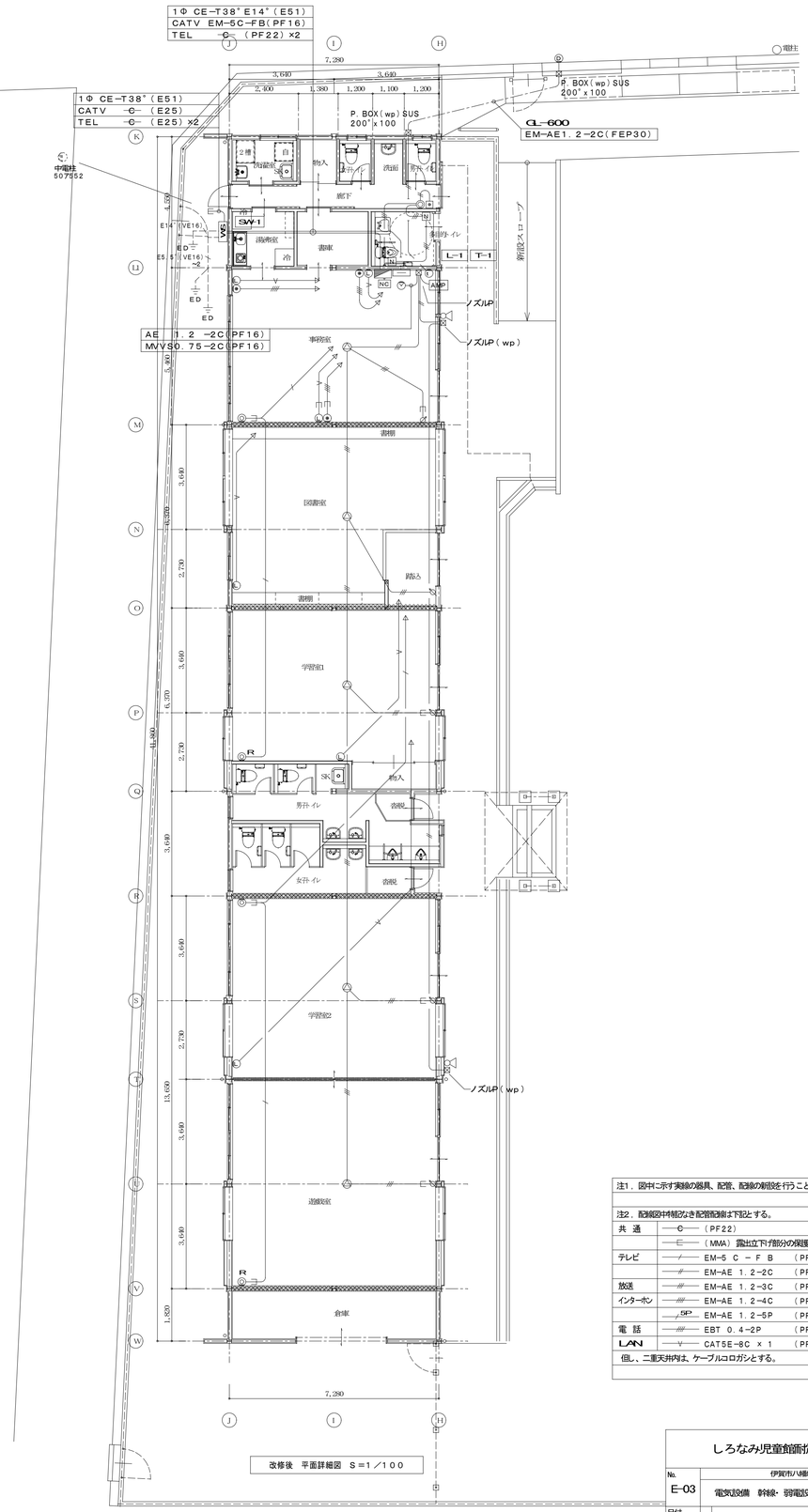
しろなみ児童館耐震補強工事		
No. E−02	伊賀市八幡地内 電気設備　盤類結線図・照明、弱電器具姿図	A1版 NS m/m
日付.		係　員



既設電灯盤
・3PELB100／100 × 1
・3PMCB100／ 60 × 1
・2PMCB 50／ 20 ×24

注1．図中に示す既設器具（実線のみ）の撤去を行うこと。		
	積算電力計（電力会社支給品）	
	積算電力計	
	電灯分電盤	
	接地線	
S	開閉器箱	
	トランペット 型スピーカ	
	テレビ受信口	
注2．既設器具撤去に伴い不要になった露出配管、配線の撤去を行うこと。		

現況　平面詳細図　S＝1／100

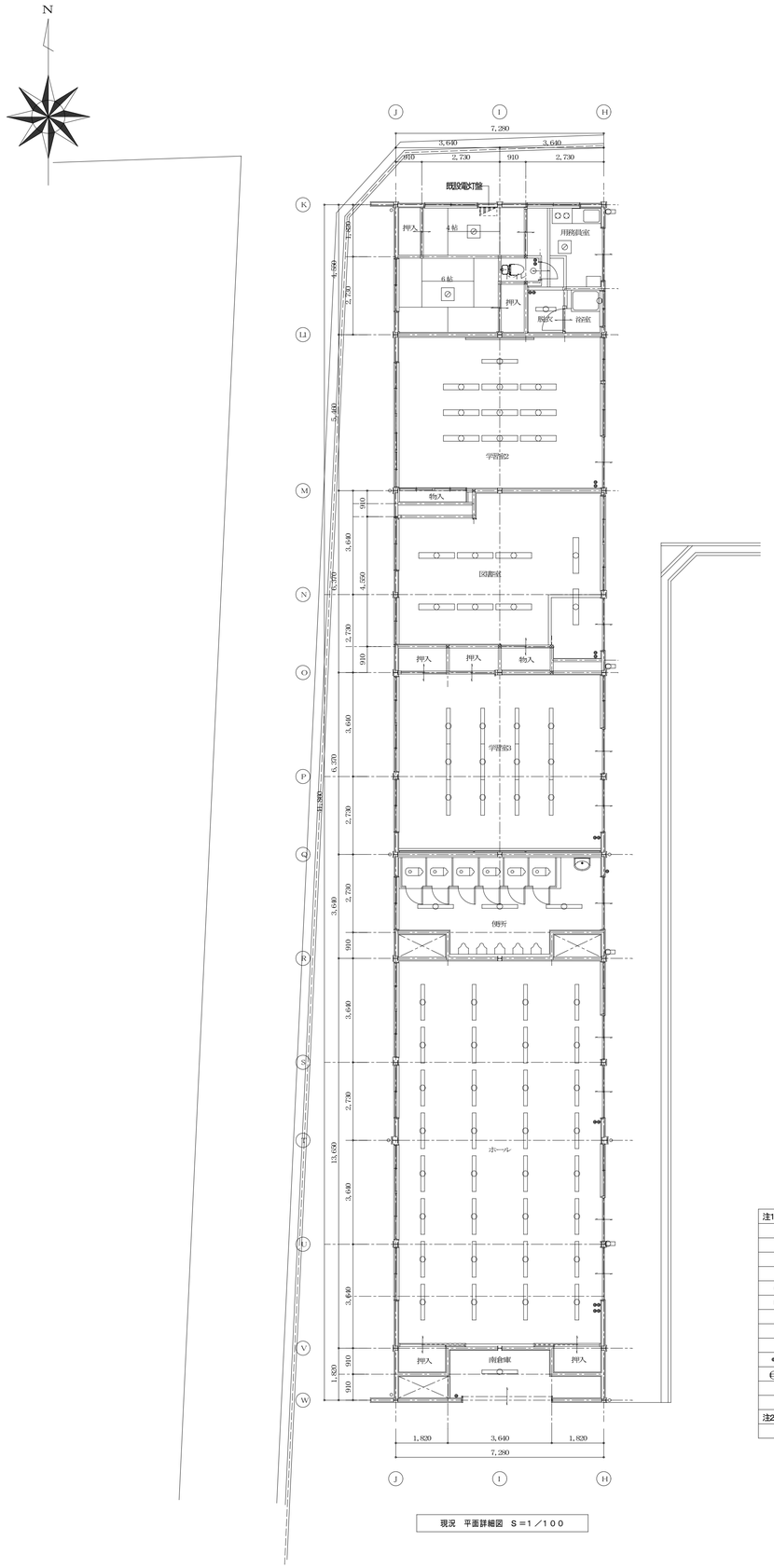


改修後　平面詳細図　S＝1／100

注1．図中に示す実線の器具、配管、配線の新設を行うこと。		
注2．配線図中特記なき配管配線は下記とする。		
共 通	C	（PF22）
	E	（MMA）露出立下げ部分の保護
テレビ	EM−5 C − F B	（PF16）
	EM−AE 1．2−2C	（PF16）
放送	EM−AE 1．2−3C	（PF16）
インターホン	EM−AE 1．2−4C	（PF16）
	SP EM−AE 1．2−5P	（PF22）
電 話	EBT 0．4−2P	（PF16）
LAN	CAT5E−8C × 1	（PF16）
但し、二重天井内は、ケーブルコロガシとする。		

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. E-03	伊賀市八幡地内 電気設備　幹線・弱電設備図	A１版 1/100 m/m
日付.		係 員

A3版1／200

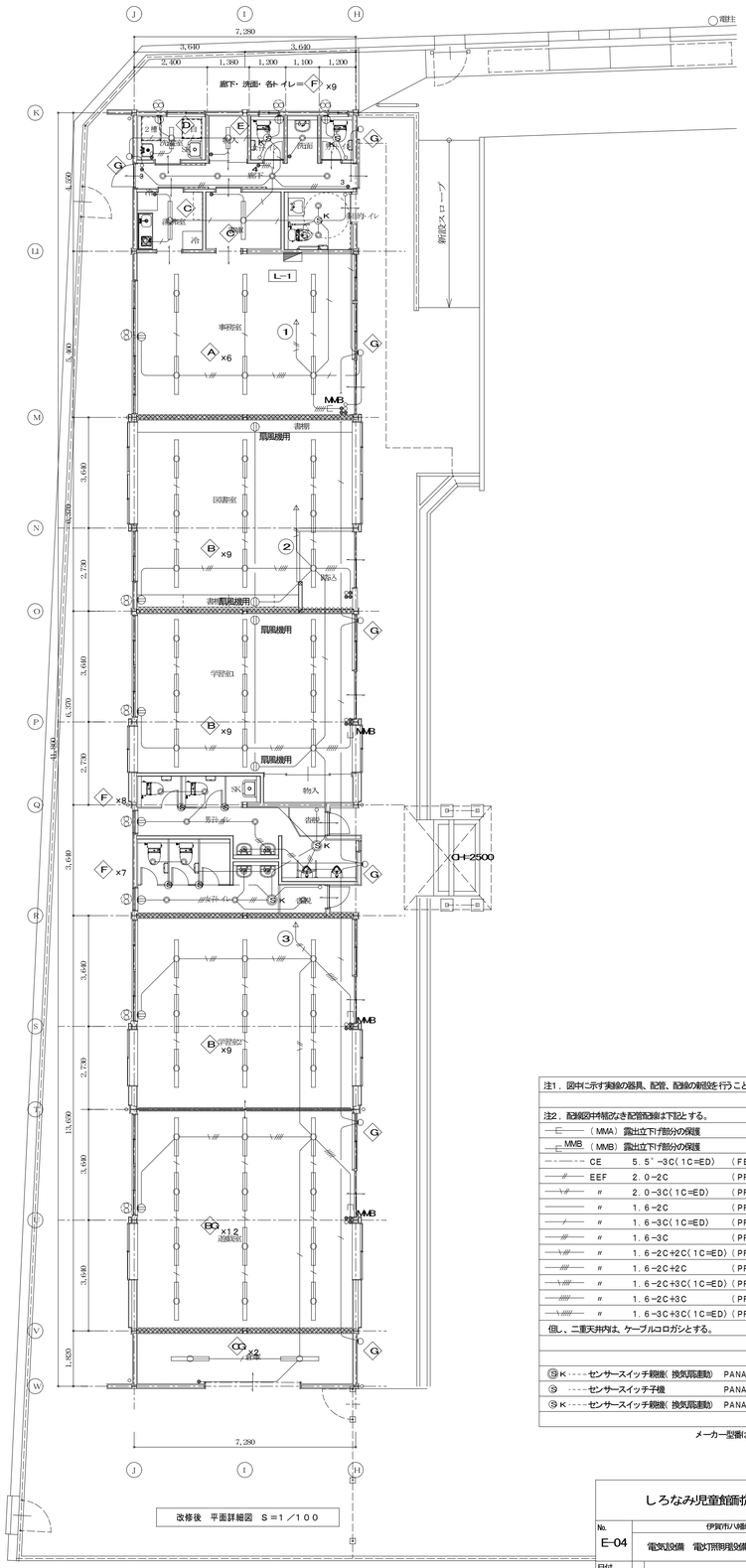


現況　平面詳細図　S＝1／100

注1．図中に示す既設器具の撤去を行うこと。

⊠ P	カバープレート（新金属）		
○	照明器具	ＩＬ－ ６０Ｗ× １	天井直付
○	照明器具	ＩＬ－ ６０Ｗ× １	壁付け
▭	〃	ＦＬ－ ２０Ｗ× １	天井直付
▭	〃	ＦＬ－ ４０Ｗ× １	〃
▭	〃	ＦＬ－ ４０Ｗ× ２	〃
▭	〃	ＦＬ－ ２０Ｗ× １	壁付け
⊘	〃	ＦＣＬ－３０Ｗ× ２	コードペンダント
● ～ ●●●	スイッチ		１Ｐ１５Ａ×１～６
⊖ ，⊖2	コンセント		２Ｐ１５Ａ×１，２

注2．既設器具撤去に伴いて要になった露出配管、配線の撤去を行うこと。



改修後　平面詳細図　S＝1／100

注1．図中に示す実線の器具、配管、配線の新設を行うこと。

注2．配線図中点線なき配管配線は下記とする。

E （MMA）露出立下り部分の保護		
E MMB （MMB）露出立下り部分の保護		
CE	５．５'－３Ｃ（１Ｃ＝ＥＤ）	（ＦＥＰ３０）
EEF	２．０－２Ｃ	（ＰＦ１６）
〃	２．０－３Ｃ（１Ｃ＝ＥＤ）	（ＰＦ１６）
〃	１．６－２Ｃ	（ＰＦ１６）
〃	１．６－３Ｃ（１Ｃ＝ＥＤ）	（ＰＦ１６）
〃	１．６－３Ｃ	（ＰＦ１６）
〃	１．６－２Ｃ＋２Ｃ（１Ｃ＝ＥＤ）	（ＰＦ２２）
〃	１．６－２Ｃ＋２Ｃ	（ＰＦ２２）
〃	１．６－２Ｃ＋３Ｃ（１Ｃ＝ＥＤ）	（ＰＦ２２）
〃	１．６－２Ｃ＋３Ｃ	（ＰＦ２２）
〃	１．６－３Ｃ＋３Ｃ（１Ｃ＝ＥＤ）	（ＰＦ２２）

但し、二重天井内は、ケーブルコロガシとする。

⑤K	センサースイッチ親機（換気扇連動）	PANA=WTK2401K
⑤	センサースイッチ子機	PANA=WTK2910K
⑤K	センサースイッチ親機（換気扇連動）	PANA=WTK2614K

メーカー型番は、参考とする。

しろなみ児童館耐震補強工事

伊賀市八幡地内

No. E-04

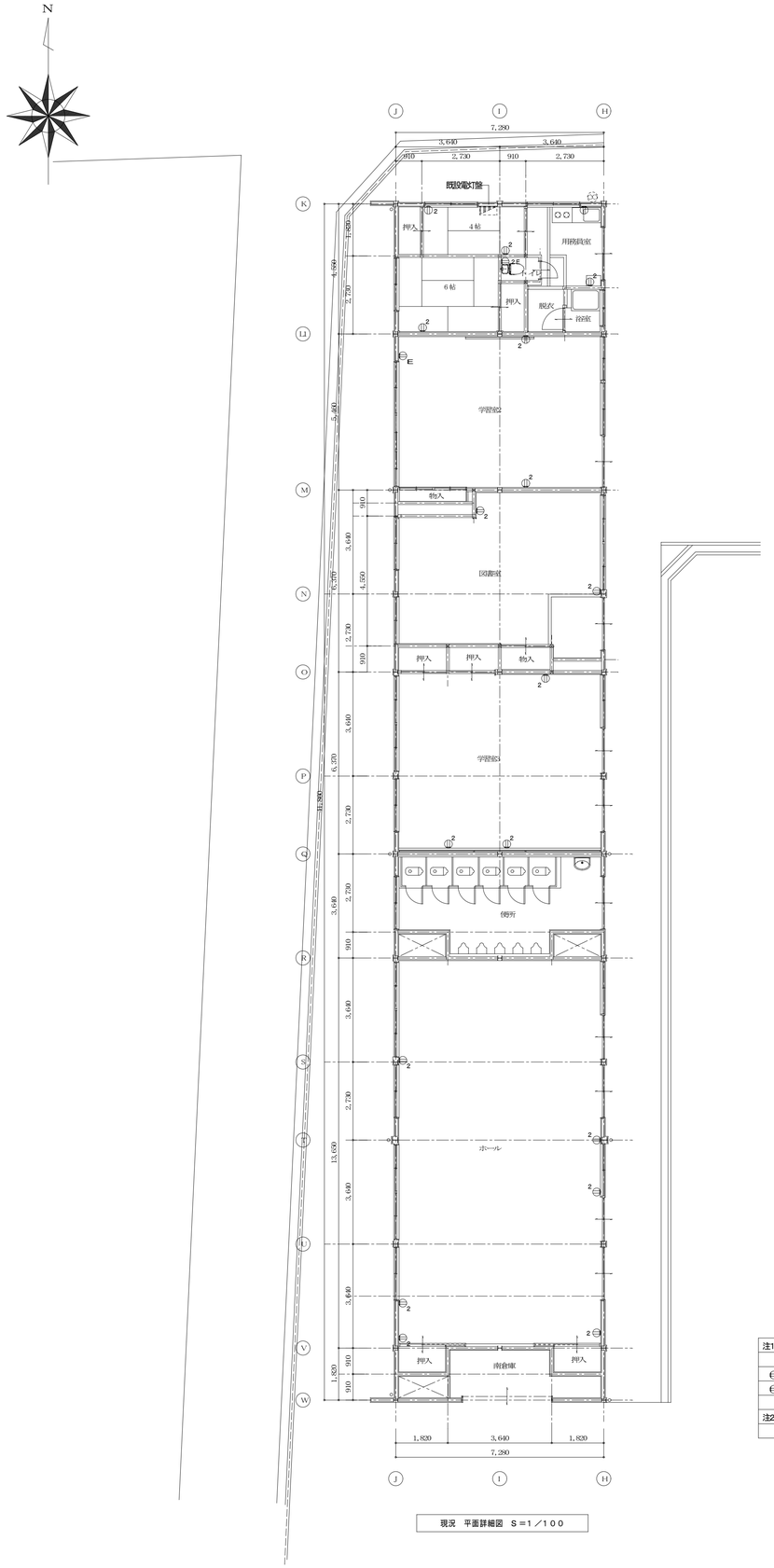
電気設備　電灯照明平面図

A１版 1/100 m/m

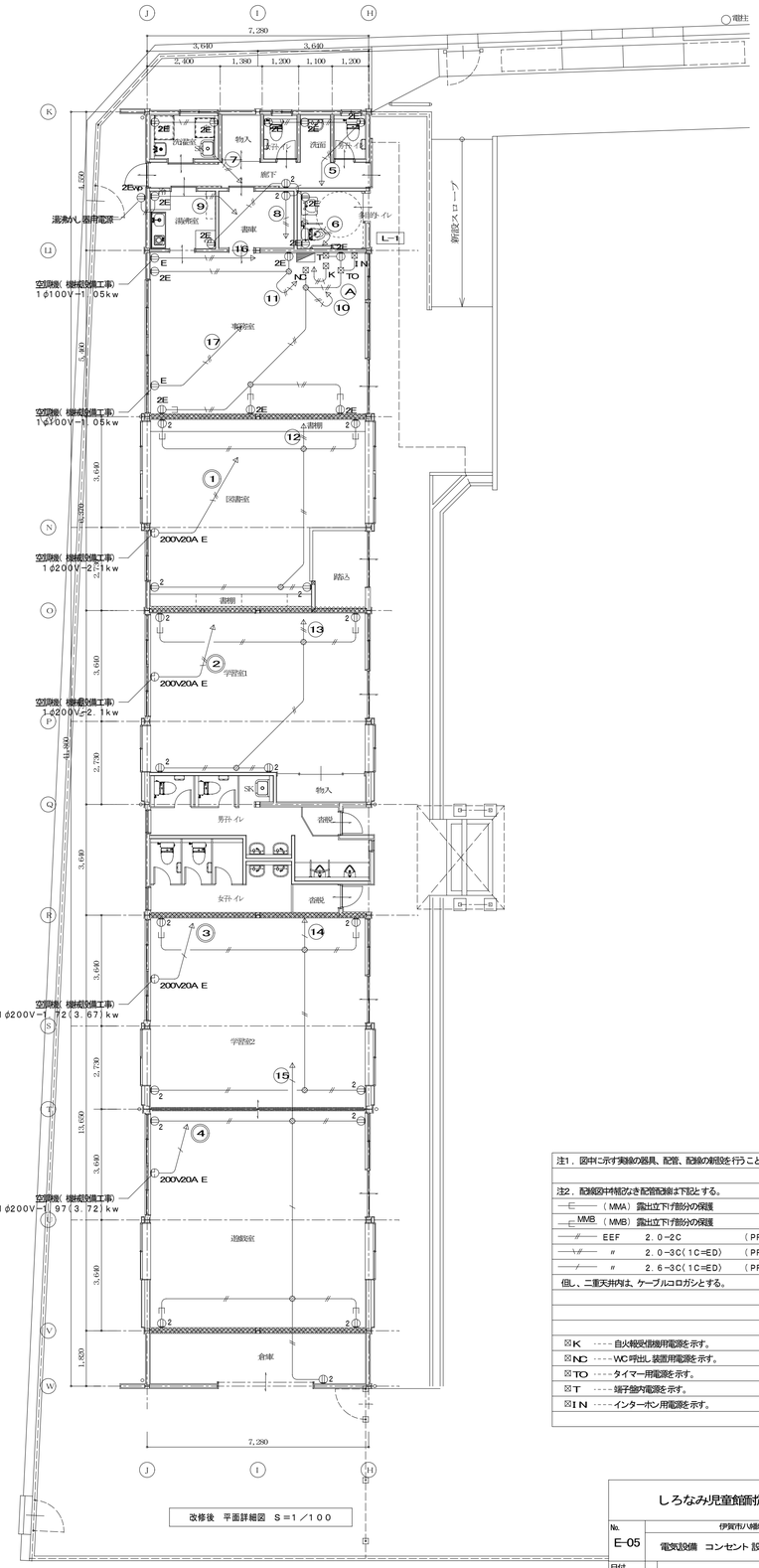
日付.

係　員

A3版1／200



現況　平面詳細図　S＝1／100



改修後　平面詳細図　S＝1／100

注1．図中に示す既設器具（実線のみ）の撤去を行うこと。

⊠ P	カバープレート（新金属）	
⊖ ，⊖2	コンセント	2P15A×1．2
⊖E，⊖2E	コンセント	2P15A×1+ET．2+ET

注2．既設器具撤去に伴い不要になった露出配管、配線の撤去を行うこと。

注1．図中に示す実線の器具、配管、配線の新設を行うこと。

注2．配線図中補記なき配管配線は下記とする。

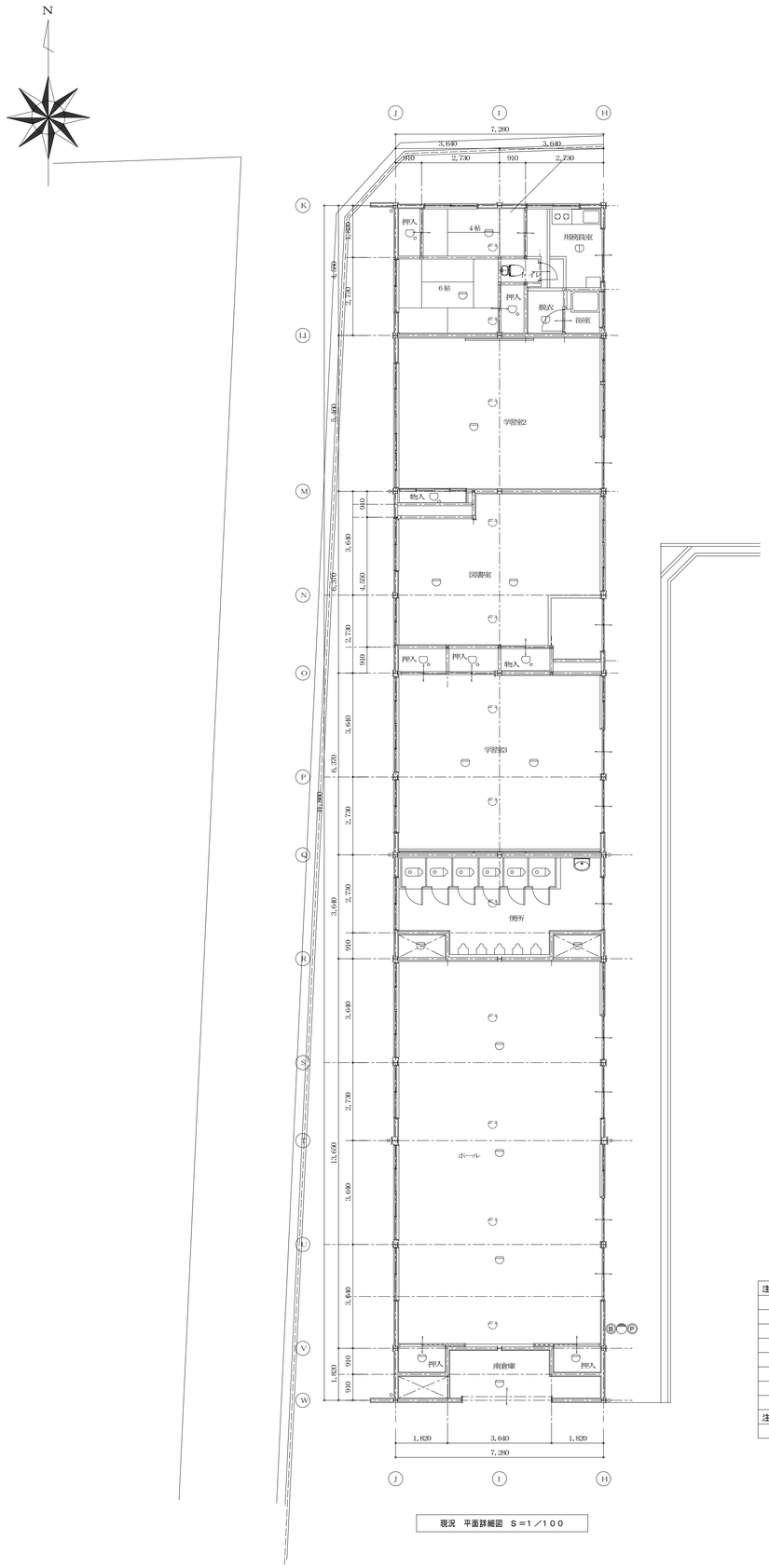
—E—	（MMA）露出立下り部分の保護	
—EMB—	（MMB）露出立下り部分の保護	
—//—	EEF　2．0−2C	（PF16）
—\//—	〃　2．0−3C（1C=ED）	（PF16）
—/—	〃　2．6−3C（1C=ED）	（PF16）

但し、二重天井内は、ケーブルコロガシとする。

⊠K　----自火報受信機用電源を示す。
⊠NC　----WC呼出し装置用電源を示す。
⊠TO　----タイマー用電源を示す。
⊠T　----端子箱内電源を示す。
⊠IN　----インターホン用電源を示す。

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. E-05	伊賀市八幡地内 電気設備　コンセント 設備図	A1版 1/100 m/m
日付.		係　員

A3版1／200

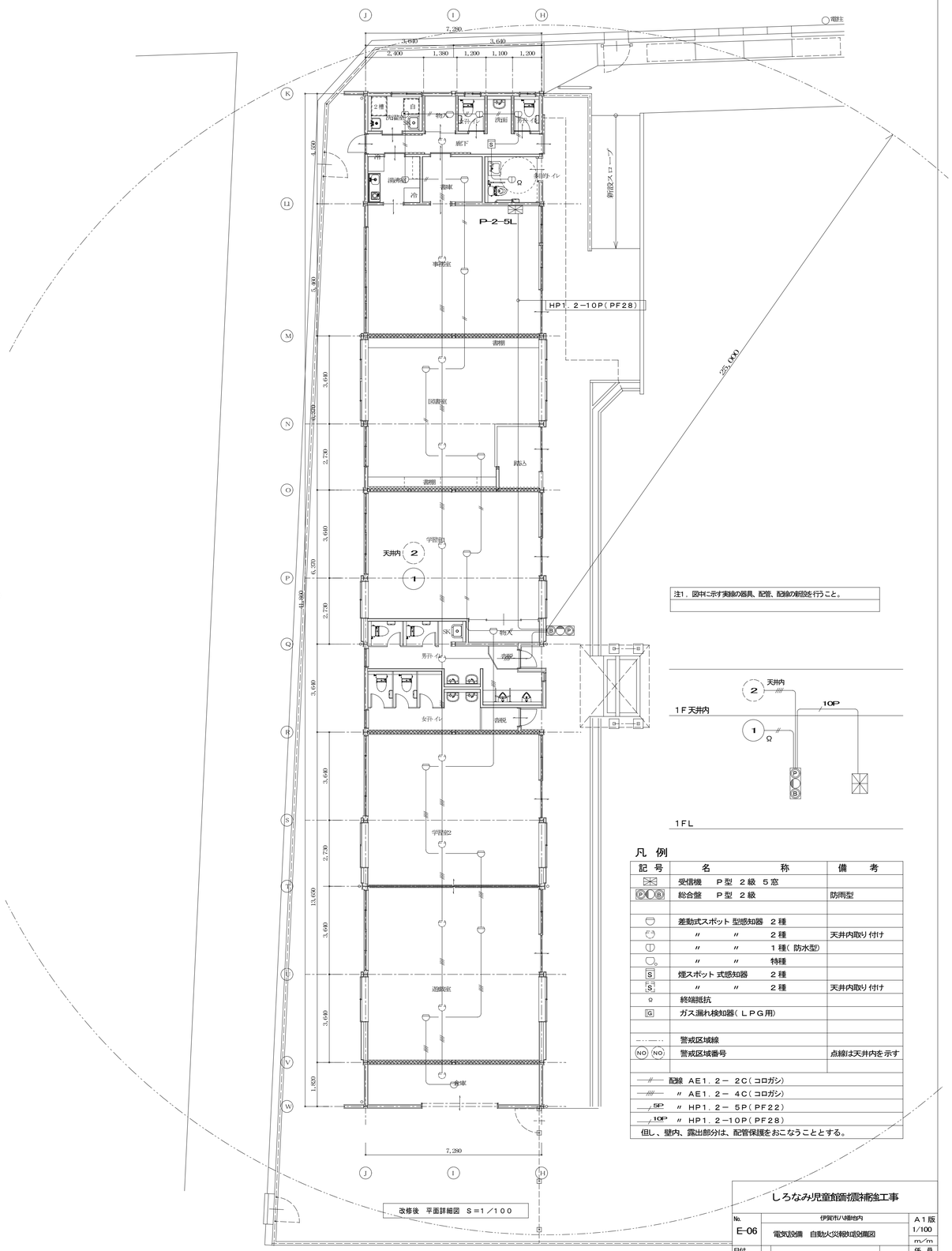


現況　平面詳細図　S＝1／100

注1．図中に示す既設器具（実線のみ）の撤去を行うこと。

Ⓟ	発信機　P型2級5窓	
◐	表示灯	
Ⓑ	電　鈴　150φ	
⊖	差動式スポット 型感知器	2種
⊕	〃　〃	1種（防水型）
○。	〃　〃	特種

注2．既設器具撤去に伴い不要になった露出配管、配線の撤去を行うこと。



改修後　平面詳細図　S＝1／100

注1．図中に示す実線の器具、配管、配線の新設を行うこと。

凡　例

記　号	名　　称	備　　考
⊠	受信機　P型　2級　5窓	
Ⓟ Ⓑ	総合盤　P型　2級	防雨型
⊖	差動式スポット 型感知器　2種	
⊕	〃　〃　2種	天井内取り付け
⊕	〃　〃　1種（防水型）	
○。	〃　〃　特種	
S	煙スポット 式感知器　2種	
S	〃　〃　2種	天井内取り付け
Ω	終端抵抗	
G	ガス漏れ検知器（LPG用）	
‥‥‥	警戒区域線	
NO NO	警戒区域番号	点線は天井内を示す
—//—	配線　AE1．2−　2C（コロガシ）	
—///—	〃　AE1．2−　4C（コロガシ）	
—5P—	〃　HP1．2−　5P（PF22）	
—10P—	〃　HP1．2−10P（PF28）	

但し、壁内、露出部分は、配管保護をおこなうこととする。

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. E-06	伊賀市八幡地内 電気設備　自動火災報知設備図	A1版 1/100 m/m
日付.	設計	係　員

A3版1／200

機械設備工事特記仕様書

◉印を付けたものを本工事に適用する。

建築概要

工事名称	しろなみ児童館耐震補強工事
工事場所	三重県伊賀市　地内　　＊建築仕様書参照

建物名称	構造	階数	延べ面積	備考
児童館	S造	1階建て		

一般事項

適用仕様書

- ◉ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」　※最新版
  - 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」　※最新版
  - 「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」　※最新版
  - 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」　※最新版
- ○ 空気調和・衛生工学会規格　「空気調和・衛生設備工事標準仕様書」
- ○ 日本建築家協会編　「建築設備工事共通仕様書」
- ◉ 所轄水道局　◉ ガス供給社内規　◉ 消防関係法規（所轄署指導要綱含む）　◉ その他関連法規

優先順位	1．現場説明事項・質疑応答書　　2．本特記仕様書　　3．設計図書　　4．工事共通仕様書
申請手続	工事に伴う官公署への申請・届出は請負者において行う。これに伴う費用も本工事の含む。
疑義	設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議する事。
変更	設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては、本工事に含むものとする。
工程表	実施工程表、月間工程表を関連業者間にて十分協議して作成し、監督員に提出する。
施工図	請負者は施工に先立ち、施工計画書、工種別施工要領書、施工図等を作成し、監督員と打ち合わせを行うこと。 施工図等の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討する。
機器及び材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、 その他諸資料を事前に届け出ること。　尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、 メーカーの選定にあったっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律 （グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に務める。
完成図書	工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報、材料検収簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等 とりまとめ提出すること。 完成原図１部，青焼Ａ３版２つ製本（文字入，表紙，背共）２部，青焼Ａ２版２つ製本（文字入，表紙，背共）２部，完成図面電子データＪＷＷ形式ＣＤＲ１枚
工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂版）一建築設備編」によるほか、監督員の指示により撮影し提出する。 全写真のサムネールを印刷そたもの（Ａ４版）１部，代表的写真を抽出し，Ｌ版相当サイズで印刷（Ａ４版用紙に１ページ３枚）印刷したもの１部
耐震措置	国土交通省住宅局建築指導課監修の「建築設備耐震設計・施工指針」による。
発生材処分	発生材を処分する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「再生資源の利用の促進に関する法律」に基づいて適正に 処理する。（マニフェストＡ、、Ｄ、Ｅの写しを提出すること） 建設リサイクル法（三重県指針）に基づき再生資源の十分な利用及び廃棄物の原料等を通じて、資源の有効な利用の確保 及び廃棄物の適正な処理を図り、もって生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与すること。
その他	工事に必要な又は支障となる既設配管、機器の脱着については、図面に記載なくても監督員の指示により行うこと。 工事着者前に漏水の有無を確認すること、又工事施工後の加圧試験等を監督員の指示により行うこと。

特記事項

- ◉ 地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設する。
- ◉ 機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように　「建築設備耐震設計指針」により施工する。
- ◉ 防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用すること。
- ◉ 建物導入配管（給水、ガス、消火）は充分な可撓製を有する変位吸収配管施工をおこなう。
- ○ 水密を要する部分はつば付スリーブ、地中に用いるスリーブはＶＰ管、他は紙製等のスリーブを使用することができる。
- ◉ 排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地３００mm以上、車両道路部６００mm以上とする。
- ◉ 既存コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
- ◉ 土間配管は土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。
- ◉ 屋外露出及び多湿箇所（トレンチピット等）の配管架台は、ＳＵＳ又はＳＳ溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
- ◉ 機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。
- ◉ 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー（ステンレス製）とする。

共通事項

保温工事

- ◉ 保温施工範囲は共通仕様書による。
- ◉ 保温施工種別
  - ◉ 共通仕様書による。
  - ◉ 下表による。（但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。）

屋内露出	グラスウール保温筒	合成樹脂カバー
屋外露出・多湿箇所	ポリスチレンフォーム保温筒	ステンレス鋼鈑仕上げ
天井・ＰＳ内・立上げ管	グラスウール保温筒	アルミガラスクロス
床下・暗渠内	グラスウール保温筒	防水麻布（アスファルトプライマー）

- ◉ 保温厚さ
  - ◉ 共通仕様書による。
  - ◉ 下表による。（但し機器、煙道は共通仕様書による。）

	８０Ａ以下	１００～１５０Ａ	２００Ａ以上
給排水管・給湯管・温水管・ドレン管 消火管（但し屋外・屋内露出のみ）	２０mm	２５mm	４０mm

	２５Ａ以下	３２～２００Ａ	２５０Ａ以上
冷水管・冷温水管	３０mm	４０mm	５０mm

- ◉ 冷媒配管の露出部は化粧ケース仕上げとする。

工事種別

	屋外	屋内		屋外	屋内
給排水衛生設備			空調設備		
給水設備	◉	◉	機器設備		◉
排水設備	◉	◉	配管設備		◉
衛生器具設備		◉	ダクト設備		○
給湯設備		◉	換気設備		◉
ガス設備		◉	排煙設備		○
消火設備		○	自動制御設備		○
ろ過設備		○			
浄化槽設備	○				

工事範囲

◉ 給水設備

- ◉ 給水方式
  - ◉ 水道直結方式
  - ○ 高架水槽方式　○ 市水　○
  - ○ 圧送方式　○ 圧力タンク　○ 回転数制御
- ○ 受水槽　本体
  - ○ ＦＲＰ製　○ 一体型　○ 複合板　○ 単板
  - ○ パネル型　○ 複合板　○ 単板
  - ○ ステンレス製　○ 一体型　○ パネル型
  - ○ 鋼鈑製　○ 一体型　○ パネル型
- ○ 高架水槽　本体
  - ○ ＦＲＰ製　○ 一体型　○ 複合板　○ 単板
  - ○ パネル型　○ 複合板　○ 単板
  - ○ ステンレス製　○ 一体型　○ パネル型
- ◉ 配管材料
  - ◉ ライニング鋼管　一般　○ ＶＡ　◉ ＶＢ　○ ＶＤ　○ ＰＡ　○ ＰＢ　○ ＰＤ
  - 地中　○ ＶＤ　○ ＰＤ　○ ＳＵＳ
  - ◉ 硬質ポリ塩化ビニル管　一般・地中　◉ ＨＩＶＰ　○ ＶＰ　○ ポリ管
  - ○ さや管工法　○ 架橋ポリ管　○
- ◉ 弁類
  - 直結部分　◉ 水道業者指定品
  - その他の部分　○ ＪＩＳ　５　ｋｇｆ／ｃｍ２　◉ ＪＩＳ　１０　ｋｇｆ／ｃｍ２
- ○ 量水器　○ 貸与品　○ 買取品（私設）
- ○ 引込加入、市納金等　○ 要　○ 別途工事　○ 本工事
  - ○ 不要
- ◉ その他
  - ◉ ウォーターハンマーが生じる恐れのある配管経路へは有効な防止機器を取付ける
  - ◉ 給水配管（ＨＩ）は抜け防止措置を施すこと　◉ 撤去工事も本工事とする

◉ 排水設備

- ◉ 排水方式
  - 屋内　◉ 分流方式　○ 合流方式
  - 屋外　◉ 分流方式　○ 合流方式
  - 雨水　○ 分流方式　◉ 合流方式
- ◉ 放流先
  - 汚水　○ 下水管　○ 浄化槽　○ 合併処理槽　◉ 既存桝
  - 雑排水　○ 下水管　○ 合併処理槽　○ 側溝又は河川　◉ 既存桝
  - 雨水　○ 雨水管　○ 調整池　○ 側溝又は河川　◉ 既存桝
- ◉ 配管材料
  - 屋内汚水管　○ メカニカル形排水鋳鉄管　○ 排水用塩ビライニング鋼管（可とう継手又はＭＤ継手）
  - ◉ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 耐火被覆ビニル管
  - 雑排水管　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 排水用塩ビライニング鋼管（可とう継手又はＭＤ継手）
  - ◉ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 耐火被覆ビニル管　○ 耐熱塩化ビニル管（ＨＴ）
  - 通気管　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　◉ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 耐火被覆ビニル管
  - 屋外排水管　○ 遠心力鉄筋コンクリート管　（外圧管　○ ２種　○ １種）
  - ◉ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　◉ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＵ）［１５０以上］
- ◉ 桝類　○ 公団形（Ｂ種）　○ 現場打ち　○ 市販桝　◉ 小口径　◉ ビニル桝
- ◉ その他　○ 各階に伸縮継手取付　◉ 撤去工事も本工事とする

◉ 衛生器具設備

- ◉ 大便器洗浄方式　○ ＦＶ　○ 節水形　○ 低圧形
  - ◉ 洗浄タンク
- ◉ 水栓　◉ 節水コマ（泡沫式は除く）　○ 普通コマ
- ◉ その他　○ 和風便器が防火区画を貫通する場合は耐火カバーを設ける。　◉ 撤去工事も本工事とする

◉ 給湯設備

- ◉ 給湯方式
  - ○ 中央式　○ ボイラー　○ 温水機　○ ガス給湯器　○ 電気温水器
  - ◉ 局所式　◉ ガス給湯器　○ 瞬間湯沸器　○ 電気温水器
- ◉ 配管材料
  - ○ 銅管　（○ Ｍ　○ Ｌ）　◉ 被覆銅管　（◉ Ｍ　○ Ｌ）　○ ステンレス鋼管
  - ○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管　○ 内外面耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管［土中、暗渠］
  - ○ 耐熱性硬質塩化ビニル管　○ さや管工法　（○ 架橋ポリ管　○　　）
- ◉ 燃料　◉ 都市ガス　○ ＬＰＧ　○ 灯油　○ Ａ重油　○ 電気
- ◉ その他　◉ 撤去工事も本工事とする

◉ ガス設備

- ◉ ガスの種別
  - ◉ 都市ガス　（種別　発熱量　ｋｃａｌ／ｍ３）
  - 供給事業者名　上野都市ガス
  - ○ 液化石油ガス　（発熱量　１２，０００ｋｃａｌ／ｋｇ）
- ◉ 配管材料
  - ○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ ビニル被覆鋼管［地中埋設部］　○ ポリエチレン被覆鋼管［地中埋設部］　○ ポリ管
  - ◉ 都市ガスの場合、供給事業者の仕様による。
- ○ ボンベ
  - ○ 別途工事　○ 本工事
  - ボンベ　（○ １０ｋｇ　○ ２０ｋｇ　○ ５０ｋｇ　○ バルク　本数（ｔ）
  - 転倒防止鎖等　（○ 本工事　○ 別途工事）
- ○ 気化装置　○ 要　○ 電気式　○
  - ○ 不要
- ○ メーター　○ 貸与品　○ 買取品
- ◉ ガス漏れ検警報器　◉ 本工事　○ 別途工事
  - ◉ 一般形　○ 自動遮断弁付
- ○ 引込納付金等　○ 要　○ 別途工事　○ 本工事
  - ○ 不要
- ◉ その他　◉ 撤去工事も本工事とする　◉ 撤去工事も本工事とする

○ 消火設備

- ○ 消火設備の種別
  - ○ 屋内消火栓　○ 屋外消火栓　○ スプリンクラー　○ 泡消火　○ 粉末内消火
  - ○ 連結送水管　○ 連結散水管　○ 移動粉末消火　○ フード消火　○ 消火器
- ○ 屋内消火栓箱　○ ＨＢ－１Ａ　○ ＨＢ－１Ｂ　○ ＨＢ－２Ａ　○ ＨＢ－２Ｂ
  - ○ ＨＢ－３Ａ　○ ＨＢ－３Ｂ　○ ＨＢ－４Ａ　○ ＨＢ－４Ｂ　○ Ｓ
- ○ 屋外消火栓箱　○ ＨＢ－２１　○ ＨＢ－２２
- ○ 連結送水管　○ ＨＢ－１１Ａ．Ｂ　○ ＨＢ－１２Ａ．Ｂ
- ○ 配管材料　○ 鋼管　（○ ＪＩＳ　Ｇ　３４５２　○ ＪＩＳ　Ｇ　３４５４）　◎ 消火用塩ビ外面被覆鋼管（ＶＦ）
- ○ 消火栓弁　○ ＪＩＳ　１０　ｋｇｆ／ｃｍ２
- ○ その他　○ 消火栓箱は指定色焼付塗装とする。

○ ろ過設備

- ○ ろ過方式　○ 砂　○ フィルター
- ○ 制御　○ 全自動　○ 手動
- ○ 配管材料　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管　○ 耐熱性硬質塩化ビニル管
- ○ その他　○

○ 浄化槽設備

- ○ 方式・容量　○ 合併　○ 単独
  - 算定人員　人槽　処理水量　ｍ３／日
- ○ 材質　○ ＦＲＰ製　○ コンクリート既製管　○ ＲＣ躯体
- ○ 補強スラブ　○ 要　○ 不要
- ○ その他　○

◉ 機器設備

- ○ 設計空気条件（指示なきは建設省建築設備設計基準による）

＜夏季＞	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度％
外気条件			
室内条件	２８．０		

＜冬季＞	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度％
外気条件			
室内条件	２０．０		

- ◉ 熱源機器　○ 冷温水発生機　○ チラー　（◉ 空冷ＨＰ　○ 空冷　○ 水冷ＨＰ　○ 水冷）
  - ○ 温水ボイラー　○ 氷蓄熱
- ◉ 放熱器　◉ ＥＨＰ　○ ＧＨＰ　○ ＦＣＵ　○ ＡＣＵ
- ○ その他　○

◉ 配管設備

- ◉ 配管方式　◉ 冷媒配管　○ 冷温水配管　○ 冷却水配管　○ 温水配管
- ◉ 配管材料　◉ 冷媒管　○ 冷媒用銅管　◉ 冷媒用被覆銅管
  - ○ 冷温水管　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
  - ○ 冷水・温水管　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
  - ○ 冷却水管　○ ライニング鋼管（○ ＶＡ　○ ＶＢ）　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）
  - ◉ ドレン管　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　◉ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　◉ 断熱ドレンホース
  - ○ 油管　○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　○ 外面塩ビ被覆鋼管
  - ○ 蒸気管　○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
- ○ 弁類　○ ＪＩＳ　５　ｋｇｆ／ｃｍ２　○ ＪＩＳ　１０　ｋｇｆ／ｃｍ２
  - 呼び径１００Ａ以上の弁は係員と協議の上バタフライ弁を使用してよい。
- ○ その他　○

○ ダクト設備

- ○ 風道　○ 低速風道　○ 高速風道
- ○ 風道材質　○ 亜鉛鉄板　○ 塩化ビニルライニング鋼鈑　○ ステンレス鋼鈑　○ グラスウールダクト　○ 消音フレキ
- ○ 吹出口・吸込口　○ アルミニウム製　○ 鋼鈑製（指定色焼付塗装）
- ○ その他　○

◉ 換気設備

- ◉ 換気方式　○ 集中換気　◉ 個別換気
- ◉ 風道　◉ 低速風道　○ 高速風道
- ◉ 風道材質　○ 亜鉛鉄板　○ 塩化ビニルライニング鋼鈑　○ ステンレス鋼鈑　○ 硬質塩化ビニル管（ＶＵ）　◉ スパイラルダクト
- ○ 吹出口・吸込口　○ アルミニウム製　○ 鋼鈑製（指定色焼付塗装）
- ○ 耐火被覆　○ 湯沸室排気ダクトについては法規に準じた耐火被覆を行う。
- ○ その他　○

○ 排煙設備

- ○ 風道材質　○ 亜鉛鉄板　○ 普通鋼鈑（厚１．６mm）
- ○ 排煙口　○ 天井取付　（○ スリット形　○ スイング形）
- ○ 排煙口開放装置　○ 手動　○ 手動及び遠隔操作可能なもの
- ○ 復帰方式　○ 遠隔形　○ 手元形
- ○ 排煙風量測定　○ 建築設備定期検査業務指導書（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。
- ○ その他　○

○ 自動制御設備

- ○ 制御方式　○ 電子　○ 電気　○ 空気
- ○ その他　○

メーカーリスト

下記リスト以外の選定は係員の承認を必要とする。

管	継手共	水マーク表示品／ＷＳＰ表示品／ＪＩＳマーク表示品／ＨＡＳＳ表示品／ＪＰＦ規格品／ＳＡＳ規格品
弁	青銅弁・鋳鉄弁	ＪＩＳマーク表示品
保温材	ＲＷ・ＧＷ保温材	ＪＩＳマーク表示品
ポンプ	ポンプ類	評価事業名簿による
衛生器具	衛生器具類	ＪＩＳマーク表示品　　ＪＩＳ規格以外：ＩＮＡＸ／ＴＯＴＯ
水槽	ＦＲＰ水槽	積水プラント／日立化成／ブリジストン／三菱樹脂
	鉄パネル水槽	積水プラント／ブリジストン
桝	桝類（公団型）	協和コンクリート／桑名工業／昭和工業／ネオジオ／丸八産業
	桝類（塩ビ桝）	日本下水道協会、排水設備用樹脂製マス協会規格対象品又は準拠品
鋳鉄製品	排水金物	オオタケファンドリー／カネソウ／ダイドレ／中部コーポレーション／南濃鋳工／福西鋳物／ホクキャスト
	鋳鉄製蓋	評価事業名簿による
量水器	量水器	愛知時計電機／金門製作所／リコーエレメック
ガス器具	ガス配管器具	伊藤工機／桂精機製作所／藤井合金製作所／富士工器
	ガス給湯器（都市ガス）	ガス供給者の承認する製造者の製品
	ガス給湯器（ＬＰＧ）	「ガス事業法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき、省令による証票を付したもの
ガス警報	ガス警報システム	金門製作所／富士工器／富士電機／松下電工／矢崎総業
厨房機器	厨房システム	評価事業名簿による
濾過装置	濾過機	オルガノ／栗田工業／サンエイ工業／三協／三進ろ過工業／タクマ／理水化学工業
滅菌機	滅菌機	磯村製作所／オーヤラックス／水道機工／日本曹達
消火設備	消火栓類	立売堀製作所／岸本産業／北浦製作所／村上製作所／横井製作所
	消火栓ホース	日本消防検定協会の合格表示品
	スプリンクラー・泡消火	ノーミ／ニッタン／日本ドライケミカル／能美防災／ホーチキ
	特殊ガス消火	川重防災工業／セコム／日昭・林テクノス／日信防災／ニッタン／能美防災
浄化槽	合併浄化槽（ＲＣ造）	神鋼パンテック／ダイキ／東海不二工業／西原ネオ工業／フジクリーン工業／藤吉工業
	合併浄化槽（ＦＲＰ製）	建設大臣型式認定品
簡易水洗	クリーントイレ	ＩＮＡＸ／積水化学工業／ネポン／日立化成工業／松下電器産業／ロンシール
ブロア	ブロア	朝日機工／アンレット／新明和工業／安永
グリストラップ	グリス・ガソリントラップ	カネソウ／栗本鐵工所／下田機工／積水プラントシステム
製缶類	製缶類・熱交換器	島倉鉄工所／広島鉄工／ベルテクノ／前田鉄工所／前田鉄工所（四日市）／森松工業
空気調和機	パッケージ形空調機	ダイキン工業／東芝／日立製作所／松下電器産業／三菱重工業／三菱電機
	ガスエンジン空調機	アイシン／三洋／三菱重工／ヤンマー
防振装置	防振材・防振装置	倉敷化工／高砂ゴム／特許機器／ブリヂストン／明和ゴム化成
加湿器	加湿器	ウェットマスター／ピーエス工業／山武軽装
送風機	送風機類	評価事業名簿による
換気扇	換気扇類	栗田工業／東芝／日立製作所／パナソニックエコシステムズ／三菱電機
ダクト付属品	吹出口・吸込口	空研工業／新晃工業／トーキン／錦興業
	風量ユニット	エアコンスター／クボタ／新晃工業／東プレ
ダクト	亜鉛鉄板	ＪＩＳ規格品
	ステンレス鋼鈑	ＪＩＳ規格品
	スパイラルダクト	大阪ラセン管工業／栗本鐵工所／泰弘／富士空調工業／フジモリ産業
	フレキダクト	アライ実業／オーツカ／栗本鐵工所
自動制御	自動制御機器	トキメックランデイスギア／山武ハネウェル／横河ジョンソンコントロールズ

しろなみ児童館耐震補強工事

No.	伊賀市八幡地内	A1版
M-01	機械設備 特記仕様書	N/S m/m
日付.	設計	係員

A3版N/S

凡　　例

記　号	名　称	記　号	名　称	記　号	名　称
——— - ———	給水管	GV	仕切弁		床上掃除口
———	屋外排水管		給水栓	———	撤去機器・配管類を示す
———	汚水・雑排水管		フラッシュ弁	- - - - - - - - -	既設機器・配管類を示す
- - - - - - - - -	通気管				

衛 生 機 器 表

記　号	機 器 名 称	機　器　仕　様	電　源 φ－V	電　源 kW	設 置 場 所	台 数	備　　考
GW－1	ガス給湯器（屋外壁掛形１６号）	給湯専用　都市ガス用　ガス消費量３３．４kW　加熱定格能力３０．０kW	1φ100V	57W	屋外	1	
		メインリモコン，リモコンコード，配管カバー（L＝600程度）　他付属品共					

特記なき機器はメーカーは標準仕様とする。

衛 生 器 具 表

名　称	参考品番（上部：TOTO） 参考品番（下部：LIXIL）	合計	男子トイレ	女子トイレ	職員男子トイレ	洗面	職員女子トイレ	多目的トイレ	洗濯室	湯沸室	手洗い・足洗い
洋風便器	CS597BCS，SH596BAYR，TC291（普通便座），YH702（二連紙巻器） BC－P20SM，DT－PA250CHTK，CF39AT（普通便座），CF－008－1，CF－63HST（二連紙巻器）	6	2	2	1		1				
洋風便器	CS20AB，SH30BA，TCF5840AMPR（温水器付洗浄便座：蓋なし），YH702（二連紙巻器） BC－220SK，DT－K250，CW－PC12QD－NECK（温水器付洗浄便座：蓋なし），CW－201TJ，CF－008－1，CF－63HST（二連紙巻器）	1						1			
L型手すり	T112CL10，固定金具共 KF－920AE70D12，固定金具共	1						1			
はねあげ手すり	T112HK8R，固定金具共 KF－471EH70，固定金具共	1						1			
小便器	UFH507CR，TG60PN U－321RM，UF－3JT，UF－300WP	2	2								
小便器用手すり	T112CU22，固定金具共 KF－701AE，固定金具共	1	1								
掃除流し	SK22A，T23AE20C，T37SGEP，TN114，T9R，TK22，HH04060 S－202A，LF－7KE－19，SF－20SAF－P（AY），SF－202，SF－10E（AY）	2	1						1		
カウンター一体型洗面器	L270CM，TEN77G1（自動単水栓），T7SW1，T6BR，T156PH，TL220D，TS126AR（水石鹸入れ），HH04060 L－275FCRS，AM－211V1（自動単水栓），LF－275SAU，SF－10E，KF－30DN，KF－24F（水石鹸入れ）	1						1			
洗面器	L210C，TLS01101J（単水栓），T6PM1，TL4CFU，TL250D，HH04060 L－176UP，LF－E02（単水栓），LF－3V，LF－5PAU，SF－10E（AY），AY－55DN	5	2	2		1					
洗濯用流し	SK507，TKS05311J（混合水栓），T9R，T8C，TK40P S－21S，SF－WM435SY（170），SF－21PAM，SF－10E，LF－6L	1							1		
洗濯機パン	PWP640N2W，PJ2009NW PF－6464AC／L11，TP－51	1							1		
洗濯機パン	PWP800N2W，PJ2009NW PF－8064AC／L11－BL，TP－51	1							1		
化粧鏡	YM4575A（450X750） KF－W450H750	6	2	2		1		1			
洗濯機用水栓	TW11R LF－WJ50KQ	2							2		
横水栓	T200SNR13C LF－7R－13	4									4
横水栓	T23BNR13C LF－7K－13	2									2
ガス漏れ警報器	都市ガス用（1φ100V）	1								1	
ミニキッチン：建築工事	混合水栓，排水金具，天井換気扇，ガスコンロ　他付属品共									(1)	

凡　　例

記　号	名　称	記　号	名　称	記　号	名　称
——— R ———	冷媒管：冷媒用保温付被覆銅管		空調室内機	●	空調リモコンスイッチ
——— D ———	ドレン管：硬質ポリ塩化ビニル管		空調室外機		パイプフード
	スパイラルダクト		天井換気扇・排気ファン	———	撤去機器・配管類を示す
	ダクト（保温施工範囲を示す） スパイラルダクト		吹出・吸込口	- - - - - - - - -	既設機器・配管類を示す

空 調 機 器 表

記　号	機器名称	形　式　・　仕　様		電気容量 相 (φ)	電気容量 電圧 (V)	電気容量 圧縮機 (kW)	電気容量 送風機 内 (kW)	電気容量 送風機 外 (kW)	台数	備　　考
ACP－1	ヒートポンプ式	形　式	壁掛形	1	200	1．50	0．046	0．05	1	設置場所：学習室2
	ルームエアコン	冷房能力	5．6（0．6～6．0）　kW							
		暖房能力	6．7（0．6～10．2）　kW							
		冷房消費電力	1．72（0．105～2．02）kW							
		暖房消費電力	1．58（0．105～3．67）kW							
		低温最大暖房消費電力	3．25　kW							
		付　属　品	ワイヤレスリモコンスイッチ，他付属品一式							
		基　礎	市販コンクリート架台＋防振ゴム							
ACP－2	ヒートポンプ式	形　式	壁掛形	1	200	1．70	0．046	0．05	1	設置場所：遊戯室
	ルームエアコン	冷房能力	6．3（0．6～6．5）　kW							
		暖房能力	7．1（0．6～11．2）　kW							
		冷房消費電力	1．97（0．105～2．19）kW							
		暖房消費電力	1．84（0．105～3．72）kW							
		低温最大暖房消費電力	3．30　kW							
		付　属　品	ワイヤレスリモコンスイッチ，他付属品一式							
		基　礎	市販コンクリート架台							

注　記　運転特性、能力はＪＩＳ条件による。
冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。
室外機－室内機間の２次側配線は既設流用とする。
電源容量値は参考とする。
空調機は省エネタイプを仕様すること。
機器は同等品以上とする。

換 気 機 器 表

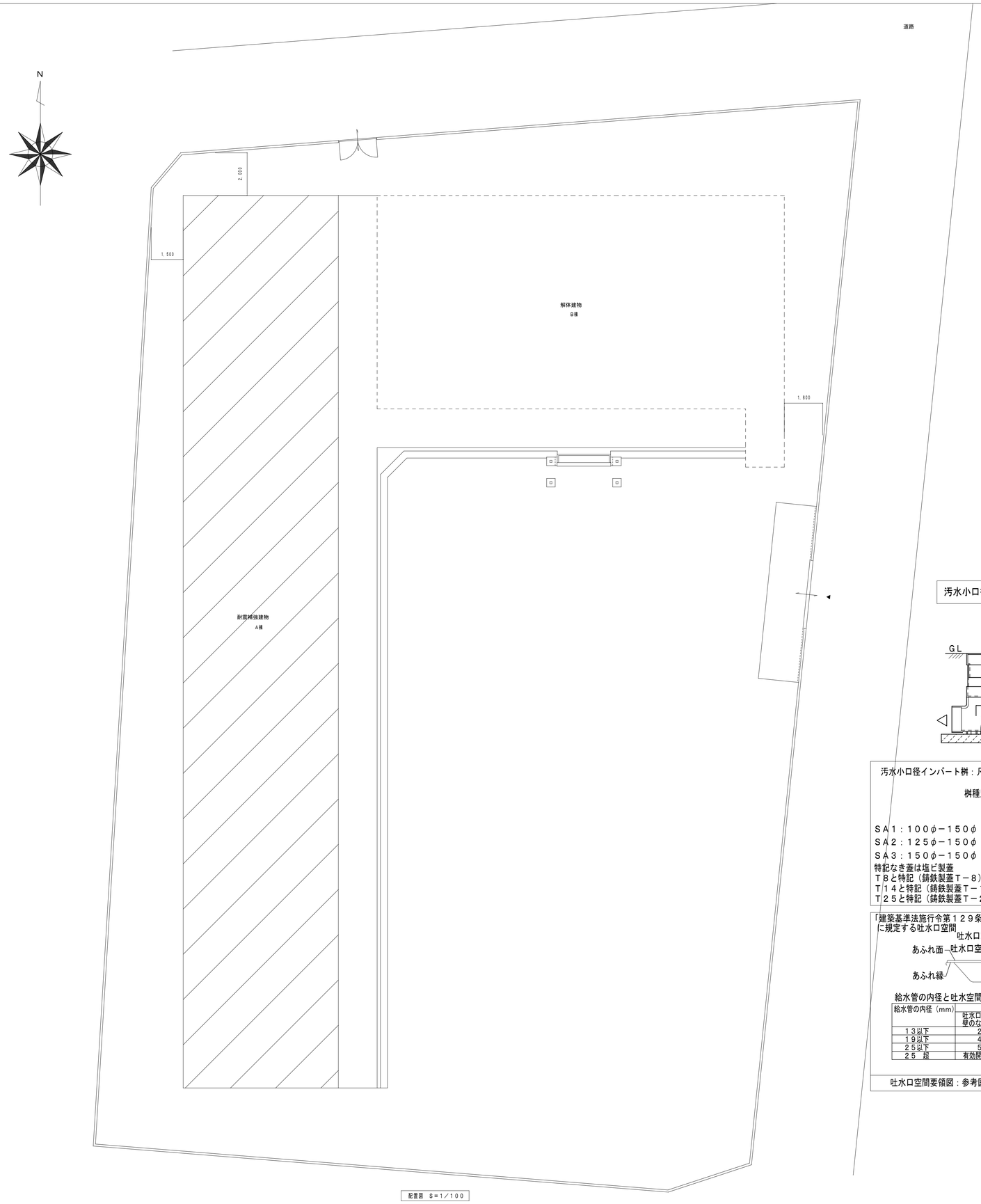
記　号	機器名称	形　式　・　仕　様		電気容量 相 (φ)	電気容量 電圧 (V)	電気容量 消費電力 (W)	台数	備　　考
VF－1	天井換気扇	形　式	低騒音形	1	100	15．5	1	設置場所：多目的便所
		風　量	120　m3／h					参考品番：VD－15Z10
		ダクト径	100　φ					
		静　圧	30　Pa					
		付　属　品	天吊防振金具，その他付属品共					
VF－2	パイプ用ファン	形　式	角形格子グリル	1	100	9．5	5	設置場所：事務室，図書室，学習室1
		風　量	200　m3／h					学習室2，遊戯室
		ダクト径	200　φ					参考品番：V－20PSD2
		静　圧	5　Pa					
		付　属　品	パイプスリーブ，その他付属品共					
VF－3	パイプ用ファン	形　式	角形格子グリル	1	100	4．6	3	設置場所：男子トイレ，女子トイレ
		風　量	60　m3／h					洗濯室
		ダクト径	100　φ					参考品番：V－08PS7
		静　圧	5　Pa					
		付　属　品	パイプスリーブ，その他付属品共					
VF－4	パイプ用ファン	形　式	角形格子グリル	1	100	13．0	2	設置場所：男子トイレ，女子トイレ
		風　量	280　m3／h					参考品番：V－20PXS4
		ダクト径	200　φ					
		静　圧	4　Pa					
		付　属　品	その他付属品共					
	SUS製深形パイプフード：ガラリ付　100φ						5	
	SUS製深形パイプフード：ガラリ付　200φ						7	

電源容量は参考数値とする。

しろなみ児童館耐震補強工事

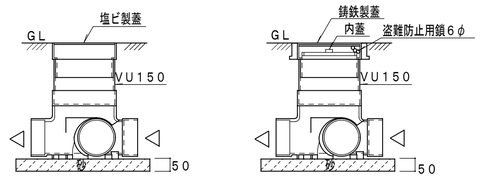
No.	伊賀市八幡地内	A1版 N/S
M-02	機械設備 凡例・器具機器表	m/m
日付.	設計	係　員

A3版N/S

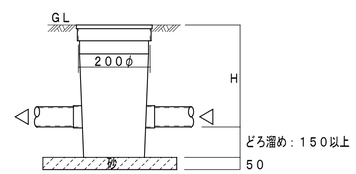


配置図　S＝1／100

汚水小口径桝（参考図）



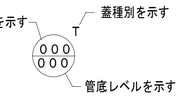
雨水小口径桝（参考図）



汚水小口径インバート桝：凡例

ＳＡ１：１００φ－１５０φ
ＳＡ２：１２５φ－１５０φ
ＳＡ３：１５０φ－１５０φ
特記なき蓋は塩ビ製蓋
Ｔ８と特記（鋳鉄製蓋Ｔ－８）
Ｔ１４と特記（鋳鉄製蓋Ｔ－１４）
Ｔ２５と特記（鋳鉄製蓋Ｔ－２５）

雨水小口径桝：凡例



ＲＡ１：１００φ－２００φ
ＲＡ２：１２５φ－２００φ
ＲＡ３：１５０φ－２００φ
特記なき蓋は塩ビ製蓋
Ｔ８と特記（鋳鉄製蓋Ｔ－８）
Ｔ１４と特記（鋳鉄製蓋Ｔ－１４）
Ｔ２５と特記（鋳鉄製蓋Ｔ－２５）

注記）

ウオーターハンマー防止の為、配管類は堅固に支持、固定すること。
埋設標示設置のこと。
排水勾配　屋外　１／５０又は１／１００
　　屋内　１／５０を基準とする。
排水トラップ封水高　５０mm以上　１００mm以下とする。
桝レベルは参考とする。
下水道桝は下水道指定桝とする。
上水、下水関係は市町村施工基準に準じること。

「建築基準法施行令第１２９条の２の５第２項第二号」に規定する吐水口空間

給水管の内径と吐水空間の目安

給水管の内径（mm）	吐水口空間	
	吐水口周辺近くに壁のない場合	吐水口周辺近くに壁のある場合
１３以下	２５	４０
１９以下	４０	５５
２５以下	５０	７５
２５　超	有効開口径の２倍	有効開口径の３倍

吐水口空間要領図：参考図

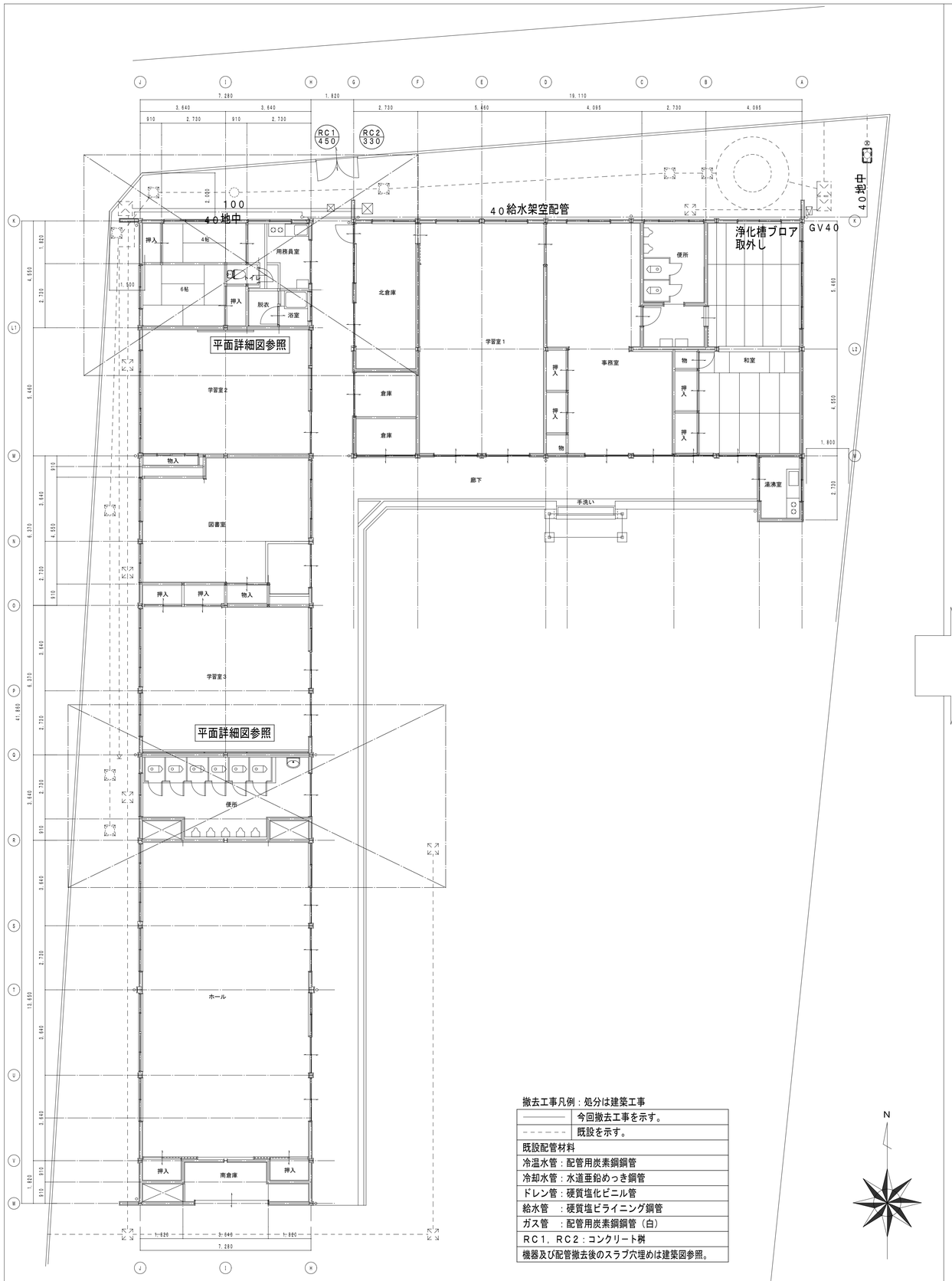
「建築基準法施行令第１２９条の２の５第３項」に規定する排水トラップ、通気等を設置する等衛生上必要なの措置について

（ａ）　手洗いの場合

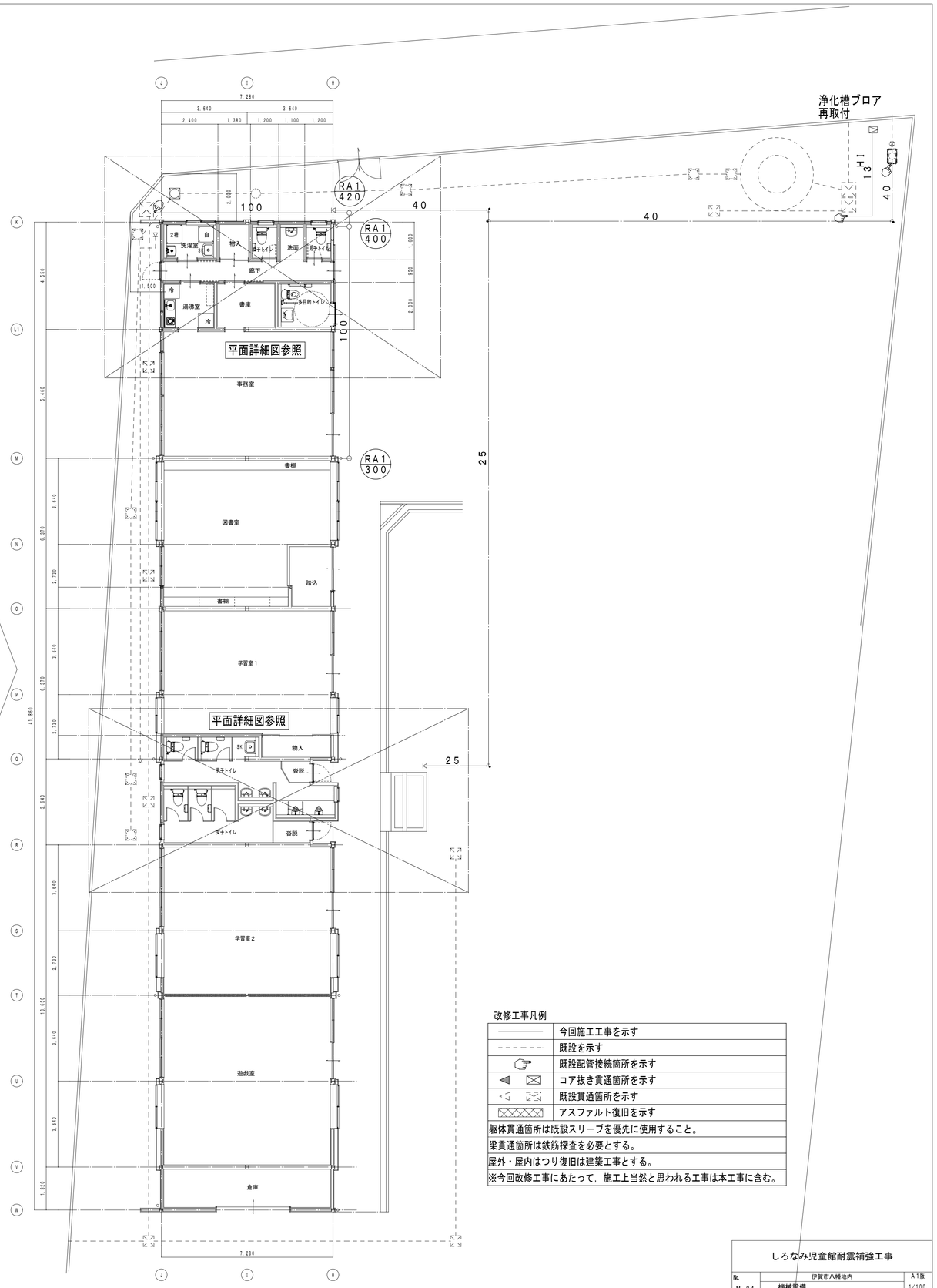
排水トラップの措置について：参考図

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. M-03	伊賀市八幡地内		A1版 1/100 m/m
	機械設備 給排水衛生設備　配置図		
日付.	設計		係員

A3版1/200



現況　平面詳細図　S＝1／100



改修後　平面詳細図　S＝1／100

撤去工事凡例：処分は建築工事

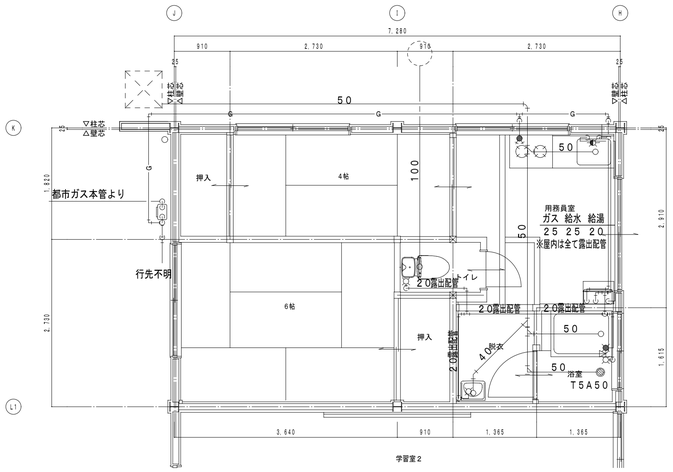
――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - -	既設を示す。
既設配管材料	
冷温水管：配管用炭素鋼鋼管	
冷却水管：水道亜鉛めっき鋼管	
ドレン管：硬質塩化ビニル管	
給水管　：硬質塩ビライニング鋼管	
ガス管　：配管用炭素鋼鋼管（白）	
RC1，RC2：コンクリート桝	
機器及び配管撤去後のスラブ穴埋めは建築図参照。	

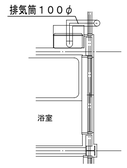
改修工事凡例

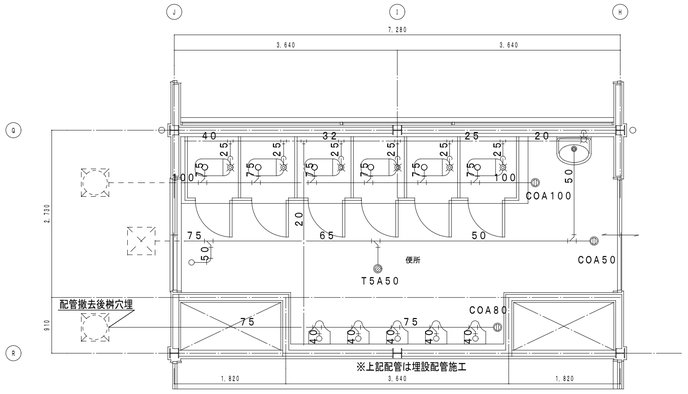
――――	今回施工工事を示す
- - - - - -	既設を示す
☞	既設配管接続箇所を示す
◀ ⊠	コア抜き貫通箇所を示す
◁ ◁	既設貫通箇所を示す
⊠⊠⊠	アスファルト復旧を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	
梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。	
屋外・屋内はつり復旧は建築工事とする。	
※今回改修工事にあたって，施工上当然と思われる工事は本工事に含む。	

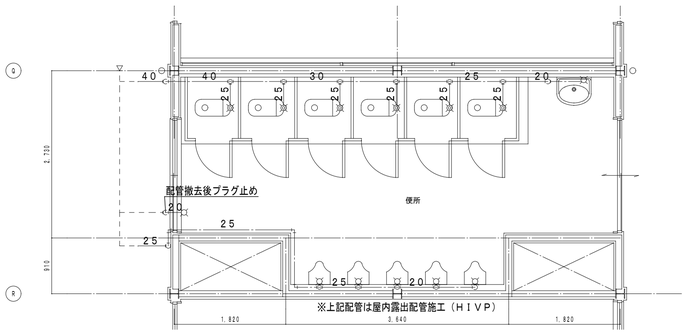
しろなみ児童館耐震補強工事			
No. M-04	伊賀市八幡地内		A1版 1/100
	機械設備 給排水衛生設備　平面図（現況・改修後）		m／m
日付.	設		係　員
	計		

A3版1/200









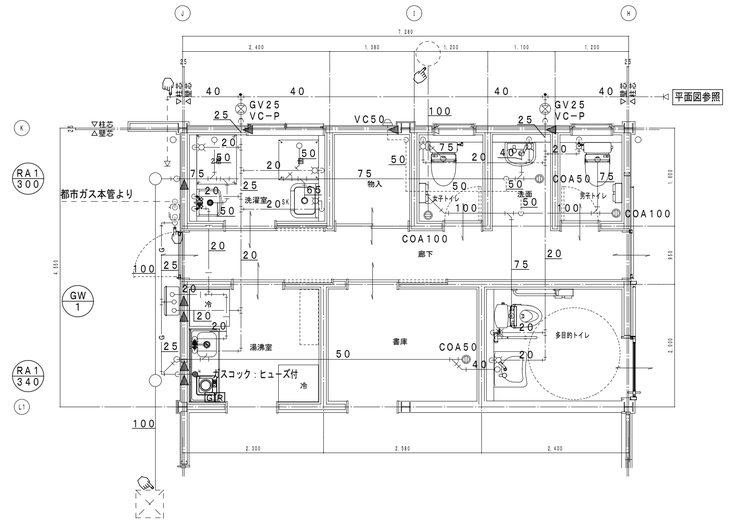
衛生器具類撤去一覧表

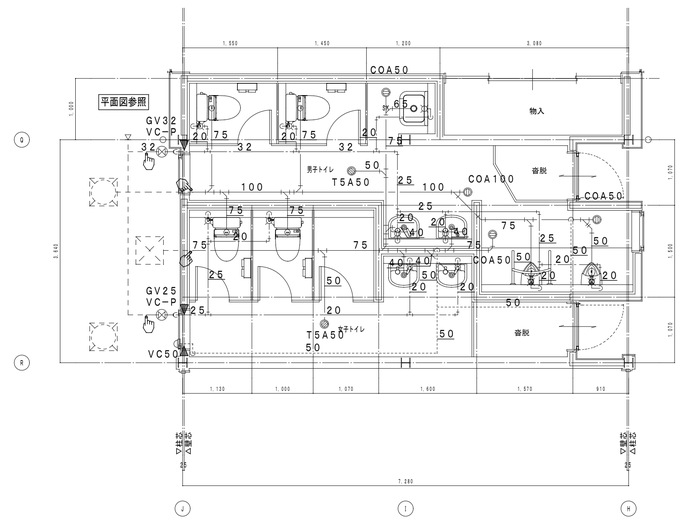
衛生器具表	品番及び付属品	便所	トイレ	用務員室	浴室	脱衣
和風大便器	Ｃ３７５Ｖ，ＦＶ，他付属品共	6				
洋風便器	Ｃ７２０，ロータンク，他付属品共		1			
小便器	Ｕ５３，他付属品共	5				
洗面器	Ｌ２３０Ｄ，他付属品共	1				1
化粧鏡	ＴＳ１１９ＡＳ３	1				
混合水栓				1		
シャワー金具					1	
ガス給湯器	屋内床置形１６号，弁類他付属品共			1		
横水栓		1				

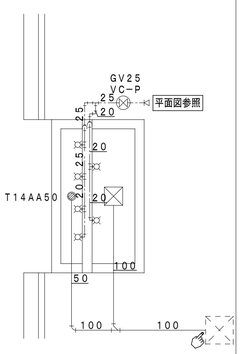
撤去工事凡例：処分は建築工事

————	今回撤去工事を示す。
- - - - - -	既設を示す。
▨	アスファルトカッター切・撤去を示す
撤去配管リスト	
給水管：硬質塩ビライニング鋼管	
：水道用硬質塩化ビニル管	
汚水・排水・通気管：硬質塩化ビニル管	
給湯管：給湯用被服銅管	
ガス管：白ガス管，外面被覆鋼管	
排水桝：３００角，４５０角	
器具及び配管撤去後のスラブ穴埋めは建築工事とする。	
土間はつり及び復旧は建築工事とする。建築図参照	

GW－１ ガス給湯器接続箇所は給水２０Ａ（ＧＶ・ＦＪ），給湯２０Ａ（ＦＪ），ガス２０Ａ（ＧＣ・ＦＪ）取付けの事	
リモコン配線（メーカー付属品）とする　但し，取付位置は打合せによる	
R	給湯器リモコン（取付位置は打合せによる。）
G	ガス漏れ警報器（都市ガス用）







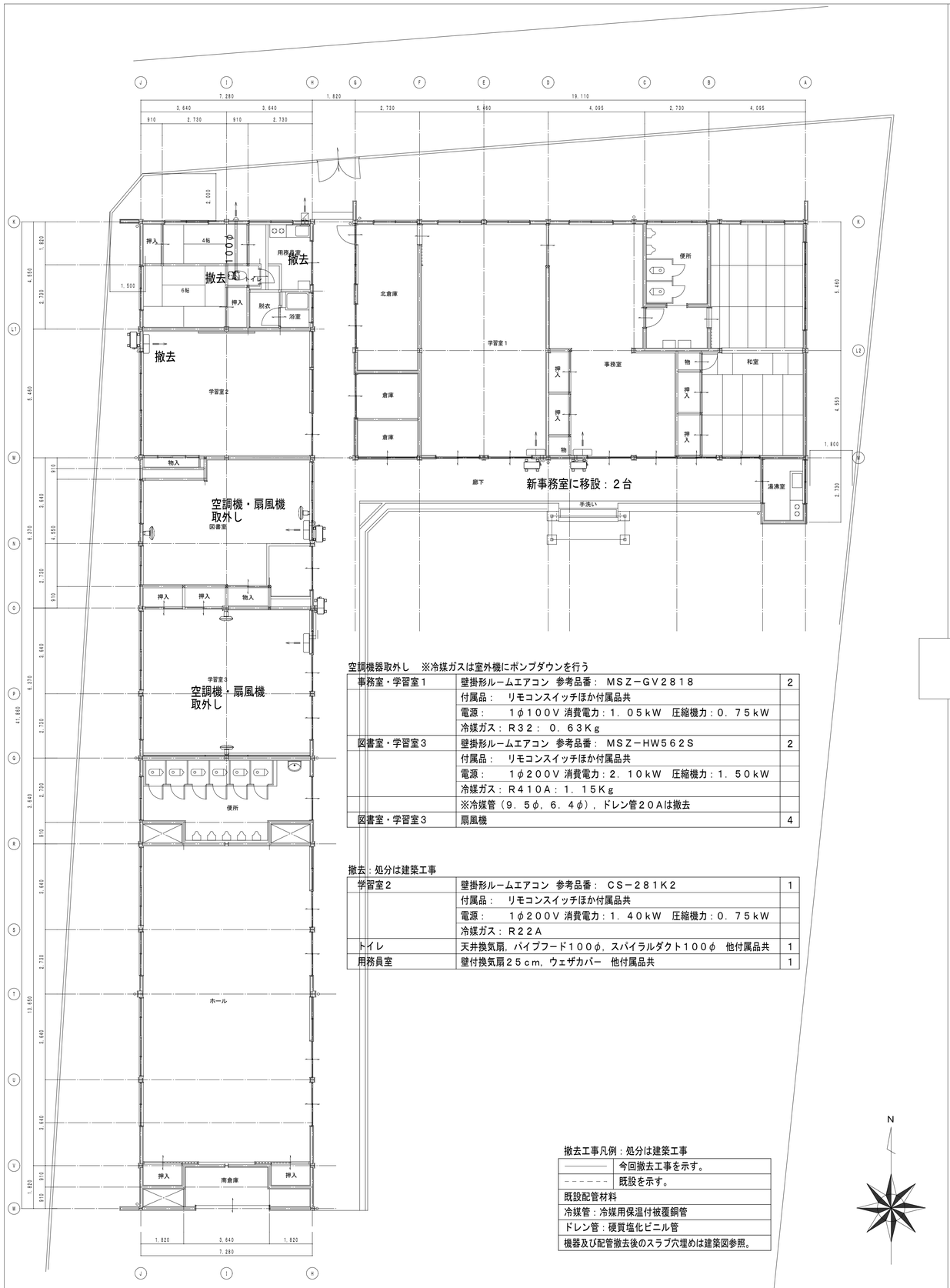
改修工事凡例

————	今回施工工事を示す
- - - - - -	既設を示す
☞	既設配管接続箇所を示す
◀ ⊠	コア抜き貫通箇所を示す
◁ ⊠	既設貫通箇所を示す
▨	アスファルト復旧を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	
梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。	
屋外・屋内はつり復旧は建築工事とする。	
※今回改修工事にあたって，施工上当然と思われる工事は本工事に含む。	

しろなみ児童館耐震補強工事

No. M-05	伊賀市八幡地内	A1版
	機械設備 給排水衛生設備　平面詳細図（現況・改修後）	1/50 m／m
日付.	設計	係　員

A3版1/100



空調機器取外し　※冷媒ガスは室外機にポンプダウンを行う

事務室・学習室１	壁掛形ルームエアコン　参考品番：　ＭＳＺ－ＧＶ２８１８	2
	付属品：　リモコンスイッチほか付属品共	
	電源：　１φ１００Ｖ 消費電力：１．０５ｋＷ　圧縮機力：０．７５ｋＷ	
	冷媒ガス：Ｒ３２：０．６３Ｋｇ	
図書室・学習室３	壁掛形ルームエアコン　参考品番：　ＭＳＺ－ＨＷ５６２Ｓ	2
	付属品：　リモコンスイッチほか付属品共	
	電源：　１φ２００Ｖ 消費電力：２．１０ｋＷ　圧縮機力：１．５０ｋＷ	
	冷媒ガス：Ｒ４１０Ａ：１．１５Ｋｇ	
	※冷媒管（９．５φ，６．４φ），ドレン管２０Ａは撤去	
図書室・学習室３	扇風機	4

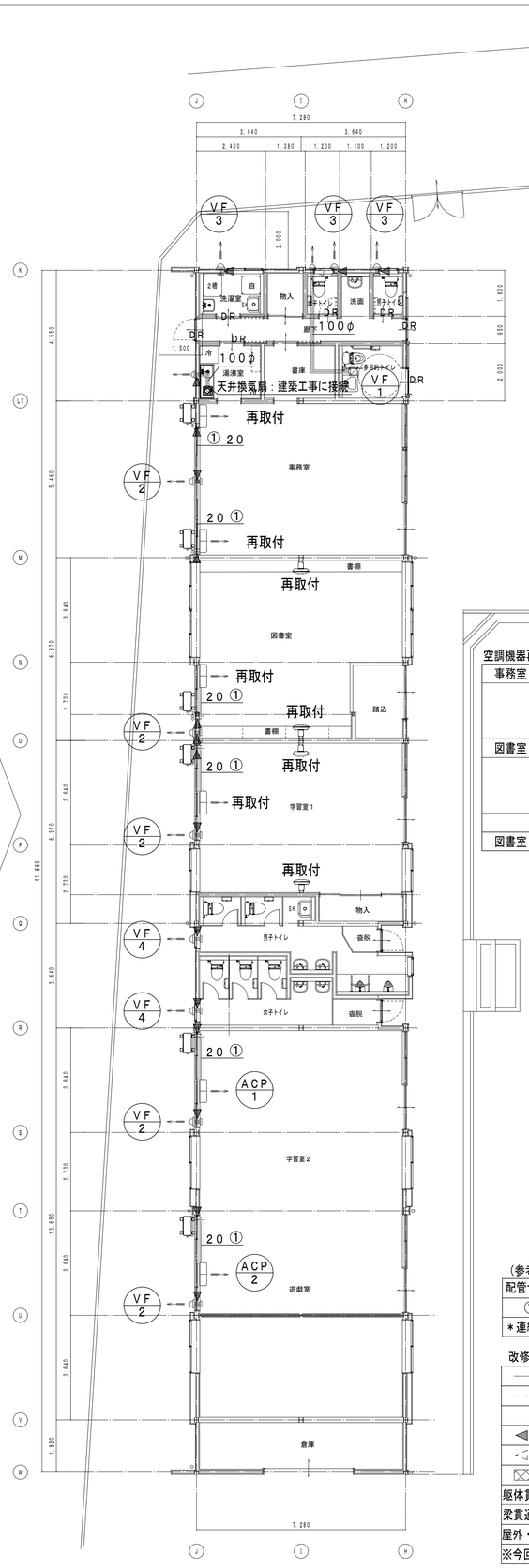
撤去：処分は建築工事

学習室２	壁掛形ルームエアコン　参考品番：　ＣＳ－２８１Ｋ２	1
	付属品：　リモコンスイッチほか付属品共	
	電源：　１φ２００Ｖ 消費電力：１．４０ｋＷ　圧縮機力：０．７５ｋＷ	
	冷媒ガス：Ｒ２２Ａ	
トイレ	天井換気扇，パイプフード１００φ，スパイラルダクト１００φ　他付属品共	1
用務員室	壁付換気扇２５ｃｍ，ウェザカバー　他付属品共	1

撤去工事凡例：処分は建築工事

――――	今回撤去工事を示す。
- - - - - -	既設を示す。
既設配管材料	
冷媒管：冷媒用保温付被覆銅管	
ドレン管：硬質塩化ビニル管	
機器及び配管撤去後のスラブ穴埋めは建築図参照。	

現況　平面詳細図　Ｓ＝１／１００



空調機器再取付

事務室	壁掛形ルームエアコン　参考品番：　ＭＳＺ－ＧＶ２８１８	2
	付属品：　リモコンスイッチほか付属品共	
	電源：　１φ１００Ｖ 消費電力：１．０５ｋＷ　圧縮機力：０．７５ｋＷ	
	冷媒ガス：Ｒ３２：０．６３Ｋｇ	
図書室・学習室３１	壁掛形ルームエアコン　参考品番：　ＭＳＺ－ＨＷ５６２Ｓ	2
	付属品：　リモコンスイッチほか付属品共	
	電源：　１φ２００Ｖ 消費電力：２．１０ｋＷ　圧縮機力：１．５０ｋＷ	
	冷媒ガス：Ｒ４１０Ａ：１．１５Ｋｇ	
図書室・学習室１	扇風機	4

（参考）

配管サイズ	ガ　ス　管	液　管	連絡配線
①	９．５φ	６．４φ	EM-CEE2.0°-3C

＊連絡配線は冷媒共巻きとする

改修工事凡例

――――	今回施工工事を示す
- - - - - -	既設を示す
☞	既設配管接続箇所を示す
◁ ⊠	コア抜き貫通箇所を示す
◁ ⊠	既設貫通箇所を示す
⊠	アスファルト復旧を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	
梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。	
屋外・屋内はつり復旧は建築工事とする。	
※今回改修工事にあたって，施工上当然と思われる工事は本工事に含む。	

改修後　平面詳細図　Ｓ＝１／１００

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. M-06	伊賀市八幡地内		A1版 1/100 m/m
	機械設備 空調設備　平面図（現況・改修後）		係　員
日付.	設計		

A3版1/200

解体工事仕様書

Ⅰ 解体工事概要

1.工事場所　三重県伊賀市八幡町地内

2.敷地面積（㎡）　———

3.除却対象物　　・建築物・工作物・建築設備・家具等・樹木・その他

除却対象建築物等		構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延 面 積(㎡)
B棟	解体	S	1	*図示			198

Ⅱ 解体工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。)により、解体共仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)」(以下「標仕」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年度版)」(以下、「改修標仕」という。)による。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に◯ 印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、・印の付いたものを適用する。

・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

・印と※印の付いた場合は、共に適用する。

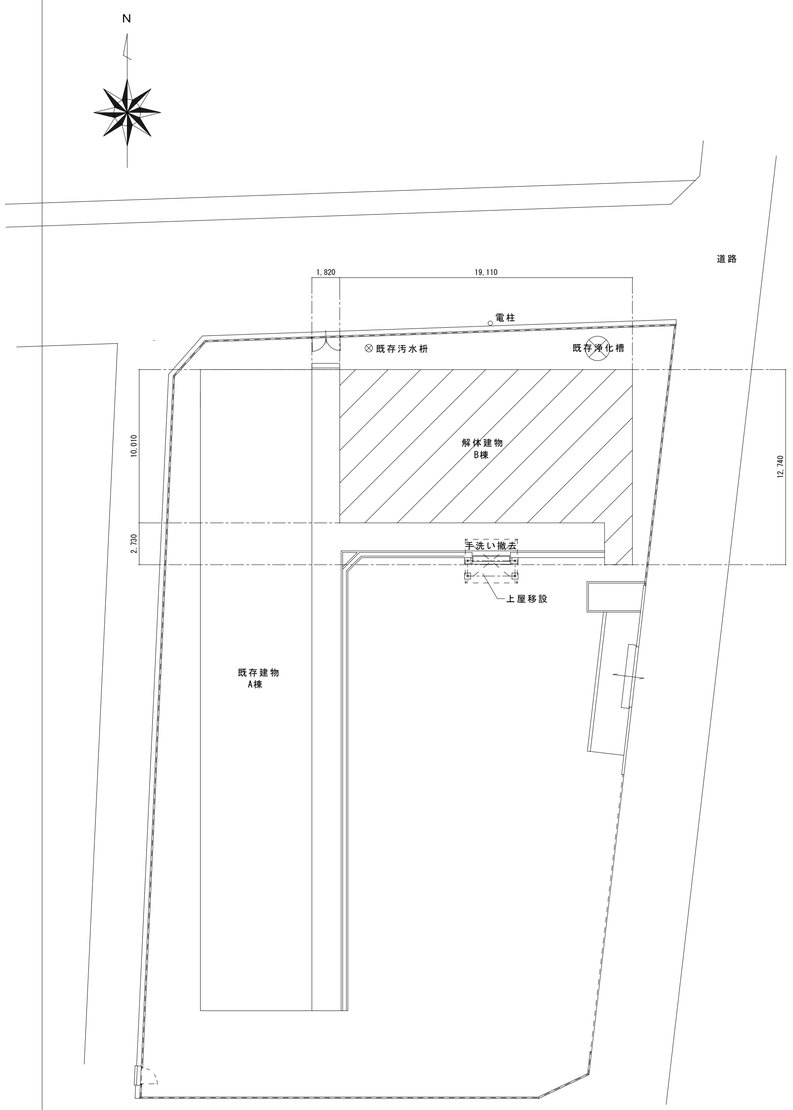
（3）特記事項に記載の(．．)内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	①適用基準等	・工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・建築物解体工事共通仕様書・同解説　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成24年版） ・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成31年版） ・建設副産物適正処理推進要綱(以下「推進要綱」という。)　平成14年5月30日 ・建設工事公衆災害防止対策要綱建築工事編　平成5年1月12日建設省経建発第1号
	②電気保安技術者	※適用する・適用しない　(1.3.3)
	③施工条件明示項目	・施設管理者の都合により作業内容に制約を受ける場合は、協議により工程を決定する。　(1.3.5) ・著しい騒音、振動、粉塵等が発生する作業の場合は、施設管理者と協議により工程を決定すること。
	④引渡しを要するもの	※引渡しを要するもの　(1.3.10) 名称：エアコン　仕様等：2台　備考：A棟に移設 ・現場説明書による
	⑤解体工事施工技士	本工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士の選任等に配慮すること。
2 仮設工事	①騒音・粉塵等の対策	・防音パネル・防音シート　(2.2.1) 設置範囲及び高さ　4.0m ※ 図 示 散水方法高圧ポンプ等（散水員1名以上常駐）
	②監督員事務所	※設ける・設けない　A棟耐震補強工事と併用　(2.3.1) 規模※10㎡程度・20㎡程度・（）㎡程度
	③工事用水	構内既存の施設・利用できる（※有償・無償）※利用できない
	④工事用電力	構内既存の施設・利用できる（※有償・無償）※利用できない
3 解体施工	1杭の解体	・行う　・行わない　(3.8.2) 杭の解体工法 ・引抜き工法・破砕による解体
	2. 樹木等	樹木の伐採抜根及び移植　(3.9.1) ・行う（※図示・）・行わない
	3. 地下埋設物 ・埋設配管	地下埋設物及び埋設配管の解体　(3.10.1) ・行う（※図示・）・行わない
	4. 設備機器等	解体事前処理（油類タンク） ※図示による ・解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に流出させないように注意する。 ・燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。 解体事前処理（冷媒） ※図示による ・冷媒を屋外機にポンプダウンした後、撤去を行う機器 図面番号：　記号： ・冷媒を回収した後、撤去を行う機器 図面番号：　記号：
4 建設廃棄物の処理	5. 屋外設備等	電柱の撤去・行う（※図示・）・行わない 外灯の撤去・行う（※図示・）・行わない
	⑥解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛土　(3.11.1) ・行う 整地高さ ・現状GL・行う（※図示・） 埋戻し及び盛土の材料 ・山砂の類・他現場の建設発生土の中の良質土・再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 ・行わない
	⑦機械設備及び電気設備の切替・遮断等	機械設備（給排水管設備、消化設備、ガス設備等）及び電気設備（構内配電線等）の切替・遮断等の工事を行う者 ※請負者が同工事の許可業者でない場合は、同工事の許可を取得している者に委託する。
	1.再資源化等	(4.4.1) 建設廃棄物の種類：中間処理施設又は再資源化施設等 ・コンクリート：※監督員の承諾する施設・図示・現場説明書による ・ｺﾝｸﾘｰﾄ及び鉄からなる建設資材（ＰＣ板、ｺﾝｸﾘｰﾄ平板、ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品）：※監督員の承諾する施設・図示・現場説明書による ・木材：※監督員の承諾する施設・図示・現場説明書による ・木材（縮減）：※監督員の承諾する施設・図示・現場説明書による ・アスファルトコンクリート：※監督員の承諾する施設・図示・現場説明書による ・金属類：※監督員の承諾する施設・図示・現場説明書による ・小形二次電池：※監督員の承諾する施設・図示・現場説明書による ・蛍光ランプ、ＨＩＤランプ：※監督員の承諾する施設・図示・現場説明書による ・硬質塩化ビニル管、継手：※監督員の承諾する施設・図示・現場説明書による
	2.現場利用する再資源化された建設廃棄物	(4.4.1) 名称　仕様　数量　備考
	3.産業廃棄物広域認定制度の活用	(4.4.2) 種類　所在地 ・図示・現場説明書による ・図示・現場説明書による
	④最終処分する建設廃棄物	(4.4.4) 名称：・廃石膏ボード（ｱｽﾍﾞｽﾄ含有のものを含む）　最終処分場の種類：※ 管 理 型　数量　備考 ・ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板：※ 安 定 型　設計書による　ｺﾛﾆｱﾙ、大平板、吸音ﾃｯｸｽ ・ﾀﾞｽﾄﾊﾞｯｸﾝ（ｱｽﾍﾞｽﾄ）：※ 安 定 型
	5.処理に注意を要する建設廃棄物	最終処分施設 ※監督員の承諾する施設・図示・現場説明書による (4.5.1) 名称：・特定廃石膏ボード　仕様　数量　備考 ・CCA処理木材 最終処分施設 ※監督員の承諾する施設・図示・現場説明書による 「特定廃石膏ボード」とは、次の工場で製造された石膏ボード製品が廃棄物となったもの。 ①ひ素混入石膏ボード 商品名 ：タ イガーボード 工場名 ：小名浜吉野石膏㈱いわき工場裏面表示マークは「吉野石膏OY」 製 造 期 間：昭和48年3月～平成9年4月 JIS許可番号：277057、277058 ロット番号 ：0373○○○○○○○○○○～0497○○○○○○○○○ ②カドミウム混入石膏ボード 商品名 ：アドラせっこうボード 工場名 ：日東石膏ボード㈱八戸工場裏面表示マークは「日東石膏ボード株式会社」 製 造 期 間：平成4年10月～平成9年4月 JIS許可番号：265023、265024 ロット番号 ：A4Y410～A9430
5 特別管理産業廃棄物等の処理等	1.施工調査	(5.1.3) 分析調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類　採取する部位又は箇所等：・図示・箇所　採取する数量　備考
		PCB含有シーリング分析調査　(5.4.4) ・第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 ・第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。 絶縁油のPCB含有量の分析は、「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検討方法（平成4年7月3日厚生省告示第192号）」又は「絶縁油中のポリ塩化ビフェニルの分析方法規定（電気技術規定JEAC1201-1991）」により行う。 焼却炉のダイオキシン類汚染物質の調査は、「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱（平成13年4月25日付基安発第20号）」により行う。
	2.特別管理産業廃棄物の処理	(5.4.1) 特別管理産業廃棄物の種類仕様：・廃石綿・廃油・廃酸・廃アルカリ　数量　備考 処理施設 ※監督員の承諾する施設・図示・現場説明書による
	3.PCBを含む機器類	引渡しを要する機器類　(5.4.3) ・
	4.PCB含有シーリング材	撤去方法　(5.4.4) ※「標準施工要領書（日本シーリング工事業協同組合連合会/日本シーリング材工業会）」による。 ・ 撤去範囲※図示　・
	5.特殊な建設副産物の改修及び処分	(5.5.1) 回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類：・フロン・ハロン・イオン化式感知器・穴ふっ化硫黄（SF6 ｶﾞｽ）　対象機器名称　回収業者又は処分場の名称：※監督員の承諾する業者　保管場所の名称：※監督員の承諾する場所
6 アスベスト含有建材の除去等	＊別紙建築特記仕様書による 1.アスベスト含有分析調査	分析による確認・下表による・図示　(6.1.3) 材料名　調査方法（1材料あたりの試料数）：※定性分析（※3・）・定量分析（※3・）　分析を行う箇所：※図示・仕上表による　備考 分析方法 JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による 分析結果については、監督職員に提出すること。
	2アスベスト粉じん濃度測定	アスベスト粉じん濃度測定　(6.1.4) 測定場所※図示 測定点※図示 アスベスト粉じん濃度測定方法 アスベスト粉じん濃度測定は｢JIS K3850-1空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法｣による位相差・分散顕微鏡法による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
	3アスベスト含有吹付け材の除去（レベル1）	アスベスト含有吹付け材の除去方法　(6.3.2) 解体共仕6.3.2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。 除去物及び汚染物質等 ※密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。
	4アスベスト含有保温材等の除去（レベル2）	アスベスト含有保温材等の除去方法　(6.4.2) 解体共仕6.4.2によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。 除去物及び汚染物質等 ※密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。
	⑤アスベスト含有成形板の除去（レベル3）	アスベスト含有成形板の除去方法　(6.5.2) 解体共仕6.5.2によるものとする。　品目：ｺﾛﾆｱﾙ、大平板、吸音ﾃｯｸｽ
7 その他	①工事現場の環境改善について	工事現場のイメージアップ ・仮囲い周辺の美化 地域住民への情報提供 ・情報掲示板の設置・パンフレットの作成 住民に対する災害防止関係 ・現場出入口周辺への誘導員の配備
	②産業廃棄物の取扱いについて	産業廃棄物処理状況記録及び写真を次のように整備すること。 （ⅰ）搬出された産業廃棄物の処理状況記録 ①処理の全部又は一部を委託した場合 ア収集運搬車両ごとの産業廃棄物管理票（以下「ﾏﾆｭﾌｪｽﾄ」という。）A票、B2票、D票及E票(建Ⅱの場合はB4票を加える。)の写し、建設廃棄物処理委託契約書の写し並びに搬出解体材の数量集計表 イ最終処分場の案内図及び処分状況の写真（中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真） ②請負者が自ら処理した場合 アﾏﾆｭﾌｪｽﾄに準じた解体材の種類ごとの数量集計表 イ最終処分場の案内図及び処分状況の写真（中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真） ③特別管理産業廃棄物の場合 ①又は②に準ずる。ただし産業廃棄物管理票とあるを特別管理産業廃棄物管理票と読み替える。 （ⅱ）産業廃棄物の再資源化実施状況記録 再生資源利用促進実施書に記載する事項 発生量、搬出先名称、区分、施工条件の内容、搬出先名称、運搬距離、搬出先の種類等 （ⅲ）写真 ①工事着手前の現場全景、周辺及び対象建築物等の現況写真 ②仮設物、安全措置状況及び工程写真（除却作業状況、埋設配管等及び基礎類は入念に撮影すること。） ③使用機械類 ④産業廃棄物収集運搬車両への積込み時及び積降し時の写真 ⑤しゅん工時の全景写真（着手時と同一アングルとする。） ⑥その他監督職員の指示による
	3.騒音、振動調査	調査の有無※無・有 調査方法については設計図書による。
	4.土壌調査	調査項目・土壌調査・土壌調査（含有量試験）・ﾊﾛｹﾞﾝｶﾞｽ抽出調査・廃棄物含有調査 土壌汚染に係る環境基準に準拠すること。 調査箇所については設計図書による。
	⑤官公庁その他への届出手続等	(1)工事の着手、施工、完成にあたり、関係機関への必要な手続等を遅延なく行う。 (2)前項に規定する届出手続等を行うにあたっては、届出内容についてあらかじめ監督職員に報告する。
	⑥疑義に関する協議等	設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督職員と協議する。
	⑦文化財その他の埋蔵物	工事の施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督職員に報告するその後の措置については、監督職員の指示に従う。また、当該埋蔵物の発見者としての権利は、法律の定めるところにより、発注者が保有する。
	8.埋蔵文化財調査	「周知の埋蔵文化財包蔵地」の該当・該当する　・該当しない 掘削作業時の教育委員会等の立会い・有　・無 埋蔵文化財調査の時期　・解体工事終了後・解体工事中

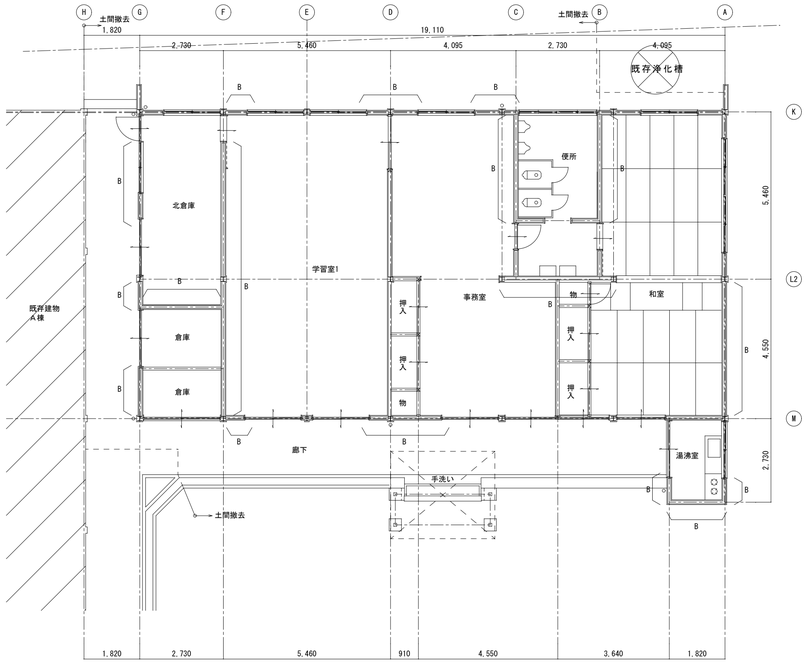
しろなみ児童館耐震補強工事

No.	伊賀市八幡町地内 B棟解体建物 解体特記仕様書	A1版 1/100 1/200 m/m
K-01		
日付.	設計	係 員

A3版1/200・1/400

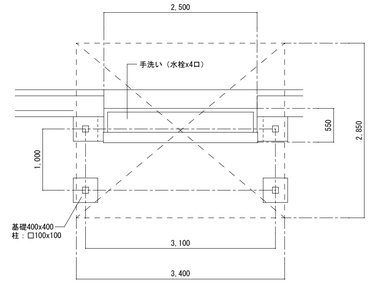


配置図　S=1/200

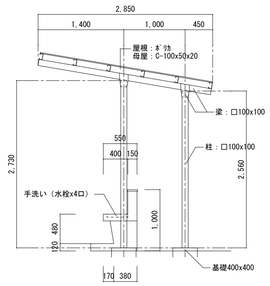


平面図　S=1/100

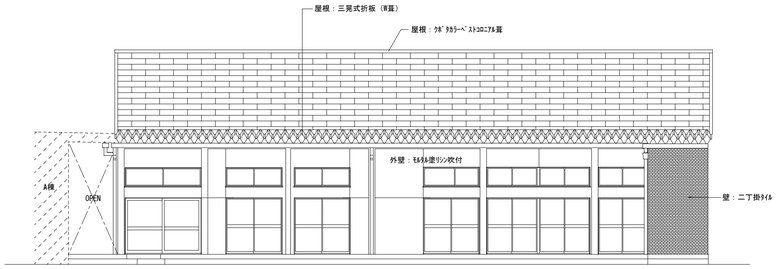
B　ブロック構壁t=100位置を示す



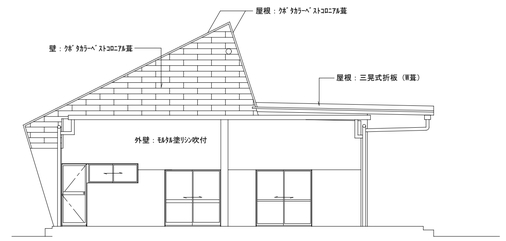
手洗い平面図　S=1/50



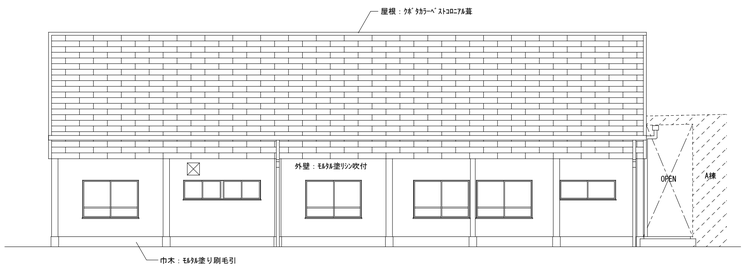
手洗い立面　S=1/50　※上屋移設、外構図参照のこと



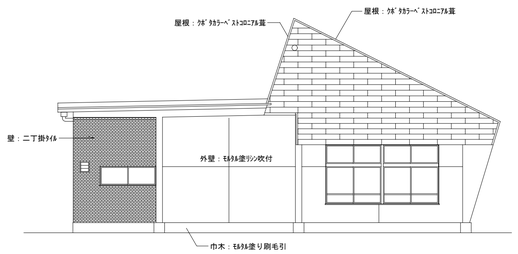
南立面図　S=1/100



西立面図　S=1/100



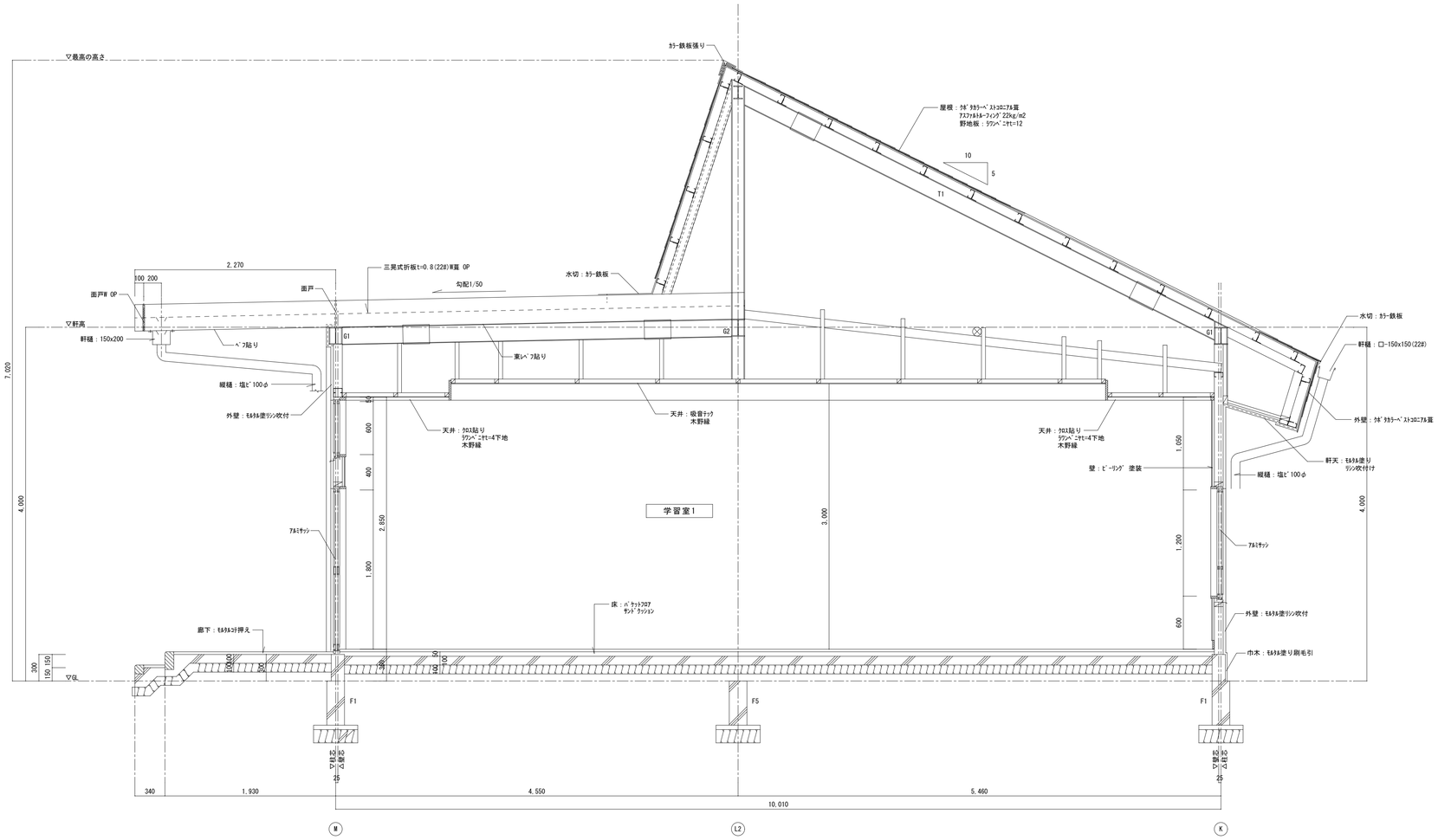
北立面図　S=1/100



東立面図　S=1/100

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. K-02	伊賀市八幡町地内 B棟解体建物 配置図・平面図・立面図		A1版 1/100 1/200 m/m
日付.	設計		係　員

A3版1/200・1/400



矩計図 S=1/30

外部仕上げ表

屋根	クボタカラーベストコロニアル葺き 勾配5/10、アスファルトルーフィング22kg/m2+野地板：ラワンベニヤt=12
	三晃式折板t=0.8（22#）W葺き OP 勾配1/50
軒天	モルタル塗り、リシン吹付
	ベフ張り
樋	軒樋：塩ビ150x150（22#）、塩ビ150x200
	縦樋：塩ビ100φ
外壁	外壁・柱型・梁型：モルタル塗り、リシン吹付 二丁掛タイル
	クボタカラーベストコロニアル
巾木	モルタル塗り刷毛引き
犬走り	モルタルコテ押え

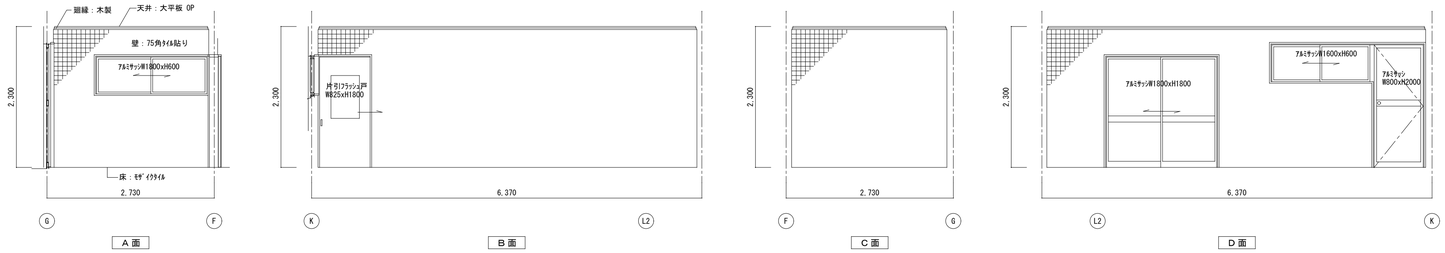
内部仕上げ表

室名	床		巾木			壁			天井					備考
		厚さ		高さ	塗装		厚さ	塗装		厚さ	塗装	廻縁	天井高	
北倉庫	モザイクタイル	5	75角タイル貼り	75		75角タイル貼り	7.5		大平板	5	OP	木製	2,300	アルミサッシ、木製建具
倉庫（北側）	モルタルコテ押え	30	モルタル塗り			モルタル塗り		VP	耐水ベニヤ	4	OP	木製	2,850	アルミサッシ
倉庫（南側）	モルタルコテ押え	30	モルタル塗り			モルタル塗り		VP	耐水ベニヤ	4	OP	木製	2,850	アルミサッシ
学習室1	バケットフロアー	15	ラワン		OS	化粧合板	5.5		吸音テックス クロス貼り	9.5		木製	2,850 3,000	アルミサッシ、木製建具
事務室	バケットフロアー	15	ラワン		OS	化粧合板	5.5		吸音テックス 岩綿吸音板	9.5 9		木製	2,650 2,850	アルミサッシ、木製建具
手洗場	モザイクタイル	5	75角タイル貼り	75		75角タイル貼り	7.5		吸音テックス	9.5		木製	2,660	木製建具 手洗いx2、鏡x2
便所	モザイクタイル	5	75角タイル貼り	75		75角タイル貼り	7.5		大平板	5	OP	木製	2,660	アルミサッシ、トイレブース 和風便器x2、小便器x2
和室	畳	55	畳ヨセ	55		化粧合板 クロス貼り	5.5		吸音テックス、岩綿吸音板 クロス貼り	9.5,9		木製	2,650 2,800	アルミサッシ
湯沸室	Pタイル	2	75角タイル貼り	75		75角タイル貼り	7.5		大平板	5	OP	木製	2,100	アルミサッシ 流し台、コンロ台
（事務室） 物入押入	ラワンベニヤ	5.5	雑巾摺			ラワンベニヤ	5.5		ラワンベニヤ	4		木製	2,000	木製建具、中段
（和室） 物入押入	ラワンベニヤ	5.5	雑巾摺			ラワンベニヤ	5.5		吸音テックス（和室）	9.5		木製	2,800	木製建具、中段

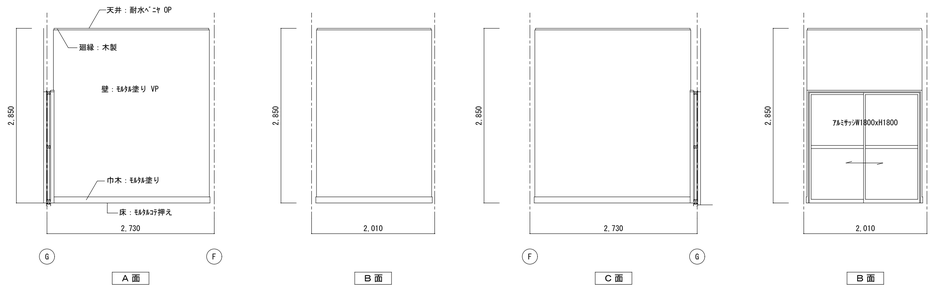
しろなみ児童館耐震補強工事		
No. K-03	伊賀市八幡町地内 B棟解体建物 矩計図、外部・内部仕上げ表	A1版 1/30 m/m
日付.	設計	係 員

A3版1/60

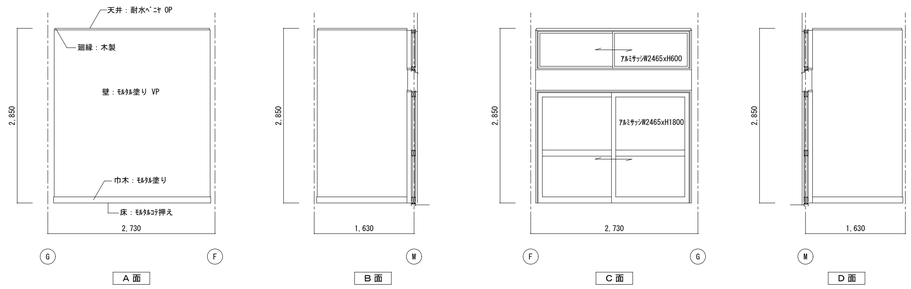
北倉庫展開図　S=1/50



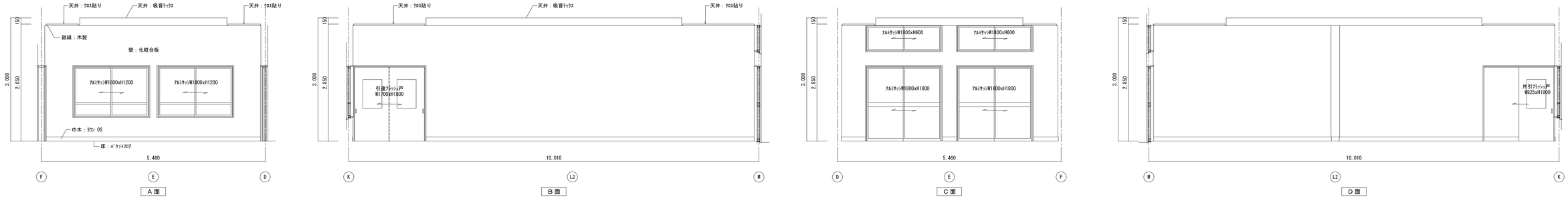
倉庫展開図　S=1/50　(北側)



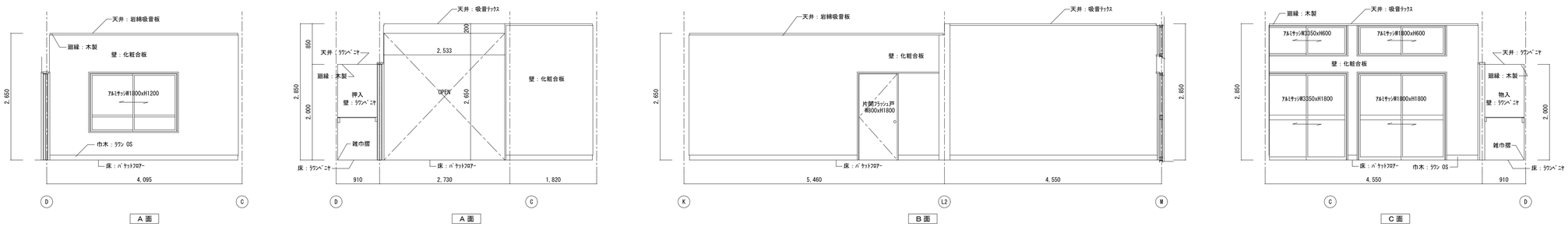
倉庫展開図　S=1/50　(南側)

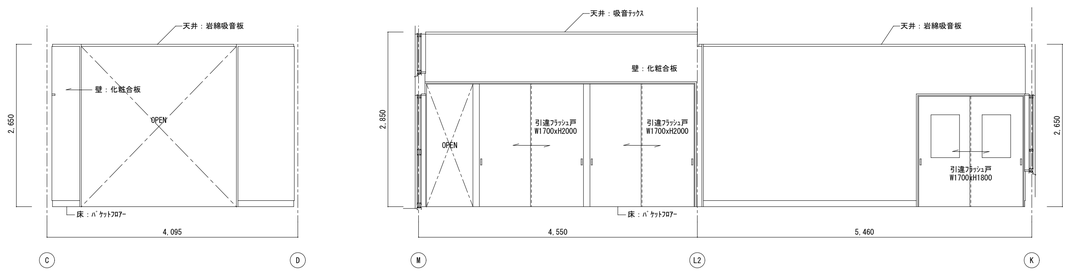


学習室I展開図　S=1/50



事務室展開図　S=1/50

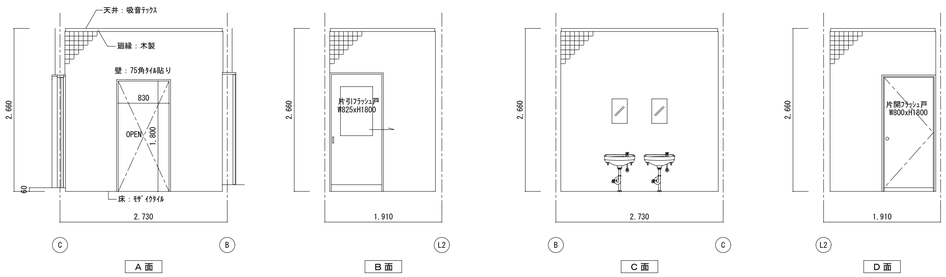




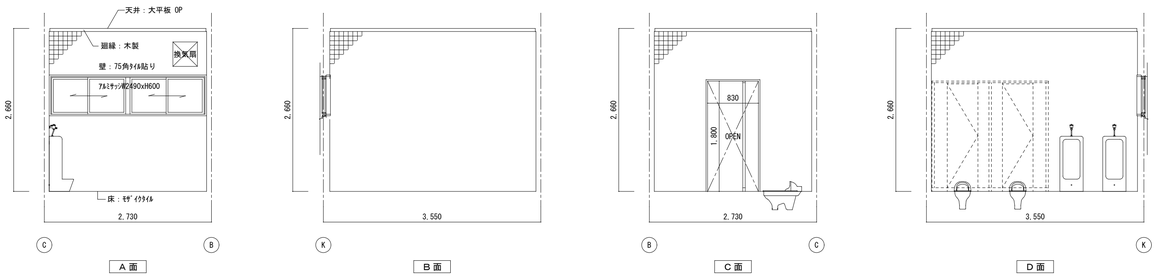
しろなみ児童館耐震補強工事			
No. K-04	伊賀市八幡町地内 B棟解体建物 展開図1		A1版 1/50 m/m
日付.	設計		係 員

A3版1/100

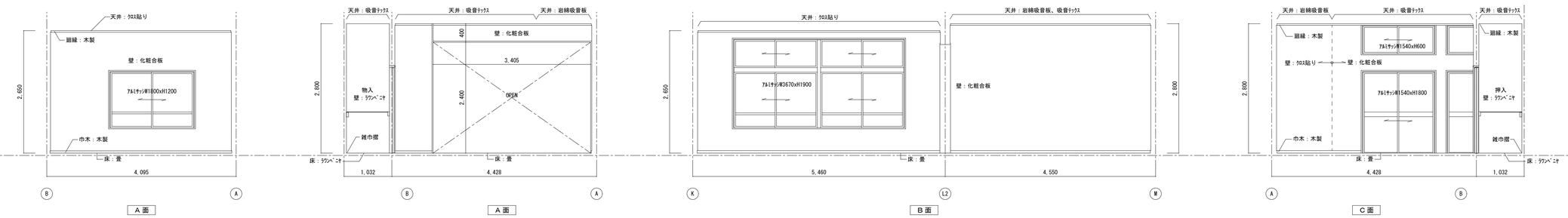
手洗場展開図　S=1/50　（便所前）



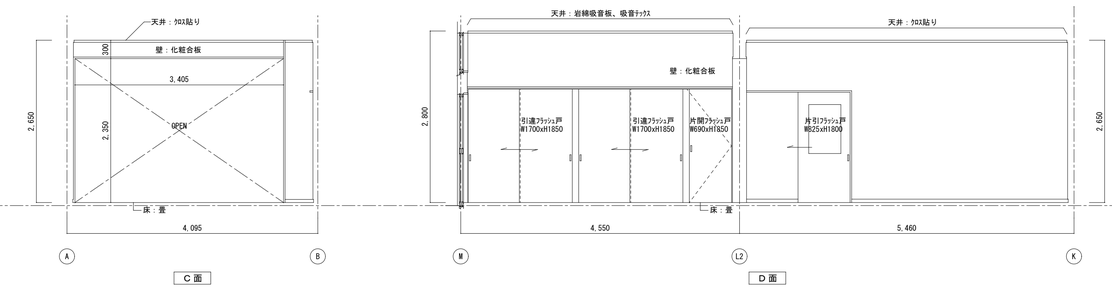
便所展開図　S=1/50



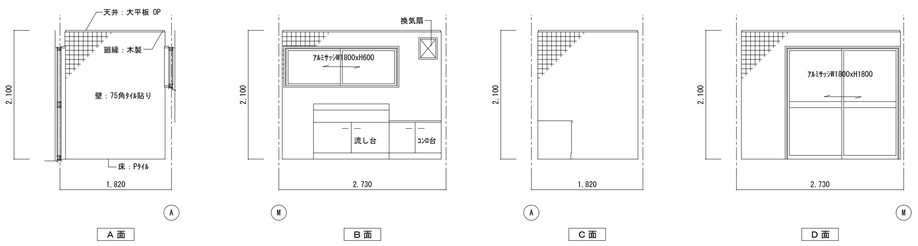
和室展開図　S=1/50



和室展開図　S=1/50

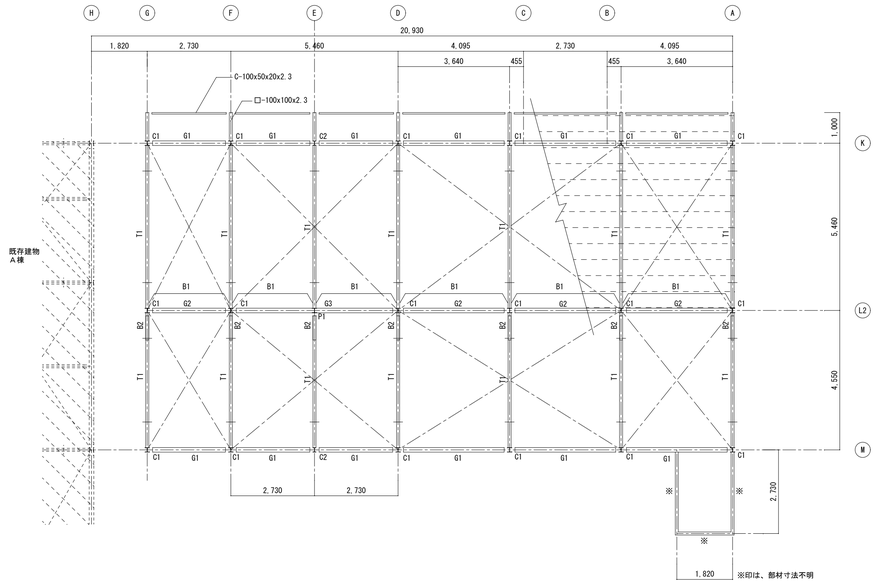


湯沸室展開図　S=1/50



しろなみ児童館耐震補強工事			
No. K-05	伊賀市八幡町地内 B棟解体建物 展開図2		A1版 1/50 m/m
日付.	設計		係　員

A3版1/100



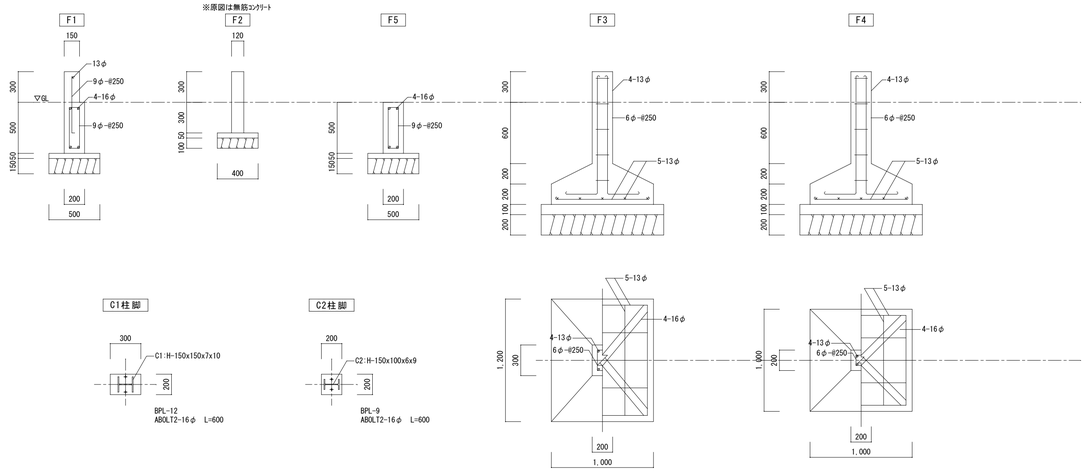
小屋伏図 S=1/100

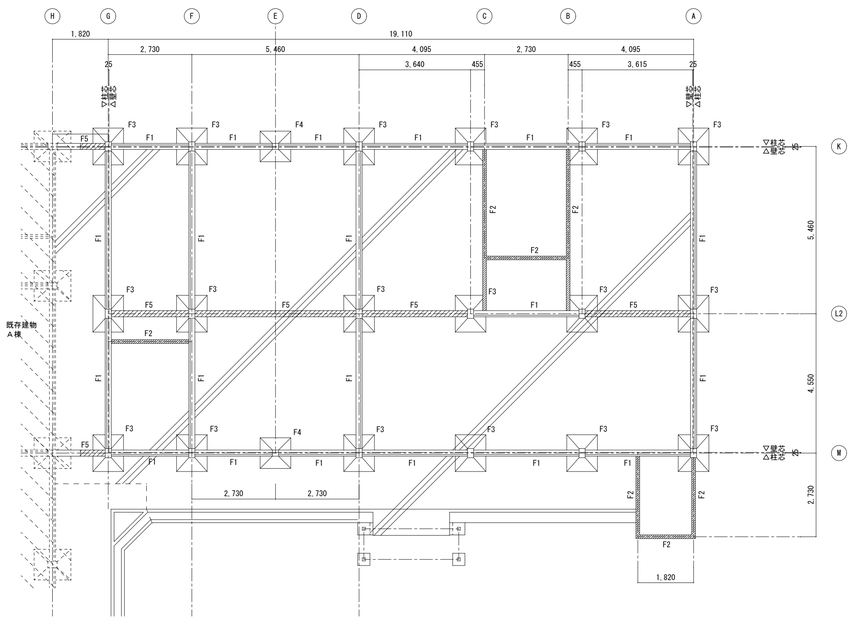
部材リスト

記号	使用骨材	備考
C1	H-150x150x7x10	
C2	H-148x100x6x9	
G1	H-194x150x6x9	
G2	H-194x150x6x9	
G3	H-300x150x6.5x9	
T1	H-200x100x5.5x8	
小屋ﾌﾞﾚｰｽ	12φ	
母屋	C-100x50x20x3.2	
B1	H-148x100x6x9	棟つなぎ梁
B2	2C-150x50x20x3.2	
P1	H-148x100x6x9	

基礎詳細図 S=1/30

※原図は無筋コンクリート

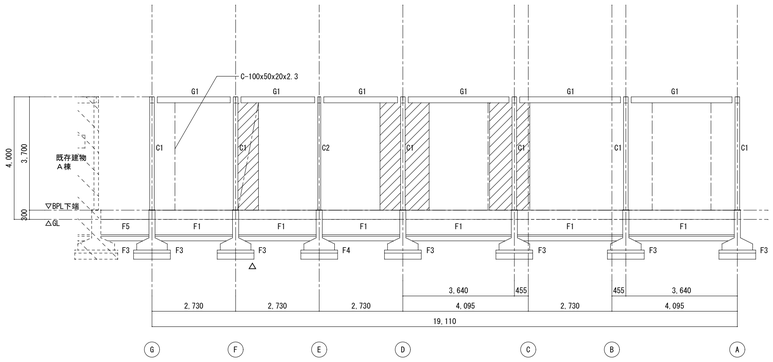




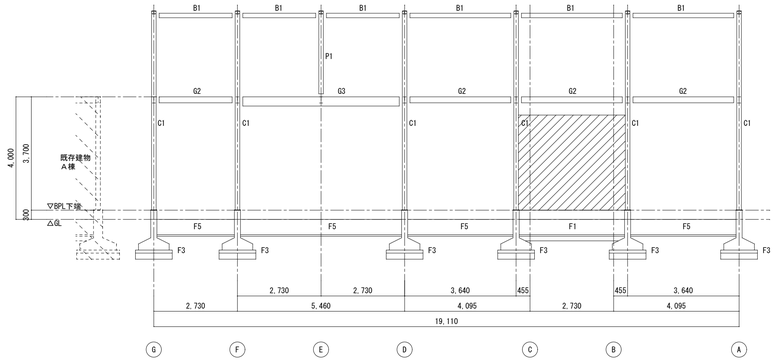
基礎伏図 S=1/100

しろなみ児童館耐震補強工事			
No. K-06	伊賀市八幡町地内 B棟解体建物 基礎伏図・基礎詳細図・小屋伏図		A1版 1/30 1/100 m/m
日付.	設計		係 員

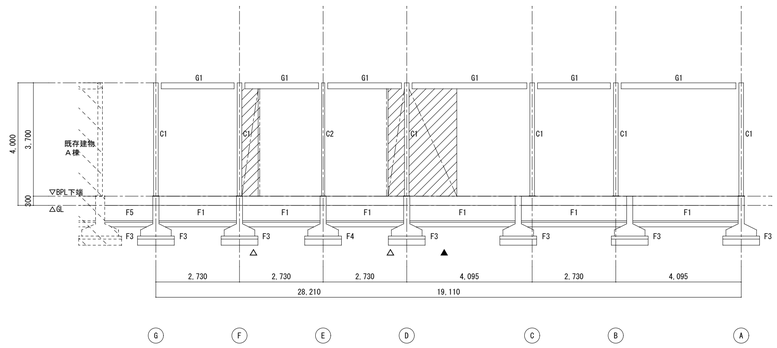
A3版1/60・1/200



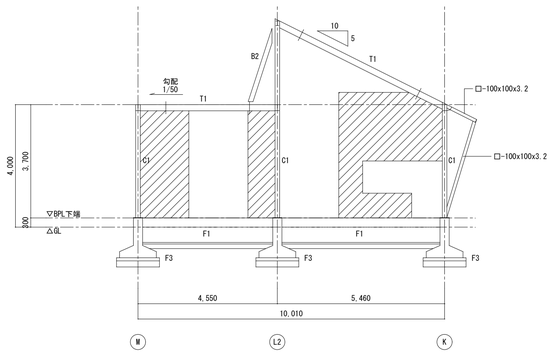
K通り軸組図 S=1/100



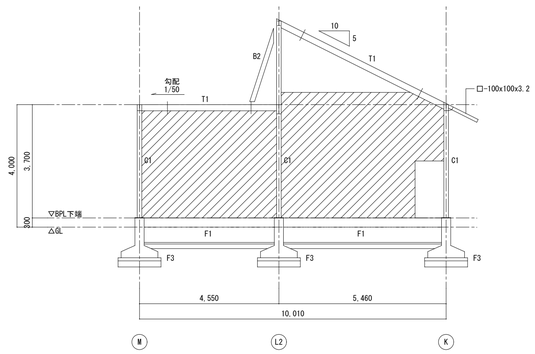
L2通り軸組図 S=1/100



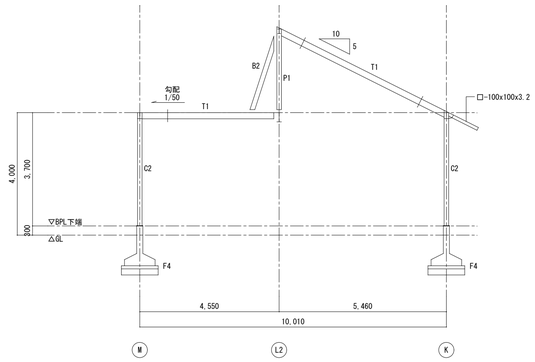
M通り軸組図 S=1/100



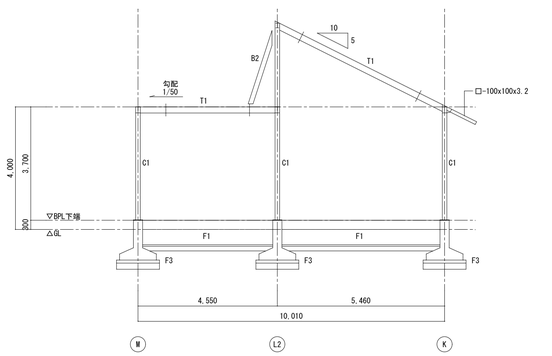
G通り軸組図 S=1/100



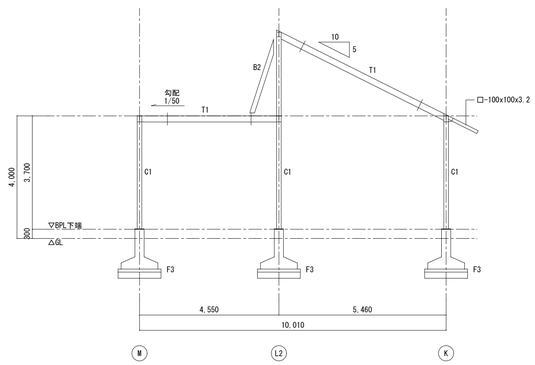
F通り軸組図 S=1/100



E通り軸組図 S=1/100

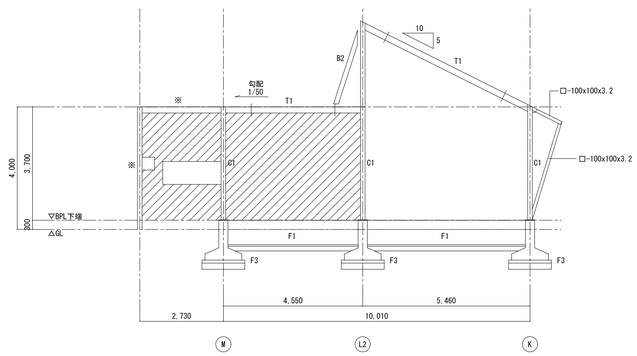


D通り軸組図 S=1/100



C'455通り軸組図 S=1/100

B'455通りも同じ



A通り軸組図 S=1/100

※印は、部材寸法不明

凡例

ブロック補壁t=100

▲：壁ブレース FB6x50

△：壁ブレース 鉄筋12φ

しろなみ児童館耐震補強工事		
No. K-07	伊賀市八幡町地内 B棟解体建物 軸組図	A1版 1/100 m／m
日付.	設計	係 員

A3版1/200